

UFOと宇宙

AMAZING
NONFICTION
STORIES

✦ 北アフリカUFO事件、米国務長官へ秘密報告

■ ノストラダムスの第三次世界大戦詳細予言

米科学者団が公式見解「ニュージーランドUFOはホンモノ」

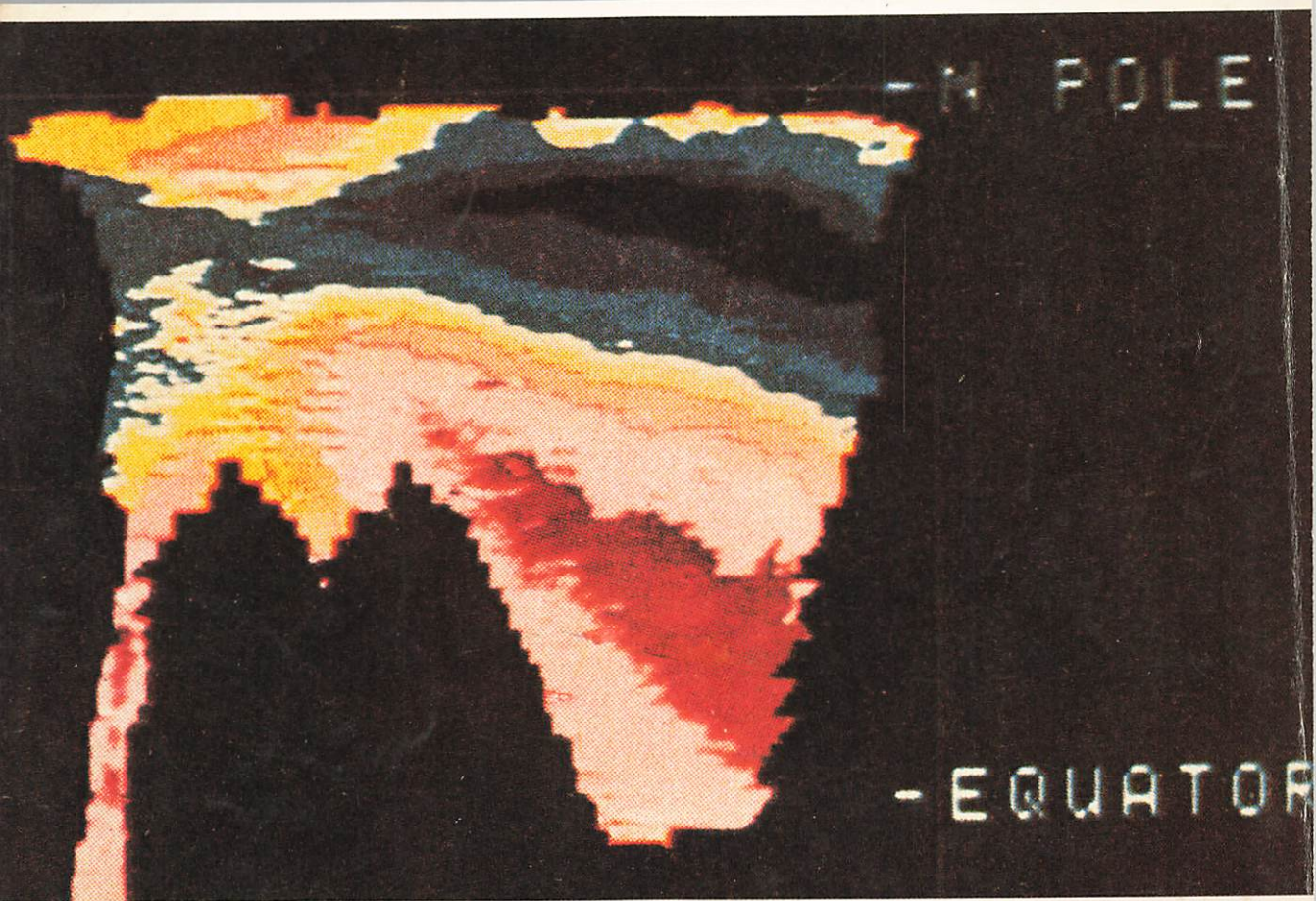
科学考察／UFOと電磁効果

天文学最前線 大オリオン星域の謎

女流研究家ルー・チンシュタークのUFO研究論

特集／UFO発展途上国の最新事情

西独／ヘルマン・オーベルトとの対談 ソ連／鉄のカーテンと太古宇宙人 ニュージーランド／地球の極移動とオーソテニー ベルギー／UFO着陸地点直線理論



6 No.47



長さ 9.7cm 巾 7.6cm 高さ 4.0cm 重さ 100g

金属プレートに指を置けば、ビーという音が出ます。あなたがリラックスするにつれ、皮膚抵抗が増大し、音は低くなり、反対にイライラしたりすると抵抗が減り、音が高くなります。あなたはGSR2の音をできるだけ低くすることを習うことにより、リラックスする方法を憶えられます。

●受験生、経営者、タレント、プロスポーツ選手、管理職、サラリーマン、OL、教師、医師…全ての方々

●GSR2 バイオフィードバックは何に有効か？

GSR2は「健全な心」を自分で作り、それを保つためのモニターと云えます。ですからGSR2は「心の鏡」とも云われます。毎日「心」を鏡に映して、具合が悪ければ、自分でメイクアップして「美しい心」にしましょう。

1. ストレスを追いはい、リラックスできます。

精神的なイライラやストレスを自分自身で、GSR2を使いながら追いはい、ゆったりとリラックスした快感を味わうことができます。今までにない幸福感すら味わえるようになります。

2. 精神統一が上手になり集中力が養えます。

毎日GSR2の練習を続けると、集中力が高まります。受験生などはイライラすることなく勉強に集中できるようになりますし、野球の選手などは、バッターボックスで打球に集中できるようになります。

3. 深いめい想に入れます。

GSR2の練習を積みますと、禅やヨガで得られる瞑想に早く入ることができます。

4. 赤面、対人恐怖の不安を克服でき、あがりなくなります。

GSR2に習熟すると、いたずらに不安を感じたり人前でドキドキしたり、顔が赤くなったりすることが、次第に少なくなってゆきます。自分自身に今までよりもっと自信がもてるようになります。

5. ピンチに強くなります。

野球の投手はピンチを迎えても今迄とちがうはずで、コ

アメリカ、カナダで今、 爆発的人気!! バイオフィードバック

GSR2

ジー エス アール ツー

1ヶ年保証

¥20,000(送料サービス)

練習用カセットテープ、説明書、イヤホンつき

ルフの選手もこゝ一番に強くなります。受験生も本番で強くなるはずで。すぐカーツとしたり、イライラする性格が改善されてゆくからです。

6. ESP能力が増します。

ヨガ瞑想者や禅瞑想者は、通常普通の人が出しているβ波とちがうα波と云う脳波を出すと言われます。GSR2で精神統一をするとα波が出るようになり、この訓練を続けるとESP能力が増すと云われます。

7. 記憶力が増します。

先のα波を出している状態では、記憶がどんどん入ることが実証されています。受験生や学生にはたいへんな武器になります。

リラックスする方法は2、3日で習得でき、その日から効果が出ますが、他は3～6ヶ月以上の練習が必要です。

GSR2にはアクセサリが付けられます。.....

1. サーミスター

サーミスターはGSR2に全く別の新しい体温によるバイオフィードバックという機能を加えます。

¥8,000

2. メーター

メーターをつけると、GSRや温度の変化を音でなくメーターで読むことができます。

¥6,000

3. 電極

GSR2をポケットに入れて使うときや、お年寄、お子様には指先に固定できるので便利です。

¥6,000

説明書・テープも別売致します。説明書 ¥500 テープ ¥1,000
但し、GSR2には、あらかじめセットされておりまして、後で本体をお買上げの場合、値引きはありませんので御了承下さい。

アメリカでは「21世紀はバイオフィードバックなしには考えられない。」と云われているほどです。GSR2でストレスを追い出すことを憶え、タフな精神を養い、平和で豊かな心で人生を快適なものにしましょう。

問合せ、カタログ請求は下記へ。

輸入総代理店

ポラックス株式会社U係

東京都中央区日本橋小舟町2-7 ☎ 666-0511(代) 〒103

製造元

THOUGHT TECHNOLOGY LTD.
CANADA

お申込みは、取扱店又はポラックス(株)へお願いします。
直接ポラックス(株)へお申込みの場合は、氏名、住所、年令明記、捺印の上、代金は現金書留又は郵便振替(東京4-8703)でポラックス(株)U係へお願い致します。現品急送します。

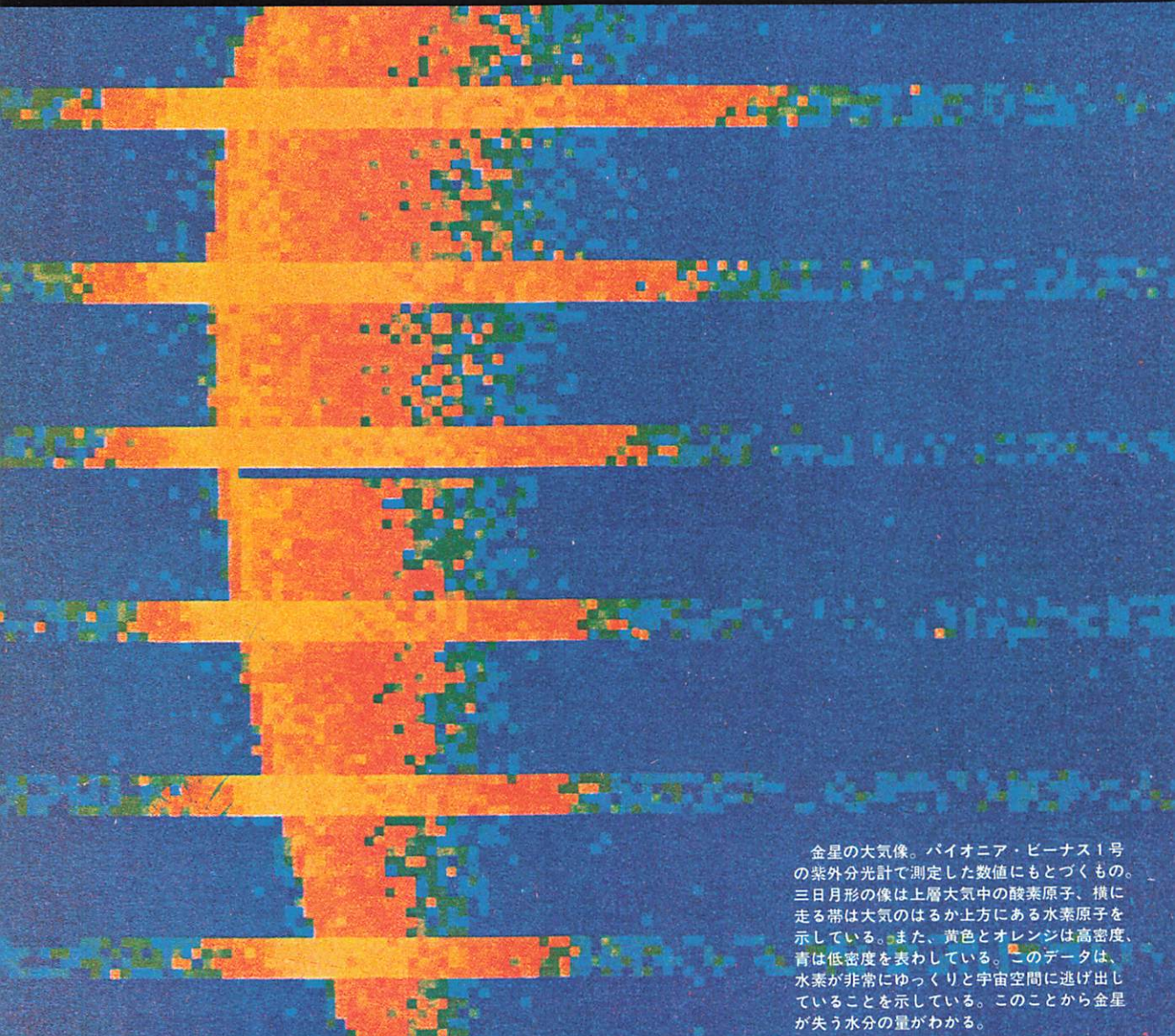
The Alien Nature of Earth's "Sister" Planet

昨年12月、NASA（米航空宇宙局）は金星に劇的なアタックをした。パイオニア・ビーナス1号と2号による総合立体観測である。

2機の金星探査機は、この明るく輝く惑星の大気や気象に関する様々なデータを送ってきた。それらのデータを総合すると、金星は

どうやらこれまで想像していた以上に異質な世界らしい。

1年後、いや数カ月後には、データの詳しい分析結果が公表されるだろう。いま現在も100人以上の科学者たちによって、新しい金星像が着々と形作られつつあるのだ。



金星の大気像。パイオニア・ビーナス1号の紫外分光計で測定した数値にもとづくもの。三日月形の像は上層大気中の酸素原子、横に走る帯は大気のはるか上方にある水素原子を示している。また、黄色とオレンジは高密度、青は低密度を表わしている。このデータは、水素が非常にゆっくりと宇宙空間に逃げ出していることを示している。このことから金星が失う水分の量がわかる。

金星の 温度と大気を見る

NASAの探査機が
送り届けてきた画像

●金星で確認されたデータ

この惑星はまさに敵対的といえる。北極から南極まで厚い雲におおわれ、金星表面から太陽を見ることはできない。

最上層の雲は、予想どおり硫酸と水滴からなっていた。その下の2層の雲は、液体または固体の硫黄の粒子を含んでいるらしい。

時速300キロ以上のジェット気流が惑星全体に吹き荒れている。

金星表面から高度50キロのところまで雲が切れ、濃い大気となる。

高度50キロから30キロまでは、2万5000分の1センチ以下の粒子が、大気中にいくらかあるだけ。

高度30キロ以下には、粒子はまったく存在しない。といつても、大気が清浄無垢というわけではない。パイオニア・ビーナス2号の探測器は、海中に投げられた小石のようにゆれながら降下し、強烈な化学反応が起こっているのをとらえた。

●探測器が見た地獄の業火

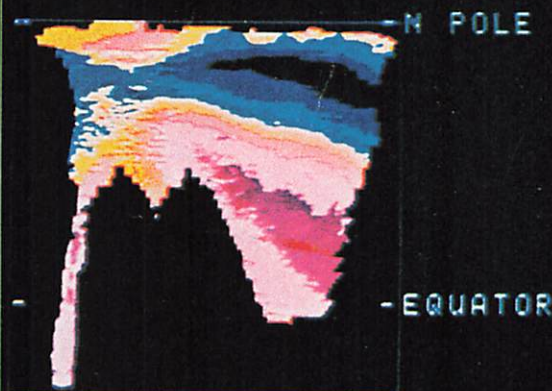
金星が受ける太陽の輻射熱は地球の2倍。しかし厚い雲がその半分を反射するので、ちょうど地球と同じくらいになる。大気圧は地球の35倍。温度は摂氏331度。

2号の4つの探測器は、高度15キロでいずれも摂氏338度ぐらいの温度を記録し、その後送信がとだえてしまった。

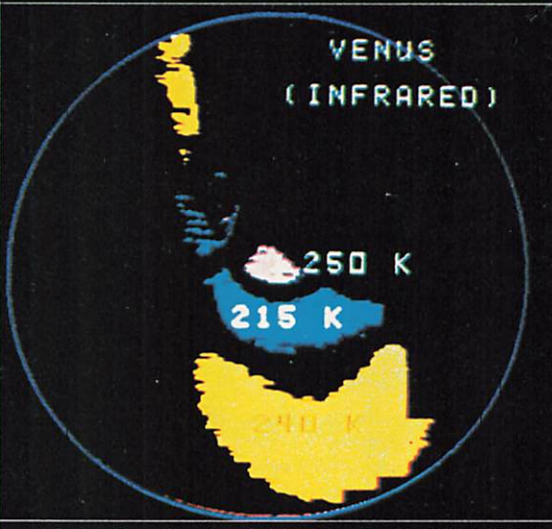
一方、探測器に搭載されていた、外光

●金星の温度像

パイオニア・ビーナス1号の赤外温度計から送られてきたデータをもとに、コンピューターを用いて作成したもの。赤外温度計は発せられる熱を測定するので、金星の昼の側と夜の側の両方を“見る”ことができる。



▲金星の雲のマップ（北緯90度から南緯30度の地帯）藍色の部分が高度最高、温度最低。真紅の部分は高度最低、温度最高。



▲金星の北極。中心の十字が北極を示しており、円は赤道にあたる。表示されている数値は雲頂の絶対温度。

の微小な変化にも反応する計器は、温度測定装置が故障したとほぼ同じ頃、大気中にかすかな光を検知した。その光は明るくなる一方。

大気が燃えているのか。

激しい化学反応が起こっているのか。

地上の火山活動などを、大気が反射しているのか。

「地獄の業火を見ているのだと思います」
ミシガン大学のトーマス・タナヒュー博士は、こんな大胆な意見を述べる。

「なにが起こっているにしろ、金星の表面全体の出来事だと思えますが、夜の側しか光は見えません」

これに硫酸が関係していることはほぼ間違いないが、真相は不明である。

「金星の大気は、私たちのモデルとま

ったく異なっているでしょう。これは化学の研究に新たな分野を開くものです」

●設計図からやり直し

テキサス大学のジョン・ホフマン博士は、非腐食性ガスを見つけて量を測定する質量分析計から、思いがけないデータを得た。

アルゴン36の濃度が地球の300〜500倍。また、下層大気はメタンが豊富らしい。

メタンが燃焼もしくは他の有機化合物と反応して、奇妙な光を放っているのだろうか。これについては否定的な意見もあり、決着がつくにはまだしばらく時間が必要である。

アルゴンの濃度に関しても、火星

ではアルゴン36が地球の1パーセントしか存在しない。金星、地球、火星と、ほぼ同率でアルゴン36が減少している。

とすると、同じ地球型惑星と呼ばれていても、この3つの惑星は異なった物質からできているのではないだろうか。

「設計図からやり直しだ」と、ハーバード大学のマイケル・マツケルロイ博士は語っている。

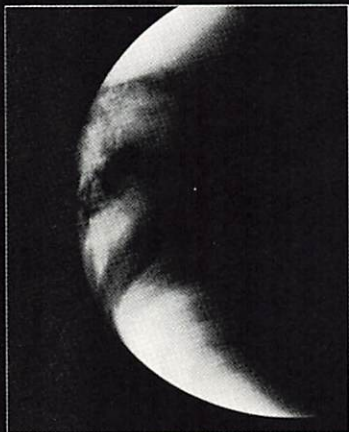
ただし、ガスクロマトグラフの測定値では、アルゴン36は地球より10パーセント多いだけ。

いずれにしろ多いことは確かだが、太陽系の生成理論を研究している科学者にとつて、この測定値の相違は決定的な重要性をもっている。この問題は、これから大いに論議をよびそぞだ。

The Alien Nature of Earth's "Sister" Planet

▲金星の早朝。パイオニア・ビーナス1号の雲偏光計を用いて、紫外線で4時間かけて撮影したもの

▶上の写真をコンピューターにかけて増幅すると、コントラストの弱い雲の帯が見えるようになる。



私たちのお隣りの惑星について、だいたいこのようことが確認され、新たな謎がもたらされた。

金星の気象パターン、大気中の不思議な化学反応、あるいは温室効果を解明する手がかりを求めて、科学者たちは熱心にパイオニア・ビーナスのデータに取り組んでいる。

衝突時にはこりの雲が舞い上がったのを計器が記録している。4分以上もほこりが静まらなかつたので、金星表面にはほとんど風がないと思われる。

「デイ」が着陸した場所は平らで軟かく、灰やほこり、小さな砂粒が積もっているらしい。

パイオニア・ビーナス2号の4つの小型探測器のうち「デイ」と名付けられたものは、金星表面に到達後も68分間にわたってデータを送信、科学者たちに思いがけないボーナスをもたらしした。

●軟かくほこりっぽい表面

A BALL-SHAPED UFO CAUGHT BY A MOVIE CAMERA IN KOBE



会社員が8ミリカメラにとらえる

銀色の未確認物体 神戸上空を はげしく飛行

▶勤務先で仕事中の知念正朔さん



2月初め、神戸市内のアマチュア写真家が同市上空を飛行するUFOを2度にわたって8ミリカラーフィルムにとらえた。

撮影したのは同市兵庫区に住む会社員知念正朔（まさとも）さん、42歳。知念さんは1月にも2回、UFOを目撃しており、次の出現にそなえて職場（自動車工場）に8ミリカメラを持ちこんだ直後の撮影だった。

2月3日、工場の上空に再度出現した見覚えのある飛行物体を数度にわたって目撃した知念さんは急いで手元に置いてあった8ミリカメラを回した。物体は球形で銀色に輝き、かなり上空を飛びまわっているときでもピンポン玉ほどの大きさに見えたという。

2度目の撮影は2月8日午前11時すぎ。最初の撮影時よりかなり低空を飛び、頭上を東の方向に通過したときにはお椀大に見えた。その間2分足らずだったが、物体はやはり銀色で、頭上通過後ふたつに分裂、並行して飛び去ったという。2度とも、撮影時には同僚数人がいつしよに目撃している。

フィルムの中でUFOはかなりはげしく動きまわり、電線の向う側を上下したり隣家の屋根の近くまで降下するなど、かなり複雑な動きを見せている。

なお、このフィルムは撮影後間もなく神戸のサンテレビが入手、UFO研究家に調査を依頼した結果「トリックなどではない」と判断されたため、2月28日午後2時から同局の番組「ハイ、二時です」で放映された。

2月8日に撮影したUFO。この時UFOは隣家の屋根近くまで降下した。



▲電線の向う側を激しく動き回った。



ヨットの上から撮影 ウルグアイ

この写真は1978年1月6日、アルゼンチン南部のパラナ川に浮かぶヨットの上から撮影された。早朝、アルゼンチンのオリボスを出たヨットには原子力委員会の核物理学者夫妻など5人が乗っていた。ヨットがパラナ川の河口を出てウルグアイのカルメロに近づいた10時45分ごろ、一行の中の1人が空中に太陽光を反射する物体を発見、別の1人があわててカメラを持ち出し撮影した。目撃者たちの話では、物体は中心部が上下にふくらみ、周辺部が滑らかに傾斜しており、表面は銅を思わせる金属的な光沢をおびていたという。

データ・キャンノン AE-1 50ミリ カラーリバーサルフィルム使用



低空飛行する葉巻型光体

アルゼンチン

1978年6月15日の夕方、アルゼンチン空軍の司令官がブエノスアイレス州オラバ
ーリアの南20キロをドライブ中、助手席に乗っていた彼の息子が平原の上をゆっくり飛行
する葉巻型の光体を発見した。彼は車を停めて車内にあったブラック・ペンタコンを持
ち出し、この写真を撮影した。物体までは2キロメートルほど離れていたが、夕暮の中で
オレンジ色に輝き、撮影直後には光体からさらに小さな光体がふたつとび出して、周囲を
動き回るのが見えたという。



ハワイ上空に四角形の飛行体

ハワイ・カウアイ島

これは1975年1月2日にハワイのカウアイ島で撮影され
た写真である。(オリジナル・フィルムはカラースライド)その
日の午後、マイケル・リンドストローム夫妻はカウアイ・サン
ズ・ホテルの砂浜で横になっていたが、2時45分ごろ、夫人が
空中にみえない物体を発見した。彼女が1分ばかりみとれて
いる間に物体は彼らの砂浜の方向にゆっくり近づいてきた。ま
もなく、かたわらにいたリンドストローム氏も気づいて何枚か
写真におさめたが、このときにはかなり接近しており、正方形
に近い形状、周辺部の黒い線と白銀色の中心部などがかなり鮮
明に見えたという。



●A SQUARE-SHAPED OBJECT ON A HAWAIIAN ISLAND

全国書店で
絶賛発売中!

「UFOと宇宙」臨時増刊

定価580円
(送料160円)

不思議世界百科'79

ミステリー・エンサイクロペディア

■収録項目■
妖精
第10番惑星
宇宙エネルギー
ネッシー
バミュダ・トライアングル
錬金術
占い
超心理現象
古代遺跡
リインカーネーション
超能力者
オーパーツ
ブラッックホール
ふしぎな植物
予言者
ドラキュラ
ポルターガイスト
雪男
失われた大陸
タイム・トリップ
ピラミッド

■本誌編集部が総力をあげて完成した最新ミステリーガイド!

数千年におよぶ歴史の中で人間が得た経験と知識は今やきわめて高度な科学的発展をもたらした。その結果、かつては未知の世界といわれたものの多くが、現在では人類の手中におさめられようとしている。しかし、この地上にも、また果てしない宇宙空間にも、いぜんとしてわれわれの理解をこえた不可解な現象が存在し、現代人をとまどわせている。

本書は、錬金術から宇宙エネルギー、はてはブラッックホールにいたる現代のあらゆる謎を徹底的に考察した、目で見える最新ミステリーガイドである。なお、解説には9人の新鋭執筆陣があたつたほか、200点にのぼる貴重な写真・図版と詳細な用語解説をのせており、この一冊でミステリー世界全体を一望におさめることができる。

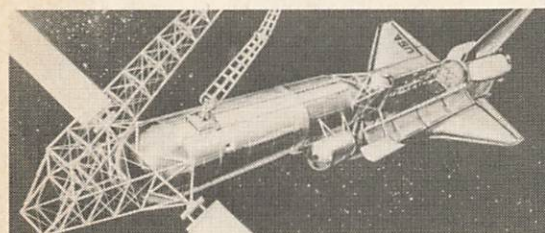
「UFOと宇宙」5月臨時増刊号

不思議世界百科'79 MYSTERY ENCYCLOPEDIA



●書店にない場合は当社営業部までお申し込みください。

UFO CONTENTS と宇宙



1979

6

■カラー■

- 金星の温度と大気を見る……………1
 銀色の未確認物体、神戸上空を飛行……………4
 低空飛行する葉巻型光体／ヨットの上方から撮影／ハワイ上空に四角形の飛行体……………6
 ALIENエイリアン……………73

●本誌特約ウェンデル・ステイブンス寄稿
考察／UFOの起源（連載第2回）

58

●天文学最前線
大オリオン星域の謎
 斎藤守弘

50

●科学考察
UFOと電磁効果
 池田隆雄

38

●ニュージールランド最終回答
 ●米科学者が公式見解 報告／富川正弘
ニュージールランドUFOはホンモノ
 ●空軍はUFOを確認している
レーダー管制官が重要証言
 矢追純一

32

29

女流研究家ルー・チンシュタークのUFO研究論

24

特集／UFO発展 途上国の最新事情

- 1 西ドイツロケットの父ヘルマン・オーベルトとの対談
 2 ニュージーランド地球の極移動とオーソテニー
 3 ソビエト鉄のカーテンと太古宇宙人 テイモシー・G・ベックリー
 4 ベルギーUFO着陸地点直線理論 エドガー・サイモンズ
 5 カナダオタワに謎の落下物 報告／オタワ新科学クラブ
 6 メキシコ史上最大のUFO目撃騒動 エドワード・J・バブコック
 7 ブラジル検閲を抜けたUFO事件簿 エリディオ・ヘルナンデス

102 100 97 91 87 82 78

●1976年8月のチュニジア、モロッコにおける目撃事件を追う
北アフリカUFO事件米國務長官へ秘密報告
 ●アメリカ政府が機密解除したUFO文書（その3）
1976年CIAの秘密研究
 NOSTRADAMUS' DETAILED PREDICTIONS OF WWII レニ・ノーバーゲン
ノストラダムスの第三次世界大戦詳細予言

18

14

10

CONTENTS

- 「UFOと宇宙」アメリカ旅行のお知らせ……………45 UFOカレンダー（6月）……………106
 コンディション・グリーン……………46 ブックプラザ……………108
 UFO時評……………48 「UFOと宇宙」クイズ……………111
 省三おじさんのUFOイングリッシュ……………65 声・OPINIONS……………114
 サイエンス・ニュースフロント……………68 蚤の市……………120

1976年9月19日早朝、イランの首都テヘランの上空でUFOのレーダー・眼視事件が起こった。スクランブル発進したF4ジェット戦闘機が、ミサイルを発射しようとしたとたんに制御不能になるという、実にふしぎな接近遭遇が発生したのである(本誌1979年3月号参照)。

ところが、実はこのイラン事件と前後して、イランの西方に位置するチュニジアとモロッコでも、同様のUFO目撃が相次いで起こり、当惑したチュニジアとモロッコの政府当局者がひそ

かにアメリカ大使らにUFO情報を教えるよう要求するという事件が起こっていた。これは、CAUS/GSWが情報の自由化法に基づいて入手したアメリカ国務省の秘密文書で明らかにされたのである。

部保安長官の將軍(名前削除)が非常に心配して、アメリカの軍事連絡将校と大使館員に連絡してきた。將軍は1976年8月3日の夜以降、チュニジアの上空で発生しているUFO目撃に関して、自分でまとめた国防大臣への報告書の写しを連絡将校に渡した。

TU8953便のパイロットは、北から南へむかうUFOを高度1000〜1200メートルにて発見と報告。23時27分、赤と緑の位置灯をつけた5機のUFOがモナスチル上空を飛行するのが目撃され、レーダーで確認された。0時24分から4時0分にかけ、5つのレーダー反射波が追跡され、肉眼でも確認された。

1976年8月3日(8) 日夜、チュニジア上空のUFO目撃報告極秘報告全文

①1976年8月9日午前11時、軍

報告書を引用すると以下の通り。
 主題：空飛ぶ機械。説明不可能な空飛ぶ物体は以下のように出現した。
 1976年8月3日から4日にかけての夜、23時25分、モナスチルからチュニスへ飛行中のチュニス航空

8月4日から5日にかけての夜間に、モナスチルへ飛行中のエール・フランスのパイロットが、22時43分から22時52分にかけて、モナスチルへの降下ポイントに接近中、1機の航空機に追跡されていると報告。8

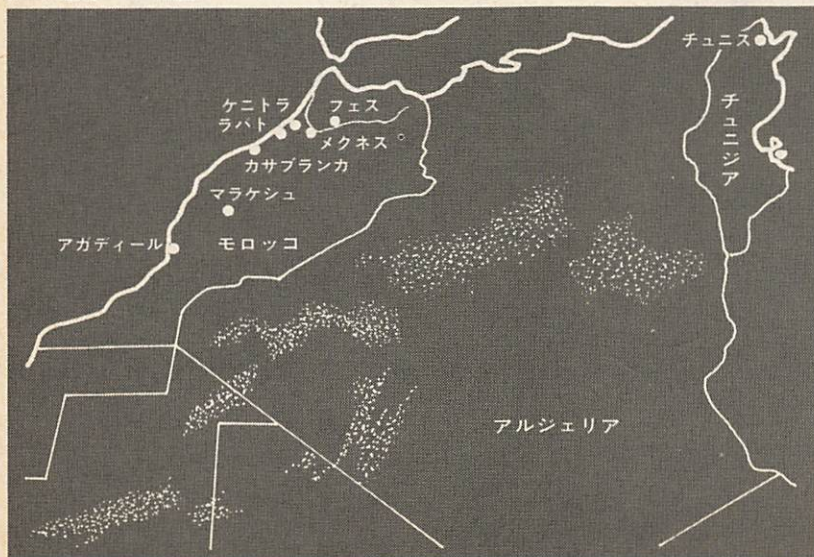
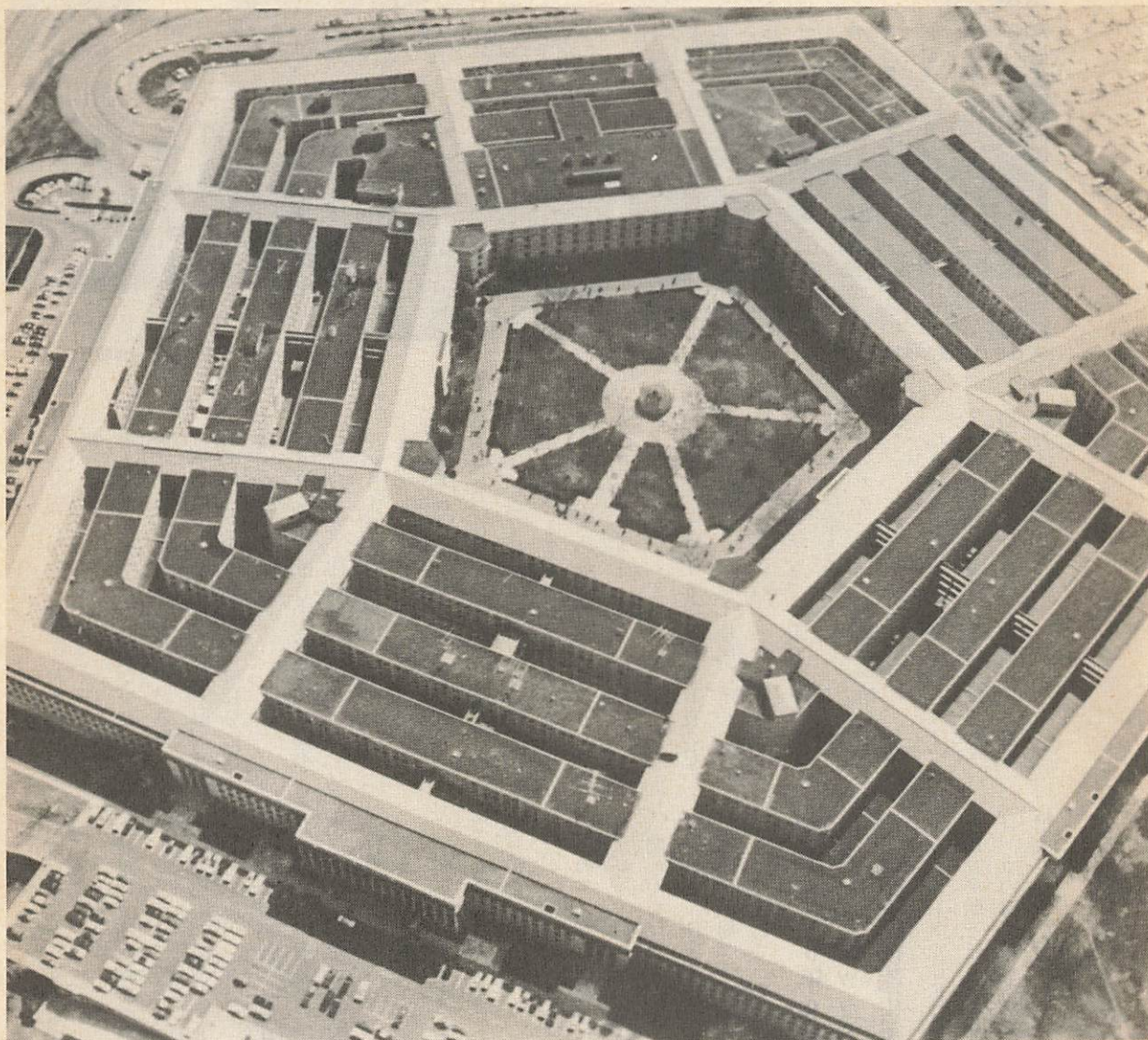
1976年8月のチュニジア、モロッコにおける目撃事件を追う

By Masahiro Tomikawa (New York)

北アフリカUFO事件 米国防務長官へ 秘密報告

米政府のUFOに対する関心は、国内の事件だけにとどまっていなかった。1976年、北アフリカでUFO目撃が頻発したことがある。米国務省は現地大使館を通じてこの情報入手し、CIA、ホワイト・ハウスなどに極秘に伝達していたのだ。

月5日から6日にかけての夜0時20分、ソウクラの警官は、4機のあかりをつけたヘリコプターのようなものを目撃したと報告。0時40分、2機が残っており、1時15分、1機が残って非常にゆっくり飛んでいた。



上・米政府のUFOへの関心は軍事的なものなのだろうか。写真は米国の最高軍事機関ペンタゴン
左・1976年のUFO事件の舞台となったチュニジアとモロッコ

すべての物体は1時45分までには飛び去った。この目撃は、レーダーでは確認されていない。
8月7日から8日の夜23時48分、ジェルバ空港の管制塔は、空港の北西7キロメートルの地点に未知の物体を目撃。これは、パリからジェルバへ飛行中のチュニス航空8321



▲ UFOの機密情報はホワイト・ハウスにも伝達されていた



▲ キッシンジャー国務長官（当時）

便のパイロットにより確認された。ジェルバ空港へ接近中のチュニス航空717便のパイロットは、あかりを1つつけた飛行物体が、空港の近くにタッチ・ダウン（一時着陸）するようにみえた後、その物体は南へターンして上昇し、24時12分に消滅と報告。

8月8日～9日の夜間、19時50分に、レーダーは未知の物体がビラテのSID Iアーメド空港の上空を飛行、東から西へ飛んだ後、基地の西37キロメートルの地点で南方へターンし、消滅したのをとらえた。

②チュニジア政府は、これらの目撃に非常に困惑しており、（アメリカの）第6艦隊がああ飛行物体は何であったか説明できるかどうかを知りたがっている。

將軍は、1976年8月4日夜のUFOの航跡をレーダー地図に示した。航跡は、全般的にいうと北東からチュニス湾を越えてきて、市の南方へ進んで、さらに東と西へターンして、レーダー・スクリーン上から姿を消している。

將軍は、もしさらに目撃があれば、アメリカ大使館員の自宅に電話すると約束した。8月9日～10日の夜、目撃報告はなかった。

③チュニジアの沿岸一帯で、もしかか異常な活動が探知されていたら連絡願いたい。

將軍は、赤と緑の位置灯が目撃されて、レーダーでもとらえられ、これはある場合にはお互いに関連しあうと報告している。

物体は、高速（350ノット）で飛行したり、あるいはゆっくり、時には滞空したりしたが、聞きとれるような音は発していない。

これらの現象は、現在のところ完全に説明不可能である。当件に関する、どんな助言でもありがたい。大使も同意見である。

このアメリカ国務省への極秘報告書のテレックスは、公式にはUFOに全く関心がないことになっているCIAやNSA（国家安全保障局）、DIA（国防情報局）、ホワイト・ハウスなどにも伝達されている。

2 1976年9月18日～19日夜、モロッコ上空のUFO目撃極秘報告書

イラン上空でUFOの事件が起こった19日早朝とほとんど同じ時間に、モロッコ海岸線一帯でもUFO目撃が相次いでいた。

モロッコ駐在のアメリカ大使アンダーソン氏は、9月23日にモロッコ政府高官から、あの物体はいったい何であったか、アメリカ政府がわかっていたら教えてほしいとの要請を受けた。彼は、あわててアメリカ本国に情報を送るようにとの極秘テレックスを打電しているが、それに対して、何と当時のキッシンジャー国務長官名の返電が打たれている。

『1976年9月25日発

発信者：在ラバト、アンダーソン大使

宛 先：ワシントンD・C国務長官

主 題：UFOに関する情報要請

以下、報告書の概略を述べてみる。

1976年9月23日、モロッコ政府高官（名前はすべて削除されている）が、アンダーソン大使に面会を求め、9月18日～19日夜のモロッコ上空で目撃されたUFOについて話し合いたいと申し出た。

その高官によると、つぎの通りである。

「憲兵隊がアガデイル、マラケシュ地域、カサブランカ、ラバト、ケニトラやその他の地方で、9月18日～19日の夜、1時～1時30分にUFO目撃があったと報告を受けている。これらの離れた地点からの報告は驚くほど似通



▶UFOはモロッコの大西洋岸一帯を騒がせた。写真はモロッコの国際的都市カサブランカ
っている。

すなわち、物体は全般的にいつて、
南西から北東方向へのコースを飛び、
銀色に発光する円型の物体で、断続的
に明るい火花と破片の尾をひき、音は
全くしなかった」

モロッコの高官は、翌24日にはもつ
と詳細を報告すると約束し、アメリカ
側もこの目撃に関して、何か情報を得
たら知らせると約束した。

24日、モロッコ高官は再び大使と会

い、アメリカ軍の連絡将校にもさまざ
まな目撃者（その高官自身もふくむ）
によって描かれたUFOの図をみせ
た。

「UFO目撃は、9月19日の早朝1時
から2時の間に起こっているが、大多
数の目撃は1時から1時30分の間であ
る。目撃は、アガデイル、カラ・ス
ラグナ、エサウイラ、カサブランカ、
ラバト、ケニトラ、メクネス、そして
フェズ地域などから報告されている。

UFOは、だいたいモロッコの大西
洋岸に沿って南から北へのコース、推
定高度約1000メートルを飛行し
た。UFOからは、全く何の音も聞こ
えなかった。それらは大別すると、銀
色に発光する円盤型の物体と、大きな
発光する円筒状の物体との2種類に描
写されている。目撃者たちは、その物体
は断続的に明るい火花を後部から出し
ていたと報告している」

モロッコの高官は、このように語つ
て、さらに彼自身、その日1時15分頃
ケニトラ市からの帰路、UFOを目撃
したと付け加えた。

アンダーソン大使は、以下のように
テレックスを打っている。

『彼は、その物体はまるで着陸準備態
勢に入った飛行機のように、ゆっくり
したスピードで海岸に平行して飛んで
いたと語った。それは、最初円盤型の
物体にみえたが、近づくると発光する円
筒状の物体にみえたと言っている』

さらに、つぎのように要請している。

『私（アンダーソン大使）は、この目
撃された物体が何であるか、正直言つ
てわからない。しかし、広く分散した
地域からの報告内容が非常に似通って
いることに興味をひかれた。

いずれにせよ私は（名前削除）氏から
の情報の要請にすみやかに答えたいと

願っている。当件につき、貴殿が小生
を助けるため、ご協力くだされば幸い
と思う。アンダーソン。極秘』

このアンダーソン大使の要請に対し
て、1週間後の10月2日、キッシンジ
ャー国務長官名で出された返電には、
『来週には、貴下への答えを出せるも
の并希望している。敬具。キッシンジ
ャー』としか書かれていない。

ほとんど同時期に、イラン上空で同
様のUFO事件があったことには少し
もふれられていないのである。そして、
10月5日付のテレックスでキッシンジ
ャー長官名の約2ページにわたる返電
にも、チュニジアやイランでのUFO
事件のことは全くふれられていない。
ただ、UFOに関するコンドン報告の
要旨を述べ、事件当時モロッコ上空を
飛行した航空機の記録はアメリカ側には
ないので、隕石の可能性が強いとお
茶をにごしているだけであった。

このようなキッシンジャー国務長官
からの説明でアンダーソン大使やモロ
ッコ政府の高官たちが納得したかどう
かは不明であるが、アンダーソン大使
からのこの極秘テレックスの写しを、
UFOには全く関心がないと公式発表
しているCIA、NSA、アメリカ空
軍などに宛て、国務省からひそかに配
布されていたというのも興味深い。■

By MaSahiro Tomikawa (New York)

CIAの秘密研究

ここにわずか3年前のCIAの行動を示す書類がある。これは、CIAがごく最近まで、あるいは現在もなお、UFOの調査を継続中であるという事実を示すものだ。

1976年4月初め、CIAがUFOに関して何かきわめて重要な情報入手し、科学者に研究を依頼していた事実が明らかになった。これは、昨年CIAが公表した文書によって判明したもの。

この重要な情報はUFOの推進装置、または対UFO兵器に関するものだろう、との説もあるが、肝心な部分、特に情報提供者や研究依頼された科学者の名前などが削除されているため、詳しいことはわからない。

だが、この文書により、ロバートソン査問会以後UFOに関する情報収集や研究などは一切行っていないと公表してきたCIAが、実は現在もUFO問題に強い関心をもっていることが証明されたわけである。

CIAの UFO秘密文書

① 1976年4月13日付 ※1 DCD書簡

『1976年4月9日付のUFO研究に関する書式610について。』

① 当件に関し、何か分析のための方針を用意したいと考えている。とこ

▼UFO推進原理の論文を載せたフランスの一流科学雑誌。CIAの秘密研究もこのような内容なのか



ろで、情報提供者のフル・ネームと勤務先をテレックスで連絡してほしい。もう一つ、情報提供者の要求により、資料が極秘扱いにされているかどうか連絡をこう。

② この情報のユニークな価値に鑑みて、〈一行削除〉至急返事をくれるようお願いする。』

〔注〕※1は、Domestic Collection Division (国内情報収集部)の略。

② 1976年4月14日付極秘書簡『UFO研究について。』

① 情報提供者のフル・ネームは〈削除〉。彼の勤務先は〈削除〉。

② 添付資料Bは、彼の要求により極

秘扱いとなっている。情報提供者は彼の報告書のなかの件に関して、CIAのUFO専門家の指導を求めているが、これも秘密扱いとされるべきである。〈以下削除〉』

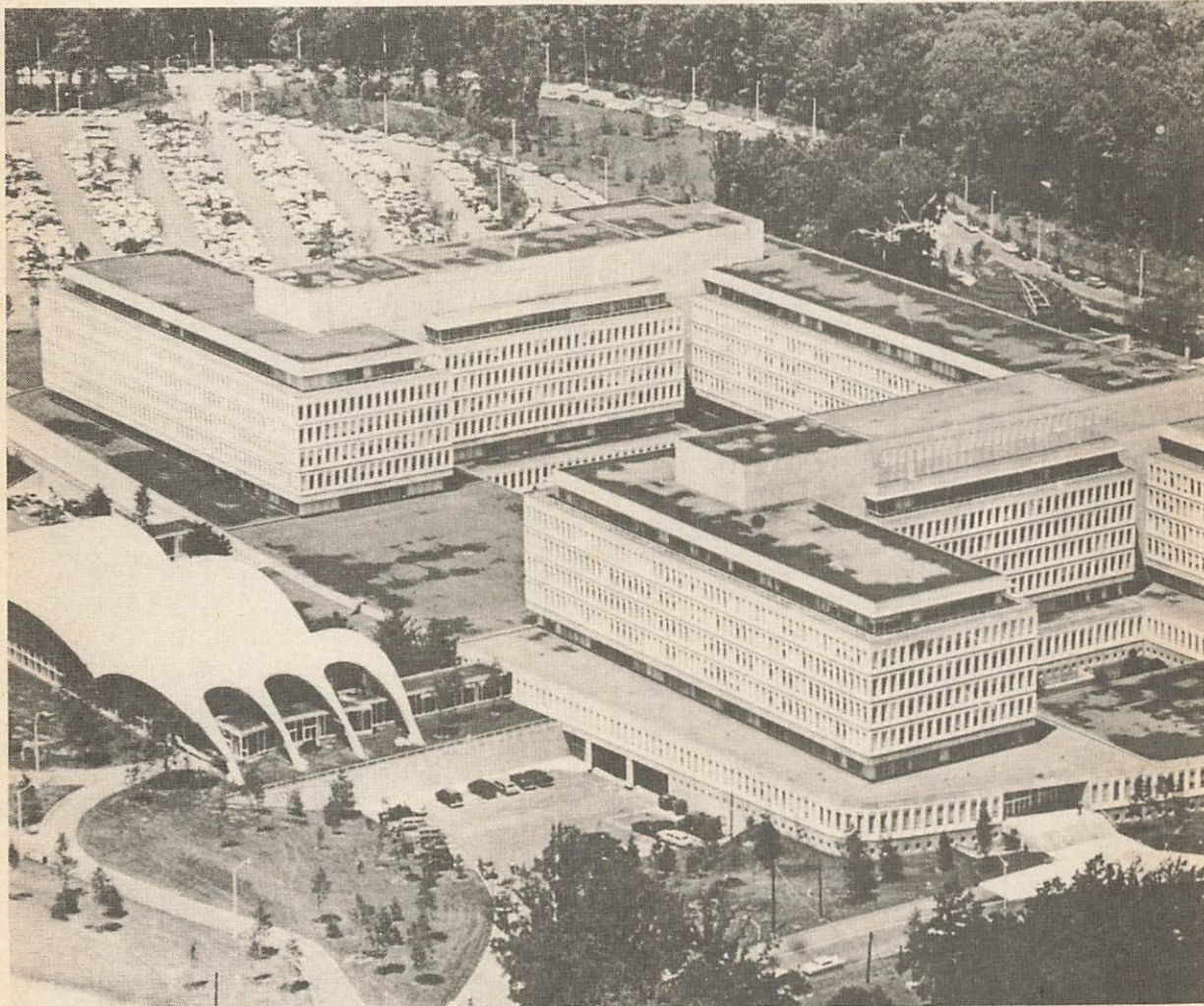
③ 1976年4月15日付報告書

『UFOの報告書は、X博士(A/D DS&T)に手渡され、今日までの展開に関する説明も行なわれた。X博士はこの研究報告書を若干の人に見せ、情報が意味するところのものの可能性を考えてから、当件に関し、なるべく早く連絡すると語った』

〔注〕※2は、Directorate of Science & Technology (科学技術理事会)の

●アメリカ政府が 機密解除したUFO 文書(その3)

1976年



アメリカ中央情報局 (CIA) の本部。ここで30年間にわたりUFO情報がひそかに集められていた

略。

④ 1976年4月26日付書簡

『D C D ケース〈削除〉』：UFO研究

〈削除〉

参考資料

A 〈削除〉 1976年4月22日付テ

レックス

B 〈削除〉

① 参考資料B中の要望により、われ

われはUFO〈削除〉問題に関する

分析方針を得ようと試みた。

② われわれは、A/DD S&T (X

博士)と会い、彼が公式のUFOプロ

グラムについて知っているかどうか

を調べ、また〈削除〉により提起さ

れた質問に対する答えをいくつか得

ようとした。X博士は彼の事務所に

持っていた〈削除〉に関心を示し

た。内容を短時間調べた後、X博士

は個人的にこの件を調査し、のちほ

ど連絡すると語った。参考資料Aに

関しても話したので、X博士は以後

われわれに連絡し、以下の情報をも

たらしてくれた。

③ 貴殿から〈削除〉彼が〈1行削除〉

するようにと勧告してくれるのが最

善のように思われる。

政府はUFO現象の識別／解決の

ために進行中の正式のプログラムを

持っているようにはみえない。X博

1. PER THE REQUEST IN REFERENCE (B), WE ATTEMPTED TO OBTAIN ANALYTICAL GUIDANCE ON THE UFO [REDACTED] SUBJECT.
2. WE CONTACTED THE A/DDS&T (DR [REDACTED]) TO SEE IF HE KNEW OF ANY OFFICIAL UFO PROGRAM AND ALSO TO ATTEMPT TO ANSWER SOME OF THE QUESTIONS POSED BY [REDACTED] DR [REDACTED] EXHIBITED INTEREST IN [REDACTED] WHICH WAS HANDCARRIED TO HIS OFFICE. AFTER A SHORT EXAMINATION OF ITS CONTENTS DR [REDACTED] ADVISED US THAT HE WOULD PERSONALLY LOOK INTO THE MATTER AND GET BACK TO US. AS WE DISCUSSED IN REFERENCE (A) DR [REDACTED] HAS SINCE CONTACTED US AND RELAYED THE FOLLOWING INFORMATION.
3. IT WOULD APPEAR TO BE BEST IF YOU ADVISED [REDACTED] THAT HE
- 図A CIAがUFO資料の検討を依頼した博士の名は削除されている(矢印の箇所)

士は、この分野がより進展するためには、独立した研究者たちの努力や、
「1行削除」がゼットに必要だと感じている。現在、CIA内部にはUFO現象をモニターしている部署(複数)や要員がいる。しかし、繰り返しているが、これは現在のところ公式のものではない(筆者注II CIAのこれまでの公式発言に反し、CIA内に秘密のUFO調査要員が存在することがはっきりと示されている)

る)
X博士は、最もよい取り組み方法はCIAや情報関係者がどんな新しい展開についても情報を得られるように、この分野での接触を保つだけでなく、情報報告経路を開発することだと感じている(筆者注IIつまり、UFO情報報告のためのネットワークをもっと拡大すべきだといっている)。特に、潜在的な脅威を示すような情報であるとか、外国でのUFOに関係した研究の進展とか技術の応用などの徴候に関する情報は興味深い。
④ X博士は、われわれが受け取る情報はいかなるものも綿密に評価するであろうし、必要ならば、重要な進展状況を適切な経路を通じて配布するであろうと語った。(後略)
⑤ 1976年5月27日付書簡
『発信者 DCD / 削除』
宛 先 X博士
われわれの最近のデイスカッションに関し、「2行削除」貴殿が関心をお持ちになるものをいくつか添付します。特に、添付資料のAに注目してください。われわれの情報提供者は、これを「以下約10行削除」で入手しました。われわれの情報提供者は、「削除」の業績はアメリカ政府にとって興味あるも

のであり、CIAにより評価されるべきものではないかと感じています。彼は、また、これを論争をよぶ(UFOという)主題から切り離すために、もし必要なら、UFOとの関係をふせて分析研究することも可能であると考えています。

(中略)

もし、貴殿が「1行削除」が何か潜在的な可能性を持つと思われるようなら、われわれは情報提供者を通して、もっと詳細な報告を入手することもできます。

添付資料A:「削除」

添付資料B:「削除」

添付資料C:「削除」

⑥ 1976年6月25日付書簡

『発信者 不明』

宛 先 DCD / 削除

主題: ケース「削除」 UFO研究 / 追加情報へのORDの要請 / 「2行削除」

参考資料A「1行削除」

B「2行削除」

① ORDは「削除」の仕事に対し、関心を示した。専門の分析者が現在「削除」システムを評価しようとしており、追加情報を要求している。

② 以前、貴殿のところからきた交信のなかで(参考資料B)、「削除」シ

ステムに関するより完全な説明を入手することが可能と書かれてあったが、もしその可能性がまだあるのなら、ORDは、入手可能なものすべてを入手したい。

③ 新たな展開については、すべて連絡してほしい。

〔注〕 *cは、Office of Research and Development (調査開発局)の略。

⑦ 1976年7月14日付書簡
『発信者 DCD / 「3行削除」』

宛 先 OD & E 副長官「削除」氏

「削除」殿、「削除」からもたらされた資料を評価するために行なった最近の会合の席上、貴殿はUFO現象に関する個人的関心を述べられました。あの席上、小生もまた、UFO現象に関心を持っており、DCDが現在、UFO関係の研究を遂行中のわれわれのS & T関係者の多くから、これまでもUFO関係資料を受け取ってきたという事実を述べたことを覚えておられると思います。これらの科学者達のなかには、過去何年にもわたって、CIAと関係をもってきた人たちがふくまれており、その信用から言っても、他の「UFO狂」連中とは区別することができま

す(筆者注II UFO研究の科学者のなかには、CIAと秘密の連

絡をとりあつてきた人たちがいることをこの文書は明示している)

添付の資料は、これらの情報源から小生宛にもたらされたもので、正当なF Iや潜在的な情報関係者の関心をそそるように思われます。

X博士により行なわれた「削除」の仕事は「2行半削除」われわれのS&T情報源の見るところでは、CIAや情報関係者によって評価されるべきものです。貴殿の部局のご専門と、貴殿

1. ORD HAS EXHIBITED SOME INTEREST IN THE WORK OF
A QUALIFIED ANALYST IS CURRENTLY
ATTEMPTING TO EVALUATE [REDACTED] SYSTEM AND HAS
REQUESTED ADDITIONAL INFORMATION.¹⁸
2. WE NOTE THAT IN SOME OF THE EARLIER CORRESPONDENCE
FROM YOUR OFFICE (REFERENCE B) MENTION WAS MADE OF THE
POSSIBILITY OF OBTAINING MORE COMPLETE DESCRIPTION OF [REDACTED]
SYSTEM. IF THIS POSSIBILITY STILL EXISTS, ORD⁶
WOULD APPRECIATE SEEING WHATEVER IS AVAILABLE.
3. PLEASE KEEP US ADVISED OF ANY NEW DEVELOPMENTS.

図B CIA秘密文書の問題の削除部分。アルファベット18字分は何を指すのか

削除部分の推測

ご自身のUFO問題に対するご関心からみて、貴殿は添付書類に興味をお持ちだろうと思われました。もし、追加情報の必要、また何らかの潜在的必要性があるとお考えなら、当件に関し、喜んで貴殿とお話をする用意がございます。もしそうでなければ、どうぞ自由に添付書類を破棄してください」

〈注〉※4はOffice of Development and Engineering (開発エンジニアリング局)の略。※5は、Science and Technology (科学技術部)の略。

これまでみてきたように、読者諸兄は、DCD、A/DDDS&T、ORD、OD&E、S&Tなどの略記号で表現されている機関名や、削除されている部分が多いため、もどかしさを感じたことであろう。これは、もともと秘密にされていたCIA内部の文書が削除されて公表されたためで、情報機関内部の実情に詳しい人でないと、なかなか判読はむずかしい。

略記号で表現されている機関名は、いずれも巨大で複雑なCIA内部の数多くの部局の名前である。

また、削除されている部分のうち、最も興味をひかれるのは、情報提供者

はたしてだれなのか、X博士とはだれのことか、問題の重要情報とは何なのか、という点である。

情報提供者については、「UFOを科学的に研究していて、最新のUFO情報を入手し、検討できる立場にある人物」と思われる。しかし、今のところでは、それがだれなのかは不明だ。UFOを研究しているからといって、必ずしもアメリカ政府に對立的な立場をとるものとは限らない。また、重要な情報であればあるほど、アメリカへの愛国心に燃える科学者は、極秘裡にアメリカ政府だけに連絡しようとするかもしれないからである。

つぎに、資料の検討を依頼されたX博士の名前についてである。実は、Xは筆者がこの記事を書くために、便宜上つけたもので、CIA文書のなかでは、名前の部分がアルファベットで7字分削除されている(図A参照)。7字分の名前の博士とはいったいだれなのだろうか?

そして、CIA関係者をこれほど興奮させている重要情報とは何だろうか? CIA文書のなかで削除されている問題の部分はアルファベットで18字分である(図B参照)。しかし、そこから4〜5行下にかけて、同じ言葉と思われる部分が6字と10字に分けてタイプさ

れている。この点から、後半の10字分でつぎの「SYSTEM」(装置)とながる言葉といえは「PROPULSION」(推進)ではないかという推測がなされるわけである。

UFOの推進装置解明の可能性のある文書なら、たいへん軍事的価値がある。なぜなら、現在の科学技術ではとうていまねのできないUFOのあの飛行性能を解明できれば、他国に対して圧倒的な軍事的優位にたつことができるからである。ちなみに、1976年の春頃に公表されたUFOの推進原理に関する科学論文で有名なものは、フランスのジャン・ピエール・プティによるマグネットハイドロダイナミックス(Magnetohydrodynamics「20文字」) (磁気動水力学) 気体動力理論がある。

彼の論文は、フランスの一流科学雑誌「SCIENCE & VIE」の1976年3月号に発表され、さらに同年4月30日から5月2日の間に、シカゴで行なわれたCUFOSのUFO会議でも詳しく発表された。

以上、述べた推測があたっているか否かは別にしても、CIAが従来行なってきた公式発言とは逆に、CIAがひそかにUFO現象を調査、研究してきていることは明らかな事実である。■

「ノストラダムスとは、いったいどういう人間なのだろう」

私はかつて、そうした疑いにとりつかれていた。しかし、心霊現象の探求をするようになり、また、さまざまな研究を重ねるうちに、私は、彼こそは歴史上最大の予言者の一人だったとい

うことを、いやおうなしに認めざるをえなくなった。

彼の予言を注意深く調べるならば、それが信じがたいほど正確なものであることがわかる。なかでも、彼の最後の予言のひとつは、とりわけ驚くべき内容をもっている。それは、第三次世



数々の事件を象徴的に予言した16世紀のノストラダムス

界大戦の到来とそれによる人類滅亡を予言しているのだ。

この国だけでも、たくさんの方々の予言者たちが数多くの予言をしているが、もし、彼らがミシェル・ド・ノートルダム（ノストラダムスのこと）を知らなかったら、彼らの予言は、著しく的中率を低くしたであろうことは明白である。彼らはノストラダムスの予言に学び、そうすることによって、幾分でも彼らの予言の正確さを高めようと望んでいるのだ。

ノストラダムスが、どうしてこのよ

史上最大の予言者は、核兵器、生物兵器を駆使した全地球的災禍（第三次世界大戦）を詳細に予言している。その細部はどんなものか。彼の予言が的中した場合、人類はいったいどんな結末をたどるのであろうか。

うに正確な予言をすることができたのかはわからない。ノストラダムスについて何冊かの本を書いたスチュワート・ロブは、しばしばノストラダムスを自ら予言者であることを意識しない、いわば「本能的な予言者」だと評した。彼が「本能的」であつたかどうかはともかく、彼がまったくユニークな予言者であつて、凡百の占い師たちにくらべて、比類のない正確さをもっていることだけは確かである。

ノストラダムスの生涯についてはかなり広く知られている。彼は1503

ノストラダムスの 第三次世界大戦詳細予言

年12月14日にフランスのサンレミで、公証人の息子として生まれた。彼は、人文学と医学を学んだが、実際に名声をもたらしたのは医学ではなく、暦の出版によってだった。

しかし、成功はつかの間のものだったので、彼はさらに名声を高めるため



20年以内に起こるという第三次世界大戦では、恐ろしい核兵器も広範に使用されるという

に、さまざまな道を探し求めた。その結果、彼の最初の预言集が生まれたのである。その書は、四行詩による预言354からなり、『真実の諸世紀』と題されていた。この書は、まもなくフランス国王アンリII世と王妃カトリヌ・ド・メデシスの目にとまり、彼

が王と女王に近づくための道をかためた。

彼が何によって预言したのかは、判然としないが、占星術が重要な役割りを果たしていることは、確かなように思える。しかし、预言が何にもとづいてなされたにせよ、彼の未来について

の言説は、あいまいなものではない。彼はアンリII世に捧げた献辞でこうしている、「これらの詩は（预言をさしている）一つの意味、一つの内容しか持たない」と。

预言は20年以内に現実化する

この『諸世紀』の含む謎は、つねに人々の関心をひきつけてきた。過去400年間というものの、数多くの解釈者、注釈者たちが、このノストラダムスの謎を解くために、1000巻を超える書を著してきた。そして、彼の预言のうち300以上は、今後、実現するだろうことを予想している。そしてこれらの多くは、日付けと星の位置からみて、きたるべき20年間に現実のものとなるだろうというのである。

これらの预言を検討すると、誰もが同じ結論にたどりつくにちがいない。すなわち、ノストラダムスは第三次世界大戦を预言しているのである。そしてこの戦争は、まったく予想もできないほど複雑にいくんでいて、全地球的なものになるというのだ。「皆殺し」が起こるとノストラダムスはいつている。

それでは、ノストラダムスはいった

い、この第三次世界大戦がどのようにして起こると、予言集の中でうたっているのか。

災難（戦争のような）が終わると、世界は小さくなる／永い平和と土地が人口を増やし／人は安全に旅するだろう 空を、大地を、海波をこえ

／それからまた戦争が動きはじめる

（第一卷六三節）

これを解釈すると——現代のこの比較的平和な時代は、コミュニケーションの発達、人口の爆発的增加、空、陸、海の旅行が盛んなことが目立った特徴といえる。こうした状況は、このつぎの戦争が起きるまで続くだろう。

ノストラダムスは、この戦争をロシアの革命的变化と関連づけているようにみえる。彼はいつている。

トマス・モアの法則（共産主義をさすのか）は／もつと訴える力の強い哲学の受容で衰えていくだろう／ダニュープ川（ロシアのことが）が最初に崩れるだろう／もつと心をひきつけるものを他国から与えられて

（第三卷九五節）

宗教的な節制のある時と所で、共産主義の法則は妨げられ／年齢老いた指導者たちがそれを強く支えるだろう／だが彼らは力からは離れていく／「共通にすべてを愛すること」（共産主義）はひどい敗北をこうするだろう

（第四卷三二節）

スラブの人々（ロシア）から歌が流れ、スローガンが、そして脅しがやつてくるだろう／だがそれから、指導者や政治家たちは牢獄にいて／無知なバカ者たちの宣言が／神の言葉のように受けとられるだろう

（第一卷一四節）

解釈——復活祭の季節近くに、ソビエト政府は大きな変動に見舞われるだ

ろう。資本主義国で生産されているような商品を求める市民の要求の高まりと、ロシアの少数民族の間での民族主義の復活が、古いスターリン主義的な指導者たちをクレムリンから追放するだろう。新しい政府では、共産主義は名前だけということになるう。

予言にみる国際紛争

最初の四行詩（第三卷九五節）の第一句は、厳密に訳せば「モアの法則が傾くのがみられるだろう」となる。これはサー・トマス・モアの論じたユートピアを意味している。「ユートピア」は1516年にラテン語で出版されたもので、ノストラダムスはまだ若かったけど、読んでいたにちがいない。そして、政権の交代はロシアとアメリカ合衆国の間に、友好関係をもたらすことになる。そのときロシアは、アジアの諸国を統一した指導者によってひきいられ、国際連合は政治的圧力をかけられるだろう。

ほんのつかの間、すべての色を集めた神殿が存在し／白と黒はまざりあうだろう／だが、赤と黄色の種族は離れるだろう／そして大地は血、疫病、飢餓、火そして洪水に襲われる

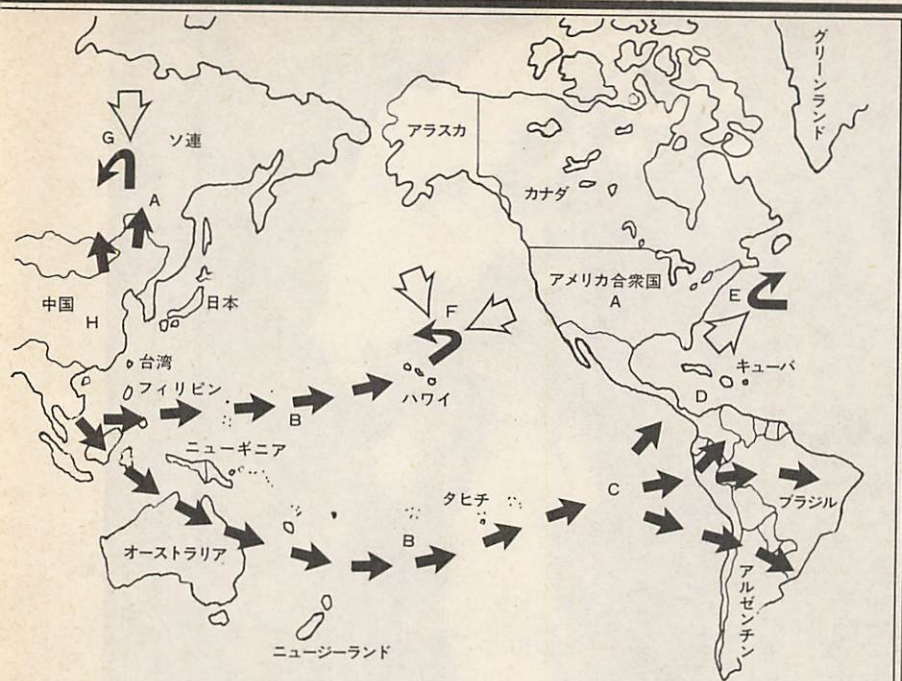


図1 東洋軍の太平洋、ラテンアメリカ地域への侵攻と、アメリカ合衆国—ソビエト連合軍の反攻。
 ①中国の米ソ両国への核攻撃と戦闘②東洋軍の南太平洋への侵攻③ラテンアメリカへの侵攻④ベネズエラ沖で艦隊へ核攻撃⑤アメリカ合衆国へ核攻撃、同時に侵入への試み⑥アメリカ—ソビエト連合軍が東洋軍の艦隊を撃滅⑦中国軍、ソビエト攻撃に失敗⑧アメリカ—ソビエト連合軍、中国を核攻撃

解釈——国際連合（すべての色を集めた神殿）は終わりを告げ、人種なちがい故に分裂するだろう。東洋の国々が分離し、一つのプロックを形成して、世界は戦争、破壊、疫病に脅かされることになる。

（第六卷一〇節）

「強力な独裁者が中東を支配し」そして「北アフリカのイスラム教による統一」が実現すると、「イスラエルの陥落」という西洋社会への最初の大打撃が加えられることになる、と予言はいふ。

不毛のシナゴグ（ユダヤ教寺院、

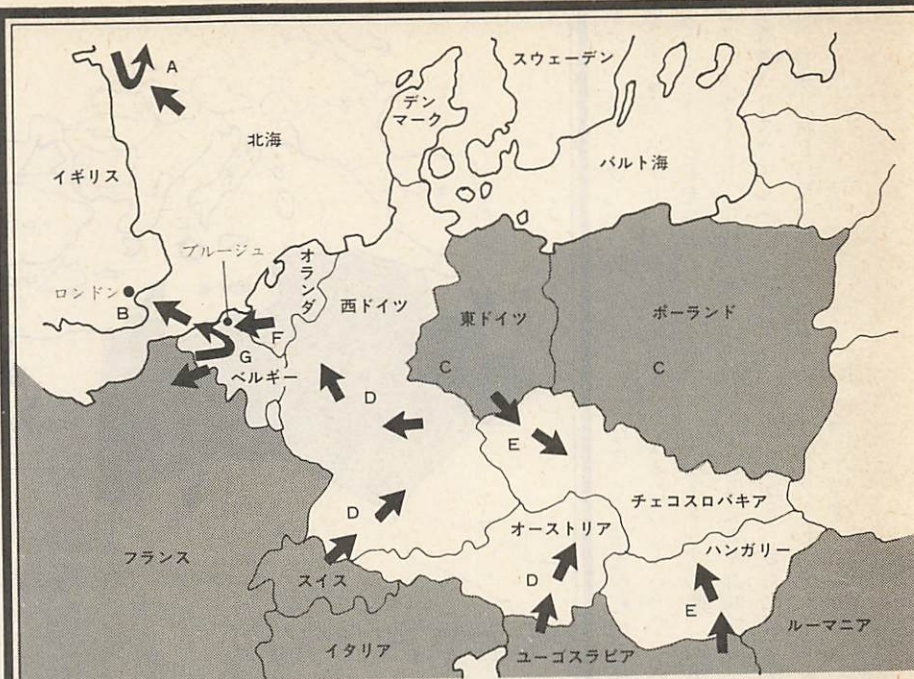


図2 北部、中部ヨーロッパの陥落。①スコットランドへの攻撃②ロンドン要塞への攻撃③東ドイツとポーランドが東洋軍と同盟④西ドイツ、オーストリアへの侵入⑤ヨーロッパ防衛線が総崩れになる⑥オランダ、ベルギーへの攻撃⑦ブルージュでヨーロッパ軍が敗北、北フランスへ侵入

エルサレムをさす）は、果実を結ぶことなく／異教徒の手に落ちるだろう／迫害されイスラエルの国を追われた民の娘（現在のイスラエル）は涙と悲しみにくれる／翼は切られて

解釈——近代イスラエルは、古代イスラエルの精神性をついに持つことなく、アラブ諸国に敗れるだろう。イスラエルの死は、イスラエル空軍が敗北し、エルサレムが陥落したときに訪ずれるだろう。

（第八卷九六節）
この地帯における緊張はたかまり、アラブの次の攻撃はカトリック教会にむけられる。

海の上で紅き者（枢機卿）は海賊に捕われ／この行ないによって平和は乱されるだろう／偽りの行為で紅き者は海賊の怒りと貪欲にさらされ／偉大な法王はその軍隊を2倍に増強するだろう。

（第五卷四四節）

解釈——統合アラブ勢力のカトリック教会に対する攻撃は、アラブ人テロリストたちが海上旅行中の一人の枢機卿を捕えることをきっかけに行なわれる。枢機卿は脅かされ、誘かい者たちの怒りにさらされる。ローマ法王は、ローマ法王領政府の首長として、イタ

リア軍を2倍に増強し、対応策とするだろう。

ここで、多くのノストラダムス批判者たちは疑問を呈している。「法王は軍隊を持っていないではないか」というのだ。たしかに、それはそのとおりなのだが、政治的危機に際しては、法王に軍隊（イタリア軍だが）をゆだねることはありうる。この予言の第一句で「紅き者は海賊に捕えられる」といっているが、ノストラダムスはこのカトリック教会の枢機卿をさす「紅き者」という言葉をしばしば使っている。一方、「海賊」という言葉で、ノストラダムスは当時地中海をあばれまわっていた北アフリカのイスラム教徒をあらわしている。この予言は、海上で枢機卿がアラブ人たちに捕えられるといっているわけだが、このことは、現在、アラブテロリストたちによる誘かい事件がめだっていることを想起させる。

押しボタン戦争は起きない？

この節の最後の一句は、法王が軍隊を持っていないという現実の故に、謎に満ちている。しかしながら、現在、イタリアは西欧最大の共産党と、カトリック保守勢力の間でゆれ動いている

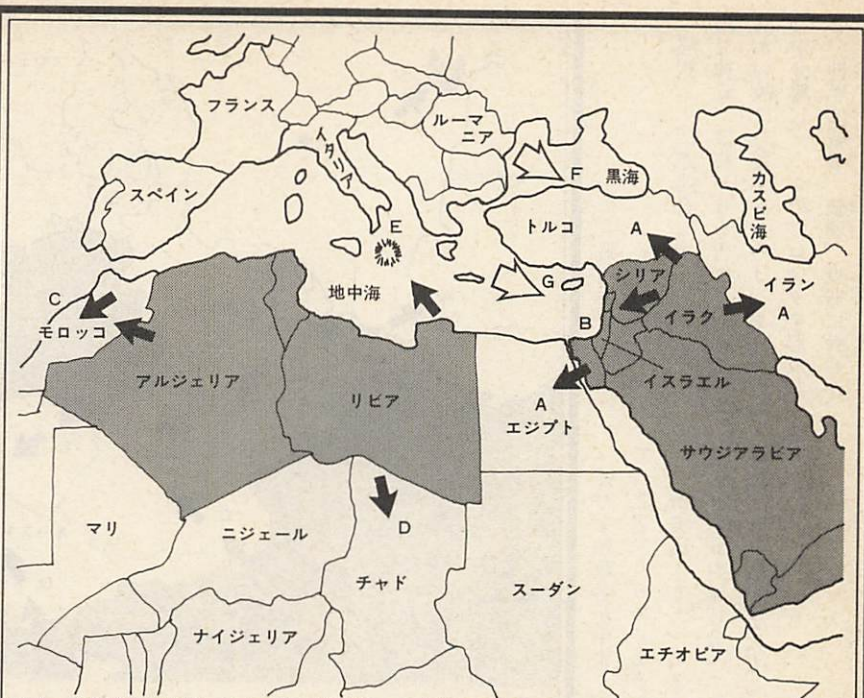


図3 中東勢力の拡張。スミアミの部分はアラブ帝国の勢力圏——イラク、シリア、トランスヨルダン、リビア、アルジェリア、チュニジア、アラビア、イエメン。①イラン、トルコ、エジプトへ軍隊が侵攻②イスラエル陥落③モロッコ征服④アラブ軍、中央アフリカを征圧⑤テロリストが枢機卿を海上で捕える⑥トルコ軍侵入にバルカン諸国反撃⑦ギリシア海軍トルコを攻撃

わけで、もしイタリアに政治的破局が起きたなら、カトリック教会が権力を握るといっても充分考えられるのである。少なくとも、現代のもう一人の予言者クリスウェルは、イタリアは、近い将来、新しい反共勢力の高まりに

よって、法王が統治することになるだろうといっている。それは、法王がイタリアの陸、海軍の指揮をとるということの意味する。

しかし、さらにはるかに重大なことは、ノストラダムスによれば、世界的

な闘争に、アメリカ合衆国とソビエト連邦がまき込まれるだろうというのである。ノストラダムスは、この2つの国を「大西洋を越えて便りをかわしあうはるか北の2人の兄弟」と呼んでいる。これらの二大勢力はお互いに同盟し、またヨーロッパ諸国とも同盟して、中国の原子力軍隊に支援された極東と中東の連合勢力と対抗するだろうというのである。

この、東と西との全地球的衝突は、1980年から1995年の間に起きるとノストラダムスは予言している。彼の予言で驚くべきことの一つは、この2つの敵対する勢力が陸、海、空からの侵略をお互いにくり返し、そうした戦争状態のなかで、核兵器と生物兵器が広範に使用される状況が、彼の予言のなかで数多く言及されていることである。

このつぎ戦争が起これば、それはポタン戦争で、したがって、文明社会が核兵器によって破滅するのは時間の問題だろうとよくいわれる。しかし、軍事専門家たちは、こうした悲観的な見方に同意していない。未来の戦争は、核兵器による全体的な破壊の危険を避けながら、決定的な利を得ようとするだろう。そういう筋書きのもとで未来の戦争は行なわれる可能性が大きいと

いうのだ。専門家たちは、限定された核兵器の使用によって次の大戦が起きそして、絶対に必要な時だけしか使われない核兵器を背景にして、交戦状態が続いていくだろうとみている。

第三次大戦の発端はヨーロッパから

ノストラダムスの予言では、第三次世界大戦のたいていの軍事行動は、幸運にも、ヨーロッパで起こることになっている。フランス人であったノストラダムスは、当然、戦争をヨーロッパ人の立場からみており、東洋と西洋の戦争がどのようにヨーロッパに、ひいてはアメリカ合衆国に影響するかということを、その立場から描いた。彼が予言するように、ヨーロッパで第三次世界大戦が起きるといことは、われわれにとつては幸運なことだといわねばなるまい。というのも、アメリカソビエト連合と中国極東中東連合との戦いでは、ヨーロッパが戦場となることは理の当然であるからである。中東東洋連合軍が勝利をおさめるとすれば、それはソビエトとアメリカという2つの大勢力を完全に包囲し、お互いに切り離すこと以外にはありえない。

ノストラダムスが、きたるべき戦争で、アラブ諸国に大きな役割を持たせていることは興味深い。このところのイスラエルとアラブ諸国との戦争でイスラエルが勝利をおさめていることからみれば、この予言はほんの少し、真実性を欠くようにみえるかもしれない。しかし、現在のところ、中東諸国は、そんなに強大ではないにせよ、こんご10〜15年のうちには、まちがいく中東の力のバランスは根本的に変化するにちがいない。すでにアラブ諸国は、石油の値上げで西洋諸国にその経済的力の偉大さを誇示している。現在、この地域で、アメリカはその影響力を強めているようにみえるが、この影響力が全体に及ぶことは決してないだろう。なぜなら、アメリカはイスラエルを支援しているからだ。

中国も、この政治的真空地帯に足を

踏み入れてくるかもしれない。アラブ人たちは、モスクワとワシントンという後援者のかかりとして北京を選び、そのことによって、核兵器やその他の最新兵器の供給を受け、それがイスラエルに対してだけでなく、ヨーロッパや西洋社会に対して使われるとしても構うところではない同盟者をつつけることになるかもしれないのである。

勝利は西洋にあり

この全地球的闘争は、結局、どのようにして終わりを告げるのか。ノストラダムスは、次のような筋書きを追って、最後には西洋が敵にうち勝つだろうと予言する。

- イギリス軍がフランス南西部に上陸する（一四六〜一四九節）
- イギリス軍が、ガロンヌ・オウド

- 沿いに攻勢（一五〇〜一五四節）
- 核兵器によって攻勢をくい止められる（一五五〜一六〇節）
- スコットランドに敵が侵入してくる（一六一〜一六五節）
- ロンドン陥落（一六六〜一六九節）
- 北ヨーロッパに新たな脅威が訪れる（一七〇〜一七一節）
- 西ドイツとオーストリアに敵侵入（一七二〜一七四節）
- ドイツ軍司令官の死（一七五節）
- 次のドイツ軍司令官が裏切者であったことが判明（一七六節）。ここで形勢が変わりはじめる。
- 東洋軍の海軍が全滅（二五六節）
- 中東への西洋軍の侵入（二五七節）
- イスラエル解放（二五八〜二五九節）
- イラク攻撃のために軍隊が結集される（二六〇節）

- 両軍あいまみえでの戦争が終わる（二六一節）
- 南アジアでの戦闘（二六二節）
- 第三次世界大戦の最後の戦闘が行なわれる（二六三節）
- アラブ軍総司令官の死（二六四節）
- イランで戦争終結（二六五節）

夢物語だろうか、幻想だろうか。そうであつたらいいと、つくづく思う。化学兵器、生物兵器、核兵器、それに通常の兵器の使用が結びついた戦争の惨禍は想像を絶するものがある。ノストラダムスは西暦2000年がくるまでに、全地球が大災厄に襲われると警告している。そのような予言力を固く信じている人々でさえ、この予言だけは、まったくのウソであることを願わずにはいられないにちがいない。

尾下英雄訳



SF・宇宙映画のすべて

■ 過去から現在に至るSF・宇宙映画を一堂に集め読者に贈る格好のグラフィック・資料集。▼1978年を飾る話題のSF新着映画●スターウォーズ●未知との遭遇●私のSF映画ベスト10●淀川長治●グラビア特集2001年宇宙の旅●SF映画ベスト50●保存版●宇宙映画用語事典●メカ大図鑑●SF宇宙映画音楽の魅力と話題●SF映画年度別全リスト●カラーグラフィック●ポスター、チラシ集

B5判126頁 定価950円 送料160円



宇宙への招待

■ 今関心や興味が急激に高まってきたロケット、人工衛星、宇宙船などに関するすべての話題、資料を徹底的に集め、調査・具体的に分りやすくまとめたいわば宇宙、ロケットに関する入門書、日本で初めての宇宙科学のなんでも百科と言えるものです。

■ グラビア●ソビエトの少年宇宙飛行士たち●スペースシャトルついに登場●ブライベートな人工衛星●第2の地球、スペース・コロニー●全イラスト紹介●日本のスペース・センター●本文●メカニズム研究●これがロケット航法だ●宇宙食と宇宙旅行●未来のスーパーロケット●現代ミサイル図鑑●U.F.O集中講義(付録)宇宙飛行年表●宇宙雑学事典

B5判146頁 定価980円 送料160円

創業33年 航空宇宙図書専門出版社
中央区銀座6-8-7 (株) 酣燈社
TEL 03-572-3421

UFO研究でなによりも重要なのは人間の想像力だ。ヨーロッパにおけるUFO研究の草分けルー・チンシユターク女史が、この問題の真の発展を願って、『科学的ユーフォロジーを痛烈に批判する』

今でこそ有名なSF映画で、UFOは相当知られるようにはなりました。

しかし、UFO研究についての一文をものすることはやさしい仕事とはいえないのが現実です。人為的なUFOブームは間もなく消えていくでしょう。でも、UFOの存在に嘲りの眼を向けるものは跡をたないでしょう。しかし、気にはいけません。嘲るものはいつの時代にもいたのですから。

私のように、25年以上もUFO研究に従事して来たものにとっても、研究について述べるのは容易な業とはいえないのです。

私が所属する小さなグループは、けっこう名を知られています。それでも議会に招かれて意見や経験を述べる機会を与えられたメンバーは一人もおりませんし、市販のUFO関係雑誌に記事を依頼されたものもないのです。

これはどうしてでしょう。おそらく商業雑誌には、その雑誌を抱える科学者がいて、UFOに関しては自分たちが専門だと考えているため、私たちが領域に立ち入らせまいと無言の圧力をかけているせいではないでしょうか。

ひょっとして、私たちのグループはお人好し集団で間抜けの集まり、つまりあまり上等なグループではないとみなされているのかもしれませんが、だから商業雑誌のかたがたには私たちの援助が必要ではないのでしょうか。

視野の広い、人間に対する関心をテーマとした雑誌『エクスチエンジ』誌のトム・バレンタイン氏から、この記事を雑誌に載せるお話があった時は正直嬉しく、お引き受けしたのはそんな

理由からです。この雑誌の読者は、ものにはさまざまな見方があるのを知っているくせに、いわゆる「科学的」立場しか認めようとしない、すれっからし人間ではないのを知っていたからです。

想像力こそ多大な利益をもたらす

私の立場というのは、人間的側面を重視する、という点です。人間が持つ想像力こそ、UFO研究においては多大な利益をもたらすでしょう。必要とあらば科学の調査、結果に先立って、人類には訪問者があるのだという心を酔わせる啓示と、上空で演じられている、訪問者の技術的驚異についての広範囲にわたる重大な結果について思索を行なう権利を人類は有しているのです。

このような思索という面では、商業的UFO雑誌はあまり有効ではありません。それどころか、ファンタスティックな物語に対しては、関心を示したり、立場を公にしたりすることを恐れているのではないかと思えるほどののです。

自分の雑誌が他の雑誌より以上に、真に「科学的」態度を貫いているのだ

女流研究家 ルー・チンシユターク のUFO研究論

LOU ZINSKY SPEAKS OUT

と証明しようと汲々としています。彼らは自分たちの興奮を包み隠してしまい、たとえばあるパイロットの目撃談の真に迫ったレポートに、退屈な調子を付け加えてしまうんです。その好例を次にあげてみましょう。

フロイド・ホルストロム氏は、37年の飛行経験を持つベテランパイロットですが、氏のインタビュー記事が、1978年1月号の「MUFON」誌に

掲載されました。前月に飛行中、1機のUFOを目撃したのです。氏の目撃レポートは長大で、実にリアルで、氏がUFOを目撃したことには何の疑いもありませんでした。それでもやはり肝かなめの箇所は削除されているように思えました。

私の考えでは、氏とのインタビューの中で、真に興味津々の部分はホルストロム氏が述べる次の言葉にあるので

はないかと思うのです。

「……というのは、彼らには卓越した知性というものがあり、私たちは彼らから多くのことを学びとれるのです」

この言葉は、本当に光り輝いています。その理由は、この言葉がUFOを実際に目撃するまでは、その存在すら信じていなかった一人のパイロットから発せられたものだからです。

インタビューの大見出しにこのセン



テンスを使用することもできたでしょうし、この言葉の後に続けて、記者が知的な観測記事を付け加えることも可能だったはずです。どうして、記者はこの文に手を加えなかったのでしょうか？ 手を加えるには、この鋼鉄は熱すぎて、手が出せなかったのでしょうか？ 科学精神の僕である研究者にとっても、それはむずかしいことでしょうか？ それとも、誰か卓越した知性の持ち主を怒らせるとでも思ったのでしょうか？

私たちの祖父の時代に神の存在を信じていたように科学を信奉しているUFO研究家は、UFO問題には科学的側面だけでなく、それ以外の何があるということのみのがしがちです。

私自身、より人間的側面に心ひかれていくのです。おそらくそれは、私が1950年代のUFO研究に関係した世代に属すからでしょう。

あの時代、UFOの研究は人類、啓蒙、進歩、宇宙との連帯などに豊かな果実を実らせるだろうと期待されていました。……ところが、今ではどうでしょう。現在のUFO研究は、まるで人類の成長に水を差し、未来を不毛にさせていると思えないのです。誰もが、いわゆる「科学的」研究が最上と認めて、それ以外の方法はないかの

ように思っています。しかし、ユーフオロジは科学だけが専有すべきものではないのです。

知性があり、目がきく、普通の観察力のある農夫が、もし詳しくUFOを捉えることができたなら、UFOを見たこともない天文学者や物理学者よりもずっと数多くのことを知ることになるのです。

私たちの研究グループでは、科学が真理の追求に役立つことは、ほとんどありません。研究に関しては、何一つと言ってもよいほど役立ちません。人類の長い歴史の中で、いかに多くの発見が、たとえばシュリーマンのような門外漢によってなされてきたかを忘れてはいないでしょうか？

1920年代に学業を修めた人々は科学をどう認識しているのでしょうか？彼らは大学の物理学や解剖学の教科書の中の夥しい誤りを失念してしまっているのでしょうか？

1970年代の天文学者はどうでしょう。たとえば、金星に関して、表面温度は華氏400度であると発表されたはずですが、それならば、なぜ今さらアメリカがさらに2つの衛星を金星に送り、気候と温度を調査しなければならぬのでしょうか？ 以前の調査が正しいなら、何をわざわざ大金を費や

してまで調査したのでしょう？ 火星には極度の低温のために水はまったく存在しないと発表しておきながら、たちまちにして火星の両極で氷がとけているとの公表に出会う経験を私たちはしたはずなのです。こうした矛盾をうのみにするほど、私たちは愚かなのでしょうか？

なぜ真実に目を向けないのか

さて、ともかくUFOに話をもたしましょう。多くの才能豊かな科学者が世界各地から寄せられたレポートの翻訳、評価、比較検討に忙殺されています。その多くは南アメリカから寄せられたものです。宇宙船、怪物、ヒューマノイドに関するさし絵が、地図や車や風景画と同じく雑誌をうめつくしており、誌面にきっちり入るよう計算され、模写され、不可思議で恐怖にみちた遭遇談とともに印刷されています。

ところが、不思議なことに、人間に似た友好的な訪問者、時には言語レベルで目撃者と接触しようとした遭遇レポートはまず発表されることはないのです。実例が示されることはまずありません。時に、編集者の責任が及ばない読者欄に掲載されることはあります

が：

なぜ、真実に目を向けないのでしょうか？ 私としては、UFOに対して思索的立場を取っていますから、ときどき怪物や生物の絵を前にして考えこんでしまいます。絵を描いた「芸術家」のみなさんは信頼に足る人物なののでしょうか？ いったい絵は真物なののでしょうか？

記者は、遭遇談を画家に渡し、画家は、恐怖におびえる無教養な人物が目撃した間接的な受け売り談から、何とか絵をつくりあげるのです。

私は、何も目撃談がデッチあげだと言っているわけではありません。しかし、出版社にはほとんどの場合、その目撃者が信頼のおける人物かどうかを追跡調査する手段をもたないのが普通なのです。

こうした場合、まず目撃レポートそのものの妥当性が問われてしかるべきでしょう。出版社には、科学精神があふれているにもかかわらず、まず第一にあやふやな目撃談や絵の妥当性を検討し、確認しているという話は、残念ながら聞いたことがありません。

できのよい不可解な目撃談がたくみなさし絵つきで発表されているながら、世界中で撮影された空飛ぶ円盤の優れた明瞭な写真が、どうして雑誌に発表

されないのか、どうしてこの態度が「科学的」であり、賢明な姿勢であるといわれているのか、私には不思議でなりません。夜空を横切っていく光体や光跡、昼間に撮影された不明瞭な写真が、時おり掲載されているにもかかわらず、です。

私が言いたいのは以下のことです。

一目瞭然で、構造の細部まではつきりと見てとれ、光線や色合いの具合までくっきり判別できるUFOの写真がひとたび公表され、専門家の手に渡されると、必ずニセモノの烙印を押されてしまうのです。どうして、こんなことになってしまったのでしょうか。これが科学的態度なのでしょうか？ それとも写真より、さし絵の方がデッチあげがむずかしいとでもいうのでしょうか？

写真といっしょに提起された目撃談が、写真といっしょくたに廃棄処分にあっているというまでもないことです。誰も、写真には興味がないようです。いったい、なぜ？ 真物であるにはあまりにリアルすぎるからでしょうか？ 私としては、写真を一みみればすぐに本物だとわかるはずだと思うのですが：

最上のクローズアップ写真のいくつかが連続して撮影されています。このこと自体、多大の興味をそそります。

よく知られているように、写真撮影は、連続的なコンタクトにつながっている場合が多いからです。でもざっと目を通しただけで、その写真を廃棄してしまつたら、どうやってその後の遭遇談が調査できるのでしょうか。接触者は怒りだし、それ以上口を開かなくなるでしょう。最初の話を拒否したら、どうやって二番目の、しかもよく似た話を調査したらいのですか？。もちろん遭遇談や目撃談は、そう簡単に信じられる話ではありません。でも、多くの発見物語というのは、後になって新しい真理であることがわかったといったはずのものではないでしょうか？

停滞状態の 現代UFO研究

何人かの勇敢な接触者が自分たちの経験を語り、文章の形で発表をしています。彼らは、科学者のたわごとなどをちつとも気にしてはいません。1978年7月に、エクステンジ社から出版された若い発明家の遭遇談の序文の中で、トム・バレンタイン氏が述べています。

「……昨今の愚かしさからして、当局はけっしてUFOを信じないだろう」したがって、私たちも嘲笑される危険を冒さねばならないのです。

現在のUFO研究は、どんな段階に

さしかかっているのでしょうか。私には何とも言えませんが、このことだけは確実です。現在は停滞、足踏みの状態にあり、次の段階へと向かつてはいないということです。次の段階は、必然的に政治や産業、科学、宗教などをふくむ当局者に、地球外の卓越した知性の存在を知らせるという段階となるはずで、それは、地球上だけでなく、宇宙船上における会見によってなされるでしょう。

地球への訪問者の何人かは、危険を冒し、宇宙船を後に地球に降り立ち、

幾多の国々の中へ、私たちの近親者のごとく装いをこらしてまぎれ込んでいます。UFO研究家が抱く懐疑心が彼らにとつて、大きな助力となっているのです。疑われる危険は、まずありません。

研究家が、懐疑の念を抱いている限り、残念ながら人類の新しい夜明けはほど遠いといわねばなりません。人類が思いあがり捨て去り、身を挺して彼らを迎える時がくるまで、友好的な宇宙からの訪問者は待つてくれているとは思えません。彼らには、私たちが必要ではないのですから……。

関根克己訳

宝島臨時増刊

ホロスコープの作り方

●これであなたも占星術師

●流智明著

●あなたもこの二冊で他人の運命と、人と人との相性を占える。
●ホロスコープとはあなたと宇宙をつなげるチャート(海図)だ！

内容

- 占星術とは何か？ 運命を支配するコスミック・ワールドの神秘
- ホロスコープの解説① 星座と宮と惑星が示す基本的な意味
- ホロスコープの解説② 惑星と宮と星座の配置による暗示
- 占星術に必要なデータ 占星術用語・三辞典・時差表・恒星時表・座宮表・30年間の天文暦

好評発売中

A5変形*****
定価560円

JICC出版局 新宿区揚場町15セントラルコー
ボラス207 TEL03-268-6312代

特報! 値下げ断行

Ray-Ban® ついに現地U.S.A.(メタル\$28~\$33)価格を下回る!
新標準小売価格決定 最高35%ダウン

さらにレイバン/夢の5,000円大奉仕
※ただし当商品のみ郵送料として別途500円を申し受けます。

オープン記念超特価フェア 絶対続行中!

レイバン 標準小売価格のオール5割引

好評通信販売中

◎レイバン 度付きパック10,000円 セル

◎ニコン 度付きサングラス10,000円 セル
※その他オープン記念店頭企画が目白押し

テニスラケット
プレゼント
1万円以上お買い上げの方

東京近郊にお住まいの方は
ぜひ一度ご来店ください。

第2次 店頭にてお買い上げの方
先着1,000名様に
テニスラケットプレゼント



新しくなった新宿西口メガネ
さらにでっかくなりました。

1F~4FまでBIGになってオープン、お求めの品が目瞭然

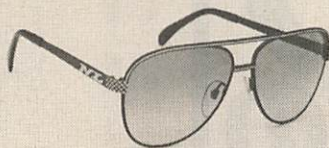
- | | |
|----|--------------------------------|
| 4F | ブルー・スクエアー
今、話題のコンタクトのフロアー |
| 3F | オレンジ・スクエアー
お買い得なメガネのフロアー |
| 2F | シルバー・スクエアー
シニアとエグゼクティブのフロアー |
| 1F | グリーン・スクエアー
若者とその仲間達のフロアー |

お出かけください新宿西口へ!!

SHOOTER<シューター>(大)



	スモークグリーン	イエロー	フォトサン
金	¥13,000~¥7,500	¥18,000~¥9,000	¥19,000~¥9,500
ブラック	¥16,000~¥8,000		¥20,000~¥10,000



“炎の男”!!あのニッキ・ラウダが
Made in AUSTRIA サングラスになった!
フレームカラー……金、シルバー、紺、ブラック
レンズカラー……ブラウン、スモーク

特別頒布価格10,000円

アウトドアズ・マン(中)



	スモーク	グリーン	イエロー	フォトサン	ミラー
金	¥13,000~¥6,500	¥16,000~¥8,000	¥17,000~¥8,500	¥18,000~¥9,000	¥19,000~¥9,500
ブラック	¥14,000~¥7,000		¥18,000~¥9,000	¥17,000~¥8,500	

METAL II<メタルII>(大)



	スモーク	グリーン	濃スモーク	フォトサン
金	¥12,000~¥6,000			¥16,000~¥8,000
ブラック	¥13,000~¥6,500			

CARAVAN<キャラバン>(中)



	スモーク	グリーン
金	¥12,000~¥6,000	
ブラック	¥13,000~¥6,500	



●お申し込み方法
お申し込みは、レイバン又はニッキ・ラウダを明記し、モデル名・レンズの色と住所をご記入の上、現金書留あるいは、代金引換にておねがいします。
なお、送料はサービスさせていただきます。
●お申し込み先
〒160 東京都新宿区西新宿1-11-6 協立ビル
新宿西口メガネ UFO ⑥係
プレゼント用化粧パッケージも用意致しました。
ご注文の際に、お申し出ください。
※おことわり 品切れの際は、入荷予定日をお知らせ致します。又、ご返金も致します。

レイバン年間販売実績20,000本を誇る
新宿西口メガネ
東京・新宿西口・ヨドバシカメラ隣り
営業時間 AM10:00~PM8:00 年中無休
でんわ東京 03-348-3360 (代)

新宿西口メガネグループニューヤングメガネ新宿もよろしく。

●米科学者団が公式見解出す

ニュージーランド UFOはホンモノ

世界中の話題をさらったニュージーランドUFOの正体は何か。詳細な分析を行なった科学者たちはついにUFO以外のあらゆる可能性をしりぞけた。

UFOムービーフィルムの一コマ。前後のフィルムの光点像は動いていないのに、このコマだけ変な動きをしている。一コマの露出時間は1/22.5秒(0.044秒)。1秒間に10コマ撮影(ただし、このコマのときだけカメラが動いた可能性もある)。(写真/チャンネルO)

昨年暮、ニュージーランド上空で撮影されたUFOフィルムは、やはり本物だった！

去る3月26日、^{ナショナル}NICAPの科学顧問のブルース・マカビー博士、^{チャンネル}CUFOのオーストラリアのテレビ局チャンネルOのフォアガティ記者と共に、アメリカの三大ネットワークのひとつ、ABCテレビの朝の全米向けニュース・ショー「グッド・モーニング・アメリカ」に出演、そのあとニューヨークで記者会見を行ない、「ニュージーランドのUFOフィルムは、科学的に検査した結果、本物である」と発表した。

記者会見には多数の記者が詰めかけ熱心な質疑応答が行なわれた。この発表により、「あれは金星の誤認か、または日本のイカ釣り漁船の灯火の見間違い」と片付けられていたニュージーランド事件に新たな科学的展開がみられたわけである。

今回の発表で重要な点は、

①科学的にあらゆる可能性が検討された結果、金星や隕石、特殊な大気現象、イカ釣り漁船の灯火の誤認などという説明はすべて排除され、

②『未確認の』『飛行物体』を撮影した本物のフィルムであるということを、

③米国の科学者が公式に発表した(特

▲記者会見で説明する関係者たち。左からフォーガティ記者、ジョン・エイカフ氏、ブルース・マカビー博士、アレン・ハイネック博士（写真／レベルソン氏）



にマカビー博士は、現職の米海軍のレーザ専門の光学物理学者である」という点である。

記者会見に出席したNICAP代表のジョン・エイカフ氏は、「NICAPは過去22年間にわたり、2万件以上ものUFO目撃事件を調査したが、これまでになだの一度もこれこそ本物のUFOフィルムという折紙をつけたものは無い。しかし今回のニュージランドのUFOフィルムは、科学的に分析した結果、確かに実在するが在来の科学知識では説明のつけられない物体すなわちUFOを撮影した最も重要な証拠であると断言できる」と語った。

ハイネック博士は、「マカビー博士や他の科学者たちが慎重に調査した結果、ニュージランドのUFOフィルムは本物であるとの結論に到達した。これはUFOが肉眼でとらえられ、地上と機内のレーダーでも同時にとらえられしかもプロのカメラマンによって撮影されたという、貴重なケースである。

このフィルムは、UFOをあざけりの対象としてでなく、真剣な科学的研究の対象として取りあげるべきことを示す重要な証拠である。一部の科学者、特にイギリスのラベル博士のような有名な科学者が、このフィルムが撮影さ

れた際の時間や方向などのデータを調べもせず、関係者の話を聞きもしないで、金星、木星、隕石などの見間違いであろうと公式に発表しているが、これは科学者としてあるまじき態度である」と厳しく非難した。

●科学者たちの共通見解

マカビー博士は、NICAPの科学コンサルタントとして、チャネルOの要請により、2万3000フレイムにものぼるオリジナルの16ミリ・カラーフィルム（フジカラー8425）を一コマコマ検査し、ニュージランドに10日間、オーストラリアに1週間滞在して目撃者や関係者から直接証言を聞き、データを集めて分析、研究した結果、フィルムは本物であり、撮影された物体は、「未確認の」「飛行する」「物体」であるとの結論に到達した。

マカビー博士は検査の結果を天文学者のハイネック博士だけでなく、以下の科学者たちにも示し意見を求めたが、いずれもフィルムに写っている物体は在来の科学知識では説明できない物体であるとの結論に達した。

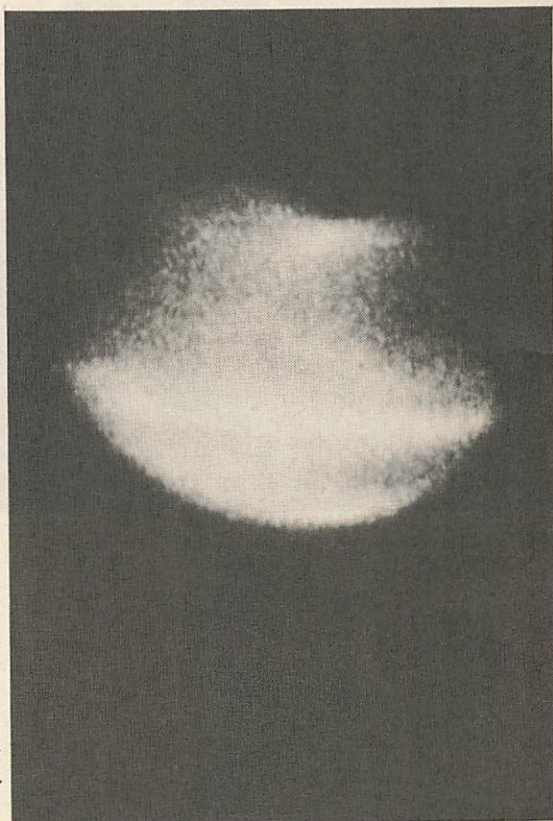
ピーター・スターロック博士

（プラズマ物理学者）

◀マカビー博士による分析結果

可能性	理由
1 金星	目撃時には時間的に見えない。方向も違う。
2 他の惑星	撮影された光源ほど明るくない。方向も違う。
3 恒星	撮影された光源ほど明るくない。方向も違う。乗組員が位置の確認をしている。
4 隕石	目撃時間が長すぎる。方向が違う。
5 気球	当時その地域には飛んでいない。気球にしてみれば明るすぎる。気球は動きももつと遅い。
6 他の飛行機	当時その地域には飛んでいない。
7 地上の灯火	撮影された光源ほど明るくない。方向が違う。乗組員が位置を確認している。
8 軍の秘密兵器	ニュージーランド空軍はまったく知らない。
9 イカ釣り漁船の灯火	漁船団はずっと遠くの海上にいた。方向が違う。灯火なら動きももつと遅い。
10 芝居(でげ)	飛行機に乗り合わせた人々はほとんどが初対面である。政府のレーダーにも映っておらず、でげあげは無理。
11 ウェリントン空港のレーダーのエンジェル	気温の逆転層はもつと高空にあった。エンジェルを起すには不十分だった。またエンジェルを起こせる気流の渦巻きも起こっていない。エンジェルだといえれば飛行機と一緒に動いた点が説明できない。
12 レーダーの故障	レーダーは調子よく、通常のメンテナン스로充分の状態。
13 機内レーダーのエンジェル	11と同じ。
14 機内レーダーの故障	12と同じ。

▶UFOフィルムの一コマ(拡大写真)。低部が明るく上部がやや暗い。(写真/チャンネルU)



リチャード・ヘインズ博士
(光学生理学者)
ギルバート・レビン博士
(生物物理学者)
ニール・デービス氏
(エレクトロニクス専門家)

カリフォルニア州パロ・アルト在住の4人の科学者(匿名希望)
バージニア州の某社勤務のレーダー専門家(匿名希望)
バージニア州の米国政府の科学研究所勤務の7人の科学者(匿名希望)
数人の海軍の科学者(匿名希望)
多くの科学者たちが匿名を希望して

●UFOの分析結果

いるのは、未だに根強く残るUFO問題に対する偏見と、政府機関や海軍に勤務しているという微妙な立場とを考慮したためである。

記者会見でマカビー博士は、プロ・カメラマンのデビット・クロケット氏が撮影したフィルムを公開し、さらにそのフィルムの一コマコマをもとに拡大して分析したUFOの像、コンピュータによる映像の分析と、金星の映像との比較などを美しいカラースラ

イドを使って分かりやすく説明した。そしてUFOが自然現象や地上の灯火である可能性をひとつひとつ吟味し、否定していった過程を説明した(別表参照)。版權の関係から美しく説得力のあるカラー写真をお見せできないのが残念であるが、いずれ近いうちに、マカビー博士の詳しい研究論文とともに紹介できるものと期待している。

マカビー博士が分析したところによると、クライストチャーチの北東10、40マイルの地点で撮影された光体は、ほぼ円形とか角形、またはベル形をしており、240ミリの望遠レンズで写されたベル形の光体は底部が明るく上部がやや暗く写っており乗組員の描写と一致している。

またフィルムに写った光点の多くは露出オーバー気味で、非常に強い黄白色光であったことを物語っており、もしもその物体が機から10海里ほど離れたところにあつて、なおかつこのような露出オーバーを起こさせるほどの光源であるならば、数十万燭光も強力なもので、直径100フィート(30メートル)位あつたであろうと推定している。(参考までに記すと10万ワットの白熱灯が周囲に放射する光は約20万燭光のことである。)

管制官が重要証言

1979年の元旦早々、ニュージールランド南島のカイクーラ上空で、オーストラリアのテレビ局チャンネル0の一記者が、飛行機の中から撮影したUFOの実写フィルムが世界中の話題を呼んだ。日本からも、日本テレビの矢追ディレクターが、その真実を確認するために現地におもむき、現地関係者に会見した結果、UFOは確実に存在するという証拠をもにした。さらに、米国最大のネットワークの一つABCテレビでは、実写フィルムの分析結果を発表、UFOは、単なる大気現象などではないという事実を明らかにした。はたして、その真相は？

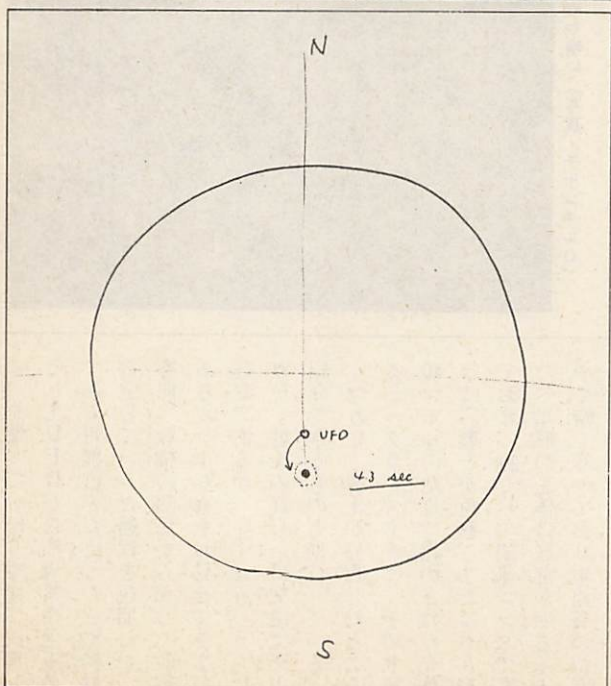
係者に会見した結果、UFOは確実に存在するという証拠をもにした。さらに、米国最大のネットワークの一つABCテレビでは、実写フィルムの分析結果を発表、UFOは、単なる大気現象などではないという事実を明らかにした。はたして、その真相は？

ニュージールランド、ウェリントン市にある、ホテル・ジェームス・クックのロビーで、ジェフ・コウザー管制官が来るのを待っていた私は、黒いサングラスをかけて皮のジャンパーをひっかけたヤクザ風の男にいきなり声をかけられて驚いた。

「ミスター・ヤオイですか？ 実は私がコウザーです」

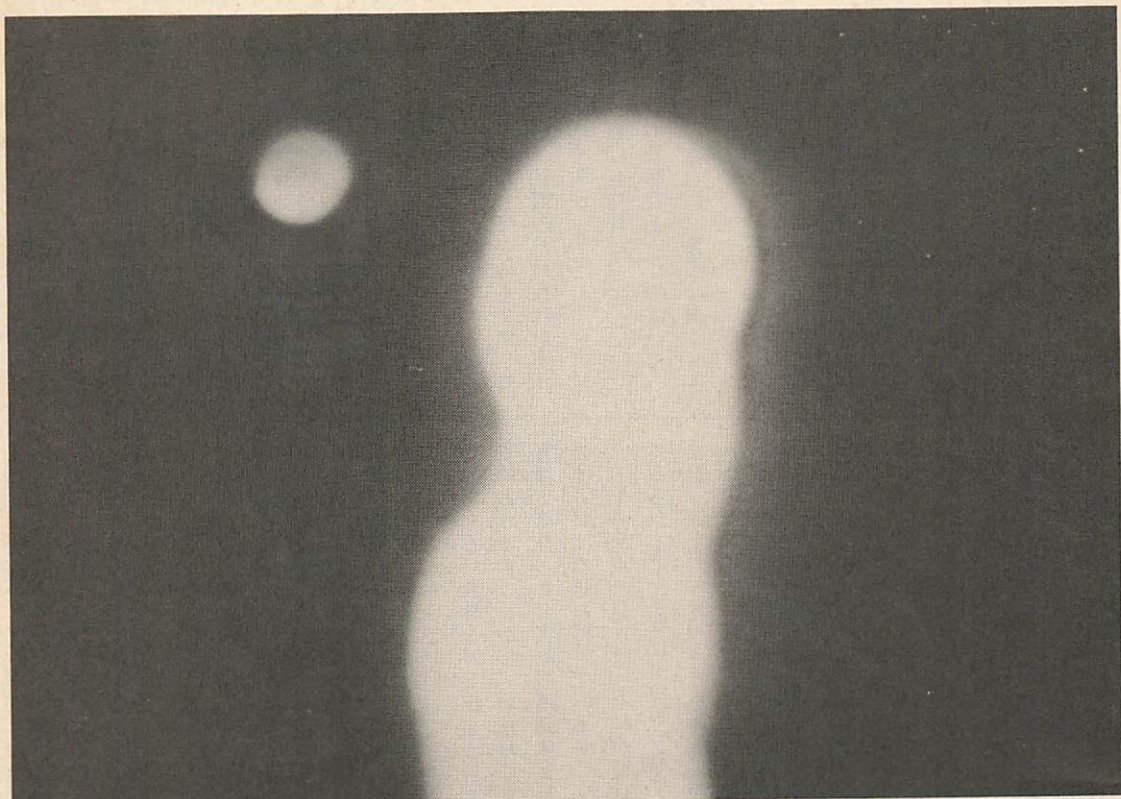
何のことはない、先ほどから私の隣りのソファアに坐って、ジロジロとこちらを見ていたウサン臭そうな男が、コウザー氏その人だったのだ。

管制官ジェフ・コウザー



▲ジェフ・コウザーが描いたレーダー図。南進中のアーゴシー機(黒点)を追跡中のUFOが合体して2倍の大きさの光点(点線)となった。

ニュージーランドUFO最終回答(その2)



TVIが1月3日にとらえたUFO実写フィルムのひとコマ。白いのはUFOが一瞬(1/30秒)でカメラの前へ迫ってきた軌跡

しかも、彼は、もう一人のジーパン姿の男と連れ立ってきている。

変な連中だとは思っていたものの、まさか管制官が、そんな格好をしているとは思えなかったのだ。

「はじめまして、どうぞよろしく…」

だが、話しているうちに、コウザー氏が人一倍、ハニカミ屋で正直な、好感の持てる人物だということがわかってきた。

サングラスや、黒の皮ジャンパーは人前に出る恥しさを隠すカムフラージュだったようだ。

「今日、ここへ来るについては、ずいぶん迷いました。レーダー・コントロールセンターの上司は、そのようなインタビューには、一切応じてはならない、というんです。でも、あなたからの電話で、作ろうとしておられるドキュメント番組が、大変、まじめにこの問題をとりあげようとしていることがわかったし、……私自身も、ぜひ本当のことを話しておきたいと思って…」

ところが思いきってやっては来たものの、さつきから、ここで、名乗りをあげようか、このまま帰ろうか、と最後まで、ためらっていたんですよ」と、人の良さそうな微笑を浮かべるのだ。

ニュージーランド空軍当局にも何度も呼ばれて、当夜の出来事を詳しく話

させられたという。それにもかかわらず、空軍がコウザー氏の証言を頭から無視して「UFOは海上の漁船の灯か、あるいは金星の光の大気異常による屈折現象……」ときめつけたことに、憤りを感じているらしい。

「実は、私と同じ管制官で、ほかにも大変、興味深い事実を確認している友人を、むりやりひっぱってきたんです」「え？ 本当ですか!? それはありがたい」

「でも、彼は、どうしてもテレビの画面には出たくない。名前も匿名にしたい、というんです」

「わかりました。では、ミスターXということにしましょう」

それから行なわれた、X氏とのインタビューは実に興味深いものだった。

「UFOがレーダー上に姿を現わしはじめたのは、実は、去年の12月がはじめてではないのです。オーストラリアのオタウエー岬沖で、セスナ機が行方不明になった有名なUFO事件の当夜も、あきらかにUFOとわかる飛行体が見え、レーダー上に何機も現われました。その前後にも、何度も確認されています。そのたびに、われわれは空軍に連絡し、迎撃機が緊急発進をしています。不思議なことに、迎撃機がレーダー上のUFOに接近したな、

と思ったとたんに、UFOはスッと消え、飛び去ると再び現われるんです。まるで鬼ごっこですが、迎撃機の中には、UFOを肉眼で見たにちがいない、と思うほど接近したものもあるんですよ。にもかかわらず奇妙なことに、空軍は、UFOを見たことを一度も発表していないんです」

「空軍のレーダーにも現われているんでしょうか？」

「いえ、不思議に思われるかもしれませんが、ニュージランドではレーダー管制所は一系統だけしかなく、軍と民間の両方で共用しているんです。管制官は、一応、民間のわれわれが受け持っているんですが……」

これは、私にも初耳だった。

空軍直属の管制官というのはいないのだという。さらに、X氏は驚くべきことを話した。

「その後も、UFOは、ひんびんと現われ続けているんです。つい4日前にも、一度に5機のUFOが、それも午前10時から2時間にわたって現われたり消えたりをくり返し、奇怪な飛び方や、編隊飛行をしたんです」

「え？ まっ昼間、2時間も!? それで、地上からの目撃報告はないんですか？」

「いえ、何度も電話が入りました。変

な物体が空を飛んでいるノといっているんです。でも、ほとんどの通報は、空軍や警察に行ってしまうので、そこでウヤムヤにされてしまいうらいんです」

「軍や、科学技術庁では、UFOはレーダー・エコー現象ではないか、といっているようですが……」

「そんなことは、絶対にありません」確かに、レーダー電波が、高い山や、ときには、大気現象……あるいは海上の高波などからさえ反射して、画面にありもしない物体を写し出すという現象はあります。しかし、われわれ管制官は、それらと、実際の運動体とを見分けるだけの眼を持っています。レーダー上の光点を見れば、それが飛行機であるか、海上を航行中の船であるか、また、陸上のハイウェイを走る長距離トラックであるかを、ピタリと識別することができます。だから、UFOとレーダー・エコーを見間違えるなどということはありませんし、事実、そのくらいを見分けられなくては、危なくてレーダー管制官など、つとまるわけありません」

なるほど、その通りにちがいない。だが、空軍や公的機関は、なぜ、このようなレーダー管制の専門家の意見を無視しつづけるのだろうか？ コウザー

氏が憤りを感じているのも無理はない。

レーダー管制官によるUFOの確認

コウザー氏に事件当夜の状況をきいてみた。

「あの夜、チャンネルOテレビ局のスタッフが乗ったアーゴシー機が、ブレンハイム空港を飛び立った直後、レーダー上に巨大なUFOが現われたんです。それは、ちょうど、アーゴシー機がこれから向かう、クライストチャーチ空港への航路の途中でした。まるでやってくるアーゴシー機を出迎えるかのように、カイクーラ地区上空で静かに浮かんでいたんです。私は、さっそく、機長のスタータップに無線でしらせてやりました……」

この辺はアーゴシー機のビル・スタータップ機長の証言とも一致する。機長は、この報告を受け取ると同時に、機上に積載されていたレーダーでも、UFOを確認しているのだ。別のインタビューでスタータップ機長は答えている。

「機が、カイクーラ地区上空にさしかかったとき、とつぜん、UFOが眼にとびこんできました。それは前方に立ちふさがるように浮かんでいて、巨大な火の球のように赤く光っていました。でも、われわれが近づいて行くと、ア

ッという間に消え、次の瞬間、機の後方に現われたんです。私はもう……驚きのあまり、声も出ませんでした」

コウザー管制官は先を続けた。

「そのとき、驚くべきことが起こったんです。レーダー上のUFOは、一瞬のうちにアーゴシー機の後方に移動して、しばらくは、飛行機を追跡しているようでした。そのうち、UFOが、スルスル……と機に近づいたとたん、それまで飛んでいた飛行機を現わす光点が2倍の大きさにふくれあがったんです。あっ！ 衝突した！ ……と思わず叫んだんですが不思議なことにそのまゝの状態です。飛行機を続けているんです。そして正確に43秒後さらに驚いたことは、光点は一瞬のうちにパッと縮み、元の飛行機の大きさに戻ってしまっただけです。私は、このように不思議な現象を起こすものが、地球上に存在するとは、とうてい信じられません」

この間、アーゴシー機からは、機の上になり下になり、前後して飛ぶ巨大なUFOが見られ、機内はパニック状態におち入りながらも、16ミリフィルムの撮影に成功したのだ。



写真上からアーゴシー機のビル・スタータップ機長、チャンネルOのクエンティン・フォード記者（UFO実写フィルムのディレクター）、TVI局のテリー・オムソン記者（UFO実写フィルム撮影に成功）、同デニス・グラント記者（事件当夜アーゴシー機に同乗）

「このあと、UFOが、アーゴシー機の先になり、後になりしてクライストチャーチ空港まで追跡していくのが、レーダー上にはっきり見られました。ところが機が空港に着陸したとたん、それまでいた何機ものUFOが、バツと一度に消えてしまったんです。その上、もっと不思議なことには、アーゴシー機が給油後、空港を飛び立つと同時に、まるで機を出迎えるかのように、またもやUFOがレーダー上に現われたんです。このような動きは、決して大気の逆転現象や、レーダー・エコーなどという自然現象ではあり得ません。あきらかに人為的な意図を持った何者

大気現象説はナンセンス

私、事件当夜の状況を確認するため、同じような気象条件の夜を待つて飛行機をチャーターし、アーゴシー機と同コースを飛んでみることにした。1月17日夜、午前0時頃。

かが、操縦している飛行体としか考えられないのです。私の長いレーダー管制官としての経験からみても、あれは、疑いもなく、地球上の科学では考えられない動きをするもの……、しかも、知的生命体にコントロールされた飛行物体……つまりUFOそのものでした。とコウザー氏は、キツパリと断言した。確かな専門技術を持つ管制官が2人までも揃って、UFOの存在を確認しているのだ。

昨年12月31日早晩、チャンネルOテレビ局スタッフによって撮影された物体は、何かの誤認や錯覚だったとは考えられないのである。

件当夜とはほとんど同じ状況だという。この季節、この時間には、金星はまだ地平線から姿を現わしていない。金星が昇ってくるのは、午前2時30分近く……事件当夜とは、半月ほどの差こそあれ、午前0時頃には、金星はまだ見えなかったはずなのだ。

したがって、気温の逆転現象のために、金星の光が拡大され、全然別の場所に見えたのにちがいない、とするニユージランド空軍の公式発表なるものは、まったくあてはまらないといえる。

もういっぽうの木星は、もうすでに夜空に光っていた。しかし、あまりにも小さい。

われわれは、事件当夜、チャンネルOテレビのスタッフが使ったものと全く同じ型の望遠レンズとムービーカメラを借りてきていた。そして、同じタイプのフィルムも……。

だが、どういふふうにもうをしても

木星は、あのUFOフィルムのような大きさには写らないのだ。

望遠レンズの倍率を最高にしても、木星は、UFOの1/20くらいにしか見えない。後で現像してみたところ、テレビの画面では、小さすぎてまったく見えないことがわかったくらいなのだ。やがてわれわれの飛行機は、問題のイクラ地区上空にさしかかった。

驚いたことに、あたりは、月あかりで想像以上によく見える。

イクラ地区の海岸線や、地上の小さな灯……それに、海面がキラキラと光っているのまでがハッキリと見とおせる。フォード機長にきいてみた。「事件当夜も、こんなふうに見えたのでしょうか？」

「ええ、あの夜もよく晴れていて、月がきれいだったので、これとさしてちがわない状況だったはずだ」

「それでは、あのとときのUFOが、海上の漁船の灯や、木星……あるいは、

他の飛行機の見えやまらだつたという可能性はなさそうですね」
 「それはもちろんです。プロのパイロットならば、星がどの位置にあるかを熟知していますし、星の光や、漁船の灯を、飛行している物体と見まちがえ

る、などということはありえません。まして、この視界の良さで、他の飛行機をUFOとまちがえることは考えられません。だいいち、そんなものが飛んでいれば、当然、レーダー管制所でもあらかじめ、知っているはずですよ。



上は実際にカイクーラ地区上空を飛んでみる矢追氏。左はUFO実写フィルムを手に分析結果を報告する米海軍海上兵器研究センターのレーザー光線専門家ブルース・マカビー氏。



機長や管制官が、そういったものをUFOと見まちがえた、などというのは

CIAはなぜUFOを否定するか

私自身、肉眼で見ても、星は星にしか見えない。それに海上の漁船の灯火というのも、1〜2隻ボツン、ボツンとかすかに見えるが、木星とくらべてさえ、はるかに小さくて問題にならないくらいなのだ。

われわれの飛行機は、給油のためいったん、クライストチャーチ空港に着陸した。ここで時間待ちをして午前2時30分……。ふたたび、カイクーラ地区上空へ向かって飛び立つ。今度は、金星が水平線上に姿を見せていた。

だが、ほかの星よりはやや大きく見えるものの、とてもムービーカメラの

ナセンスもいいところですよ」と、大気現象説をまっ向から否定した。

望遠レンズでは小さすぎて、UFOとは比較にならない。どう考えてみても、あれが金星や漁船の灯とは思えないのだ。

では、ニュージーランド空軍は、なぜ、このように明らかな誤りをおかしているのか、UFOの存在を否定しようとするのだろうか？

しかも、公式声明なるものを、わざわざ発表してまで……。

われわれがニュージーランド取材を終えて帰国した1月19日。

奇しくも、アメリカのワシントンポスト紙が「CIA、UFOに関する秘密文書を公開」のニュースを発表した。本誌でも詳報されているとおり、これまでCIAは、「UFOは存在しない。CIAは、UFOに関して、何の関心も持っていない……」とくり返し声明しておきながら、裏では、各国のアメリカ大使館を通じて、秘かにUFO情報を集めていたことが暴露されたのである。

その4日後の1月23日。日本テレビの招待に応じて、世界的UFO研究の権威、J・アレン・ハイネック博士が

来日した。

私は、軍や政府機関がUFOを否定しようとする態度について博士に疑問をぶつけてみた。

「なぜ、彼らは、UFOの存在をやったきになって否定するのでしょうか？」これに対して博士は、ニコヤカに笑いながら答えた。

「ご存知のように、世界各国、どの国でも、国防予算というものが、ぼう大なパーセンテージを占めています。そのぼう大な国民の税金を使っている軍隊や、軍の兵器が、UFOに対してまったくの無力である、ということが、もし国民に知れたら……軍当局ばかりでなく、その最高責任者である大統領や、政府までが、国民の信頼を失い、失脚することになるでしょう。もし、そういう事態にでもなったら、これは一国の問題というよりも世界的な規模での秩序の破壊ということになりかねません。その影響は計りしれないものがあるのです。」

多分、そういった理由で、公式的には、必死になってUFO情報を隠し、UFOの存在を否定しようとするのだらうと私は推測しているのです。これは、あたらずといえども遠からず……というところではないでしょうか」

ないだろうか。

UFO実写フィルムは本物だった？

そして3月26日。

アメリカ、ニューヨーク市の現地時間、3月25日の午前10時30分頃。ついに米国最大のネットワークの一つ、ABCテレビ放送網を通じて、ニューヨークランド上空のUFO実写フィルムについての分析結果が、発表されたのだ。

私は、ちょうど「11PM」の生放送の最中だったので、さっそく、ニューヨーク、ABCテレビに国際電話を入れてみた。

電話に出たのは、オーストラリアのチャンネルOテレビ局のチーフプロデューサー、レナード・リー氏。UFO実写フィルム撮影の総指揮をとった張本人だ。

「例のフィルムの分析結果が発表になったそうですが、どんなことがわかりましたか？」

「いま、アメリカ海軍省、海上兵器研究センターのブルース・マカビー博士の分析結果が発表されました。それによると、あのフィルム上に写っている物体は、実在の光体で、気温の逆転現象による、他の光の屈折や反射などではない、ということが明らかになった

のです。つまり、事件当夜、実際に飛行していた未確認飛行物体……すなわち、UFOそのものが写っている、ということですね。また、UFOの直径は、およそ20メートル……UFO自体の発している光は、驚くほど強力なものであるということもわかった、ということです……」

直径20メートルの円形光体、というのは、かなりの巨大さだ。しかも、それは、光っている部分だけがフィルム上に写ったものであり、それ以外に、光がなく、したがって夜間、カメラにはとらえられなかった、もっと大きな物体があったかもしれないのだ。

いずれにしても、私が、直接、現地へ飛び、当時者たちから取材した結果得た感触とまったく同じ結論が、フィルムの分析という、科学的なアプローチからも出されたわけである。

それにしても、このABCテレビ局での発表の直後、ホテルで公式の記者会見がおこなわれ、マカビー博士自身からの分析結果の発表もあったはずなのに、日本の新聞に一行も、書かれなかったのは、どういうことなのだろうか

か？ 不思議ではない。

このUFO実写フィルムと同じUFOと思われるものが、その4日後の1月3日、同じ地域上空に現われているのだ。

しかも、地元ニューヨークランド、クワイストチャーチ市のTV1テレビ局のスタッフによって今度は地上からムービーカメラにおさめられている。

このフィルムも、スロービデオに入れてじっくりと見てみると、実に興味深いことがわかる。

驚くべきことに、ビデオでわずかとコマ……つまり1/30秒という、信じられないほどの短かい時間に、UFOは何千メートルという距離を前進し、同時に、別の赤く光る小型UFOを発射しているのだ。

これもまた、地球上のものでは、とうていありえない不思議な動きをしているのである。

この事件についても、いろいろと現地調査し、幾つかの面白い発見もあったのだが、残念ながら紙数が尽きてしまった。また別の機会に報告することにしよう。

UFOの接近にともなつて、しばしば奇妙な現象がひき起こされる。車のエンジン停止、灯火類の消灯、電波障害、あるいは人体への影響、UFO実在の有力な証拠とされながら未解決の問題に、いま新しい角度から光をあてる。

UFOが通過する時には周囲に磁気的作用を及ぼすことは古くから知られている。ケネス・アーノルドがレイニア山上空でUFO編隊を目撃した記念すべき1947年6月24日には、同じ

ころ地上にいた鉱山関係者が上空に奇妙な物体を発見するとともに、自分の持つていた磁気コンパスが激しく震えているのに、すでに、気がついていていたといわれる。

さらに1957年には「磁気を帯びた道路標識事件」という変わった報告がある。

この年の4月14日の午後3時ごろ、フランス南東部のヴァール県ヴァン村の主婦ガルサン夫人とラミ夫人の2人は、カラミの東方約1キロメートルの県道24号線を歩いていた。

突然、耳が痛くなるほどひどくやましい金属音がしたので、何ごとかと思ひ、音のする方向を振りかえてみた。驚いたことに、100メートルと離れていないところに小さな金属の物体があり、路上、1メートルほど浮いて

いるのだ。

それは上半分が山の頂のような形をし、高さ1・5メートル、幅1メートルのコマのような物体であった。下部の円錐は、色鮮やかな何色にも輝く棒を束ねているように見え、めまぐるしく動いていた。その近くの金属製の道路標識が激しく震動しており、騒音はそこから発しているのだった。

2人の主婦は、この光景を見て恐怖のあまり金切り声で助けを求めた。約300メートルほど離れたところで、ジュール・ボグリオは大きな金属音と叫び声を聞き、交通事故だと思つて音のするところへ駆けつけた。そして彼もまたこの物体を見たのだった。

物体は地表すれすれにまで降下しており、2番目の道路標識を軽く飛びこした。と、その標識も震動を始め、最初の標識と同じく金属音を出した。それから物体は上昇し、約200メートル離れたところでまた下降して地面すれすれに静止し、ふたたび上昇して南東方面に消えた。標識から発する音は物体が遠ざかるにつれてやがて静かになった(図1)。

この事件を調査した憲兵隊は、怪物体の最初の着地部分が何かで強く掃いたようになっており、2番目のほうは直径約1メートルの窪みが生じている

UFOと電磁効果

日本宇宙現象研究会
研究局代表

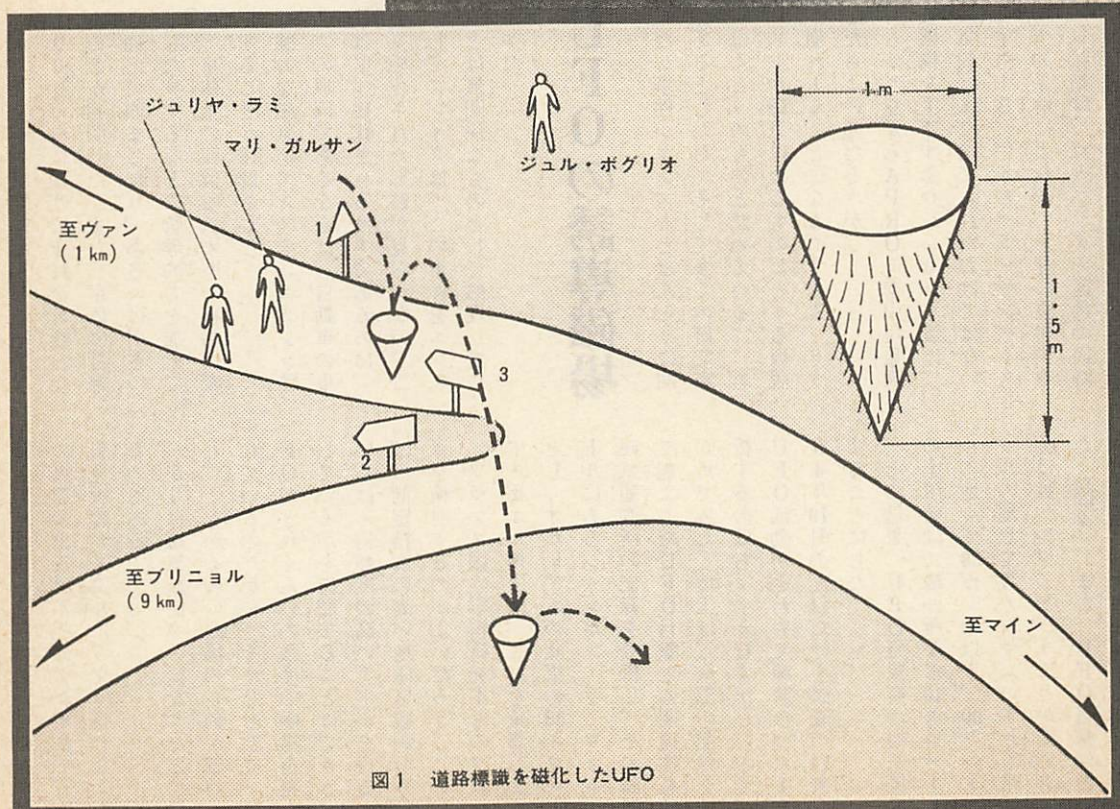
池田隆雄

科学考察

ELECTROMAGNETIC EFFECT

のを発見した。
 「UFO目撃」の知らせを受けて駆けつけたウラノ民間調査委員会のジミー・ギューの調査では、2つの道路標識とも異常な磁気を帯びていることが確認された。2つの標識に5センチの距離で計器を設置したところ、両方とも磁石の針が15度傾いたのだ。一方、物体の光が届かない別の標識には、異常が認められなかった。また、物体が着

陸しかけた付近の鉄製の灌漑用パイプも、同様に磁化されていることがわかった。
 UFOは急速に変化する強力な磁場を作り出し、非常に近い場合には、金属を磁化させることもあるということが、以上の例でわかるだろう。多くの研究家は、このような磁場が、電氣的装置を故障させる作用をもつかもしいと考えた。



自動車のエンスト

1954年11月14日、イタリアのフォルリ近くで2台のトラクターがならんで道路を走っていたところ、赤い光を放つ物体に出くわした。そのとたん1台のトラクターのエンジンが停止してしまった。

このように、UFOの目撃と同時に自動車の電気系統が故障するという例は数多い。1957年11月3日のアメリカのレベランドでの事件では、何台もの車やトラックのエンジンが停止しヘッドライトも消えてしまった。この事件の時は、物体は光を点滅させ、光がつくたびに自動車のエンジンとライトが用をなさなくなったという。

ところが、イタリアの事件の場合には、おもしろいことに1台だけが——電気点火プラグのある普通の内燃エンジンを持つトラックだけが——止まった。もう1台のディーゼル・エンジンを持つほうは何の影響も受けなかったという。ディーゼル機関には点火プラグがないのである。

コンドン委員会では、UFOによって生じた強力な磁場のために点火プラグの発火が阻止されるのだという説に對して、シミュレーション実験を試み

たところ、約1〜2万ガウスで火花放電が停止した、という報告を提出している。だが、自動車の点火系統は鋼製の車体で完全に包まれており、磁力線は遮へいされ、ふつうは磁場に影響されることはない。もし影響されたというのであれば、それは非常に強力な磁力であるということになる。

1967年秋、南太平洋のある沿岸地でEM効果を伴う目撃事件の調査が、プロジェクト・コロラドによって行なわれた。UFOは50メートルの高さを飛び、赤色かつ黄金色で回転する光をそなえ、直径10メートルの鋭い輪郭をもつ円盤形をしていた。自動車は1964年型クライスラーで、立往生するとともにヘッドライトもラジオの音も消えてしまい、運転者は上方から強い圧力が頭部と肩にかかるのを感じている。

調査の担当者であるロイ・クレイグ博士は、この車体上に20カ所ほど測定点を設け、磁気コンパスを使用して地磁気の方向との偏角を測定した。ところが他の同型のクライスラーのそれと比較したところ、両者にはほとんど違いが認められなかった。

つぎにマグネトロンの電磁石を使用して、外部磁場の強さをどのくらいにしたら車体の残留磁気を変化させるこ

とができるかを実験した。その結果、1000ガウス程度でそれが可能とすることが判明した。また、車体に打撃を加えて凹ましたり、あるいは引きのばしたりするなどの物理的力を加えても、車体上の残留磁気の型が容易に変化することが確認された。

強力な磁気がエンスト（エンジン停止）の原因であるならば、自動車の車体は必ず磁化されるはずであるのに、全く磁化された形跡が見られない。こうしてクレイグは、この事件をエンストとは無関係なものとして処理してしまつた。

UFOの誘導磁場

だが事件がエンストとほんとうに関係あるとしたら（そして多くの研究家がほんとうのものと認めている）、エンストが磁気によるものだとする仮説が崩れ去ることになるのである。どうしたらよいのだろうか。

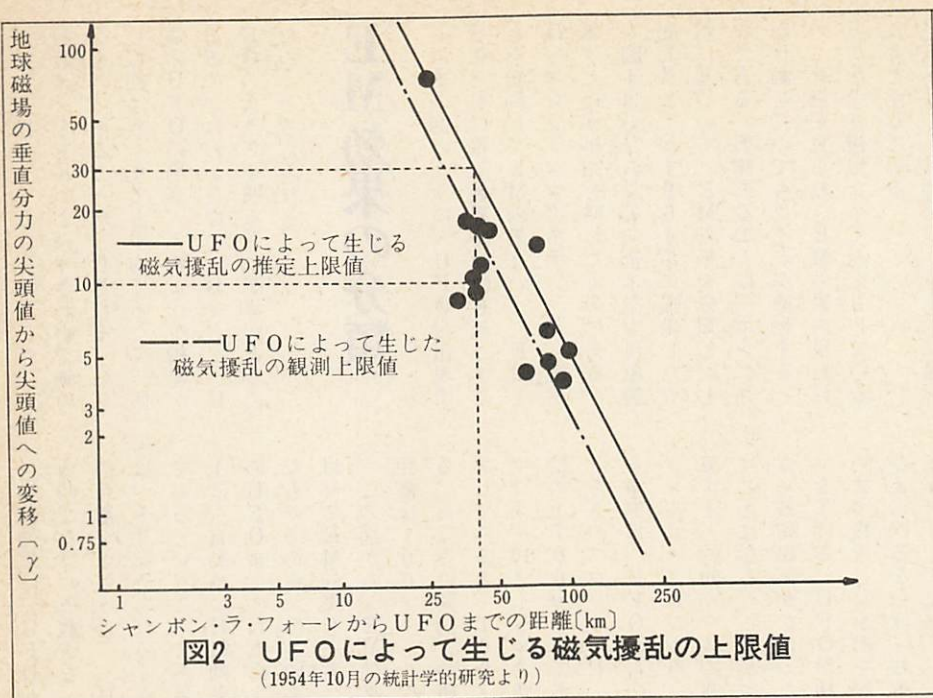
しかしながらAPPRO II空中現象調査機構を主宰するロレンセン夫妻は、磁気説はまだ捨てられたわけではないと主張する。デイビッド・サンダース博士の見解によれば、急速に変化する磁気脈動は、点火プラグの運動の同時性を中断させるほどの強い二次電流を

発生させるといふ。つまり点火プラグの火花の出るタイミングがずれて、燃料発火のサイクルにうまく合わなくなるのである。

かりに磁気説がグメになったとしても、ともかく弱い磁場の変動が確認されているのだから、それをもとに、UFOがどれくらい強い強度の磁場を発生しているかを確認することはできる。いちばん信頼度の高いデータを得るには、測定精度の高い地磁気観測所の記録を検討するのがよいだろう。

フランス国立宇宙研究本部のクロード・ポエル博士は、これを確認しようとし、オルレアンの北東約30キロメートルにあるシャンボン・ラ・フォーレ磁気観測所の記録を分析し、その周辺で起こったUFO目撃との関連性を確かめてみた。博士は、全部の記録を分析するのはちよつとむずかしいので、UFO活動がきわめて顕著だった1954年10月の記録だけを調査の対象とすることにした。

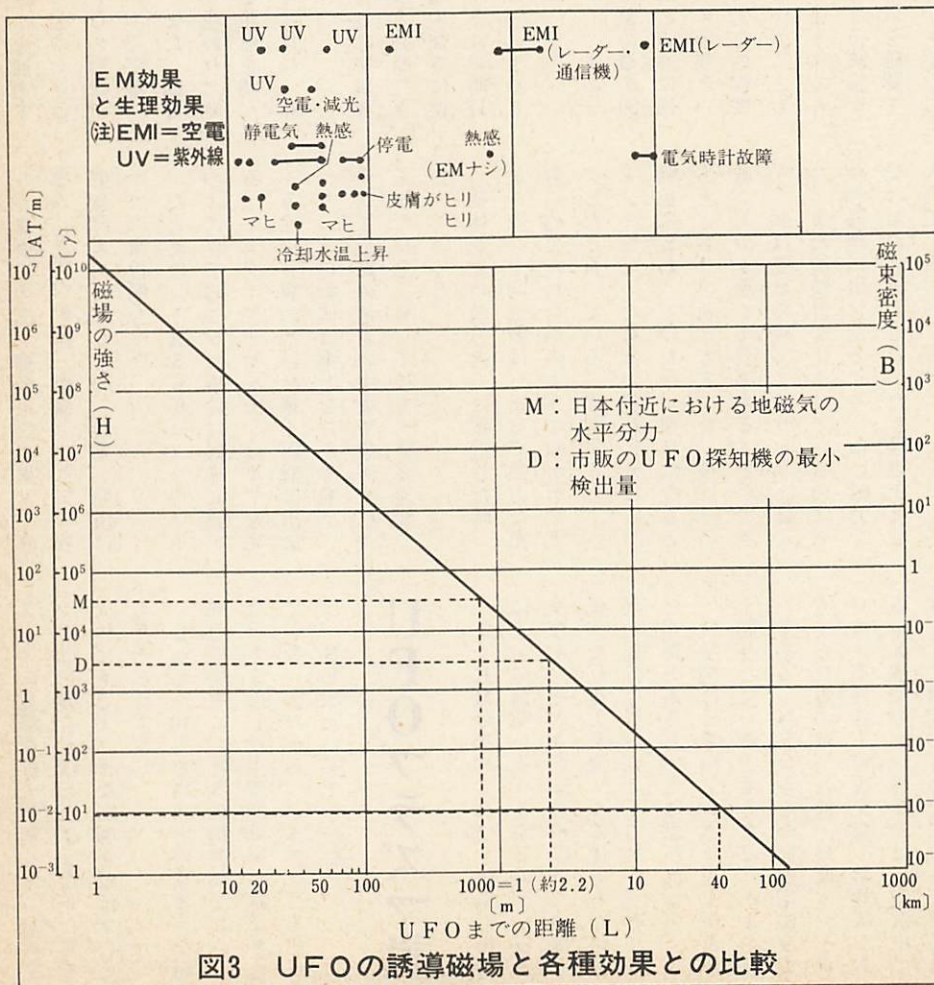
その結果、UFO目撃時の磁気擾乱の上限値は、観測所から40キロメートルの地点で30ガンマ以下、90キロメートルの地点で数ガンマ（いずれも帯域幅は数ヘルツ）ということが認められた（図2）。また、UFO目撃件数の分布状況を、地磁気の擾乱分布と比較



し統計的に処理してみたところ、10月前半の分にはかなり良好な相関関係がみられた。

目撃数が多かった10月1日から18日までの間で得られた「磁気」の垂直分力

擾乱に関する目撃相関係数は0.58で、きわめて高いものであることが判明した。(相関係数とは、2つの現象の関連性を表わすもので、全く関係ない場合0、完全な関係がみられる場合1としてい



合を1としている。) つぎに、磁気擾乱の平均値を、UFOが観測所から40キロメートルの地点にある時を10ガンマと定めて、それをもとに、距離に対する磁場の強さと磁束密度とについてグラフを作ってみた(図3、ただし実際とはちがって、磁場の大きさが変化しない定常磁場と想定している)。

この図から、UFO周辺では、磁場

の強さが10万〜100万（アンペア・回数/メートル）というきわめて強力なものであることが予想される。ただしこれはあくまでも平均であって、個々のUFOの場合、どのような相違があるのかはわからない。おそらく、UFOの大きさや明るさに関係があるのだろうと考えられる。

EM効果の分類

以上の例のように、UFOが出現するとともに電気装置が故障を起こすことを総称してEM効果という。EMとは、エレクトロマグネティック（電磁気）という単語を略したものである。

図4は、NICAP（全米空中現象調査委員会）が1964年に提出した資料に基づいて、EM効果を分類したものである。興味あることに、エンジンが作動していてもライトが減光するといった例が見られ、EM効果の現われ方がかなり複雑なしくみをもっていることを示している。

図5は、EM効果のうちとくに電子機器が電波的な妨害を受けたもの（空電効果）を分類したもので、ラジオの中波、テレビの超短波、レーダーのマイクロ波と、きわめて広い帯域にまたがっていることがわかる。

EM効果は、UFOが近くを通過する時でなければ起きない。どのくらいの距離かというと、“UFOの形状がはっきり認められるくらいの近距離”であるということである。また、図3上は、自動車にEM効果が現われた時のUFOまでの目測による距離を調べたものである（黒丸印のそばには、車以外のEM効果を記す）。

この図から、EM効果を起こす限界距離は100メートル程度と判断できる。ちなみに同図下の磁場の強さに換算してみると、100メートルの時17ガウス、10メートルの時はその100倍の1700ガウスである。

さきのプロジェクト・コロラドによる事例は、UFOからの目撃距離が50メートルとされており、同じように換算すると約50ガウスの強度の磁場ということになる。したがって、この程度なら残留磁気がなかったということもいまでも接近した事例を調査する機会が与えられるならば、残留磁気を確認できるかもしれない。

様々な生理的作用

そのほかEM効果のような物理的作用だけではなく、生理的作用、すなわ

ち、皮膚の火傷、神経系統の異常（麻痺）、角膜の炎症、頭痛、吐き気、放射線障害のようなもの（脱毛、発疹ほか）の報告例も多い。

たとえば、1956年にノルウェーのオスロで起こった事件は興味に値する。トリグリーブ・ヤンセンは車で帰宅する途中、翼のついた輝く円盤に出会った。その物体は車とならんで飛び、やがて道路の前方の中央で急停止し、ふたたび急上昇して後方へと高速度で去っていった。

物体が車の前方近くに接近した時、ヤンセンと同乗者は、まるで強力な光線に当てられたかのように顔がチクチクしたと言っている。帰宅すると、ベージュ色だった車体の色がヒカヒカの緑色に変わっていたが、翌日になるともどおりの色にもどった。彼はその後、気分が悪くて食事することができず、顔は翌日の晩までヒリヒリと痛んだ。また腕時計が止まっているのに気づき修理に出したところ、強い磁力を受けたため故障したのだと修理工に言われている。

以上のような生理的症狀は磁気と関係があるのだろうか。現在、磁気バンドや磁気ネックレスが医療用に使われて、神経痛やリウマチによく効くと宣伝されている。また、APPROのサン

タースの見解を拡大解釈して、点火プラグに影響を及ぼしたようなかたちで人体にもさまざまな影響を及ぼすことも考えられよう。

しかし、10万ガウスというような超強力磁場中における動物実験でさえもはっきりとした生理的效果が確認されていないのだから、いまのところそれは、SF次元の話でしかない。

UFOプラズマ説

よくEM効果のすべてを磁気の影響によって説明しようとする人がいるようだが、その人の頭の中には、磁場を使った反重力装置”なる途方もない仮説が先行しているようであり、それほど説得力あるものとは思われない。

科学的には電磁気エネルギーが大きく関与していると考えたほうがよさそうである。UFOからの放射電磁波で考えられるのは、長波・短波・マイクロ波・赤外線・可視光線・紫外線がある（X線やガンマ線などは、空気中ではすぐに減衰するので、たとえUFOが放射していてもほとんど問題にならないと思われる）。

前述のような生理的效果の大部分はこのうちのマイクロ波で説明することができ。マイクロ波を生体に照射す

図4 EM効果の分類

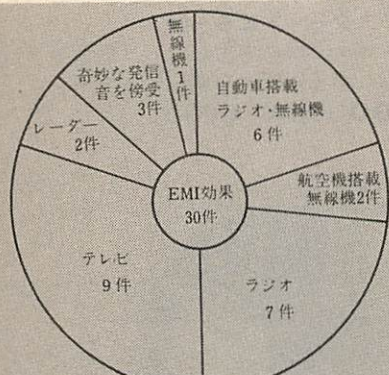
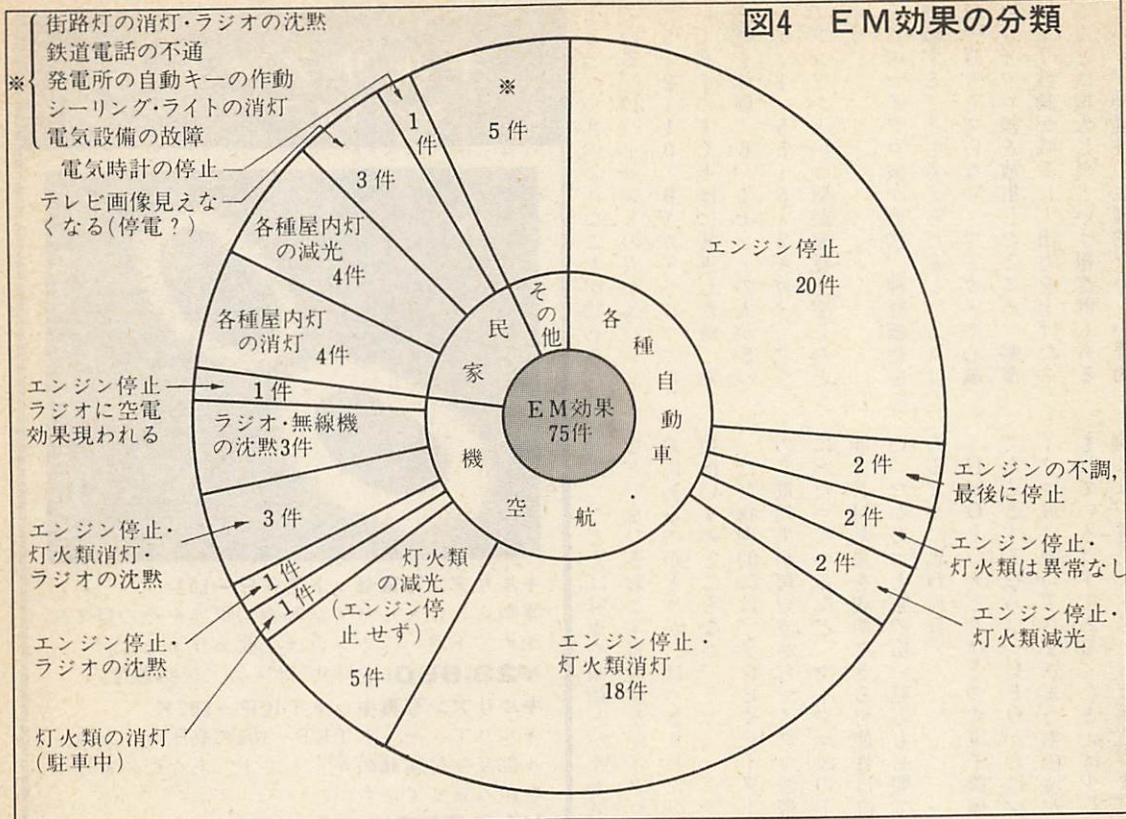


図5 EMI効果の分類

ると、電子レンジと同じ原理で、体内に熱が生じ熱さを感じる。これが眼のように血の流れがあまりない部位に長期間にわたって照射されると、白内障のような病気を生じることが実験的に確認されている。

また、マイクロ波の波長が短いと、熱を生じる部位は皮膚に集中するが、波長が長くなるにつれて熱感覚は、次第に深いところにある皮下脂肪や深部組織へと移行する。もし、マイクロ波のエネルギーが非常に高いと、血流による熱の伝導が間に合わなくなり、火傷を負うこともある。

レーダーのマイクロ波を直接被曝した人を調査した報告があるが、それに

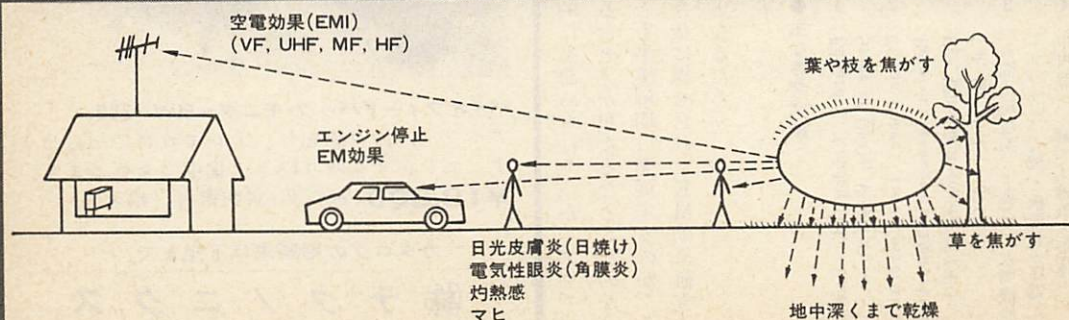
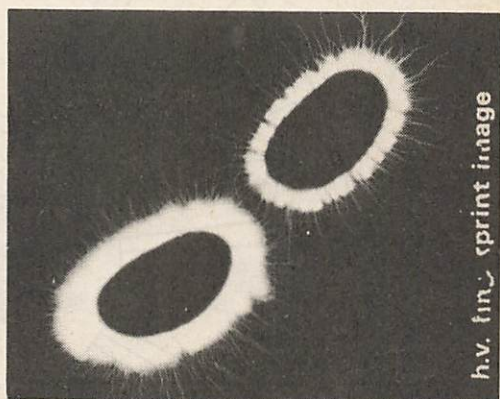


図6 UFOによる各種影響

キルリアン写真 & バイオフィードバック



h.v. fn. print image

キルリアン写真セットTKP-101

素晴らしいキルリアン写真の世界をその目で確かめて下さい。カメラは必要ありません。

¥28,650(送料共)付属品、説明書付。

キルリアン写真キットTKP-102K

キルリアンセットTKP-101の高圧コントロール部及び付属品のキットです。あなたのセットを組み立てて下さい。

¥12,200(送料共)説明書付。

ESPテスター TES-03

エレクトロニクスを応用したESPテスターです。あなたの予知能力を測定できます。

¥3,500(送料共)説明書付。



バイオフィードバック・モニターBW-300

アルファ波を感知し、トレモロ音で知らせます。ストレスを取り除き、集中力を養えます。

¥18,500(送料共)説明書付。(輸入品)

カタログの御請求は下記まで

(株) テクノニクス

〒326 足利市鹿島町1156 ☎0284(62)8073

よると、つぎのようなことが認められている。17パーセントの人がXバンド(5・2〜10・9ギガ・ヘルツ)のレーダーのすぐそばに接近した時、熱感覚を体験。6パーセントの人がSバンド(1・55〜5・2ギガ・ヘルツ)でアンブという脈動感覚を感じたという。

このマイクロ波が直接、神経細胞を刺激することも考えられるが、これははっきりしていない。ウミガメの心臓にマイクロ波を放射したところ、刺激により鼓動が減少し、出力を上げたらこんどは増大したという報告例もあるという。神経性の生理的ないし心理的

効果(たとえば麻痺や頭痛とか吐き気など)をひきおこす可能性がマイクロ波にあるのかどうか、はつきりした証拠はいまのところない。

ただ物理的には、テレビやレーダーの空電効果が超短波からマイクロ波帯にわたっているなど、マイクロ波の干渉でEM効果を説明できる可能性は高い。だがもっと幅の広い見方にも必要であるように思われる。

UFOといえどもひとつの電子機械であるとするならば、UFOからはマイクロ波に限らずさまざまな電磁波がもれているはずである。たとえば少し前には、電子レンジからは極超短波が

カラーテレビからは放射線がもれていることが話題になったことがある。

UFOからの放射電磁波はまた、電気溶接機からのアーク放電にたえることもできる。防光面なしで電気溶接を行なった場合には、顔一面に紅斑が生じ、目が充血して痛みを感じる。これはUFO目撃時に起きる症状と全く一致している。もちろん、紫外線(UV)が原因である。

まばゆく輝くアーク放電は、じつは電離した気体であり、これを一般化して「プラズマ」と呼んでいる。このプラズマは、あらゆる種類の電磁波、とくに高周波数のものを出すことが理論

的にも認められている。プラズマによるたとえが単なるたとえなのか、それとも事実解明に発展するのか、それも今後に課せられたEM効果研究の問題となるだろう。

●主な参考文献

1. Edward U. Condon (ed.): Scientific Study of UFOs. Vision Press (1968).
2. Claude Poirer: "Time Correlations Between Geomagnetic Disturbances and Eye Witness Accounts of UFOs". FSR, Vol. 20, No. 1, (1974).
3. 「人間—環境系(上巻)」 人間機能データ「ブック」、人間と技術社(1972).
4. 中川恭一(編): 「磁気と生体」、日刊工業新聞社(1973).

宇宙考古学遺跡めぐりの旅(第3回)

インカ古代文明と
ケープケネディ宇宙基地の旅

ユニバーズ出版社では、1977年
以来、毎年「宇宙考古学遺跡めぐりの
旅」を企画してきました。

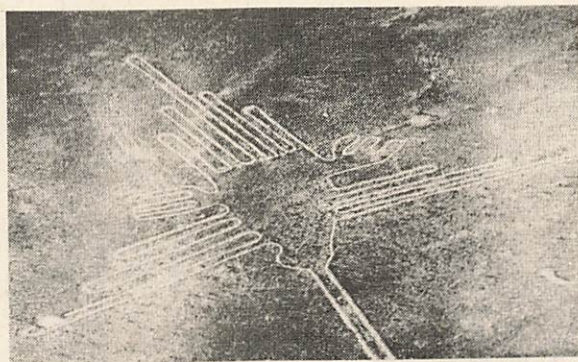
第一回「中米(77年夏) および第二
回「ヨーロッパ・エジプト(78年夏)
では、いずれも本誌愛読者をはじめと
する多数の参加者が、古代の遺跡や歴
史を深く刻んだヨーロッパ各地の街々
を訪れ、なにもにもかえがたい貴重
な感動を体験することができました。

第三回は「古代文明遺跡と宇宙開発
の旅」と題し、メキシコ、ペルー、フ
ロリダと南北両アメリカ大陸を文字通
りまたにかける超大型ツアーです。

このツアーのクライマックスは、有
名なナスカの地上絵をチャーター機で
空中から見物する日程9日目、および
マイアミのケープケネディ宇宙基地を
視察する日程11日目でしょう。

なお、今回のツアーには本誌編集部
次長「生き字引」の中村省三が解説役
として同行する予定です。

「宇宙考古学遺跡めぐりの旅」も第三
回、そこで今回は、これまで以上に充
実した超大型企画をお届けします。あ
のバミューダ三角海域へのスリリン
グな挑戦、ナスカの地上に残る謎のメ
セージの空からの観察、加えてマヤ、
アステカ、インカなどの古代遺跡め
ぐり、ハイライトは「ケープケネディ基
地」訪問、数々の宇宙開発の足跡と月
への偉大な第一歩! あの感動をふた



たび味わってください。14日間、延々3
万8000キロにおよぶ、まさに私た
ちの常識をゆさぶる謎と驚異の大デ
リゲーション。こうしためくるめく体験
が待つ今回のツアーにご一緒しません
か。あなたの参加を心からお待ちして
います。

同行者 中村省三
(「UFOと宇宙」編集部次長)

■ツアーの概要■

日程 昭和54年8月8日～8月21日

参加費用 78万4000円(分割払い

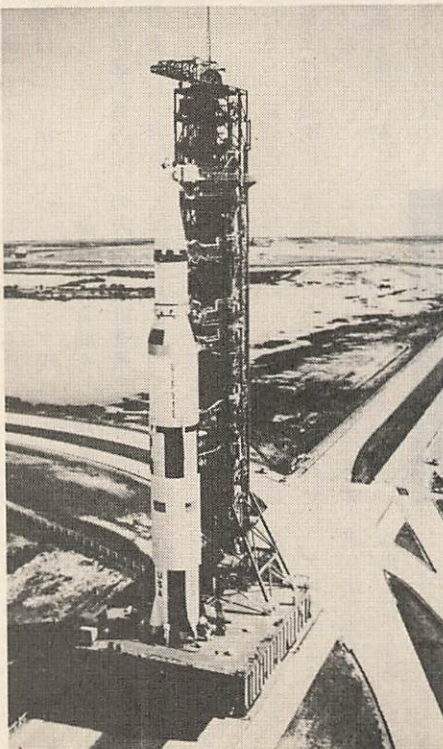
(14日間)

可) 航空運賃、空港ホテルの
専用バス代、全行程食事(自由
行動日は朝食のみ)、ホテル代2
人1部屋、税金およびチップ等
を含む。

募集人員 30名(最低催行人員25名)

訪問地

メキシコ市(テオティワカン)、
メリダ(チチェン・イツァ)、
ピリヤエルモサ(パレンケ)、
クスコ(マチュピチュ)、リマ
(ナスカの地上絵)、マイアミ
(ケープケネディ基地)、バミ



上は空から見たナスカの地上絵、下はケネディ宇
宙センターに立つアポロ14号

主催 ユーグ沖(希望者のみ)

共催 ユニバーズ出版社

協賛 国際アカデミックセンター

府観光局 日本航空、NASA、ペルー政

取扱い旅行会社 近畿日本ツーリスト

申込み締切り 第一次 6月8日、第

二次 7月8日(ただし、満員

になり次第、締切ります)

お問い合わせ ユニバーズ出版社営業

部(電話03-832-1134)

または国際アカデミックセンタ

ー(電話03-466-4990)

イギリス

ドライブ中に
接近遭遇

イギリス・エセックスに住む
ジョン・デイ氏(33歳)は、夫婦
で霧の中をドライブ中、別の惑
星から来た生物と遭遇した。

事件は、妻の両親を訪ねての
帰り道に起きた。深い霧につ
まれてのドライブであったが満
月であり30分とはかるまいと
思った。が、帰って居間の時計
をみると既に3時間もたつてい
ることを知った。

その夜、デイ氏は手術台に寝
かされ検査を受けている夢をみ
た。検査をしているのは異星人
だった。妻もまた同様の夢を見
ていた。謎の3時間と恐しく鮮
明な夢。

UFO研究グループにコンタ
クトをとったデイ氏は催眠治療



の専門家、レナード・ワイルダ
ー氏を紹介された。以下はワイ
ルダ博士が採録したデイ氏の
記憶である。

「車は後方から白い光に追われ
ていた。光が迫り、前方にまわ
りこんだかとおもうと、車はす
いこまれ近くの野原に着陸して
いた宇宙船へ移送させられた。
気がつくと私たちはだだっぴ
ろい部屋にいたのです。そばに
は人間らしいものが3人。彼ら
は身長7フィート、シルバーク
レイのストッキングのような衣
服ですっぽり身をつつんでいま
した。なんとも驚かされたのは
マスクの下にのぞく眼で、鮮や
かなピンク色、しかもまぶたが
ないので。

彼らは声を出さず、私に歩
くよう命じました。おそらくテ
レバシーを用いたのでしょう。

別の部屋で私は手術台のよう
なテーブルに寝かされました。

私は、金属製の腕のようなもの
で全身をくまなく検査されまし
た。次に醜い小人が現われ、1
人がペンの形をした器具で身体
のあちこちをつつきました。

やがて検査が終わったのか、

自由にされ宇宙船の中を歩くこ
とを許されました。ある部屋の
テーブルに、全面が磁石になっ
た立方体を使って、大きな立方
体を作るゲームのようなものが
ありました。船内を見終わつた
あと私は一人にされました。す
りと信じがたいほどの美しい金
髪の女性が入ってきました。地
球人そっくりです。彼女の周囲
には霧がたちこめています。彼
女が近づいてくるので私も一歩
踏み出すと、彼女はバツと消え
てしまいました。

気がつくと、私は深い霧の中
をドライブしていました。家に
ついたら3時間もたつていたとい
うわけです」

妻のスー(29)はさらに詳細に
記憶していた。彼女は催眠術に
よらず記憶を語った。

「彼らは、手術台に寝ている私
に赤紫色の液体をぬりたくりま
した。それからペン状の器具で
私の全身をつつきました。

私は叫び声をあげました。す
ると背の高いほうの1人が私の
額に手をあてました。途端に私
は気を失ってしまいました」

彼女は、その後宇宙船内を案

内されスクリーンの前に立たさ
れた。スクリーンには地球が映
っていた。彼らは映像をズーム
インし、イギリスや、夫妻の家
を見せてくれたという。

次に記憶しているのは、やは
りもとの車の中、夫の側に座っ
ていたという。

催眠治療を施したワイルダ
ー博士は、デイ氏が真実を語っ
ていると保証している。

UFO研究者ネットワークの
バリー・キング氏は、

「徹底的な質問をした結果、こ
の夫妻が接近遭遇を体験したこ
とは確かだと思っています。

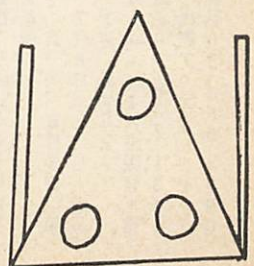
宇宙船の部屋のようなすなど、
いくつかの点で他の誘拐事件と
の類似がみられます。彼らの証
言が真実だということを疑わせ
るものは何もありません」と語
っている。

アメリカ・フロリダ州

三角形の巨大な

UFO

フロリダ州オナの町を走る州
道64号線の北2000ヤードの地
点で、巨大なUFOが目撃され
た。目撃者はジョー・ゲレロ氏



(40歳)。1月2日の午前1時30
分。奇しくもニュージブラル
ンドでのUFO実写フィルムが放映
された日の深夜であった。

UFOはジャンボ・ジェット
機顔負けの巨大な三角形で、電
柱ほどもあるアンテナが2本つ
いていた。

「爆音を聞いて、てっきりジェ
ットかヘリコプターだと思つて
見上げたら、これまで一度もみ
たことのないやつでした」

ゲレロ氏は彼のトラックから
飛び出し誰かに知らせようと走
り出した。するとUFOは垂直
に上昇をはじめ消えさった。

「じつに速かったなあ」

UFOは底部に3つの巨大な
穴をもち、赤い光を点滅させて
いたという。この光だけは、知
らせを聞いた彼の妻も見届けて
いる。

この事件の調査にあたつたゴ

ードン・スチーブンス警部は、さらに詳しい調査のため、ワシントンのFBI本部にデータを送ったと語った。

アメリカ・ミシシッピ州

“UFO調査”動議 州議会に

ミシシッピ州フローラの警察署長ハーバード・ロバーツ氏と、2つのUFO研究団体の代表者は、1月25日ミシシッピ州議会の規約小委員会に対し一、米政府はUFO研究に取り組むこと

一、米政府は一般大衆にUFO情報を公開すること

以上の2点を政府に熱心に働きかけてほしいと請願した。

ロバーツ署長らが請願に至った動機は、州内でUFO目撃が相次ぎ、社会的関心をよび起こしているためとみられる。

署長は小委員会では彼の2度わたるUFO目撃体験を説明した。

1974年、グリーンビルから来たという男が警察に駆け込んできた。事情を聞くと、今しがた「明るく輝く物体」が、彼

の車の上をかすめ飛び、とたんにエンジンが動かなくなってしまうという。現場にかけつけた署長は、上空約3000ヤードに「まぶしく輝く光」が浮かんでいるのを目撃した。

また1977年にも、パトリック中の警官から通報を受け、フローラの北方に怪物体が飛んでいるのを目撃。物体は1974年に見たのと同様に、明るい光で、あたり一帯を照らし出していた。この時は、多くの住民が目撃。狭い田舎道は200台近い車でごったがえしていた。

この事件の報告書を提出してのち、政府の情報機関はスタッフを派遣しいろいろと聞きまわっていた。

CAUS (UFOの秘密に反対する市民の会・本部ワシントン)の代表トッド・ゼッケル氏は、過去に州が政府に情報の公開を迫った例はなく、大変に勇気のいることだと語り、

「一般大衆はUFOに多大の関心を寄せています。天使を信じる人よりも、UFOを信じる人の方がはるかに多いのです」と語った。

UFO研究センターの調査官アラン・ヘンドリー氏は、

「年間1000件〜2000件ある目撃報告のうち、9割は説明のつく現象だが、残りの真面目に研究すべきUFO報告を、政府・マスコミは真剣にとりあつかっていない」

政府は科学者たちにUFO調査に取り組ませるか、民間の研究団体に資金援助を行なうべきだ、と述べている。

ロバーツ署長らの請願を受けたある州議員は、

「政府の秘密に干渉しようという運動に多大の関心を寄せている」旨を表明した。

小委員会のバックリ議員はじめハインズ郡選出議員たちはカーター大統領に対し「UFOの完全な調査」を要求する州議会決議を採択する動議を提出している。

日本・奈良

地上10mにUFO 飛行停止

1979年3月17日、奈良市西登美ヶ丘に住む藤田素丘君(大阪・夕陽ヶ丘中学2年)は、

帰宅途中、きわめて近い距離でUFOを目撃した。

目撃者は、素丘君とその兄妹の3名。午後6時45分頃、自宅へ帰ろうと歩いていたところ、前方上空にキラキラ光る飛行物体を発見。素丘君の報告によれば、物体は緑・青・オレンジの光をキラキラと放ちながら地上10mの高さに浮かんでいた。動き方は波に浮かぶクラゲのよう、ゆらゆらと約10秒間静止したあと、急速にスピードをあげ中登美ヶ丘団地の方向に飛び去ったという。

日本・茨城

UFO、飛行機と 接触事故か?

1979年3月26日の昼下がりに、茨城県古河市に住む主婦ら3人がUFOと飛行機の接触事故を目撃。

同市下山町に住む主婦小川徳恵さん(33歳)は、友人の岩田京

子さん(24歳)らと自宅でテレビを見ながらお茶を飲んでいた。

午後1時50分ごろ、小川さんの子供が飛行機の爆音を聞きつけ、見たいとせがんだので外へ連れ出し空を見あげたところ、西上空から飛来する飛行機により、そうように飛ぶ「カサのようなおかしな形をした物体」を見つけた。小川さんらはすぐUFOだと直感したが、はじめてのことで気が動転。はしやぐ子供らを前に大人3人は金しぼりにあったようで、互いに声も出なかったという。

小川さんによれば、UFOは飛行機と並行しながら飛び、やがて重なりあうのが見えた。そのときピピピという音が聞こえた。UFOは接触事故のためか、急角度で反転し北西の方向に飛び去った。この間約1分。

「UFOは、カサを広げたような形で、上は白く光り、下の方は黒く見えました。その時は夢中で見ていましたが、姿が見えなくなつてから、あれがUFOかと思つて心臓がドキドキ。とても信じられません」と、UFO目撃の初体験を語った。

現代の謎を集大成 『不思議世界百科'79』

発売!

ユニバース出版社では5月12日、本誌の増刊第一号として、『不思議世界百科'79』(副題ミステリー・エンサイクロペディア)を発売した。

この中には、妖精、第10番惑星にはじまり、宇宙エネルギー、錬金術、リインカーネーション(生まれ変わり)、ブラックホ

ールなど、現代科学をもつてもなお理解を超えた21の事象が新鋭の執筆陣によって明快に解説され、また200点にのぼる写真・図版が見る楽しさを倍加している。加えて、難解な用語には親切な解説をつけており、これ1冊を手元におけば、現代のミステリーは読者の手中におさめられたも同然といえよう。定価580円。

なお、増刊第二弾『アメリカ

発行所
UFO時評社

〒110 東京都台東区上野5-1-6 ユニバース内
電話 03(832)1341~44



不思議世界百科'79 MYSTERY ENCYCLOPEDIA

妖精
10番惑星
宇宙エネルギー
ネットシー

バミューダ・トライアングル



ユニバース出版

不思議世界百科'79 ミステリー・エンサイクロペディア

580円

岐阜グランドホテル で「UFO展」

去る3月27日から5日間、岐阜市長良川畔の「岐阜グランドホテル」2階でUFO展が開催された。

同展は中日新聞、東海テレビの後援、「日本UFO研究会」(平田留三会長)他の協力によって開かれたもので、UFO基地のパノラマセット、スタンプロボット、「フワフワUFO」などが子供たちの人気を呼んでいた。

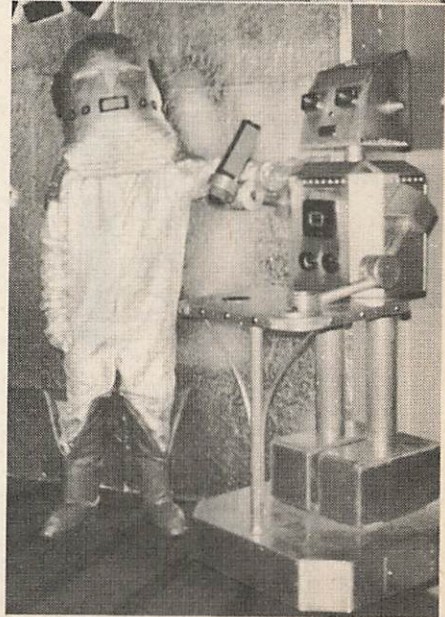


各種研究サークルだより

近代宇宙旅行協会

会長・高梨純一
会誌『空飛ぶ円盤研究』82号
発行中。

主な内容は「米マサチューセツ州ドーバーで奇妙なヒューマノイドの目撃」「米国で又々奇怪な第三種接近遭遇」「ソ連におけるUFO問題」他。



▲「UFO展」会場。上は子供たちに人気のフワフワUFO。下はスタンプロボット(右)と宇宙人。

重力研究所

所長・清家新一
『朝日グラフ』の2月2日号に当研究所が紹介されました。

円形増幅器(トランジスタ・コイル)の動作をいろいろな面からチェック中。一方、各相のコイル3万回巻で、出力10ワットの円形発振器も、目下試作中です。



宇宙艇



機関誌『宇宙艇』45号、『逆重力機関の組立方』(千共700円)『超相対性理論』(5訂版)発
行中。

＜千798 愛媛県宇和島局私書箱33号＞
九州UFOクラブ

江崎洋子

最近、ここ福岡周辺ではUFOの話でもちきりです。目撃者が増えたためかもしれません。関心の高まりが感じられます。私たちはこのたび、大山潔氏を会長に迎え、同志多数とUFOクラブを創ることにいたしました。東京方面に知人が多いため、他のUFOクラブと連絡をとりあうなど、意義ある活動ができるのではないかと皆はりきっております。

福岡市周辺の方、また月1回ぐらい集まれる方でUFO関係や宇宙の周期、人類の起源と未来について等に興味のある方は



会長さん

左記に連絡して下さい。

＜千841 佐賀県鳥栖市藤木町2196-1 江崎洋子 〆09428(3) 2710(夜9時まで)＞

ユーホロジストクラブ

代表・平野泰敏

コンタクトストーリー情報紙『月刊ユーホロジスト』38号ができあがりました。今回から、1954年にダナ・ハワード女史によって書かれた神秘の体験記「金星訪問記」を連載いたします。講読希望者は、定形封筒12枚(1年分)の各々に50円切手をはり、自分の住所氏名を宛名書きしたものを、まとめてお送り下さい。会費、講読料は無しです。

料です。

＜千431-33 静岡県天竜市南鹿島58-18＞
高知県UFO研究会

会長・松岡正憲

ついに出来たぞね『UFOかわら版』！ おまん見たかよ。まっことえいきに読んでみとおせ。と言っております。

高知県のUFO目撃情報、ふしぎ物語(特集)、ものしりコーナー、イラストコーナー、声、詩の欄等を企画しています。創刊号には都合により「特集」を掲載しておりませんが、2号には掲載しますのでお楽しみに。投稿大歓迎。全国の研究家の

皆様、『UFOかわら版』が欲しいと思う方は、左記にお申し込み下さい。

なお、送料として50円切手を1枚同封のこと。

＜千780 高知県高知市昭和町23-18 松岡正憲＞

北海道アダムスキー会

代表・大友正美

ジョージ・アダムスキーの著書を読み、その内容と教えに共鳴し、日常生活の中で実践に努力しておられる、同じ北海道に住みながら、なかなか会って話しあう機会のもてない者同志の誌上による意見交流を目的とした「北海道アダムスキー会」を

発足します。

特に地方にお住いの方、宇宙的な真面目なご意見をどんどんお寄せ下さい。会員の意見等を編集し、不定期ながら会誌『宇宙友愛』を発行致します。

老若男女を問わず、どなたでも入会できますが、アダムスキーを支持される方に限ります。原稿受付をもつて入会申し込みと致します。原稿のあて先は

＜千065 札幌市東区東苗穂698-41＞
福澤諸のアストロ・ジョッキーからひと言

6月は「キャッチングUFO」の大特集です。あなたが体験したUFO目撃情報をお寄せ下さい。あて先は千870-91 大分市今津留3-1-1 大分放送「福澤諸のアストロ・J」係

「UFO時評」では、各種研究サークル、研究家の方々からのお便りを募集しています。UFO手印人情報のほか、会員募集、催し物のお知らせ、近況報告、活動予定等、内容は自由。できれば代表者の顔写真、サークル活動の写真、機関誌を添えてお送り下さい。あて先は「UFOと宇宙」編集部UFO時評係。採用分には掲載誌進呈。

編集部



美しい天のカリフォルニア

著名なアメリカの宇宙哲学者G・H・
ウィリアムスン博士の著書『宇宙交信
機は語る』のなかに、つぎのような一
節がある。

「星々の破壊をめぐらんで、多くの悪
なる宇宙人がサラス（地球）の悪人ど
もとひそかな連絡を企てている。善き
地球人は、したがって善き宇宙人と団

結しなければならぬ」

また、こうも言っている。

「オリオン星座には宇宙の支配をたく
らむ者が多数いる。われわれ（宇宙人）
が来たのはそのことを警告するためで
もある。オリオン惑星系はあなたがた
の太陽系とよく似ている。善と悪の法

則は普遍的なものなのだ。間もなくオ
リオン人は四角な天体に乗って地球に
侵入してくるだろう」

天然の星組立て工場

大オリオン星域

の謎

●科学解説家
斎藤守弘

天文学最前線

冬の夜空にひとときわ目立つオリオンの三
星。ギリシア神話に登場する巨人の姿をかた
どるこの星座には、有名なオリオン大星雲の
ほか、さまざまな形の暗黒星雲や散光星雲が
群がっている。つい最近、この星域で若い星
がぞくぞく誕生していることがわかった。膨
大な星間塵の集まりからどのようなメカニズ
ムで星団が形成されるのか、天文学最大の謎
のひとつに挑んでみよう。

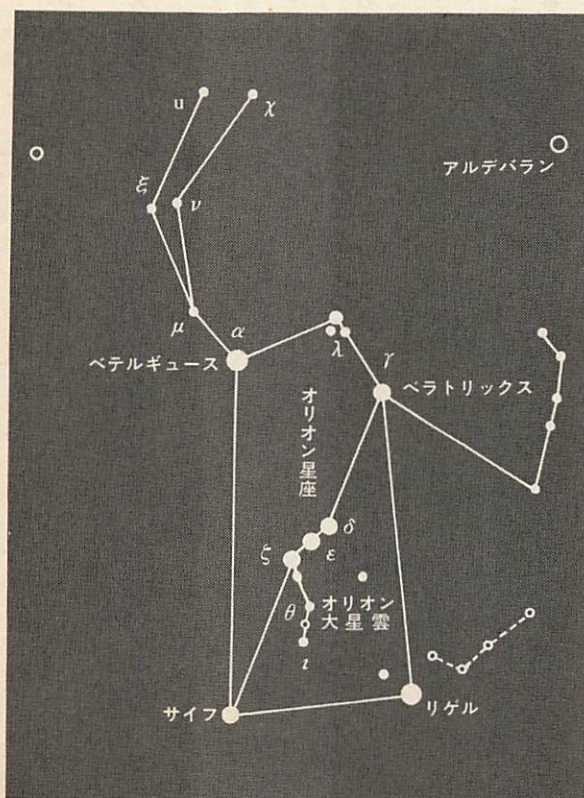


図1 オリオン星座。中心に三つ星のある美しい長方形をしている。

はたしてウィリアムスン博士のこの
予言、どこまでの中するか。『四角な
天体』とは一体どんな乗り物なのか、
そういうことを論ずるのが本論の目的
ではない。ウィリアムスン博士がなぜ
オリオン星座を宇宙的な悪の巣と見る
のか、その見方が面白い。
なるほど天体写真集をめくればすぐ
わかるように、オリオン星座にはさまざ
まな形の暗黒星雲や散光星雲が群が
っている。

The Riddle of the Greater Orion Association



いかにも悪の巢窟といった印象をあたえる馬の首星雲。この暗黒星雲は、オリオンの三つ星の ζ (ゼータ)星の南にある。

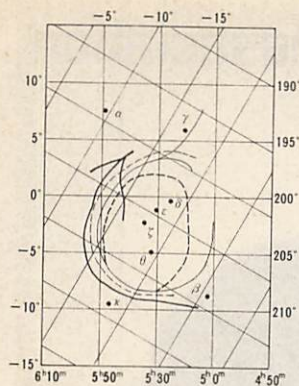


図2 ギリシア神話の美しい巨大な獵人オリオン。

なかでも「馬の首」とよばれる暗黒星雲はよく天文書などに引用されているし、その形がいかに不気味であり、感覚的にあまり良い印象をうけないかもしれない。そんなところに宇宙的な悪の巢とされるいわれがあるのだろうか。

しかしながら、ふつう、目で見ると、中天にかかるオリオン星座はその中心に三つ星のある美しい長方形にならないで、悪の雰囲気などみじんもない。むしろ「天のカリフォルニア」と呼ばれるくらい、ひときわ眺めの素晴らしい星域であり、望遠鏡でなくオペラグラスで覗いてすら充分、その美しさをタンノウでできる。

全天第一のこの美しい場所こそ、ほかならぬ星のぞくぞく誕生する宇宙的な大量生産の場、つまり、そこから星の電波望遠鏡でとらえたオリオン・アソシエーション、バーナード・ループに沿って外側から水素ガス、電離ガス、星間塵にとり巻かれている。



の形成される濃密な星間塵の群がる場所とわかったのはつい近年になったことだ。

ギリシア神話では、この美しい長方形三つ星の形を、巨人の狼師オリオンの姿と考えた。右手に棍棒を振り上げ、左手に獅子の皮の盾をかまえ、敵に向かって跳躍する一瞬。そういう精悍なポーズをそこに見てとったのだ。

なぜか、ギリシア以前の民族間でも見方は同じであり、巨人、戦士、武装せる王または聖者の姿を想像し、そこから勇士、征服あるいは勝利の象徴として崇めていた。これは、その昔、オリオン星座を冥府の支配者オシリス神と見なした古代エジプトの信仰のなごりをとどめているのだろうか。

夜間照明になれた現代人と違い、古代人の夜目は鋭かった。その冴えた夜間の視力で眺めると、オリオン星座はその背後に立ちはだかる巨大な暗黒星雲の輪郭といっしょになり、まさしく巨人オリオンの跳躍の姿に見えとれた。そもそも星座の形というものは最初そのようにして決定されたのかもしれない。夜空にバラバラに位置する星、それらを互いに結びつけて大熊座、水瓶座、ペルセウス座というように、現在ではとうてい連想できない形に形象化したのは、現代人と古代人のその視

力の差に原因があるらしい。古代人はただ単に個々の星のつながりだけでなく、その背後の星野の濃淡、その陰影まで合わせて鋭く見ていたのだろう。

地球から1500光年のかた、ほぼオリオン星座の全域にまたがる背後に、巨大な暗黒の分子雲があり、オリオンの星々もろとも、太陽と相対的に秒速22キロメートルで大回転運動をしているのが、電波天文学の観測からわ

星が描く巨人オリオンの姿

さて、ギリシア神話にしたがうと、オリオン星座の各星の位置は次のようになる。2等星の α 、 β 、 γ は巨人オリオンのいわゆる帯、 α は右肩、 γ は左肩、 β は左足、 λ は頭、 θ 、 ι は剣、 κ 、 μ は腕と棍棒を表わしている。

これらオリオン星座を構成するおよそ20の星のうち、肉眼で見た明るさでずばぬけているのは右下隅の β 星、別名リゲルと呼ばれる星だ。これはアラビア語の「脚」つまり「巨人の左足」の意味で、地球から650光年のかたにある。

ついでながら比較のため他の星の距離をあげると、 α 星は270光年、 γ 星は250光年、 δ 星は820光年、 ϵ 星は900光年、 ζ 星は1140光

かっていた。

天体写真集などでおなじみの、蝶の羽を広げたような形の、あのオリオン大星雲でさえ、じつは、背後のこの暗黒分子雲のもっとも濃密な個所の一部にすぎなかった。ちなみに南洋の人々はその鋭い視力で蝶形の星雲に気づいていたのか、オリオン星座を巨人でなく、夜空に羽を広げる巨大な蝶と見なしていた。

年、 ρ 星は400光年、 λ 星は1500光年、 ι 星は1300光年となり、ざっと2500光年から15000光年の空間にまたがり前後上下しながら散らばっている。このバラバラの星を地球の方向から眺めるから遠近がならされて、美しい長方形三つ星の形になるのである。

リゲルが青白く輝いているのはその表面温度のせいだ。1万2300度K（絶対温度）もある。直径は太陽の19倍という超巨星であり、したがって明るさは2万5000倍。スペクトル観測から、この星の外層部は秒速100キロメートルに達する猛速度で今なお膨張を続けていることがわかった。

このリゲルを大きさにおいてさらに

上まわるのが、 α 星のベテルギユースだ。これもアラビア語で「肩」を意味し、直径はなんと太陽の4000倍もの赤色超巨星。表面温度は3200度Kだが、太陽の明るさの3000倍はある。しかし、その光度は2070日の周期で半規則的に変光する。つまり、ゆっくりと膨張収縮をくり返す脈動変光星でもある。

わが国では古く、赤い星のベテルギユースを平家星、それに対して青白く光るリゲルを源氏星と呼んだが、なるほど全体としてオリオン星座を見るといずれも青白い光を放つ高温恒星のなかにあって、赤い光の低温恒星はやや場違い。まわりの星の運動方向とも違



▲オリオンの三つ星から剣の先あたりにかけて巨大な弧を描いて光る謎のガス雲「バーナード・ループ」

度K。これまた高温超巨星である。さて、こうして巨人オリオンの胴体のあらましが出来上がったが、その胴体の真ん中あたりに3つならんで光っているのが「オリオン・ベルト」と呼ばれる三つ星。ちょうど巨人オリオンの腰ベルトの位置にあたり、上からミンタカ（ δ 星）、アルニラム（ ϵ 星）、アルニタク（ ζ 星）といい、いずれも「腰帯」「真珠の帯」「帯」などを意味している。いずれも特徴ある星であり、ミンタカは実視連星で、その光が周期5・73日をもって変動するアルゴル型変光星。

夜空に羽を広げる巨大な蝶

オリオンのベルトの下部に、もうひとつ、縦にならぶ淡い三つ星がある。「オリオンの剣」と呼ばれて、星図に θ 星と ι 星の記されているあたり。この剣の中央の θ 星を囲んで、蝶の羽を広げたような形になっているのが有名なオリオン大星雲だ。

よく晴れた晩なら肉眼でもほんやり認められ、双眼鏡では明るい斑点程度。小口径の望遠鏡を用いれば、はっきりその存在がわかる。これほどの大星雲にもかかわらず西欧世界では長いあいだ気づかれず、ガリレオでさえなんの

アルニラムは太陽の5万倍明るい単独の超巨星。

アルニタクは三重連星で、超巨星の連星を主星とし、そのまわりを正体のまだよくわからぬ伴星がめぐっている。この星のすぐ東にあるのが、馬頭星雲とよばれる有名な暗黒星雲だ。

3つとも表面温度は2万5000度か、それを超える高温超巨星なのだが、オリオン星座に輝く星々のなかでもっとも高温なのは、ちょうど巨人の首のところにあたるメイッサ星のすぐ下の ρ 星だ。その表面温度、じつに3万度近くある。

報告もしていない。したがって最初の発見は1618年、天文学者ジェサトウスだといわれる。

その後、この星雲は1774年の3月4日、ウィリアム・ハーシェルが200回にあまる失敗のち、初めて反射望遠鏡を作り、そのレンズに映じた最初の天体となったし、また1880年9月30日、ヘンリー・ドレーパーが写真撮影に成功したオブジェクトとしても有名である。しかも現在なお天文学の進歩に新鮮な衝撃をあたえつつけ新たに登場した電波天文学、赤外線天

文学、ガンマ線天文学の限らない新発見の場所となっている。

大ききからすると、オリオン星雲は見かけ上、月と同じくらいであり、長時間の露出をあたえれば長方形のオリオン全座にわたって、そのうるんだ微光が広がっていて、いかにこの星雲が大きいかがわかる。肉眼で見えるのは、そのうちのもっとも密度の高い明るい中心部だけなのだ。

天文学的には、オリオン星雲はM42とよばれるガス星雲であり、直径にして約100光年、地球からはるか1500光年かなたに広がっている。全質量は太陽の10倍程度。この星雲の中にたくさん星を埋めこんだ形で含み、とりわけ有名なのは、ちょうど星雲の中心部に位置する4つの星で、不等辺四角形にならび「トラペジウム」として知られる。

さて、問題なのはこのオリオン大星雲が膨張しているか、収縮しているかだ。それによって、オリオン全座の星々——オリオン・アソシエーション誕生の謎はもちろん、ひいては天文学上最大の謎の一つ、星団形成のメカニズムをさぐり出せるのである。

しかし困ったことに、今のところ膨張説と収縮説と両方とも可能なのだ。まず膨張説だが、オリオン星座を解

像力の高い望遠鏡で眺めると、バーナード・ループとよばれる半弧状の謎

の光が認められる。オリオンのベルトにあたる三つ星と剣の先あたりにかけて、ぐるりと囲むように巨大な弧をえがいて光るガス雲であり、この弧にとりかこまれている星域がオリオン・アソシエーション（星集落）である。

電波望遠鏡でこの星域から出る波長21センチの中性水素の電波をとらえると、そのことが一層よくわかる。宇宙空間に漂う星間ガスである中性水素の分布は、まさしくバーナード・ループに沿って、やはり弧状に濃密化している。いちばん外側に目に見えない水素ガス。その内側に光を発する電離ガス。さらに内側に細かい微塵のダスト（星間塵）、そしてこうした殻に閉じ込められた形で多くの星が散らばっている。

背後にある暗黒の大分子雲

しかし、もしこの速度で膨張するとすれば、それから逆算しておよそ300万年前、なにかの大爆発による膨張運動が起こったと想定できる。

そうした大爆発のひとつの傍証として引きあいに出されるのが3つの星、AEアウリケ星とμコロンバ星、53アリステイス星で、これらの星はバーナ

言葉をかえていえば、ループは前後3層構造になって、アソシエーションの星々をおおい包んでいる。

ところで、こうした弧状のガス雲は他の場合、たいてい過去、中心部で起こった超新星のなれの果てであり、その残骸を電波観測でさがし出せるのだが、不思議なことにオリオン星雲にはそうしたなれの果てが見つかっていない。

それにしても、もし外側に向かって膨張しているのなら、そのあたりの中性水素の速度を観測すればよいだろう。結果は秒速10キロメートルの速度とでた。けれどまたしても困ったことに、膨張しているのか、収縮しているのか、電波観測からはその方向性がはっきりしないのだ。いぜんとして、どちらともとれる。

成されたのだろうか。

それなら当然、3星ばかりでなく、オリオン・アソシエーションの星が全体として広がらなくてはならぬのに、そうないないから、ここでもまたつまりてしまふ。

もう一つ、もし爆発によるならガスは外側に向かって押しやられ、そのため中心付近では、最初の密度より低くならなくてはならない。ところがオリオン星雲は逆なのだ。中心部に密度の高い部分がある。

それでも、中心部の高温星の光をうけて星雲全体がイオン化し、発光しているのだとすると、オリオン星雲の年齢として1万4000年〜2万3000年が推定される。むろん、これでは先の推定と2ケタも狂う。だいいちそんな単純なメカニズムで、高速3星の飛び散りを説明することは到底、できない。

こうしてデッドロックにのり上げた膨張説に対して、近年は収縮説をとなえる学者も現われはじめた。

たとえばフロリダ大学のF・ファロン博士らであり、オリオン星雲に重なる140個の星の運動方向を、一つ一つシラミ潰しに調べた。そしてそのうち20個を固有運動の違いから星雲外のものとして除くと、残りの星はどうや

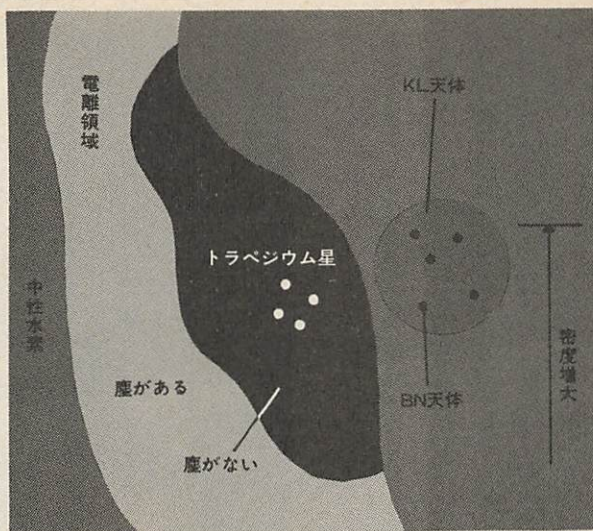
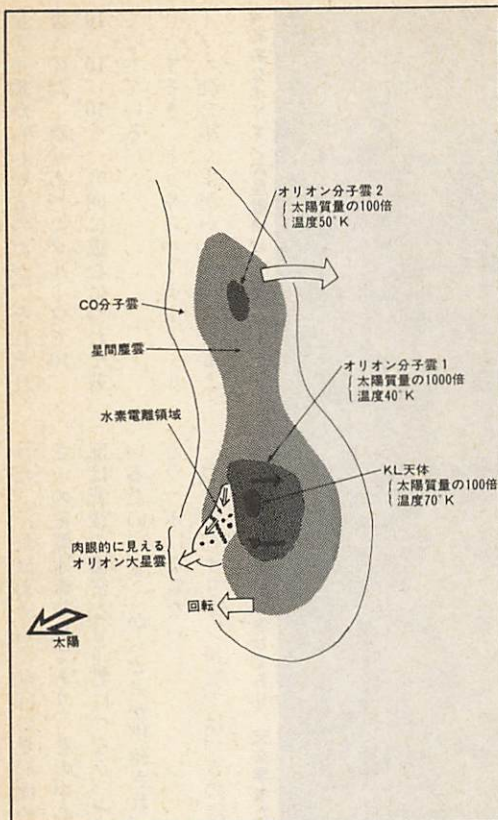


図4(左) オリオン星雲の背後にひろがる超巨大な暗黒分子雲。太陽質量の10万～1000万倍あり、全体にゆっくり回転している。
図5(上) 赤外線観測によって得られたオリオン大星雲のモデル。図4の一部を拡大したもの。

ら星雲そのものといっしよに収縮しているらしいことを発見したのだ。

その収縮速度は中心距離1光年につき、毎年0・3天文単位(地球―太陽間の平均距離)というから、かなりゆっくりである。

しかし、とにかく収縮しているとすると、明らかに膨張する弧のように見えるバーナード・ループはどうなるのか。観測データを無理なく説明しようとすれば、内部からは膨張の力がかかり、外部からは収縮の圧力をうけるといふ、独特のメカニズムを考え出さねばならない。

それは実際、可能なのだ。

先にも触れたように、オリオン星座の目に見えない裏側の構造、そこに秘密が隠されているのである。

図4を見れば一目瞭然だろう。オリオン星雲の背後にある超巨大な暗黒分子雲の全貌を、これではぼうかがえる。オリオン星雲は太陽質量の約10倍だがその背後にひかえる大分子雲の質量は少なく見積もってもなんと10万～1000万倍あり、全体にゆっくり回転しな

がら収縮を続けているらしいということが電波観測から明らかになってきたのだ。

この全体像からすれば、オリオン星雲の星などまったく足らず、いわばオリオン大分子雲という花火にやつと点火した段階で、ようやくパチパチはじけだしたのがこの1000万年ばかりのこと。

つまり、7000万年前に死滅した恐竜にとって、この壮大なオリオンの「花火」はまだ存在しない夢のかなただったのである。

たとえば青白く輝くりゲル星にしても、1秒間に約800億トンの物質を宇宙空間に向かって噴きだしているのであり、その調子でいけばりゲルはたちまち1000万年で燃えつきてしまう。にもかかわらず現在、最盛期にあるところからすれば、りゲルの年齢はまだ1000万年になっていず、おそらく数百万年前に生まれたばかりの赤ん坊なのだろう。人類の最古の祖先がやつと天界でのその美しい誕生を目にしたかもしれない。

光の産声をあげる星の集団

そうした星々の形成は一定した場所ではなく、少しずつ場所がずれて起こっ

ている。オリオン・アソシエーションのなかのいくつかのサブ・グループの

星の年齢からわかるのだが、それぞれ違うのだ。隣りあったグループで 10^6 、 10^5 、 10^4 と一方向に進むにつれて若くなっていく。

とすると、どうやらバーナード・ループの謎を解く手がかりが得られるよ

◀有名なオリオン大星雲M42。その中からはいまも次々と新しい星が誕生しており、天文学者たちに新鮮な衝撃をあたえつつづけている。

うだ。それはおそらく前回の星形成のさいの電離水素領域であり、その中心部は背後の濃密な分子雲につながっているために、そこからガスが供給され、クラッポにならない。

つまり、オリオン星雲ではつぎの段

階の星形成のメカニズムが、すでに働きただいている。2個のサブ・グループの質量は太陽の約 10^3 倍程度。それに対してオリオン・アソシエーション全体では約 10^5 倍であるから、だいたい大星間雲の内部で、全体の質量の約100

分の1を単位として星の形成が行なわれると思えばよい。

つぎのように考えられる。

宇宙空間のある場所に、星々の複雑な引力のからみ合いで低地に水が溜まるようにダスト（星間塵）が漂いより流れきて、しだいに大星間雲にふくれあがる。

そのようにしてふくれあがつたある臨界点で、ちょうど過飽和の水蒸気が水滴を形成するように、星の形成が始まる。その臨界点は理論的に太陽質量の 10^3 と計算される。そのくらの質量のとき、星間雲に重力熱的不安定が起こりだすのだ。

といっても星間雲の占める空間はとてつもなく広いので、それだけの質量でも1立方センチ当たりの密度にすれば100000000000000000000分の1（ 10^{-17} ）グラムくらいでいいのだ。これでも広大な宇宙空間の平均密度に比べればかなり高いといえう。

これらの星間塵にはいろいろあり、粒の大きなものからあげれば、まず水（ H_2O 、 CH_4 、 NH_3 など）、複合粒子（核プラス氷の外被）、グラファイト（C）、金属粒子（Fe）、プラット粒子（O、N、C、H）などであり、それぞれ一種類だけでなく混じり合っている。



発売二年 全国より大反響

銅製セット(大・中・小)¥12,000(送料共)

驚異のピラミッド・ハウス

四角錐の中に謎の力がある



各種ピラミッド・ハウス 鉄製、メッキ、組立簡単

	付属品	送料
●大(座禅用) 長サ160cm	コンパス	¥600
●中(横臥用) 長サ80cm	グランドシート	¥600
●小(実験用) 長サ25cm		¥500
3点セット(大・中・小)	鉄製	¥4,900
2点セット(大・中)	アルミ製	¥6,400
実験用のみ(小)		¥2,000
各種3点セット及び2点セットは、大・中のみ兼用です。		¥3,000

お申込方法

住所、氏名、品名をハッキリ書いて現金書留でご注文下さい。

(株) 東京メールサービス
〒116 東京都荒川区東日暮里5-28-2-5
TEL03(805)0821(カタログ・切手200円)

組立簡単、三点セット(座禅用、横臥用、実験用)¥4,900

こうした星間塵の濃密な雲は、その収縮過程でゆっくり自転し、巨大な渦巻状になるから、その渦の中心部にはほとんど星間塵が吸いこまれて、お互いに衝突を起こすだろう。

その衝突のさいに一部、熱を失って冷え、その冷えた表面にますます他の分子が凍りつき、こうして起こる重力

オリオン星雲の赤外線観測から、まさしくそうした集団形成が現に進行中であるらしい証拠が得られている。

それを発見したベックリンとノイゲパウアーにちなんでBN天体とよばれる赤外線源と、もう一つ、クライマン、ロウにちなんでKL天体とよばれる、これも赤外線源だ。

BN天体というのは波長1・5〜13

ミクロンの赤外線観測されたもので、トラペジウムの斜め下あたりにあり、その質量は太陽の6倍くらい。半径は太陽の1000倍以上だから、まだ星とはいえない。温度は摂氏300度程度。いま急速に収縮しつつある原始星で、あと1000年くらいすれば星となって輝き出すはずである。

みごと誕生すれば、星間塵のロスもあるので3〜4個の星がその場所から飛び出すことになろう。

一方、KL天体というのはトラペジウムの斜め上のあたりにひろがり、波長22ミクロンの赤外線で見え、全質量は太陽の1000倍に達するが表面温度はきわめて低く、摂氏マイナス200度しかない。とうてい星とはいえないが、宇宙空間の平均温度にくらべればかなり高温であり、大星間塵雲からそれ自身を分離し、星への進化

に第一歩を踏み出した段階と考えられる。実際、KL天体の中に、ちょうどブドウ入りのパンのように、BN天体と同じような性質をもった天体が4個最近になって見つかった。

おそらく遠い未来のその場所には、500〜700くらいのがっしり詰まった星の集団が出現し、壮麗な光の産声をあげることだろう。

こうして、つぎつぎと新しい星が誕生していく、オリオン星雲全体は、やがてその暗黒星雲をつかい果たし、今よりもっと複雑な形の、美しい星々の輝く大星雲に変貌していく。

だが、それまでわれわれ人類はこの地球上で生き残り、その新しく誕生する素晴らしい星雲を目にすることができるとどうか。

宇宙のタイムスケールは人類の運命をはるかに超えているのである。

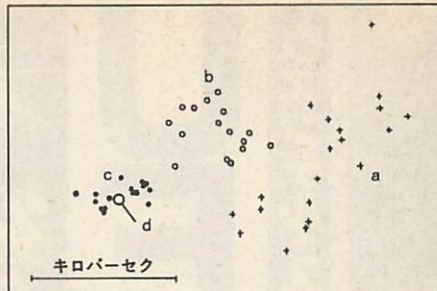


図6 オリオン・アソシエーションのなかのサブ・グループの星の年齢。a、b、c、dの順に10⁷、10⁶、10⁵、10⁴と年齢が若くなる。

熱的不安定により巨大な星間塵雲はその内部に生じたいくつかの濃密な部分を中心にとんどん分裂していく。収縮の中心は一つでなく、時とともに増加していく。

その結果はどうなるか。

星はただ1個で生まれるのではない。こうした巨大塵雲の分裂のくり返しにより最終的に何十か、何百か、何千か、その収縮時の塵雲の質量によって決まり、集団的に形成される。

オリオン星雲の赤外線観測から、まさしくそうした集団形成が現に進行中であるらしい証拠が得られている。

それを発見したベックリンとノイゲパウアーにちなんでBN天体とよばれる赤外線源と、もう一つ、クライマン、ロウにちなんでKL天体とよばれる、これも赤外線源だ。

BN天体というのは波長1・5〜13

ミクロンの赤外線観測されたもので、トラペジウムの斜め下あたりにあり、その質量は太陽の6倍くらい。半径は太陽の1000倍以上だから、まだ星とはいえない。温度は摂氏300度程度。いま急速に収縮しつつある原始星で、あと1000年くらいすれば星となって輝き出すはずである。

みごと誕生すれば、星間塵のロスもあるので3〜4個の星がその場所から飛び出すことになろう。

一方、KL天体というのはトラペジウムの斜め上のあたりにひろがり、波長22ミクロンの赤外線で見え、全質量は太陽の1000倍に達するが表面温度はきわめて低く、摂氏マイナス200度しかない。とうてい星とはいえないが、宇宙空間の平均温度にくらべればかなり高温であり、大星間塵雲からそれ自身を分離し、星への進化

生命の存在可能な惑星は6500万個

前号より続けて、ここではさらに、銀河系出現以来、どのように超新星が出現し、どのくらいの惑星が放棄されたかをみていこう。

a、銀河系が出現して以来、何個の惑星が放棄されたのだろうか？

太陽と同じタイプの星は、数十億年にわたって驚くほど安定した輻射を続

考察

UFOの起源

(第2回)

ウェンデル・スティープンス特別寄稿

ける。私たちの太陽の輻射は、この45億年の間に30パーセントも増加してはいない。同様に、私たちが考えたがるように減少もしてはいない。生命存在に必要な条件はこれまでに40億年も持続しており、今後さらに数十億年は継続する可能性が強いと考えられる。

銀河系が出現してからすでに120

宇宙には知的生物の存在可能な惑星が数千万個も存在する。しかし同時にこれらの生物は、付近で起きた新星の爆発から逃れるためみずからの星を放棄すべき運命にあつたかもしれない。そんな運命がわれわれの地球を訪れたとき、地球人は1万隻もの「世界船」を建造して、大脱出を行なうのだ。

億年になるが、最初の星が現われたのは100億年前のことである。最初の星たちは、水素でできていた。炭素、金属などの重い核は、最初の爆発で宇宙空間に四散していたからである。

そこで、最初の星たちが出現して10億年か20億年のうちに、このような状態の中から星間ガスが生じた。したが

って、この星間ガスから形成された星々には、太陽の周囲をとりまいているものと同様に岩石や鉄の核をもち、地球上で見えるような生命の誕生が可能となる惑星を出現させるのに必要な重い元素がふくまれていた。

こういうことから、銀河系出現後の120億年のうち、最初の星が現われる前の20億年は、ここでは考慮に入れないでおこう。また、新星が太陽系と同様な惑星の形成に必要な重元素を空間に拡散させるのに要する時間である20億年も除外しよう。すると、残りの80億年が、私たちのと同じような惑星系の形成される時間ということになってくる。

しかし、地球に知的生命体が出現するまでに45億年を必要としたという事実を基礎に考えるなら、残りの80億年からさらに45億年をさしひくことができる。そうすると、残りの35億年の間に、超新星がその爆発により30光年以内の惑星にやっと現われた知的生命を絶滅させたということになる。

もう一度、知的生命が存在しているが、年々住めなくなっている0・234個の惑星に話をもどそう。このような惑星の数は、35億年では8億1700万個にもなる。これはたいへんな数であり、一度でも生命が存在した可

上・惑星の誕生 左・スペース・シャトルが宇宙空間で巨大な「宇宙植民地」を建造している。必要な資材は大半が月面、小惑星などから採取される(想像図)

能性のある惑星の数よりもはるかに多い。事実、銀河系の1300億個の星が25パーセントにまで減らされ、さらにそのうちの20パーセントになり、最後にはその1パーセントにまでなった話をしたばかりである(1300億 $\times$ 0.25 $\times$ 0.20 $\times$ 0.01=6500万)。6500万が、地球と同様な生命が存在しうる条件を備えることのできる惑星の数だ。

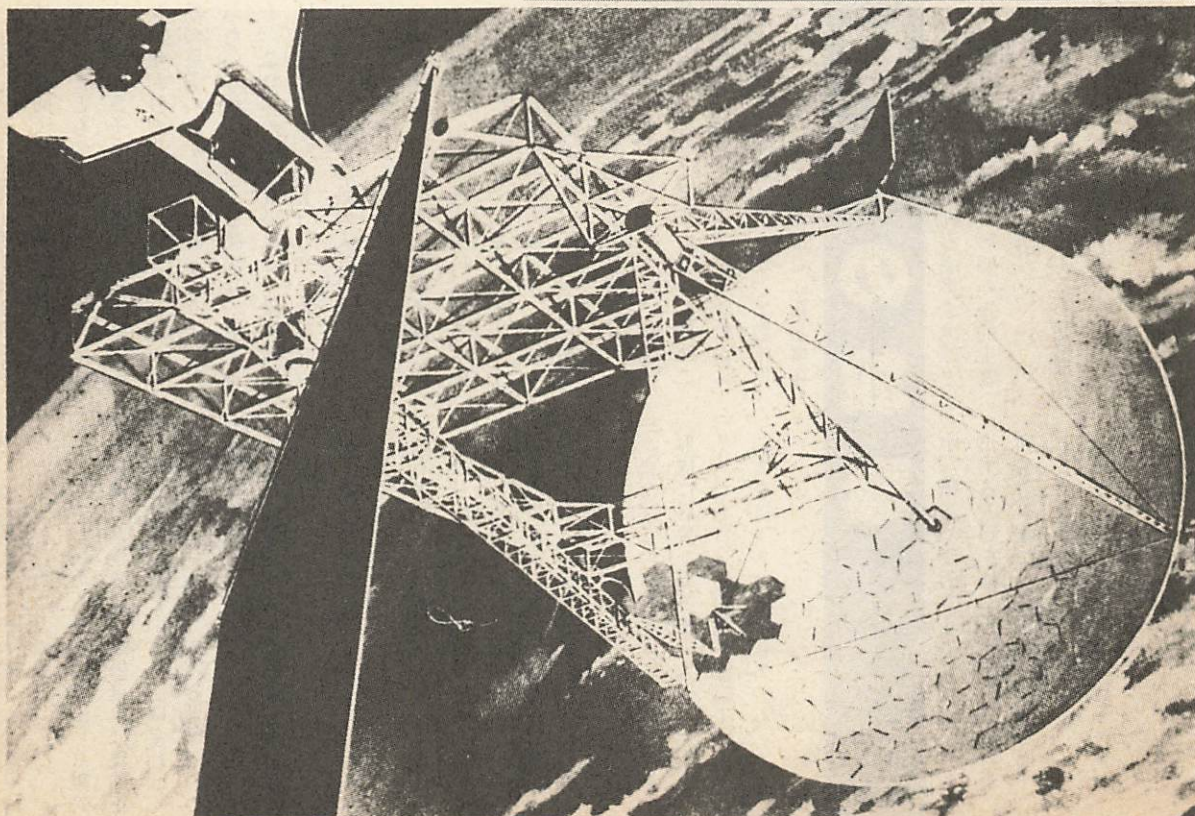
これは、完全に説明可能な話で、どの惑星も過去35億年間のうち、65分の817である12・57回だけ新星の近くにいたことがある——という事実を意味する数字なのである。これが、実

際に天体物理学者の到達した結論なのだ。彼らは、こう説明するのである。

「地球上が生命の発達をとげる間に、50光年以内の新星の爆発は、1億年ごと、あるいはそれ以内の期間に繰り返り起こったにちがいない……」

しかし、ここで注意しなければならぬことは、この大破局のため、一掃された知的生命は再びよみがえったかもしれないということである。知的生命がよみがえったことは、まさしく事実だったように思われるが、この問題はまた別に考えることにしよう。

また、おそらく36億年前に起こって、



地球の岩石と月の岩石の一部を溶かして、その結果、すでに存在していたとすればだが、生命をも根絶やしにしてしまった大事件のことは、ここでは取り上げないでおくことにする。少なくとも、この地球上で最も古い岩石の年齢は本当に36億年にすぎない。したがって、生命の出現から知的生命の誕生までに必要な時間は、私たちが推定していたように45億年ではなくて、36億年かもしれない。すると、銀河系内の知的生命の寿命は、さらに約10億年を加えることができる。

b、超新星は、銀河系の発達過程において規則正しく、定期的に出現したのだろうか？

新星の爆発によって見捨てられた惑星の数を推定するのに、私たちは、新星出現率が銀河系誕生以来一定であると仮定してきた。

フレッド・ホイルの見解もやはりそうらしい。というのは、銀河系誕生以来出現した新星の総数を計算するため、彼は単に、最初の星の出現以来経過した時間である100億年を、新星の出現と次の出現の間の経過時間である30年で割っているだけだからだ。

新星の爆発。付近の惑星住民は避難を余儀なくされる

しかし、逆にこの出現率は銀河系が若かった間には、ずっと大きかったと考えることもできるが、この場合はそうではなさそうだ。事実、銀河系に最初に現われた星は、凝縮をはじめた初期の星雲の形がそうであるように、だいたい球状に分布する種族IIの星である。これらの種族IIの星は、銀河系の星の総数のほんの1パーセントを占めるだけで、残りの星の大部分は、太陽のように銀河系の円盤の中で誕生し、地球型惑星の出現に必要な原子量の大きい元素をふくむ種族Iに属する。種族IIの星には、重い元素がほとんどふくまれていないのである。

もし、新星の数が、私たちの推定とは逆に、最初の数10億年の銀河系においてずっと多かったとすると、惑星の放棄ももっとひんぱんに行なわれたことだろう。特に、太陽型の星はたぶんずっと早く生まれ、したがって数十億年という長い間、ひんぱんに新星爆発

という危機にさらされ続けてきたとするとおさらのことである。

そこで、私たちが先に提出した銀河系発達過程では、星の誕生は規則正しく行なわれるという仮説によれば、銀河系内をさまよっている世界船の推定数も実際はずっと少なくなる。

白色矮星を研究（これについては後で述べる）してみても、銀河系誕生に続く数十億年間に、太陽型の星がもっと多く生まれたとしても、それは、これら太陽型の星が進化して、赤色巨星となり、さらに白色矮星となっていく結果、放棄された惑星の数とは関係なさそうである。今、私たちが計算しようとしているその総数は変わることはない。

また、この型の星は、地球型惑星の形成に必要な原子量の大きい元素をふくんでおり、銀河系の種族Iに属することをはっきりと示している。

惑星の放棄

ここでは、放棄される惑星を地球と仮定しよう。他の形態の知的生物についてはわからないから……

火星と木星の間に位置する小惑星帯——それに他の惑星の小惑星まで——

が、絶滅の危機のせまった地球から脱出する人類を運ぶ世界船の建造材料に利用できることはすでに述べた通りである。

これらの、たとえば直径1キロメー

トル程度の小惑星を巨大な鏡の焦点に置けば、太陽輻射熱のため、溶解点近くまで熱せられることも前述の通りだ。静電気を利用して原子を空間に放出し、建造される世界船の形にした硬化プラスチック板にそれを付着させて希望の厚さにすることも可能である。

質量分光計の原理を利用して、腐食に強い高純度の金属を沈積させることもできる。鏡自体はきわめて薄い材料で作られ、静電気の反発力が遠心力を利用して希望の形を保てばよい。

小惑星のうち、金属を多量にふくむものは、総数の10パーセントにも達する。その成分の大部分は鉄であり、約9パーセントのニッケルをふくむ。これらは、世界船の胴体に最適である。他の小惑星は金属のみならず酸素、空



惑星地球の全住民が1万隻もの世界船で地球から脱出するときがくる

素、炭素、水素などもふくみ、世界船の土壌や内部の大気の原料になる。水だけでも小惑星の総質量の20パーセントに及んでいる。

だから、地球上では計画をたいへん困難なものにする材料発掘、精錬、大動力の使用などにたよることなく、世界船の胴体を建造することが可能であることも理解できるだろう。

空間の真空度は、地上の実験室で作られ出されるものより10000倍も高いのである。その中では、金属も酸化することはなく、溶接は簡単である。重力がないので、適当な強さの電磁場を利用すれば、半溶解状態の小惑星から金属原子を取り出し、小惑星(送出側)から世界船(受取り側)へと移動させることができるのだ。

ここでは、大きさの制限はない。地上では数リットルか数立方メートルの量を扱う人数で、数百万立方メートルの量を扱うことが可能である。無重力の真空状態の中で作業をする利益はそれほど大きいのである。

世界船建造の工期は、何百年もかかるように思われるかもしれないが、せいぜい数十年程度のものである。だが、まず何よりも、ロケットや原子炉以外の宇宙航行推進力の問題を解決しなくてはならない。たとえば、水銀

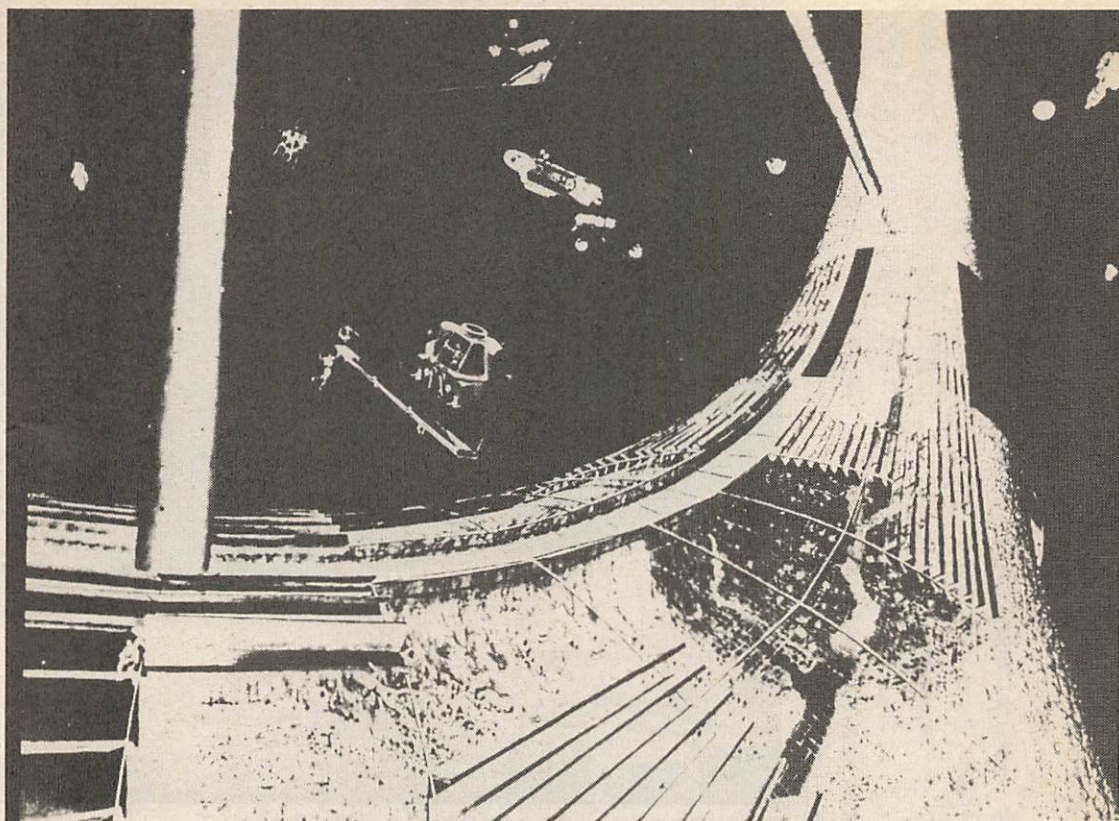
のような物質を高熱で蒸気化し、それを電氣的に高速にまで加速する方法である。もっともこれだけでは、何万回も地上や上空に出現し、『空飛ぶ円盤』と呼ばれてきた物体の運動を説明するにはじゅうぶんではない。

小惑星を地球と月との間に運んで、反射鏡に利用し、今までの10倍もの太陽輻射を得たり、建設中の世界船と地上の工場とを結ぶのに必要な『スペース・シャトル』便を可能にしたりすることができれば、たいへんに便利なかわけである。

だが、他の惑星の人たちがやってのけたように、私たちが宇宙へと運ぶ世界船の建造を可能にする科学や技術を発展させることは、数千年後の世界にまかせざるばかりではない。

本文の目的は、銀河系内を航行する世界船の数を推定し、また過去数百年の技術の進歩が示す通り、私たちにも世界船を建造することが決して不可能ではないのだということを具体的に明らかにすることにある。

最初に説明したもののより規模は小さいが、世界船には、10隻程度の船団を組み、光なら1、2秒で横断できる地球と月の距離ぐらいの間隔をおいて飛行するものがすでに考えられている。このことは、故障や破損などの事故が



あった場合にすぐ援助の手をさしのべることができるという点で都合がいいし、1隻の世界船の住民を他の世界船に移しておいて、その間に定期修理を行なうということも可能となる。

このような世界船の大きさを、全長約100キロメートル、直径6キロメートル程度と仮定しよう。これは、適当に決めた数値であるが、ふしぎなことにフェニックス上空で撮影された針型UFOの大きさと同じであった。その船体の厚さは、約1メートルで、内面には腐食防止のためのコーティングがかけられている。内部には、地表と同じ濃度の大气があるが、これには窒素はふくまれていない。動物も植物も窒素は事実必要としないからである。気圧は1平方センチメートル当たり、わずかに0・2キログラムにすぎない。3分間に一度自転するようにしておくと、地球の37パーセントに当たる人工重力が発生する。ジュラルド・オニールは、その近著『遙かな未開拓地』の中で、こういった問題を注意深く検討している。

この著書は、未来の宇宙植民地の研究では、高く評価されるものである。T・A・ヘッペンハイマーも同じく、その近著『宇宙植民地』で、数万人の人口を収容して軌道を回る巨大な宇宙植

民地の将来について述べ、この大計画を開始するだけの技術はすでに人類の手中にあると断言している。さらに、彼は月や小惑星での採鉱がたいへん有望であるともいう。

この程度の大きさの宇宙植民地になると、1回転が1分以上の自転ならば、内部の住民に感知されることはない。また、遠心力による重力と、自然の「重力との間の違和感もない。重力が自然重力よりも減少していても不快感はなく、きわめて快適である。——疲労が少なくてすむし、地上よりも大量に仕事をこなすことが可能となる。

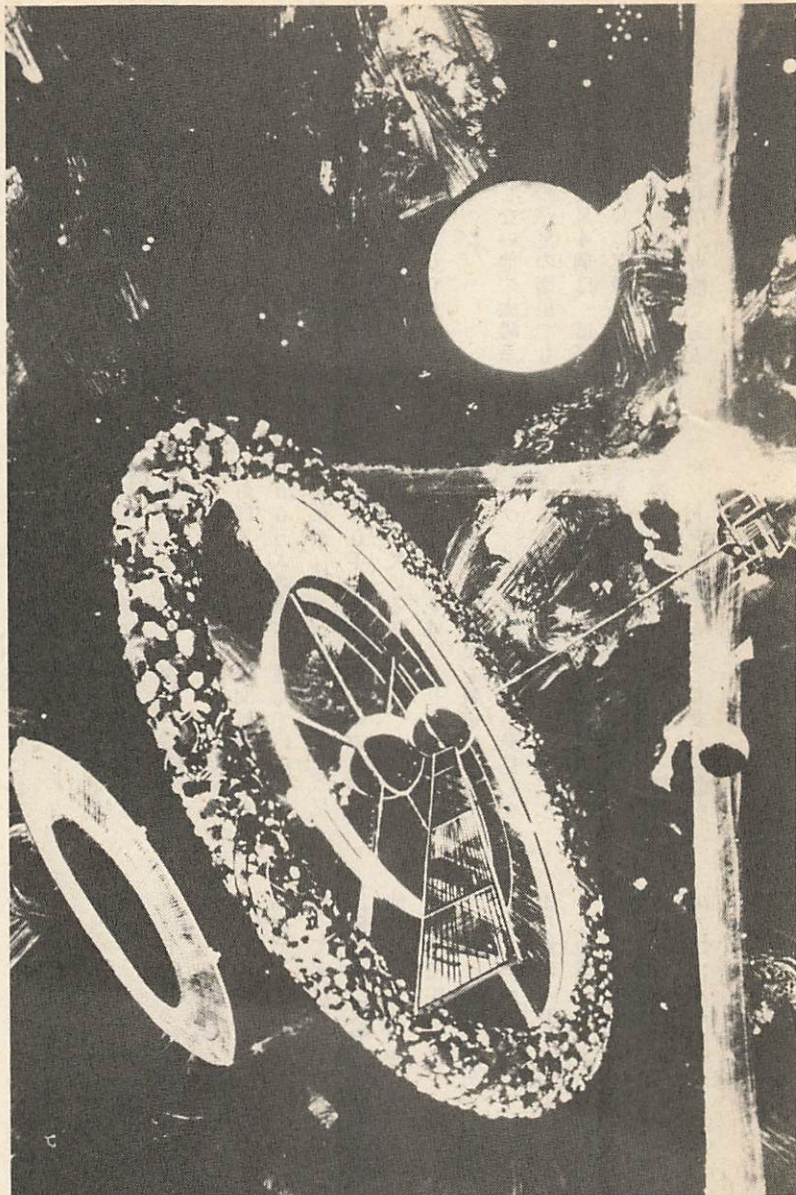
世界船での快適な生活

世界船内部の地表は、いろいろな植物物でおおわれ、壁面に設置された人工太陽が上から照らしているだろう。また、四季の変化もあるし、昼夜の交替も私たちにとって自然な24時間周期で行なわれることになる。

鉄とニッケルでできた船体の厚さを1m、土壌の厚さを1〜2mとするなら、船体にかかる遠心力は、船体自体によるものが1平方メートル当たり8・88キログラム、土壌によるものが1平方メートル当たり3・3

3キログラムとなる。内部の気圧が船体に及ぼす力は1平方ミリメートル当たり6キログラムである。したがって、船体にかかる荷重は、合計1平方ミリメートル当たり18・21キログラムとなるが、この程度なら決して過大な荷重とはならない。この場合のように、力が一様に作用する場合は特にそうである。

鋼鉄と土壌の厚さが前に述べた程度であれば、宇宙放射能を地球上と同じ



T. A. ヘッペンハイマーの構想による宇宙植民島（右も）。この中では地上とほとんど変わらない生活ができる。世界船はこれよりもはるかに大スケールである。

くらいの量にまで減らすのにはじゅうぶんである。だが、もっと有効な防御施設は、推進動力に連結した強力な磁場である。これは、地球と同様に遙か数万キロメートルの空間にまで広がり世界船を保護してくれる。

この長大な船の先端は円錐形をしており、その内部の軸近くでは、水は凝縮して、霜や雪になっている。しかし、気圧が低いことと、「地表」と最高高度3000メートルとの気圧差はほんの

わずかであるため、水分が雨の形になる可能性は地球上よりずっと少ない。場所によっては氷河もでき、末端は川となるだろう。

水上スポーツや雪上スポーツも行なわれるが、重力が少ないから記録の水準はぐっと引き上げられることになるわけだ。また、人間が空を飛ぶことも可能となる。というのは、船の先端の方へ行つて、先端部の円錐形が形成している3000メートルの「高山」に

登ると、重力は最後には0となり、ジェラルド・オニールが『宇宙の人類植民地』で述べているような空中飛行という壮挙も簡単にできるのである。

10隻の世界船の全表面積は、1万9000平方キロメートルである。これは、人口もだいたい同じ（1000万人）のベルギーの面積の3分の2に当る。しかし、世界船内の公園や森林の面積はベルギーよりも遙かに広い。気候調節により、農産物の収穫が増加するので、食糧生産に必要な面積が少なくてすむからである。灌漑と地球の最高緯度での夏と同じ日照時間により、年3・4回の収穫が可能となる。ジェラルド・オニールの想定した宇宙植民地のモデルでは、前述のものの10分の1という表面積に同数の人口を収容している。

100億人の脱出に 1万隻の世界船

地球のような惑星の全人口を脱出させるのに、どのくらいの数の世界船が必要かを考えてみよう。

知的生物の出現以来、科学技術は飛躍的に進歩し、その結果、人口は急速に、大幅に増加した。1850年の地球人口は10億人だった。80年後の19

30年には20億人である。1975年はほとんど40億人に近いし、2000年には、地球人口は70億人になるだろう。したがって、じゅうぶんに、理性的に発達した惑星では、もちろん人口調節が行なわれているとして、100億人程度の人口を想定してよいと思われる。

100億人を脱出させるには、100万人を取容できる世界船が1万隻も必要となる。小惑星から、こんなに大量の船を建造できるだろうか？ まったく問題なく建造できるのである。鉄でできた小惑星は常に8〜9パーセントのニッケルをふくんでいる。その総数は、この小惑星の10分の1にすぎないが、直径はそれぞれ10キロメートル以上あって、個数は約1万個にものぼる。直径10キロメートルの小惑星の質量は、1隻の世界船の約250倍である。最大の小惑星であるセレスが、もし鉄とニッケルでできているとすると、セレスだけで世界船が8000万隻建造できることになるのだ。

小惑星帯が存在しない他の太陽系の惑星の場合は、他の惑星の衛星でもよい。木星の外側の衛星4個は、直径が約20キロメートルあり（実際は、そのうちの2個の直径は約40キロメートルである）、どれでも利用が可能である。

土星については、その環だけで直径1900キロメートルの衛星と同様の質量があり、これがすべて鉄とニッケルでできているとすると、この惑星の住民を脱出させるのに必要な1万隻の世界船を建造するのに要する材料の20万倍にも達する。だから、脱出行が100回も繰り返されるとしても、世界船建造に必要な資材については困難な問題はまったくない。

たとえば、100億人の人口を100年間で脱出させるには、1日に約30万人ずつ運ばなくてはならないし、300人乗りの宇宙船が10000機必要となってくる。これらの宇宙船は、地球と世界船との間を往復できる能力を備えていなくてはならないわけだ。一例をあげると、現代の民間航空は1日に500万人の乗客を運んでいる。ライト兄弟が、はじめて空を飛んでから、まだ100年も経っていないのに、この数に達しているのである。

惑星脱出計画を成功させるためにはまず、今まで人工衛星を軌道にのせてきたロケットとは別の手段を発見しなくてはならない。毎日、毎年、何千という目撃者の前に、燃料として消費される多量の質量と不適切なエネルギー利用のためにきわめて高価につく反動ロケットを使用することもなく、静か

に地球を訪れるあのUFOもその手段の一つである。もちろんこれと平行して、前述したように効果的な人口調節を進めることも大切であろう。

1分50秒に1回の自転が必要な世界船

ここで、前に述べた世界船の遠心力による重力などについて、さらに詳しく説明しておこう。

世界船の自転によって発生する遠心力の加速度は、左の式で表わされる。

$$a = S^2 / r \quad r: \text{半径} \quad S: \text{角速度}$$

直径6キロの世界船が3分間で1回転すると、Sは次のようになる。

$$2\pi r / 3 \times 60 \text{秒} = 6000\pi / 180 \text{秒}$$

$$= 104.7 \text{ m/秒}$$

従ってaは

$$(104.7)^2 / 3000 = 3.65 \text{ m/秒}^2$$

地球の重力加速度gは、

$$g = 9.81 \text{ m/秒}^2$$

なので、この世界船の人工重力は

$$3.65 / 9.81 = 0.375$$

つまり地球の37・5パーセントである。

もし地球と同じ重力を得るのなら

$$a = S^2 / 3000 = 9.81$$

この式からSを求めて

$$S = 171.55 \text{ m/秒}$$

つまり、直径6000mの世界船で地球と同じ重力を得るには1分50秒に1回の自転が必要ということになる。

この場合には、船体をかなり厚くすることが必要となる。というのは、材料の鋼鉄の「自重」だけで、1平方ミリメートル当たり24キログラムの荷重が作用するからである。荷重をこれ以上増加させないためには、今は1平方ミリメートル当たり9キログラムに増加した前述の土壌からくる3・33キログラムと大気圧から生ずる1平方ミリメートル当たり6キログラムの荷重は、厚さ1メートルでなく、厚さ10メートルの船殻に分散させなくてはならない。こうすることによって、荷重は10分の1に減少して、1平方ミリメートル当たりそれぞれ0・9キログラムと0・6キログラムとなる。鋼鉄に作用する荷重の合計は、1平方ミリメートル当たり25・5キログラムである。

しかし、この弱点は、鋼鉄の船体が自重の主な部分を占めているために、世界船はずっと重くなり、この自重の増加により、同じ馬力の推進力により得られる加速度が減少し、その結果、速度や進行方向を変化させる能力も減少することである。

省三おじさんの

UFOイングリッシュ

No.9 — By Shozo Nakamura

2年前の7月上旬、沖縄の宜野湾市でサトウキビ畑が奇妙な形になぎ倒されるという事件が起きました。しかも、その夜、近所の主婦が謎の光体を目撃していることから、UFOの着陸痕ではないかと騒がれましたね。

先日届いた“The MUFON UFO Journal”をバラバラめくっていたら、この事件の報告が目にとまりました。筆者は今月号に「UFOとEM効果」を執筆していただいた池田隆雄氏。Saucer “Nests” in Japan というタイトルがついています。現場写真は、本誌1977年10月号からの転載です。参考文献にはちゃんと『UFOと宇宙』も挙げてありました。もっとも、住所がUenoではなくVenoになっていましたが……。



UFOシンポジウムの会場 エアポート・マリナ・ホテル

先月号の「UFO時評」でもご紹介したように最近の“The MUFON UFO Journal”で日本の研究者の活躍が目立ちます。これで、3号続けて日本の事件の報告が掲載されたわけです。高梨、池田両氏にはこれからもがんばっていただきたいものです。ということは、日本でどんどんUFO事件が起こってほしいということになりますか。

ところで、この機関誌を発行しているアメリカのUFO研究団体MUFON（相互UFOネットワーク）といえば、毎年UFOのシンポジウムを開催していることで有名です。

Our annual symposiums are recognized as the major UFO conference, worldwide, since no other organization has sponsored contin-

uous yearly sessions with the caliber of speakers that MUFON has presented.

（私たちの年次シンポジウムは、主要なUFO会議として世界的に認められている。というのは、MUFONのように優れた講演者を招待して、毎年会議を主催している団体はほかにないからだ。）

たしかに、昨年オハイオ州のデイトンで開催されたシンポジウムでは、レオナード・ストリングフィールド氏の講演が大変な反響をまき起こしました。これで日本のUFOファンもMUFONの存在に注目することになったわけです。（詳しくは本誌1978年10、11月号を参照してください）

さて、今回のUFOシンポジウムはどんな内容になるのでしょうか。7月の7、8両日に、サンフランシスコのエアポート・マリナ・ホテルで開催の予定です。おなじみのアレン・ハイネック博士をはじめ、原子物理学者のスタントン・フリードマン、CIA訴訟で活躍した研究団体GSWの代表者ウィリアム・スポールディングなど、そうそうたる顔ぶれが参加するとか。

7月7日（土曜）の晩には、ウォルト・ディズニー・プロ製作のUFO特別フィルム、翌日の午後にはカラーTVムービー「UFOの過去、現在、未来」が上映されます。そのほか、ワークショップや年次総会など、盛りだくさんの内容です。

MUFONのメンバーはカリフォルニア州が一番多いので、多数の参加者が見込まれます。あなたもいかがですか。MUFONでは目下、予約を受けつけています。2日間の全催しに出席できる通しチケットで15ドル。申し込み先は、

MUFON, W.S. DIV., (Western States Division), P.O. BOX 1072, Mt. View, CA 94042

残念ながら参加できない人は、シンポジウムの議事録が発行されるのを待ちましょう。なお、今年度の第10回UFOシンポジウムは、“Intensifying the Scientific Investigation of UFO Surveillance”というテーマです。

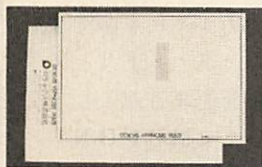
ESP能力を強化する!!

超能力を強める ESPトレーナー (超能力開発訓練機)



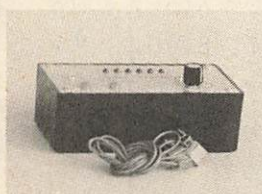
ESPトレーナーにより、テレパシー、プレコグニション(未来予知)、クライヤボヤンス(透視)などの能力を強めるトレーニングができます。10,000円

だれにでもできる催眠術 ストークビスのヒプノ板



ドイツの催眠術研究家ストークビスにより考案されたもので、だれにでも容易に催眠術ができるようになります。1,500円

バイオフィードバックにも使える ウソ発見器(ラブテスター)

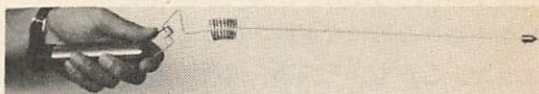


GSR(皮膚電気抵抗)を応用したもので、心の変動がランプの点滅で分ります。2人で手をつないで使えば楽しいラブテスターにもなり、1人でバイオフィードバックとしても充分使用できます。6,000円

デラックス ESPカード(超能力実験用)



太陽、月、金星、木星、冥王星のシンボルマークのついたカードです。ESP能力の程度を試したり、強化したりするのに役立ちます。又、友人や家族で楽しむこともできます。1,200円



ダウジング・ オーラ検出に カメロンの オーラメーター

アメリカのダウザーとして有名なバン・カメロンが考案した鋭敏に作動する振動増幅パネを用いた水平指示振子です。水や紛失物の探知だけでなく、人体のオーラも検出できることから、この名がつけられました。10,000円

バイオリズムをワンタッチで算出 カシオ・バイオレーター



あなたの身体、感情、知性のバランスがワンタッチでできます。このバイオリズムを利用して、健康管理、セールス、受験勉強、事故防止、旅行、スポーツに応用しましょう。相性判断にも使えます。6,000円

リズムメーター



バイオレーター同様、バイオリズムが簡単に求められます。又、長期の変動がグラフに出ますので大変便利です。1,500円

※上記商品には詳しい説明書がついています。

不思議な商品!!

2億年前の生きた化石 カプトエビの卵



カプトエビは2億年前にすでに生存していたと云われ、学術的にも貴重な生物です。飼育は簡単です。2億年の昔をあなたの手に引き寄せてみませんか。1,000円

太陽電池内蔵の懐中電灯 アキュラックス(西ドイツ製)



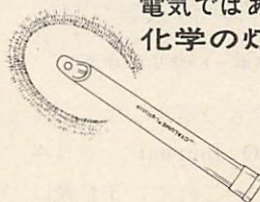
太陽電池付のスゴイやつ。直接太陽光線から充電します。ポデューは軽くて丈夫です。電灯線からも充電できます。8,000円

ラブサインペン(西ドイツ製)



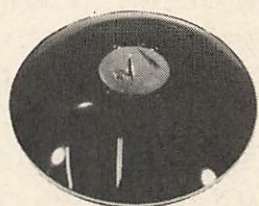
細い方で、字や絵を書き、反対側のペンでなぞると書いたものが浮き出ます。ラブレター、交換日記、試験勉強に使いたう。300円

電気ではありません 化学の灯・サイリウム(アメリカ製)



化学的に発光するサイリウム。水の中でもOK。釣りの時の魚寄せ、パーティーのムード照明にも最適。キャンプ、ドライブ、登山の安全灯にもどうぞ。1,000円

三次元実像 ミラーージュ(アメリカ製)



2枚のパラボラ鏡による三次元実像。底に置いた物体がまるでミラーージュの上に置いてあるように見えます。手で思わずつかもうとします。直径34cm高さ9cm 15,000円

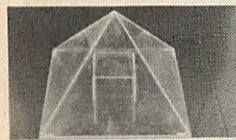
消えるボールペン(西ドイツ製)



紙でも布でも手に書いたら反対側のインク消しで、サッと消えます。あまりイタズラしないように。300円

驚異のピラミッド・パワー!!

ピラミッドパワーの研究は 現在先進各国で積極的に 進められています、我々の身の廻りでも色々な実験が出来ます。正確に縮尺されたピラミッド模型を好条件の下に置くと、あなた自身も驚く様な実験を楽しむ事が出来ます。あなたも何か新しい発見に挑戦してみましょう。



ピラミッドーA

透明高級プラスチック製、大変美しくそのまゝインテリアとしても最高です。もちろん中の状態を外から観察できるので、実験にも最適です。(底辺 約24cm 高さ 約15cm) 6,000円



ピラミッドーB

実験を楽しんで頂く透明プラスチック製、折たゝみ式、ピラミッドです。(底辺 約24cm 高さ 約15cm) 1,000円

ピラミッド・ペンダント (アメリカ製)



ピラミッド・エネルギーをあなたのものにしましょう。 晩ピラミッドの中に入れてから身に着けるとさらに効果が高いと言われます。(Gは金色・Sは銀色・Tは金色の美しいペンダントです。Tは中央の部分が磁化され、中に小さな物が入れられます)

G 3,000円 S 3,000円 T 4,500円



ピラミッドーMP

瞑想、実験用組立式ピラミッドです。底辺 約180cm、高さ 約115cmで、中にゆったり坐れます。アルミ合金の止金で正確な角度が得られます。13,000円



ピラミッドーM

瞑想、実験用ピラミッドの止金です。パイプは各自、好きな長さの物を使って頂きます。パイプの太さや長さの計算は説明書に書いてあります。お徳用です。9,000円



ピラミッドーS

ピラミッド・パワーが金属中では最も高い真ちゅうにニッケルをメッキした高級折たゝみ式、瞑想用ピラミッドです。(底辺 約180cm 高さ 約115cmです) 25,000円

ピラミッド・ネックレス (アメリカ製)



ペンダントと同じように使えます。アクセサリとしても最高です。ピラミッドの中央は夫々磁化されています。5,000円

あなたにも念力がある!!

人は誰でも念力(超能力)を持っていると言われます。ただ永い間、念力を使う必要がなかった為、潜在能力となっていました。しかし練習を積み重ね、あなたも自分の能力に気がつき、それを強化する事が出来ます。これらの器具は潜在能力開発の基本となるものです。

念力開発器

(ロジクルッシュン・ダイヤレット)



ダイヤレットであなたは自分に念力があることをすぐ確認できますし、訓練によって、それが強化されて行くのが分ります。バト字団はダイヤレットを使い自己の念力を強化して、実生活にも役立てていました。7,000円

プランセット

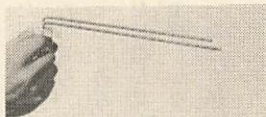
(西洋式こっくりさん)



プランセットはそれを行う人の意志とは関係なく、自然に動いて文章や図形が記されるもので自動書記とも呼ばれます。プランセットの実験は精神統一にも有益で、家族や友人と楽しめます。5,000円

ダウジング・ロッド

(宝探しロッド)



このロッドで不思議な力を発揮できる様になります。少しの練習で多くの人が、紛失物やかくされた物を発見できる様になります。又ピラミッド・パワーによる効果の実験も出来ます。3,000円

魔法の振子

(シュブロール振子)



魔法の振子は、潜在能力開発のもっとも基本となる道具の一つです。同時にピラミッド・パワーによる振子のゆれ実験も出来ますし、占いや 集中力の強化も出来ます。2,000円

※上記商品には、詳しい説明書、練習方法等の解説書がついてます。

〒103 東京都中央区日本橋小舟町2-7

発売元

ポラックス株式会社U係

TEL (03) 666-0511(代)

技術指導

潜在能力開発研究所

●カタログ請求は200円切手同封して下さい。
ご注文は
紙に商品名、住所、電話番号、氏名を書き捺印の上代金を現金書留封筒又は郵便振替(東京・4-8703)でポラックス株式会社 U係にお送り下さい。
[送料はサービス]



米・ハリスバーグで 原発事故

アメリカのペンシルバニア州ハリスバーグの原子力発電所で3月28日、原子炉内の一次冷却水が格納容器内にあふれるという事故が起きた。

これは、ハリスバーグの中心街から16キロメートルほど離れたメトロポリタン・エディソン社の「スリーマイルアイランド発電所」の加圧水型原子炉。

冷却水が核容器に流入し、急速に冷却水が減少したため、炉内の温度が急激にあがり、炉の運転がストップした。

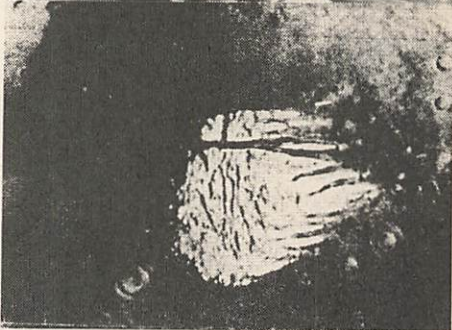
この事故により大量の放射性物質が外部に漏れ、1時間あたり3ミリレムの放射能が探知されたというが、人体や環境汚染などの被害はなかった。

事故の原因は不明だが、炉の本体が融解し、放射性物質が外部に流出といった大事故の危険があっただけに、原子力関係者に非常なショックを与えた。

また、日本でもスリーマイルアイランド発電所と同型の原発



スリーマイルアイランド発電所全景(写真/W・W・P) 火星表面の白い岩



火星表面に見える 不思議な白い岩

が8基稼動中であり、冷却系統のポンプ故障や運転員の操作ミスなど、絶対に起きないとは断言できない。その意味で、今度の事故を簡単に見過ごすことはできないだろう。

アメリカの火星探査機マリナーとバイキングは、数千枚にも

のぼる火星表面の写真を地球に送り届けてきた。そのなかにはなんとも解釈のつかない不思議な写真がかなりあり、いくつか

はいまだに解決がつかないまま

になっている。

バイキングのデータ分析に携わった科学者が「白い岩」と名付けた写真も、実に奇妙なものひとつである。火星表面にこうした特徴が見られる写真は、これ1枚しかない。

白い岩は直径93キロのクレーターの底にあり、大きさは縦14キロ、横18キロぐらいある。

バイキングの写真では、まぶしいほど白く光っているが、火星の赤道近くにあるから雪や氷のほすはない。いったい何なのだろうか。

この白い岩の正体を解明するため、NASAジェット推進研

究所のナンシー・エバンズが責任者となって、現在、研究が続けられている。

火星用航空機 NASAで開発中

アメリカのアビエーション・ウィーク誌は、NASAが将来の火星探査のために、火星大気中を飛行できる無人の火星用航空機の研究をすすめている、と述べている。

この火星用航空機は、全幅23メートルの細長い主翼を持ち、この主翼や尾部が折りたたみ式になっている、火星探査機にむくことができる。そして、探査機が火星をまわる軌道にのると翼などを広げて、発進していくしかけだという。なお、水素エンジンで飛び、飛行可能な距離は重さ40〜100キログラムの観測機器をのせて、約9000キロメートル程度といわれている。

さらに米航空宇宙局では近い将来、火星表面に数回離陸できるような火星用航空機も考えているという。

Science Newsfront



宇宙の果てを とらえる

米航空宇宙局（NASA）の
ケープカナベラル基地当局者は
4月3日、昨年11月に打ち上げ
た宇宙探査衛星がX線探査によ
り、地球から100億光年以上
かなたの位置に新たな準星（ク
エーサー）を発見した、と発表
した。

このクエーサーは、地球から
最も遠い天体とされており、宇
宙の進化理論に役立つ発見とし
て、科学者たちの注目を集めて

いる。
クエーサーは、みかけは恒星
のような天体でありながら、地
球全体が10万年間に必要とする
エネルギーに相当する強力なX
線を毎秒放射している。

なお、クエーサーは1963
年に発見された宇宙の果ての不
思議な天体で、きわめて大きい
エネルギーを出しているため、
望遠鏡で見ることができず。ク
エーサーは、宇宙の誕生した百
数十億年前には非常にたくさん
あったと考えられている。

希ガス元素ラドン で正確な地震予知

地震を研究している科学者た
ちは、ずっと以前から、地震が
起きる際に井戸水の中のラドン
の量が増加することに気づいて
いた。これに注目したゼネラル・
エレクトリック社の科学者チー
ムは、空中のラドンの量を調べ
ることによって、これまでより
正確に地震予知が行なえるよう
になったと報告している。

ラドンというのはウランの崩
壊時に出る放射性希ガス元素で、



地殻の上層に広範に存在し、地
殻の裂け目から空中へ脱出する。

GE社の研究チームは、ウラ
ン探査用に開発されたラドン測
定器を使用して、毎年微震が頻
発している場所でラドンの測定
を行なった。

まず、ニューメキシコ州ソロ
ーにある深さ16メートルの穴で
は、9カ月間に2度も通常の2
倍のラドンを測定した。また、
ニューヨーク州ブルーマウンテ
ン・レイクでは、ちょうど大地
震が発生した時にラドンの量が
急増したのを記録している。

今後、研究を重ねていけば、
地震予知に大いに役だつだろう
とGE社の科学者たちは語って
いる。

なお、ラドン測定器は特殊な

プラスチック製のカップで、ラ
ドンから放射されるアルファ粒
子を記録する。このプラスチック
を酸で腐食させると粒子の飛
跡が見えるようになり、ラドン
の濃度が測定できる。

最古の石碑 朝鮮半島で発見

朝鮮半島でもっとも古い記念
石碑が、韓国中部の忠清北道中
原郡立石村で発見された。判読
できる資料から推測すると三国
時代の5世紀末頃、高句麗王が
新羅軍を打ち破った戦勝碑とみ
られる。高句麗は中国東北部地
方から領土を順次拡張し、西暦
427年、平壤に都を移し、百
濟や新羅と戦って南下したと伝
えられているが、韓国中部まで
進出した事実がこの遺跡により
初めて証明されたことになる。

414年、高句麗は鴨綠江西
岸に同様の広開土王碑を建立し
ており、今回発見された石碑は
これより時代が古く、朝鮮半島
では最古のもの。

広開土王碑をめぐるは一時
古代日本が朝鮮半島まで進出し



た証拠とされたが、近年、碑文は日本人により発見後改ざんされたのではないかという疑問も出されており、この新発見の石碑の判読結果はこういう古代史論争にも結び付きそうである。

太陽発電で暮らす インデアン村

アリゾナ州のパパゴというインデアン保留地に、世界で初め



てという太陽発電村がある。シユーチユリックというインデアン村で、住民はわずか96人。一見したところ、文明の恩恵に浴しているとは思えないところである。

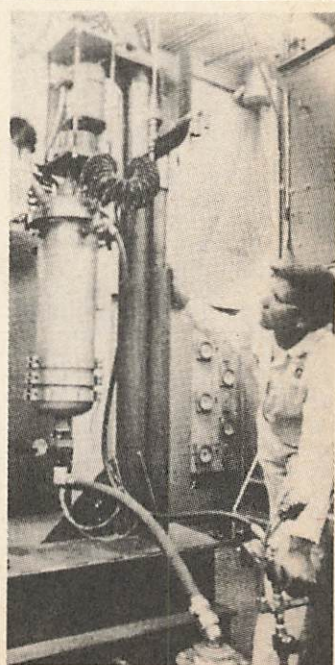
ところが、写真を見てもわかるように、太陽電池がずらっと並び、住民の唯一の電力供給源となっている。

この発電設備により、冷蔵庫や洗たく機、ミシン、2馬力の井戸用ポンプをはじめ、15軒の家庭や教会、ビルなどの電灯に必要な電力がまかなわれている。太陽電池や設備の費用は、主としてエネルギー省が負担したものである。

石炭液化の本格的 研究に着手

化石燃料のうちもっとも埋蔵量の多い石炭を、低コストで効率的に液化できないだろうか。

もしすぐれた石炭液化法が開発されれば、現在使用している石油や天然ガスの大部分を石炭に切り替えることができる。石炭は家庭用や工業用のエネルギー



ーとしてだけでなく、プラスチックや薬品といった化学製品の原料としても使用できるだろう。石炭の液化はかなり昔から研究されてきた。ドイツでは、すでに第二次大戦中に着手している。だが、いまだにコストがかさみ、問題の多い方法しか開発されていない。

そこでアメリカのエネルギー省では、様々な石炭液化法を比較検討し、問題点を研究するため、試験工場を設置する計画に踏み切った。そのひとつが、ニユーメキシコ州アルバカーキにあるサンディア研究所の実験用反応炉である。

石炭を液化するには、まず石炭を砕き、液体を混合してスラリーと呼ばれるものにしてから摂氏450度まで予熱する。こ

れを加圧しながら反応炉に入れて、触媒を用いて液化する。この際、可燃性の鉱物や汚染物質は除去される。

写真は、アルバカーキにあるサンディア研究所の反応炉で作業中の研究者たち。

赤血球を調べて 寿命を予測

日本医学会総会のシンポジウムで、東京都老人総合研究所の永井克孝・生化学部長は「特殊な細菌毒素による赤血球のこわれやすさが寿命とピッタリ一致する」と発表した。これは、ネズミを使った実験で明らかにされたもので、寿命が終わりに近づくにつれて、赤血球のこわれやすさがほとんど直線的に増大

Science Newsfront



するという。

この研究は、年老いたネズミの赤血球の膜の強さや化学組成を調べるうちに偶然発見されたもので、赤血球をこわすクロストリジウム属のある細菌の毒素の性質を利用してネズミの赤血球のこわれやすさの年齢変化を追ってみたものである。

その結果、50パーセントの赤血球を破壊する毒素量がゼロになる年齢を計算すると、ほぼネズミの平均寿命に一致した。

永井部長は、これを人間についても調べ、何かの病気にかかると、その人の赤血球のこわれやすさが増大するといったことがあるなら、医学の診断に使うことも可能である、としてさらに研究を進めていくという。

ネッシー探しに イルカ登場

ボストンの応用科学学会のメンバーが、3月22日明らかにしたところによると、当地の学者たちは、イルカを使って、スコットランドのネッシーを探索、調査しようと計画しているとい

う。

これは、よく訓練された2頭のイルカにカメラをしぼりつけて、ネス湖に放し、ネッシーを探索させるといふものだ。

応用科学学会は、すでに10年間、幻の怪物であるネッシーの撮影に挑戦しつづけてきた。

ある海洋専門家によると、「イルカは淡水には耐えられない」ということであるが、同学会はイルカを湖に入れるのは、1日せいぜい2時間どまりにするので問題はないといっている。

400万年前から 人類は歩いていた

3月21日、タンザニア民族博物館は「タンザニア北部のラエトリ地区で人類最古の足跡を発見した」と発表した。

この足跡上の土をカリウム・アルゴン年代測定法で調査した結果、約360万年前のものだと判明した。

足跡を発見したのは、女性人類学者メアリー・リーキー博士のチームで、1974年から3年にわたり発掘が行なわれた。



人類最古の足跡(写真/W・W・P)

足跡には、21・5センチのもの、18・5センチのものの2種類があり、足の裏の形は現代人といへんよく似ている。このことから、この足跡は現代人の直接の祖先のものと考えられ、人類祖先が直立歩行を開始したのは、360万年前よりさらに100万年さかのぼるのではないかとわれている。

足跡の主は、一方は身長140センチ程度、他方は120センチ程度と推定されている。

未来の電話機 マイコンテレホン

電話機にマイクロコンピュータを組みこみ、いろいろな資料を覚えさせることにより、これまでの電話機が持たなかった機能を発揮させる試みが、電電公社武蔵野電気通信研究所で進められている。

この試作実験システムでは次のようなことが可能となった。発信者の番号がわかる。再ダイヤルはワンタッチ。留守中にかかった電話の番号がわかる。外出先から留守中の電話を知るため、自宅に電話し、その自宅電話経由でその相手につながる。無線による自動転送ができる。呼び出し音で、発信者の区別もできる。

これなら、たとえばいやな相手なら電話に出ないことも可能だし、いたずら電話もできなくなる。また、人質事件などの犯人からの電話番号探しは楽になるだろう。しかし、既設の電話網にいかに関わり合せていくかの検討が今後の課題である。

潜在力実現法

7つのステップ

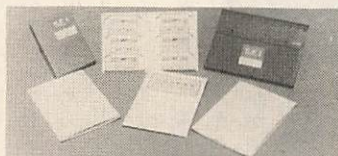
「あなたの潜在力実現可能度テスト」実施中!!
あなたの潜在力は一体どうしたら実現していけるのか………!

本テープは「潜在力実現法7つのステップ」の完全説明テープです。カセットテープ全6本、裏表12面にわたってその説明が詳しく収録されています。このテープはあなたに秘められている偉大な潜在力をあなた自身に大きく気付かせていくものです。あなたの潜在力はただ待っているだけでは決して実現されません。あなたの潜在力の実現は、その為の具体的なステップとプログラムがあって始めて可能となります。このテープにはあなたの潜在力を具体的に実現していく為の7つのステップとプログラムが一つ一つ詳しく具体的に説明されています。毎日の日常生活でこのテープをくり返し聞いていけるだけでも、あなたの潜在力を少しずつ確実に高めていく事が出来ます。あなたも自分の潜在力に一日も早く目覚めて下さい。お申込み方法は下に書いてあります。

テープ主要内容

- | | |
|------------|---|
| テープNo.1 A面 | 潜在力とは一体なんなのか(潜在力の内容) |
| B面 | 潜在力が発揮されていくしくみはどうなっているのか(潜在力実現へのしくみ) |
| No.2 A面 | あなたにはなぜ潜在力が実現できていないのか(潜在力をとどろかすもの) |
| B面 | 潜在力を発揮していくにはどうしたらよいのか |
| No.3 A面 | 潜在力実現法 第1ステップ(心の開放と開発)——あなたの心は眠っているノ |
| B面 | 潜在力実現法 第2ステップ(自分自身の再発見)——あなたは自分を活かしきってはいないノ |
| No.4 A面 | 潜在力実現法 第3ステップ(真の自己欲求の開発と確立)——真の自己欲求に目ざめよノ |
| B面 | 潜在力実現法 第4ステップ(自己欲求のシナリオ化と潜在意識への運動)——潜在意識を呼び起こせノ |
| No.5 A面 | 潜在力実現法 第5ステップ(欲求実現ステップのイメージ化)——欲求実現をステップ化せよノ |
| B面 | 潜在力実現法 第6ステップ(自己創造イメージ演習)——自己創造をイメージ化せよノ |
| No.6 A面 | 潜在力実現法 第7ステップ(欲求実現へのアプローチとクロージング)——欲求実現の軌道を味わえノ |
| B面 | まとめとテープ活用法(本テープをどのように活かしていこうか) |

まず5日間は
無料で御試聴下さい。
(5日間以内は返品自由です)



あなたも「潜在力実現可能度テスト」
をうけよう!!これによってあなたの
潜在力が一歩実現に近づきます。
本テープ購入者には「潜在力実現可能
度の四種類の判定テスト」を行なって
います。

お申込み方法

お申込みは今すぐお電話かハガキでどうぞ!!お申込みあり次第5日以内に急送します。
ハガキでお申込みの場合は、住所、電話番号、商品名、支払い回数等をはっきりご記入の上お申込み下さい。
(18才未満の方は保護者の御捺印が必要です。)

お支払い方法

お支払いは月々わずか2,800円からの各種の分割払い制度があります。
御希望のものをお選び下さい。

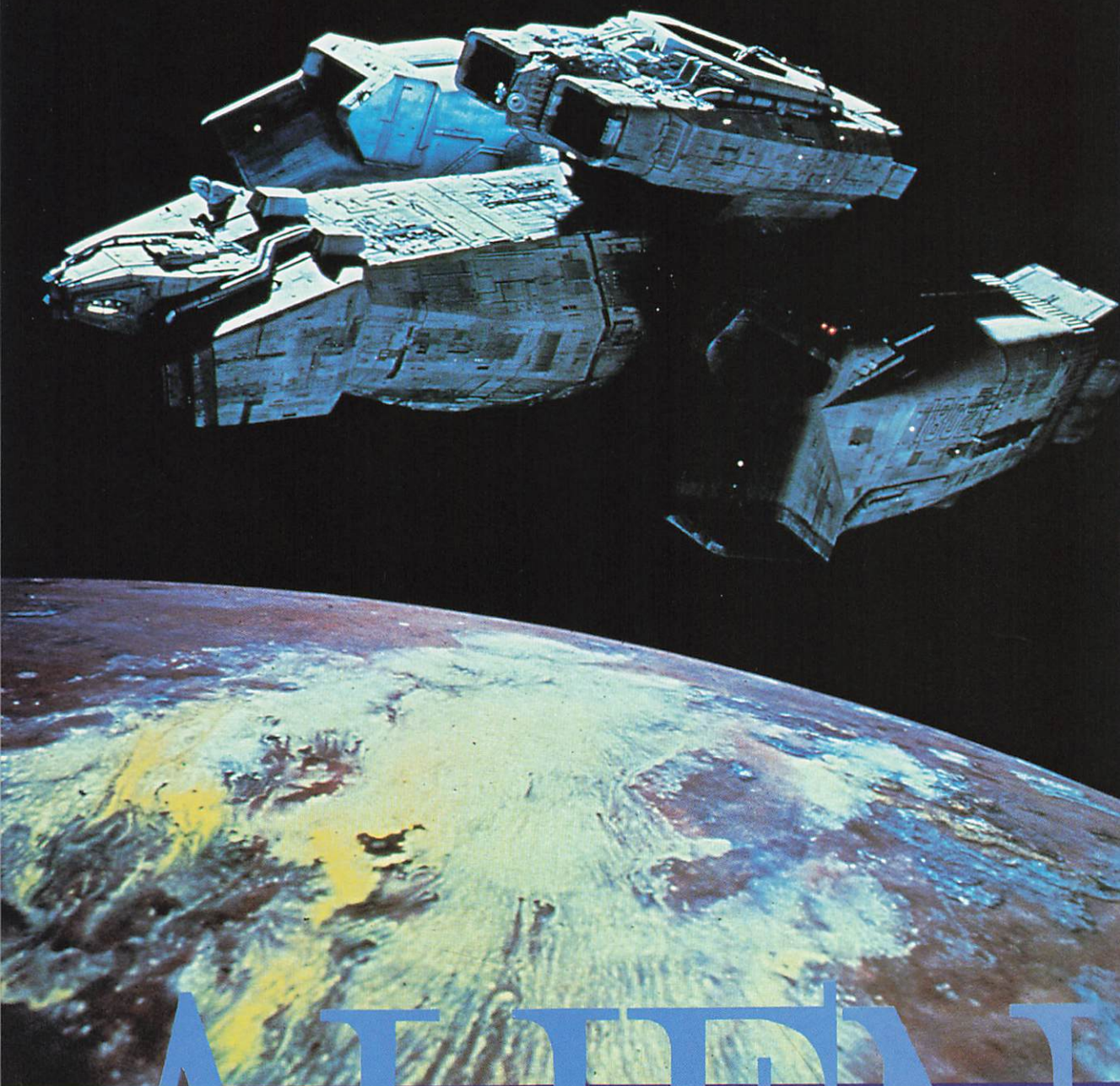
(A)2,800円×13回、(B)5,800円×6回、(C)11,000円×3回。 尚一括払いを希望される場合は、32,000円となります。
代金は現品到着後一週間以内に、現金書留又は銀行振込みでお支払い下さい(送料は当センターで負担)。

S.E.I.

自己確立科学センター U6係

〒160 東京都新宿区荒木町5-9 津の守会館5F
☎03(357)7619(代)

CAUTION! WE ARE COMING CLOSE TO THE ALIEN

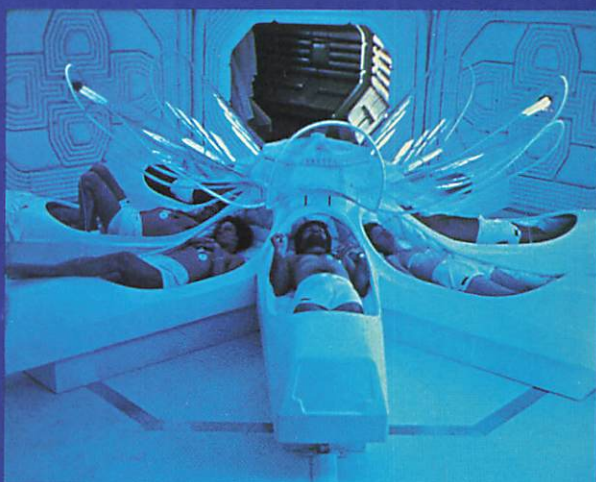


今世紀最大のSF宇宙サスペンス大作

エイリアン



▲宇宙服に身を包み荒廃した惑星の探査にとりかかる3人のクルー。彼らを待ちうけていたものは……。



▲「ノストロモ号」の船内と7人のクルー。彼らは宇宙探査を終えて地球に帰還する途中、他の宇宙船からSOSをキャッチする。

無限の宇宙で起こる無限の恐怖！これが『エイリアン』である。SF超特作と銘ついたこの映画は、昨年7月からイギリスで極秘のうちに製作されてきた。エイリアンとは異星人のこと、アルフレッド・ヒッチコックが2001年にサスペンス・スリラーを作ったなら、おそらくこの映画になっただろうといわれるほど、前代未聞のミステリーとサスペンスに満ちている。

これは、宇宙船乗組員が遙かな宇宙の彼方で、エイリアンに遭遇、撃退のため必死の闘いを繰りひろげるという物語で、いったいエイリアンとは何か？ その正体は？ と見るものをつぎつぎに異次元の宇宙恐怖に誘いこむ。

また、デザインはスイスの有名な画家H・R・ギーガーが担当しており、いったいどんなエイリアンが画面に現れるかも楽しみである。（日本公開7月下旬）
■ストーリー ノストロモ号は船上に工場設備をもつ通商用の巨大なスペース・シャトル（宇宙船）である。乗組員は船長のダラス、一等航海士ケイン、科学者アツシュ、技師バーカー、機関長フレットの男5人、そして二等航海士リフリー、操縦士ランバートの女2人。

事件は、この7人を乗せたノストロモ号が地球に帰還する途中に起きた。他の宇宙船からのSOSをキャッチしたノストロモ号は、使命感に燃え、問題の不気味な惑星に着陸、調査を開始する。しかし、そこで彼らを待っていたのは、黒く



異様な宇宙船の内部。スイスの新鋭画家ギーガー考案による、目のくらむようなイマジネーション豊かな世界は圧倒的だ。

CAUTION! WE ARE COMING CLOSE TO THE ALIEN

黒く焼け焦げた宇宙船の中には人影はなく、そのかわりに床一面に異様な卵状の物体が転がっていた。



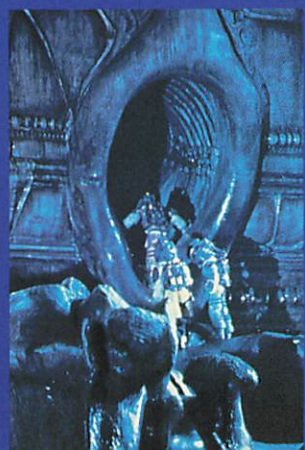
▲これぞエイリアンの正体か？



▲エイリアンの攻撃に船内を逃げまどう女性クルー。

焼け焦げた地球の宇宙船だけだった…。どこにも、人の姿はない。SOSの発信者はどこにいるのだろうか？ 船内をくまなく捜すうち、一等航海士のケインは巨大で、異様な卵状の物体を目にした。この瞬間から、ノストロモ号の乗組員は異次元の宇宙的恐怖にたたきこまれる。いまだで遭遇したことのないエイリアン（異星人）に遭遇したのだ。

卵状の物体から、小さな生物が飛びだし、ケインのマスクを溶かして顔面に付着してしまつた。生物は、彼の顔の上で息づいている。ノストロモ号に帰つたケインの顔から、この生物を取り除く作業が繰り返された。危険を承知で、ナイフの刃を突き刺した途端、切り口から液体が流れ、煙がたちのぼつた。液体は強力な酸だった。そして、どこかに生物は姿を消していた。殺すのは危険だ。捕獲するしかない。彼らは全力をあげて搜索し、船室の隅で乾燥した物体に変身しているエイリアンを発見、捕獲に成功した。



◀ 奇怪な宇宙船の入口をのぞきこむクルー。

しかし、エイリアンはケインの体内でも成長しつづけていた。彼の胸から一つの頭が飛びだし、ケインは死んだ…。ノストロモ号を突然襲つた不気味な有機体。たぐみな防衛機能をもつこのエイリアンは、乗組員の必死の闘いをものともせず、つぎつぎに彼らの生命を脅かしていく…。

絶体絶命のピンチに立つノストロモ号で、エイリアンの犠牲者がつづく。果してエイリアンを撃退することができるだろうか？ 息づまるような緊迫感の中、ドラマは衝撃のラストへと向かう。



↑ここにふれると明かりがバツ／消す時もバツ／のタッチスイッチ

これがスチール製 高級UFO型コードペンダントだ

●ボールランプ(25W×3・但し40W使用可)●大きさφ390×200mm●タッチスイッチ付

NEW!! 本格的UFOステッカー



シール面は、当社で新しく開発したメタリック模様です。
ワンポイントアクセサリーとして、差をつけよう。

3枚1セット ￥1,000 (送料共)

- パブレストランの照明に
- 喫茶店・スナックの照明に
- お店のディスプレイとして
- ショーウィンドのアイキャッチとして
- 新しいインテリア用品として

スチール製・シルバーメッキ仕上げの美しい本格的な照明器具です。このコードペンダントは、当社開発商品のため、一般商店では、販売しておりません。直接当社へお申し込みください。

特別価格 ￥13,800 (送料共)

購入方法

ご注文は、品名をはっきり書いて、現金書留または郵便振替にて、ユニバース出版社商事部迄、お申し込みください。

株式会社 ユニバース出版社商事部

〒110 東京都台東区上野5-1-6ヤマトビル
振替 東京1-119478

特集

UFOの発展途上国の最新事情

1 西ドイツ

ロケットの父ヘルマン・オーベルトとの対談

2 ニュージーランド

地球の極移動とオーソテニー

3 ソビエト

鉄のカーテンと太古宇宙人

4 ベルギー

UFO着陸地点直線理論

5 カナダ

オタワに謎の落下物

6 メキシコ

史上最大のUFO目撃騒動

7 ブラジル

検閲を抜けたUFO事件簿

102

100

97

91

87

82

78



1 西ドイツ

ブルツへ オーベルト教授は、このほどウィスバーデン国際UFO研究者会議に出席されました。新聞の報道によれば、教授はこの会議の中でも、中心的存在であったと、記されています。

そこで先生、まず、この会議の内容についての率直な印象を語っていただけないでしょうか。新聞などの報道によりますと、先生は、大変熱心な研究家のようですね。そして、UFOの存在を信じておられるそうですが、いかがですか？

オーベルト 私がUFOを信じているかどうかという質問自体、ちよつと誤解を招きやすいですね。UFOという言葉は、未確認飛行物体、もしくは簡単に説明のつかない空中現象にあらはめて使われている言葉にすぎないのです。そのような物体や現象があるということは、事実なのです。その

ところを誤解なさらぬよう。

少なくとも7万人の人が、UFOを目撃したという報告を寄せているんですよ。おそらくそのうちの半数は、単なる想像か、あるいはウソか、または風船などの誤認だと思われます。さらに39%は、説明が困難ですが、外観や印象がUFOに類似していたために、何かの物体をUFOと見間違えたのだろうと解釈されています。しかし、残りの目撃報告の11%は、まぎれもなく本物であり、具体的な証拠があるので

す。

ブルツへ 一般的に説明ではなくて、もつと具体的な解答をうかがいたいのですが、先生は、UFOは地球以外の世界からやってきた宇宙船であると信じておられるのですか。

オーベルト 信じているといったことはありません。また、信じないといっ

FLYING SAUCERS-DO THEY REAL EXIST?

たこともありません。ただし、そういう可能性はあるので、したがって、真実を見極め、調査して確かめなければならぬ、といっているだけです。

ブルツへ 会議には、いわゆる空飛ぶ円盤を見たという人も参加したそうですね。それから宇宙人と会ったとか、一緒に宇宙船に乗ったとかいう人も何人か出席したと聞いていますが。

オーベルト 会議に出席するまでは、私も、これらいわゆる「接触者」はウソをついているか、または病的興奮状態

態にあったのではないかと、あるいは、精神分裂病の人たちだろうと思っていました。

しかし、なかには、穀類関係の会社に勤務されているラインホルト・シュミットさんとか、電子工学の技術者であるカール・A・アンデルソンさんなどは、本当に立派な方で、発言にも真実性があります。それで私は、考えを改めたわけです。つまり、この2人は完全に正常であり、したがって、何かを見、経験したことは確

1923年に『惑星間宇宙へのロケット』を書いたルーマニア生まれのヘルマン・オーベルトは、ナチスドイツおよび戦後アメリカのロケット開発に参加した。この世界的ロケット学者のUFO論を聞く。

エドワードJ.バブコック
ティモシーG.ベックリー 編

ロケットの父 ヘルマン・オーベルトとの対談

特集／UFO発展途上国の最新事情

かであると思うようになったんです。
宇宙人はわれわれに似ていない

ブルツへ では先生は、円盤のパイロ

ットはヨーロッパ人に似ており、ドイツ語をしゃべったという、この接触者たちの説明を、まじめにとりあげるべきだとお考えなんですか？
オーベルト 他の世界からきた知的生

物の外見が、私たちに似ているという例はまずないでしょうね。しかし、考えてみれば、血縁関係の全くない人間同士でも、互いによく似ているという例はいくらでもありますよ。外見、つ



ウエルナー・フォン・ブラウンと話すヘルマン・オーベルト(右)

まり体つきとか顔などが似ているだけでなく、生活環境まで似ているということがありますよね。しかしまあ、宇宙人が文化を創造した場合、地球と同じようになるということはあまり考えられませんか。地球人とは何一つ似たところはないという可能性のほうが大きいでしょう。ですから私自身は、ウラニデス(註・オーベルト教授の造語で、円盤のパイロットを指す)が私たちに似ているということには疑問をもっています。ただ、接触者たちは催眠術にかけられて、その状態で宇宙人と話をしたという可能性も考えられますし、あるいは、地球人に似せてつくったロボットに会ったのかもしれませんがね。

ブルツへ もしそうならば、どのような説明によって、その可能性を論理的に証明できるのですか。

オーベルト 非物質的な超心理学的現象を使ってなら説明できるでしょう。現在、そのような現象や出来事を調査し研究している大学や超心理学研究所はたくさんあります。しかし、私自身は、このような説明だけでは、よく納得できません。

というのは、たとえ超心理学でも、

今日にいたるまで、そもそも幽霊のようないかなるものが実際に存在しているなどということは立証不可能なわけで、それを即座に目の前に出してみせるなんてこともできた試しはないからです。われわれはまず、幽霊とは本当は「何」なのかを、明らかにしなければならぬというわけです。私は物理学者ですからね。

飛行機なら実際に存在しているし、見ることも触わることもできるといえます。しかし、UFOは、現在私たちが知っているどんな飛行物体とも違うわけで、したがって、こうこう、こういうものであるという説明はできないのですよ。

UFOは重力駆動

ブルツへ しかしその点について、物理的な側面から具体的に説明することはできないのですか？

オーベルト UFOの動力についての仮説はあります。しかし、その場合も次のような事実を考慮に入れなければなりません。

(a) 中世やローマ時代の人類に、飛行機など作れるわけがありません。それと同様、地球人にはUFOと同一の物体を作ることとは不可能です。いま

の地球人には、UFOが飛ぶとき使用している動力を用いる飛行機は作れないといえます。

(b) UFOはおそらく、人工重力を利用してののでしょう。そう考えれば、突然方向を変えたり、あまたの夢のような速力が出るということも理解できます。

地球人の飛行機がもしあんなふうに急激に方向を変えたりしたら、中の人間や物はものすごい力で壁に押しつけられ、人はみんな死んでしまうでしょう。しかし重力駆動なら、中の物や人は船体と一緒に運動します。したがって、中の人や物が押しつけられたり引っぱられたりすることは、まったくないわけです。

(c) さらにUFOは、空气中を進むために、高い電荷の電気を発生しています。そのうえ、高い上空にあるイオン化された大気に影響を与える強い磁力もあるのです。このことは、UFOが光る玉のように輝いているとよくいわれていることからわかりますし、それだけでなく、この理論だとUFOが音を出さずに飛ぶことも納得できます。

地球人の高速ジェットは、動くために、静かな大気中の空気を強く回転させて、ものすごい騒音を発生してしま

います。しかし、UFOの場合は、船体の回りの空気の速さが同じなので、このような空気の回転は起こらないのです。いいかえると、宇宙船は直接的な環境と同じ速度をとり入れているといえるのです。

ブルツへ その動力についての仮説はとてもよくわかりました。しかし、UFOの放射エネルギーや半可視性、あるいは完全な不可視性については、まだ何もご説明いただいていませんが、オーベルト いまいわれたような性質は、地球の回りのエーテル域に作用をおよぼすことにより人工重力を発生させるかあるいは宇宙船を四次元に移動させれば、簡単にできることです。

ブルツへ おや、それはずいぶん昔にハンス・ドミニクが考案していた方法によく似ていますね。

オーベルト そうなんです。核エネルギーを超ウランから人工的に製造したり、それを技術的に活用したりする考え方は、ドイツのSF作家ハンス・ドミニクの『原子量500』の中にはじめて現われたものです。

ちょうど、ジュール・ベルヌが潜水艦やジャイロスコープや宇宙飛行などを先取りしていたのとよく似ていますね。しかし、この仮説は、デンマークの科学者ボーア兄弟が原子の模型を作

アペロ

〒180-03 東京都東久留米市小山1-8-2 あだち荘3号
月刊アペロ東京支局 鈴木明史(柔軟A派)
TEL 0424(75)6455
AM11:00-12:00
PM10:00-11:00
〒409-06 山梨県大月市七保町瀬戸410-5
アペロ・入会担当 常合和男
TEL 05542(4)7232(夜のみ) 純粋A派

Adamski's
Philosophy
Experiment
Life
Organization

基本姿勢
個人>太陽系>組織
哲学>科学
愛>思想

〒140円とお便り下さい。速達の場合は
+〒150円です。

A哲学実験生活共同体

東京支局 東京支局 東京支局 東京支局 東京支局



情報交換誌
月刊アペロ

— UFO・宗教界の意見・情報交換誌 —
購読・投稿はA派・アペロ
会員の内外を問いません。
4日発送、投稿×切=7日(前月)
誌代=頁数×4円、毎号40頁
~100頁、3ヵ月前払い。

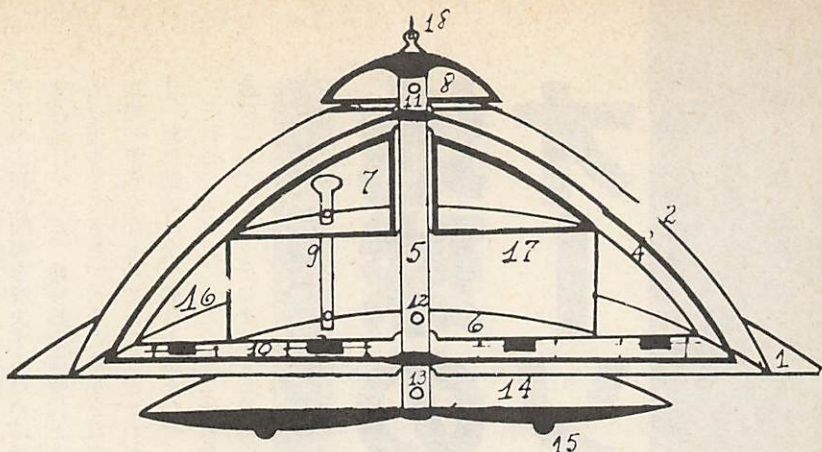
送料=18~70頁→120円、70頁以上→160円
二大鉄則=ボツ無し・アペロのCM無し。

誌上弁論大会

月刊アペロ79年7月号に掲載
タイトル:自由

字数制限:1606~2160字

賞金:1位=1万円、2位=3千円
3位=2千円、4位以下無し
ふるってご参加下さい。



UFOは人工重力で飛行するのではないかったため、現在ではさほど魅力的ではなくなりました。

ジャングルのサル

ブルツヘ 宇宙人の技術がそれほど進んでいて、しかもウラニデスがこんな

に頻繁に地球の回りに群がってくるなら、彼らは個人と接触するかわりに、なぜラジオとかテレビのような媒体を使って、人類全体と交信しようとはしないのですか？なぜ、科学者と通信するという方法をとらないのでしょうか？オーベルト その疑問に対する解答には、たぶん諸説があると思います。おそらく彼らは、私たちを文明化されていない、つまりジャングルのサルのようなものと考えているのでしょう。あるいは、宇宙船の乗組員にとって、地球の大気は有害なのかもしれません。たぶん、ウラニデスの生命にかかわるようなバクテリアが地球の大気中にあるのでしょう。だとすれば、宇宙船からは出ないで、そのような交信の可能な人たちとだけテレパシーによる交信を試みるのは当然です。

あるいは、こんなふうにも考えられませんか？ 彼らは科学者とか、その他の地位の高い人間を信用していないので、接触したくないのだというふうな。というのは、こういった人たちはウラニデスをまったく信用しないだろうし、また、地球人の政治や道徳に関する誤った考え方に対するウラニデスの警告には、おそらく耳を貸さないだろうと考えているからです。

ま、いずれにせよ、この分野の研究

はまだ始まったばかりなのです。UFOの問題についても、もっと観察を重ねて、具体的な証拠を握るまで、結論を出すことは避けるべきですね。

研究に有害な傾向

ブルツヘ 会議の参加者の中には、クルで現実的な科学者と神秘的な状況を体験した人たちの間に、UFOの問題をめぐって深刻な対立があるので、はないかと思っていた人もいます。またオプザーバーとして、先生はどのような印象をもたれましたか？

オーベルト たしかに、参加者の考え方はいくつかにわかれてきました。たとえば、人間の力がいま危機に瀕していることを深く憂えている人たちが。彼らは世界の出来事やそれが与える衝撃力について悲観的な立場をとっていて、したがって、それらのものが、論理的で賢明な人間の理解には相反するものであるという立場をとっていました。

その他見神論者、オカルティスト、唯心論者なども、全体のかんりの割合を占めていました。おそらくこの人たちは、集団催眠術か何かの神秘的な能力を持っていたのではないかと思われる。しかも、この人たちの共通の願

いは、会議という枠組の中で、平和的かつ調和を保って協力しあうことでしたからね。

会議に出席した人たちの立場や意見はさまざまに異なっても、会議は始終穏やかで協調的な雰囲気が進められたと、いま、ここではつきり申しあげておきましょう。

ブルツヘ ところでオーベルト教授は科学者がこのUFOの研究を市民運動のようなものにしていくかわりに、自分たちの仲間うちだけでやっていくほうが、賢明であるとお考えのようですか？

オーベルト たくさん有能な人たちが、この現象を研究しています。これは疑いのない事実です。大がかりな市民運動になっていくかぎり、多くの科学者の皮相な見方や、専門的な訓練を受けていない人々が多くのケースをすぐに否定してしまう傾向が、このUFOという謎の真剣な研究にとって、長い目でみれば有害なものではないかと、大半のユーフォロジストは感じているのです。

ブルツヘ どうもありがとうございました。おかげで、UFOについての先生のお考えに対する誤解もかなり解明されたのではないかと思います。

森マリ訳

2 ニュージールランド

THE WANDERING POLES AND ORTHOTENY

地殻の変動は

なぜ起きるか

数十年来、科学者たちは、氷河期の原因—温暖な極地気候—造山—陸地の隆起と海底の地形変動など、地球物理学上の広範な問題を解決するために研究を続けている。極移動論は時代とともに進歩してきたが、そこに示された根拠が不完全なものであることがわかり、極移動論は全面的に否定された。それまで言われていたおもな極移動論について考え、そのような変動にか

かわる原理を理解することが必要である。

「極移動」ということには、さまざまな意味を持たせることができる。

その一つは、星との関連における地

あらゆる科学調査は、間近かに迫った地球の地殻大変動を予告している。一定地域におけるUFOの出現は、彼らが地球の磁力線と磁気障害の調査を行なっている可能性を示すものだ。

軸の位置の変化である。周知の通り、地軸は赤道面に対して直角の位置にはなく、23・5度ほど傾斜している。地球に季節があるのはそのせいである。けれども、かりに、片方の極が太陽の

方向にまっすぐ向いていたとしたら、一極は暑くなり、もう一極は寒くなるだろう。暑い極には夜がなくなり、寒い極には昼がなくなる。このような状態がかつて地球上にあったことを示す証拠はないが、大きな惑星同士の衝突でも起これば考えられないことではない。

地球表面のいろいろな地点との関連で極が移動する第二の原因は、地軸の位置は変わらずに、地軸によって地球全体の位置が変わることである。その場合、同じ星に対する地軸の位置は変わらないが、地球の傾斜運動によって地球表面の他の地点が両極に移っていく。要するに、地球全体は回転するが地軸は太陽に対して不変の位置を保つというわけである。それではつぎに、これまで言われていた2つの有力な理論について述べることにする。

1. 数年前、技術者のフイ・オーチンロス・ブラウンは、増大する極地の万年氷が地球全体を傾斜させて極を移動させるとする説を打ち出した。地球の中心が回転軸とびったり合っていないために、地球が地軸を中心に若干揺れていることはすでに知られている。ブラウンは、この知識に基づいて自

特集／UFO発展途上国の最新情報

地球の極移動と
オーソテニー

●ニュージールランド
宇宙科学研究所長
ハंक・ヒンフェラー



分の理論を組立て、そのわずかな離心が、南極の巨大な万年氷の塊りによって地球のバランスを失わせるような大きな遠心力を生み出すとした。ブラウンは、地球の赤道のふくらみ―赤道の直径がいくらか大きくなっている―をはずみ車と考える。この南極の万年氷の遠心力でははずみ車が破壊されると、遠心力とともに離心半径が大きくなり遂には地球がひっくり返るといふのである。中心からはずれた万年氷によ

て生ずる大きな遠心力に関するブラウンの計算には誤りはなかったが、その後、赤道「はずみ車」の安定力（遠心力）は万年氷によって生ずる離心遠心力よりはるかに大きいことが計算によって確かめられた。したがってブラウンの誤りも否定されなければならなかった。

2. もう1つの理論は、アルフレード・フォン・ウェゲナーが提起したものである。ウェゲナーは地質学者ではなかったが、スケールの大きい優秀な科学者であった。

彼の説によると、いくつかある大陸もかつては1つの巨大大陸を形成していたが、それが分裂して動き出し、大陸や海底の塑性のある地層の上を漂うようになった。この考え方はなかなか独創的であったが、やがて事実とかけ離れたものとなった。その後、地殻構造についてさまざまな発見がなされ、大陸が漂うことができるくらい塑性があると考えられていた海底の岩が、実際には非常に固いことがわかった。大陸は、厚さが少なくとも20マイルあって頑丈な海底の固い岩石層が変位しなければ、漂うことはできないわけである。したがって、ウェゲナーの説も否

定された。

ブラウンの説もウェゲナーの説も極移動の真の原因を証明するわけにはいかなかったが、今のところ筋書通りにいっているように見受けられる理論にも少なからず貢献している。この理論は、地質学者のチャールズ・H・ハブグッド教授の調査結果に基づいて生み出されたものである。彼の調査は国際地球年が始まる直前に行なわれたが、国際地球年で発見された事実がハブグッド教授の理論の証明になったようである。彼は、これも地質学者のジェームス・H・キャンベルと共同で「移動する地殻」を編さんし、1959年に出版した。

極は移動する

ハブグッドの理論は、前に述べた諸問題を地殻の変位という解答で解決する。地殻変位の原因として、ブラウンの中心からずれた万年氷を引合いに出し、それによる大陸の離心運動が、地殻の滑りを可能にするほどの力を生み出す、としている。地殻が明らかに固い物体の上を滑れる、というのは、いかにも不思議である。これに対して、地殻は非常に薄く、厚さの推定値は最小約20マイルから最大約40マイルであるとハブグッドは答えている。

上はニュージーランドで撮影されたUFO。右・南極の万年氷で地球のバランスはくずれない。

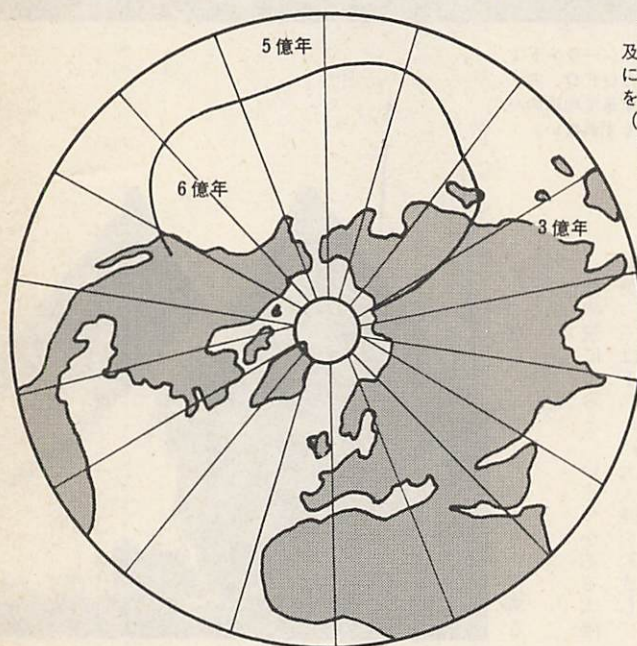
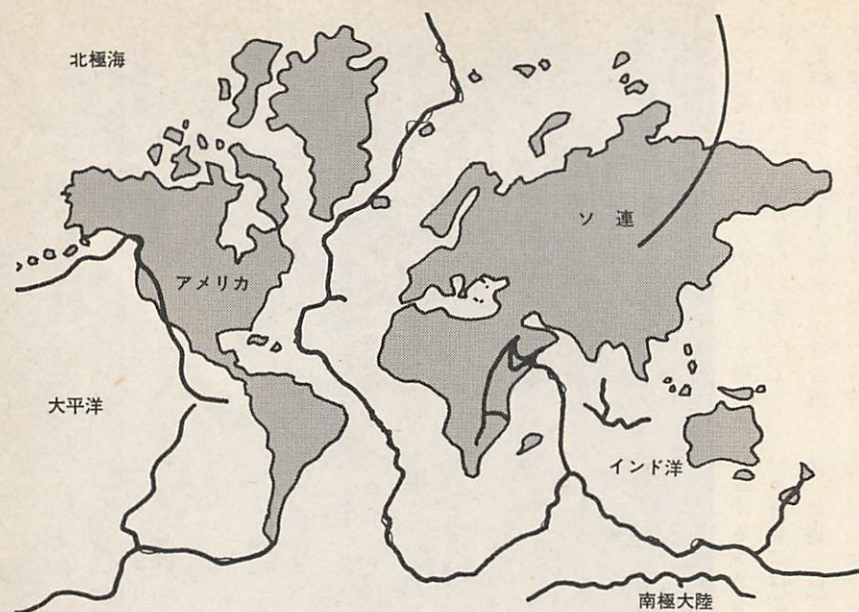


彼はさらに、地殻は比較的固い結晶質の岩石でできており、いたる所で破砕しており、大きな強度はない、と述べている。地殻のすぐ下には、恐らく高温で結晶しないために、きわめて弱くなっていると思われる層がある。また、その深さの圧力は岩石にかなりの

塑性を生じさせるから、その深さの岩石は、タールのように非常に粘り気のある液体にも匹敵するほど高い粘性を持つているものと思われる。

したがって離心の塊り（南極大陸）によって生ずる遠心力のような、天文学的には比較的微弱な力でも、滑動を

海床にできた45000マイルに及ぶ大亀裂。上の各線は北極に集まり、下の線は南極大陸を取りまいてる。
("Science Publications Newsletter" 1963年9月第21号より)



地殻に伝えることが確かにできると考えられる。ここで言うておかなければならぬことは、今もぞくぞくと生まれ続けていると言われる南極大陸の氷山にわれわれは特別な関心をもっているということである。そのおもな理由は、南極大陸は陸地の塊りであるのに対して、北極は浮かぶ氷にすぎないからである。

このように説明すると、地殻の変位は、オレンジのゆるんだ皮の動きにたとえられる。地球の歴史が始まって以来、極が移動していることを示すものとして、ハプグッドは「氷河期」現象を引き合いに出している。

彼はまた、以前、全大陸（イギリスから極地まで）が氷に覆われていたという仮説が支持されていたが、現在ではもはやこの仮説は成り立たないことを、豊富な証拠をもとに明らかにしている。それよりもむしろ、従来「氷河期」があったと指摘されていた地域は極地にあつたとしたほうがずっと論理的である。現在は熱帯になっているインドとアフリカの大氷原も、それで説明がつく。

国際地球年に実施された地球物理学的研究によって移動する極の理論が確認された。ロナルド・フレージャーは「かつて太陽のまわりは——国際地球年の話」の中でこう述べている。

「溶岩にも、世界のいろいろな場所にある堆積岩にも広く含まれている磁気化石の徹底的な組織的研究によって、化石の磁化方向が、現在化石を埋めた場合と必ずしも同じにならないだろうという意外な事実が明確になった。北から南の方向に磁化されていることもあるが、南から北の方向に磁化されているほうがはるかに多い。

この観察結果を最もストリートに解釈すると、磁場の方向が、過去において、数百年から数千年という不規則な

間隔において、一度ならずいくたびも逆転したと考えられる。

1000年とかからず、突然地球の磁場が逆転したとしても、磁気化石を調べれば、それが驚くほどの現象ではないことがわかる。地球の主極磁場の軸が向いている方向も、両極の極性変化とは全く関係なく果てしなく長い地質時代を経て著しく変化したのである。その場合、主極磁場が、過去においても現在と同様に地球の回転軸と結びついてたと仮定すれば、地球の回転軸は、世界の大陸や海洋との関連で時とともに変化する、いいかえれば、地理的な極の位置はさまよい続けて来た、というきわめて注目すべき結論に達する（「かつて太陽のまわりは」）。

「磁気化石」によると、北極は、過去10億年間に、アメリカ西部のある地点から太平洋を渡り、シベリアを通過して現在の位置までさまよい歩いている。（出典—「Once Around the Sun', The Story of IGY 1957—58」）

大変動期を 迎える地球

ハプグッドの理論に対するジェームス・H・キャンベルの功績は、地殻が

動く間に起こる現象を説明する限りにおいて、たいへんなものである。

地球は完全な球体ではないから、極付近と赤道付近とは78マイルに達する差があり、赤道付近が大きくなっている。

地殻が変位する場合は、極地部分が赤道に向かって移動し、赤道部分が極に向かって移動するであろうが、赤道に向かって変位している地殻部分は赤道のふくらみを通過しなければならず、したがって著しい引っ張りを受ける。この引っ張り、地殻に働く爆発応力が地殻の強度を越えて破砕が起これなければ解消されない。逆に、極に向かって変位している地殻部分は圧縮され、褶曲が起これ地殻が破砕する原因となる。

最大の変位は、線、すなわち、極から万年氷の塊りの中心を通過して地球を回る経線に沿って起こる。地殻の大破砕はこの経線に沿って起こり、小破砕は移動の中心経線に直角に起こる。経線に対して90度離れた赤道上の2つの中心点では、移動はほとんどない、全くない。

ハプグッドは、地殻の移動に関する自分の推論を実証するために「コロンビア・リサーチ・ニューズ」（コロンビア大学）1957年3月号からつぎ

の一節を引用している。

「1月にコロンビア大学の地質学者たちは、地殻が引き裂かれたために生じたと思われる、世界中にまたがる裂け目を発見したと発表された。この大亀裂は、明らかに連続している何本もの線——全長45000マイル——が一体となつて世界中の海底を走り、いとも簡単に3大陸にも上陸している。

世界中に広がるこの亀裂は、どこまで行っても形状はほとんど変わらず、幅が平均20マイルから25マイルの中央谷なしいしは溝があり、その片側には、谷からの高さが1マイルから2マイルで幅が75マイルに達するけわしい山脈がそそり立っている。この山系の最高峰で海面下3600フィートから7200フィートの所にあり、亀裂谷の長い海溝になると、2マイルないし4マイルの深さにある。

地球を取巻く地層は、その地勢図によつて特徴が示されるが、全域にわたつて相変わらず続いている浅い地震の震源になつてゐる。大亀裂が地殻の引き離しによつて起きたものとすれば地質学的特徴は若く、成長していることを示している。

前述のことから言つて、どこかある地点で地殻に穴があくと、液状の、塑性がある下の地層造山の形でその穴を

埋めることができるが、現在は地殻がまだ引っ張られている状態にあり、実際の移動は今のところ始まっていないと言つてよい。明らかに赤道のふくらみが、地殻の滑りをまだ防いでいるが、予備的な作用はすでに始まり、地殻に働く力が最後の障害を乗り越えれば、改めてそれに注意するようになるだろう。現在、世界中にみられる、連続的な、増加する一方の地震活動は明らかに、やがて始まる地球のより大きな運動の前ぶれである。

ハプグッドの理論によれば偉大な発見にいたる追跡も直線的に行なうことができる。地球上の「局地的な」現象は彼がすでに十分解明しているが、すべての要素が考慮されているとは思わない。

たとえば、地球の磁場の求心作用があるし、最近では、それと当然深いかわり合いがあるに違いない太陽の極性の逆転がある。太陽に起こったこの大きな変化は、1959年10月25日につきのように発表された。

「太陽の磁場の逆転——パサデナ、10月24日。太陽の極磁場は逆転した——」だが、太陽内部のどんなに大きな力が働いてそういう現象が起きたのか、天文学者たちにもまだわからない。

この発見は、ウィルソン山パロマ天

文台の一部になっているソーラーホール研究所のハロルド・B・バブコック博士によってなされた。

バブコック博士は、この逆転は徐々に起こったと語っている。それは、太陽の南極で1957年のなかば頃から始まり、その年の内に北極地域に移動した。50年間もウィルソン天文台に勤務するバブコック博士が太陽のあらゆる磁場の観測を始めたのは1952年である。その後5年間は、極性は変化しなかった。つまり、地球の磁場の極性とは反対になったままであった。

この太陽の磁場の逆転が軸の移動と密接な関係があると信じるに足るりっぱな理由があり、過去の時代における極の移動がなによりもそのような磁場の逆転が原因で起こっていると言っても過言ではない。この逆転が一定の間隔をおいて起こる「太陽循環期」である可能性もある。もしそうならば、磁場の逆転は大移動に近い将来起こることを明示していることになる。

アメリカの有名な2人の地球物理学者モリス・アーウィング博士とウィリアム・L・ドン博士は、極移動は大体11万年おきに起きているから、現在起こる可能性は十分にあると信じている。

UFO飛来は 地殻変動の 調査が目的か

ハプグット教授は、地殻の変位がどのようにして起こるか——つまり、その実際の「仕組」——をみごとに解明してくれたが、われわれには、まだ、「最初の原因」を探す作業のこのされている。地球の磁場は太陽の逆転に適合しようとするから、地球の磁場が変化する力によって生ずる応力とひずみは、中心からはずれた万年氷の離心運動があってもなくても、変位を引き起こすのに十分な大きさになるはずだ。あらゆる点から考えて、大変動が間近かに迫り、地球が歴史上きわめて多難な時代を迎えていることは明らかである。

そしてそれは、最後には、UFOの活動ともつながってくる。UFOはなぜ地球にやって来るのか。地球にやって来て何を調べているのか。地球人と地球人の活動が「研究対象となる宇宙の珍品」リストの上位にランクされているかどうかは別として、UFOが地球に興味を抱く第1の目的は、おもに地球物理学の領域で見られる変動に関連した科学的な目的である。

どうみても科学技術は彼らのほうが

優れているのだし、彼らのほうが地球人より有利な条件で地球物理学的な変動を探り出し、研究できると考えたほうが筋が通っている。宇宙における地球の位置が大きく変われば、太陽系の他の惑星にも何らかの影響が出るはずである。

したがって、最も影響を受けるのは地球に一番近い惑星ということになるだろう。われわれはそう信じている。惑星が1つ移動すると、他のすべての惑星に相関的な変動が必要になるが、極移動の第一の原因が地球の母体である太陽にあるとすれば、太陽系全体で何らかの調整が必要になることは確かである。今はそれしか考えられない。しかし、空にUFOが飛んでいるということは、想像を絶することであり、それがここ20年間も続いているのである。

大地震の直前や直後に特定の場所にUFOがしばしば現われるということとは、十分に確かめられた事実である。地震学者たちは、地震予知——惑星間訪問者はすでにこの能力を持っているかもしれない——という見地からこの方面の研究を行なっている。

フランスの科学者エーメ・ミッシェルは、オーソネーと名づけた「直線」理論を発表し、UFOの科学活動を知

る新しい手がかりを与えてくれた。

ミッシェルは、24時間単位で表した観測データが、母船と仮定した中心点から放射状に広がる直線のパターンになることを発見した。これは、ミッシェルが調べた観測データに関する限りUFOの側でも、よく整った組織的調査を行なっていることを示している。また、オーソネーに関する研究は他の研究者によっても行なわれ、ミッシェルが発見した最初の線を延長して地球をまるく囲めば、2つの極から等距離で地球を囲む2本の「大きな円」の線が描けることがわかった。

この2本の線は、フランスとニュージーランド付近で直角に交差する。予備調査によれば、この2本の線に沿った多くの地点が、頻繁にUFOが観測される「現場」になっており、当然調査を進めるべきである。

われわれが信じているように、UFOが磁力線と磁気障害の調査を行なっているとしたら、組織的な作業パターンに従わざるを得ないだろう。現在地球で進行している広範な地球物理学的変動という見地からすれば、宇宙の隣人たちにとって、われわれ地球人が「興味を中心」になったとしても驚くにはあたらない。

3 ソビエト

SOVIET PROBE OF EXTRATERRESTRIAL LIFE & UFOS

ソ連各地で起き
ている目撃事件

ソ連でも、いたるところで「空飛ぶ円盤」が目撃されているらしい。最近になって、こうした情報がいっつか私たちのもとに伝わってきた。もともとこれは実際にソ連各地で起きている目撃事件のほんの一部で、鉄のカーテンにさえぎられて、いまだに多くの情報が公表されないままになっている。

しかしほんのわずかとはいっても、もれ伝わってくる貴重な情報によってUFO現象がグローバルな問題であり、かつ自由世界の人間のみがこの問題にとりくんでいるのではないことがわかる。それでは、入手した情報のなから興味ある報告を伝えよう。

鉄のカーテンと
太古宇宙人エドワード J. バブコック
ティモシー G. ベックリー 編

特集／UFO発展途上国の最新事情

ソ連の科学者たちはUFOと宇宙人の問題に人類史的観点から積極的にとり組んでいる。ソドムとゴモラの滅亡、古代遺跡などの謎は太古宇宙人説の導入によってようやく解明の足がかりを得られるのだ。

（ヘリピンスク） 1962年の夏。モスクワの北150キロメートルの町リピンスク。町をはなれた丘の中腹にある軍事基地の上空2万メートルに、大きなUFOが現われた。基地からは、ミサイルが発射された。が、ミサイルは、UFOに届く直前に爆発してしまっただ。つづいて発射された2発目のミサイルも目標に命中しなかった。

（場所不明） 1961年、ソビエトのある場所で、重戦車をつくつている工場が謎の大爆発を起こした。ソビエト当局は、この事故をアメリカの破壊工作員のしわざであるとし、あやうく国際危機へと発展しそうな事態となった。

た早朝、一個の火の玉が工場に落ちてくるのをみかけた人がいた。その直後もの凄いい音とともに、大爆発が起き、「ひじょうに強い光を発して輝く、無数の小さな火の玉がとび散った」と報告している。

その無数の光は、まだ夜も明けきらぬあたり一帯をばあつと照らし出し、つづいて激しい突風が巻きおこった。粉塵、砂塵で視界はまったくとざされてしまったということである。

この大爆発で工場の重要な部門、原子力砲に使われるある特殊な自動装置の生産ラインが完全に破壊された。燃えさかる工場の上空に一台のUFOが発見され、基地からはジェット戦闘機が突進した。しかしUFOはジェット戦闘機が接近すると、スッと消えてしまった。

この大爆発事故でもっとも不思議なことは死傷者が一人もでなかったことである。爆発の起こる数分前、工場の警報装置がけたたましく鳴りひびき、中の労働者は全員シェルターに避難する余裕があったのだ。だが、その後の調査でその警報装置には、誰の手も触れたあとがないということがわかったのである。

ヘイルクーツク 1961年、イルクーツクの近郊で、足が4本出たロケット型の物体が着陸するのが目撃された。

その飛行物体からは、ふたつの生命

体が姿を現わした。これは、駆けつけた近くの研究所の博士（女性）によって写真が撮られている。

（サラトフ） 1961年の暮。サラトフ上空1万フィートからスカイダイ

▲パールベックのペランダ



右はツングース爆発の調査に使われた木の年輪。下はカザンツェフ。

ピングを行なった女性がいた。小型機のパイロットは、彼女のパラシュートがひらき、地上へと舞いおりていくのを確認したあと、近くの飛行場に着陸した。すぐにも帰ってくるはずの彼女をまっていたが、ようとして現われない。そして3日後、彼女はふらりと飛行場に姿を現わした。

彼女の説明によると、パラシュートの開いた直後、空中でUFOに捕えられたという。UFO内部で3人の宇宙人と話をした。そして帰りぎわに、封筒に入れたメッセージを託された。

このメッセージの内容はいまのところ、当局によって明らかにされてはいない。

人類史的な視点から のUFOの研究

このように、ソ連のUFO目撃情報は、まだまだあいまいな部分が多い。しかしソ連の科学者のあいだでは、活



発に研究が重ねられ討議されているようである。

『オーストラリア円盤レビュー』誌に寄稿したソ連の研究者、アレクサンドル・カザンツェフの論文にその様子がうかがわれる。この論文は「古代人は宇宙人と出会ったか？」と題され、大昔、まだ地球人が文明をもたないころ宇宙人が地球にやってきたこと、そして、現在の科学でやっと解明できるような高度の知識を残していった可能性を論じている。

多くの議論が重ねられてきた結果、現在では「他の星の知的生物が、かつて地球を訪れたことがある」という説が支持されている。その一例として、ツングースの爆発の調査の結果をあげよう。

最近行なわれた調査によれば、爆発のあった1908年をさしめす木の年輪の個所には、ストロンチウム90や炭素14のようなアイソトープが大量に発見されている。アイソトープが集中して大量に存在する条件はただ一つ、核爆発によるものと考えられる。そして、つとも可能性があるのは、宇宙船の爆発事故である。

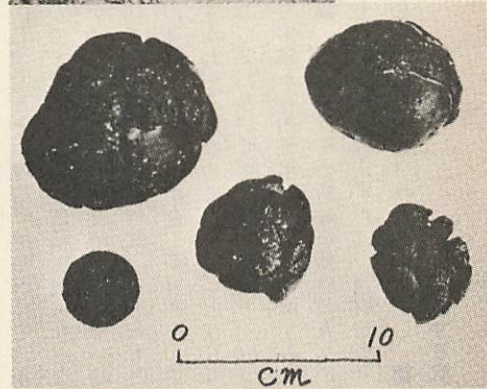
大昔、宇宙人が地球を訪れた可能性は大いに考えられる。そうであれば、人々の記憶、伝説、さらに古代の書物

に何らかの足跡を残しているはずだ。そう考えてみれば、聖書の中の記述にも全く新しい光の下で解釈しうる個所がうかがいがつてくる。

ソ連の科学者アグレストは、ソドムとゴモラの滅亡について、広島や長崎の破壊との比較検討をおこなった。ソドムとゴモラの2つの町は、そこを訪れた人々（宇宙人）がやむをえず使った核兵器によって破壊されたと推定している。おそらく彼らは、地球でまみえた奴隷制国家の指導者と闘い、やがて窮地におちいり他に逃れる方法がなかったからだろう。このとき、どのような状況であったかわからないが住民の中で善良な人々（ロトとその家族、友人たち）には放射能の影響を受ける



上・数千年前の断崖に描かれた壁画。左・デニマークの天文学者ティコ・ブラーエ。下・地球以外の世界で生まれた石テクトライト。



地域から立ち去るように警告を与えたことが書かれている。

高い文明を持つ宇宙人は原子力が知的生物の社会におよぼす危険をよく承知して、このソドムとゴモラの出来事を伝説の中へ封じこめることで後世に伝えようとしたのであろう。おそらく彼らは、地球人の文明もいつかは発展し、原子力の秘密をその手に握る日が必ず来ることを予測した。

だから、地獄のけだものを解き放つように、不寛容や反目のためいかなる手段をも辞さず残酷のかぎり尽すなら、人類はやがて滅びるだろうと、警告したので。

古代に地球を訪れた高い文明からの使者のこの警告は、人々の伝説の中に

語りつがれ、予言者聖ヨハネの黙示録という詩的な結実となって聖書の中に織りこまれ、今に伝わっている。

「他にもたくさん土地の伝説が宇宙人の来訪を物語っている。また遺跡の中には、はっきりとその形跡が認められるものがある。

アンチレバノン山脈の「パールベツクのペラング」、地球上あらゆる場所で見かける巨大建造物（単に大きいというだけでなく、その構造上、巨人がつくったとしか考えられないもの）。南アメリカの山中に突如ひらける何マイルにもおよぶ神秘的な線や形。

サハラ砂漠の断崖に描かれた壁画。

6000年前から7000年前に描かれたこの壁画の模写をパリのルーブル

博物館で見ることができる。この絵を見た人はそこに描かれているのが「宇宙服を着た人間」であることにおどろくだろう。

と、ソ連におけるUFO研究が、人類史的な視点にたつて展開されているのが興味深い。

アグレスト教授へのインタビュー

また、われわれは同様の意見を直接ソ連の数理論理学者M・アグレストから聞くことができた。彼のUFO研究はソ連はもとよりアメリカでも出版されている。

以下のインタビューは、P・ガルキンとM・チエルニンがアグレスト教授に行なったものの抜粋である。このテープの入手にあたってオーストラリアの「ビクトリア円盤研究協会」のポール・ノーマン理事の協力をえた。

宇宙人が地球にやってきたのはいつごろのことでしょうか。

アグレスト それについて確かな情報が残されないくらい遠い昔でしょう。人類は存在していましたが……。たぶん何千年も何万年も前のことでしょう。

宇宙人はどんな方法でやって来たのですか？

アグレスト ロケットです。光速に近いスピードの宇宙船でしょう。

どこから来たのですか？

アグレスト 人の住んでいる遠い星からです。

おそらくかなり遠い星と思います。

太陽系には地球以外に知的生物が住んでそうな星はありませんからね。

着陸した場所はどの辺ですか？

アグレスト 近東の死海の近くだと思います。

あの辺には謎の多い古代建造物の遺跡がいくつもありますから。たとえばアンチレバノン山脈の山岳地方のパーレベックの町にも一つあります。寺院が立ちならんでいるところの近くに丘があります。その丘の上は、まったく平らになっていて、さらに一枚2000トンはあろうかという石の板で敷きつめてあります。2000トンのクレインなんてこの世に存在しません。まして古代の人に可能でしょうか。

石板は丘の上で切り取られたものではなく、ふもとの石切場から引きずり上げられたのです。今もその石板が一枚だけふもとに残っています。まるでこれを作った人々が突然すべてを捨てて、どこかに去っていったみたいに。

宇宙人が地球にいたという形跡は他にもありますか？

アグレスト 明白な事実がいくつもあります。一つずつあげてみましょう。

① テクタイト(ガラスのような神秘的な石)この石が地球に落下するのを見た人はいません。しかしながら、この石に含まれるアルミニウムやベリリウムの放射性同位元素が、地球以外のどこかの世界でこの石が生まれたことを証明しています。地球の年齢は数十億年に

対し、テクタイトはせいぜい数百万年といったところです。テクタイトは地球の誕生とともにあったものではなく、さりとてイン石でもありません。テクタイトは宇宙からの旅行者が着陸する前に、上空を旋回しながら地表を測定したときの何か道具のようなものの残りでしょう。おもしろいことにテクタイトの発見された場所はほぼ完全な輪の形でこの地球をとりまいています。

② 古代美術の遺跡。サハラ砂漠で最近、フランスの科学者がタツシリ・プラトーの岩に「画廊」を発見したのです。そこには男や女、動物、鳥、狩や踊りが描かれているのです。その絵の中に一つ不思議な絵を発見しました。それは、潜水帽をかぶって、モダンな宇宙服に酷似した奇妙な服を着ている巨人の絵なんです。おそらく、マスクをつけた聖職者なんでしょうが……。

でも、もしそうでなければ……、

こんな大昔の芸術家が、どこで宇宙服をみたのでしょうか？

③ 古代の科学論文。古代の研究者たちの論文を読みかえてみると、こんな昔の学者がその時代にはおよそ知りえたはずがないと思うことまで研究している例があつて、たいへんびっくりすることがあります。

たとえば、1600年ごろのデンマークの天文学者ティコ・ブラーエは、「月の二均差」を発見しています。二均差というのは、月の軌道上のさまざまな点にかかる太陽の引力のちがひによつて生じる、月の正常な軌道からのズレのことです。ところがこのブラーエより、さらに500年も前(10世紀)に、アブ・ル・ウアーファの論文の中にちゃんとその理論が証明されているのです。この時代には精密機械などなかったし、針のついた時計すらない時代です。時計がなければ、そもそも月の運行の計算なんか全く不可能なんです。それが、それなのに……どうしてこんなことが可能だったのか？ かつて宇宙からの使者が、天体に関する知識、あるいはその断片を地球の人々にもたらしたと仮定すれば、説明がつくのではないのでしょうか？

森マリ訳

UFO教育グループ

〒350-12 埼玉県入間郡日高町高萩2648-38
振替東京3-54681

宇宙における人類の理想を、ジョージ・アダムスキー氏が伝えた先進惑星文明の社会と哲理から探究し、役立てるための情報教育機関
会員制なし 無条件自由参加

刊
行
資
料

進化した宇宙人と他の惑星に関する質疑応答集——アダムスキーの質疑応答集の決定版。73問答。350円送料100円
UFO教育センター来日記念講習会記録——アダムスキーを継ぐ四人のコンタクトティーによるセミナー 頒価1360円(送料共) 刊行予定・予約受付中

情報誌
教育

UFO教室

年3〜4回発行 B5判簡オフ32頁
頒価一冊360円 送料140円
予約購読は四回発行分で2000円
送金は全て郵便振替を御利用下さい

説明・研究会

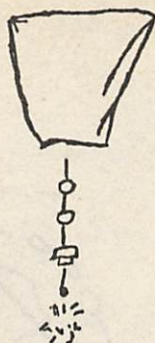
毎月一回、都内で説明研究会開催。初心者用、哲学研究、科学研究等の分科会形式もあり。案内御希望の方は往復葉書でお問合

4 ベルギー

●ベネルックス
のUFO

その夜、ドイツ爆撃を終えてもどるとき、ローマン・ソビンスキー隊長は危機を脱したと思った。

それは1942年3月25日のことであった。ソビンスキー機の下には、北



アントワープ上空の物体

部オランダ唯一の大きな湖であるアイセル湖の波打つ水面が見えた。ドイツ戦闘機と遭遇することなく、飛行は無事に終わりそうに思われた。

だが平穩は長くは続かなかった。機の後部にいた狙撃兵が叫んだ。

「うしろに正体不明の丸い物体がいるぞ！」

ソビンスキーは危険もかえりみず無線にむかって叫んだ。

「射ち落とせ！絶対に射ち落とすんだドイツの秘密兵器かもしれんぞ！」

機関銃が火を噴き、何十発という弾がその未確認物体に当たった。だが何も起こらなかった。

物体はいぜんとして機のうしろにいた。爆撃機の搭乗員たちは、恐怖につ

ベルギー、オランダ、ルクセンブルグの、いわゆるベネルックス三国でもUFO研究はかなり活発である。あるグループでは、同地域内のUFO目撃・着陸地点を調査し、オーソテニク・ラインの存在を追求している。

つまれた。どうしたらいいのか誰にもわからなかった。やがて物体は、推定時速およそ1000マイルというスピードで見えなくなってしまった。

これは、ドイツや西ヨーロッパの爆撃に参加した多くのイギリス空軍パイロットたちによって語られた不思議な話のひとつである。

しかしベネルックス（ベルギー、オ

UFO着陸地点 直線理論

●ベルギー内惑星研究会
エドガー・サイモンズ

特集／UFO開発途上国の最新事情

THE ORTHOTENIC LINE

ランダ、ルクセンブルグの3カ国）上空で起こったものは、ただひとつである。その話は、1963年に廃刊になったオランダのUFO研究誌『UFO Gids』に62年に発表された。

1962年1月29日、1機の円盤がオランダ上空に現われた。ベルギー空軍戦闘機のパイロットが、物体を目撃し、追跡をはじめた。

円盤は時速3500kmのスピードで逃げようとした。スパイ活動をしている外国の兵器と考えたパイロットは、その物体を射ち落とそうと決心した。が、空対空ミサイルサイドワインダーの発射準備ができたとき、円盤は跡かたもなく消えていた。

このような上空での目撃は、ベネルックスのUFO史ではまれなことである。

目撃の多くは市民とくに若い人たち

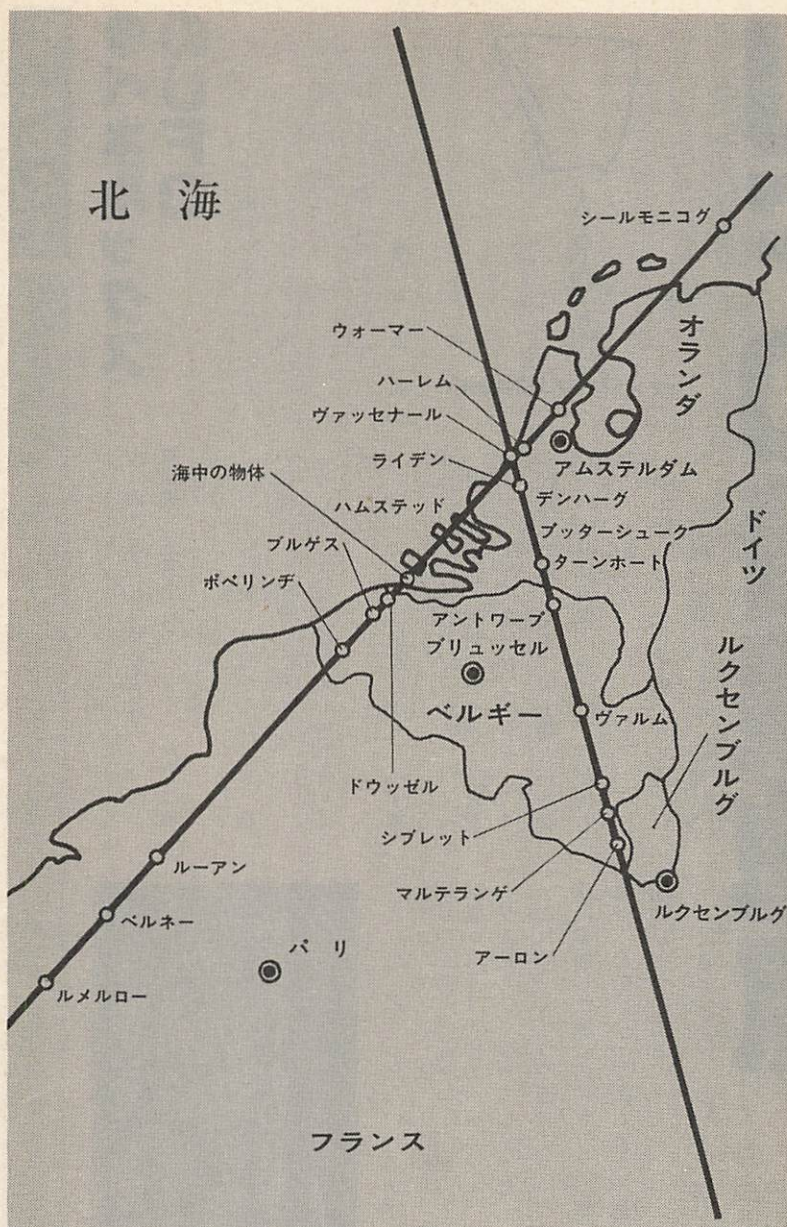


図2 ベルギー上空を通過するオーソネー

によってなされている。これは若者たちのほうが、より多くUFOに興味をもっており、一度は神秘の物体を見たいと期待して、いつも空を見上げているためだろう。

ベルギー宇宙研究会(B・I・S)には、こういった若い人たちの多くの報告がファイルされている。その中でもベルギーのアンドレ・ヴァン・

ルーイからの報告は、非常に特殊なものである。彼の住むターンホートは、オーソネティック・ライン(UFOの着陸地点を結んだときに生ずる直線。エーメ・ミシエルが、これをオーソネティック理論で証明したため、オーソネティック・ラインと呼ばれるようになった)に位置している。

「1965年9月22日、わたしはあお向けになって日光浴をしていた。風はまったくなく天気はとてもよかった。午後1時30分、わたしは北東アントワープ上空に、2つの不思議な物体を見た。(目撃された場所はセント・ニクラスだった)別に興味もなかったの

つとはつきり見ようと思い、望遠鏡をとりに家に走り込んだ。
望遠鏡で見ると、物体は2つではなくて、1つであることがわかった。大きい方の部分は、子供たちが遊びに使う、凧のような形をしていた。凧の端には球が2つついたケーブルが下がっており(図1)、ケーブルの端には、物体の第二の部分が見えた。それは円盤形で、下部にまたケーブルが下がっていた。そのケーブルの端にも第三の物体があったが、細部はよく見えなかった。

午後2時だった。そしてもう一度物体の方向を見たときには、すでに消えていた。時間を見ていた2秒ほどの間に消えてしまったのである。(3)

これが、アンドレからB・I・Sが受けた報告である。われわれは、これまでにこういったタイプのUFOの報告を受けたことはなかった。

その同じ日(1965年9月22日)別のUFOがアントワープで目撃されている。午後9時30分から10時の間に2つの火の球が市の上空に現われ、数人がそれを目撃した。そのうちの1人ホールネルト氏(アントワープ在中)が詳細をB・I・Sに報告してきた。それによると、物体は黄緑色をしており、やわらかいシューツという音が

きこえたということである。

アントワープ空港の管制塔の人たちも、その火の球を目撃している。それはしばらく上空を飛びまわっていた。

この2、3カ月の間にB・I・Sが受けた報告を、すべて述べることは不可能であるが、ベネルックスでは、ますます多くの人たちがUFOを目撃している。ぞくぞくと報告も集まってきた。

「わたしはローゼラレ（ベルギー）の上空で、虹色をしたロケット型の物体を見ました。」

「卵型をした緑・黄・赤色の物体がドラッヒテン（オランダ）に現われた。」

「ザンダム（オランダ）のわたしの家の上空を、不思議な赤い球が飛んでいた。」等々

「ローゼラレ上空の、あの赤い球は何ですか？」という質問もきている。

B・I・Sだけでなくブルゲス（ベルギー）の「前衛科学研究会」（GESAG）や「ベルギーUFO調査会」も、ベルギーの首府ブリュッセル上空のUFO目撃の報告を、数多く受けている。

1966年の1月から3月にかけてUFOは、6度もブリュッセルに現われている。UFOは、どうやら、われわれ

れのこの小さな国を好きになりはじめたようだ。あるいは、わが国に置かれることになった、NATO総司令部となにか、関係があるのだろうか。

以前はベルギーよりも、オランダでの目撃の方が多かったのである。そのうち、おもしろいものを2、3件ここに紹介しよう。

1958年9月20日、J・D・ワロープ氏は、オートバイでリジュンの森を走っていた。突然エンジンが動かなくなってしまった。不思議なことにどこにも異常はなかった。しかし、いつこうにエンジンがかからない。どうしていいかわからず、あたりをみまわすと、森の開けた上空に、UFOが見えた。UFOが消えたあと、オートバイはふたたび動きはじめた。

1年後（1959年9月19日）、赤く明滅する閃光が、リジュンのアルフエンで見られた。楕円状に動き、1秒ほど空に舞っていた。

1961年には、オランダ上空で多くのUFO活動があった。8月にはデ・ハーグ、アムステルダム、それにオドゥ・アウエレストに多くのUFOが現われた。

同じ年の11月には、ゴーリーに住むネリセン氏が、オレンジイエローと、赤色をした球体を目撃していて、2晩

後、彼はふたたび同じ物体を見た。

これはおそらく、この地方の上空にオーソテニック・ラインがあるということの意味するのだろうか、それをたしかめるには、もっと多くの目撃例が必要である。

事実、ベネルックスにおけるオーソテニックについて、われわれは特別の注意を払う必要がある。次の章でそれについて、さらに詳しく述べるつもりである。

●オーソテニック・ライン

そこで、わたしは数年前から、ベネルックス上空のオーソテニック・ラインに関する研究をはじめた。同一日時のものとわかるUFOの目撃例が、充分になかったのである。エーメ・ミッセルが言っているように、同じ日に目撃されたいくつかの地点がわかってはじめて、オーソテニック・ラインを見つけることができるのである。

わたしは、ベネルックスの地図の上に、多くの目撃地点を記入してみた。しかし、それらはすべて日時が違っており、なかには年が違っているものもある。

それで、わたしはしばらくオーソテ

ニーの研究をあきらめることにした。ところが、昨年、ベルギーおよびオランダのUFO研究家たちと連絡をとったところ、彼らがオーソテニック・ラインについて、わたしよりもよく知っていることがわかった。

新しいオーソテニック・リサーチのときがやってきた。ブルゲス在住のGESAG会長、ジャック・ボナボット氏は、ベルギー上空で発見した2本のオーソテニック・ラインについて、つぎのように書いてきている。

「オーソテニックのデータをお渡しするまえに、まずご注意を申し上げます。何人かのベルギーのUFO研究家が、ベルギーの上空いたるところに、オーソテニック・ラインを見つけないとして、いるが、それはナンセンスです！」

オーソテニックの法則によれば、UFOの目撃は同一日の短い時間帯に、直線上に連続しておこるといわれる。

しかし、彼らの調査では多くの日にわたった目撃をもとにした線です。となるとこれは別の意味をもつようになるのです。すなわち、多くの異なった日にわたるオーソテニック・ラインは1つの「オーソテニック・チャネル」を作ります。しかし、そういったものは、エーメ・ミッセルの理論にはそぐわないものです。

目撃が報告されると、その目撃地点をたどって線をひく……これはわれわれの犯しやすい最も大きな誤りです！ オートソテニーの法則を正しく応用すれば、ベルギー上空には2本のオートソテニック・ラインがひけます。1本はブリュッセル南部の東西ライン（1958年6月24日）であり、もう1本はベルギー東部の北西—南東ライン（1954年10月10日）です。

ベネルックスのオートソテニーに関して、ミッシェルの法則に照らしみると、実際は、オートソテニック・チャネル以外には何も見つかりませんでした。このチャネルはレイヴァーデン（オランダ）からポペリンチ（ベルギー）まで続いています。

わたしのよき文通相手になったジャック・ボナボットは、その後、自分の雑誌（GESAG会報No.6、1966年）に、オートソテニーについての記事を發表した。

この問題に関して、さらに多くの情報を得たのはその記事を読んだからである。すべての詳細をわたしの調査の結果と比較してみても、ジャックの情報が正確なものであることを確信した。

ベルギー上空に2本のオートソテニック・チャネルを構成してみることは、事実可能なことであつた。そのうちの

1本は非常に重要なもので、レイヴァーデン（オランダ）からポペリンチ（ベルギー）に続いている。

この線上で過去数年間にUFOが数回目撃されている。詳細をすべてここで述べることはできないが、いくつか紹介しよう。

地図（図2）でおわかりいただけるように、線は次の市や地域を通っている。

シールモニコグ島（北部オランダ）
↓レイヴァーデン（オランダ）↓ウォーマー↓ハーレム↓ヴァッセンアルセ
スラッグ↓デン・ハーグ（ハーグ）↓
ハムステッド↓北海↓ドゥッセル（ベルギー）↓ポペリンチ。

さらにはるかフランスにまで線をおぼしてみると、ルーアン上空、ベルネーからボイムスニルにいたる街道、ル・メルローの上を走っている。ここに最も重要な目撃例をあげてみよう。

ハーレム… 1961年7月25日、葉巻型円盤が市の上空を飛行。赤みがかった色につつまれていた。ヴァッセンアルセスラッグ… この地方に、1965年11月15日、赤い火の球が現われる。

デン・ハーグ（ハーグ）… 1958年1月、住民が火の球を目撃。同年7月11日、円盤型の物体が市の上空を

飛行。赤い火を帯びていた。

翌年4月28日、北東の方向より2機の円盤来訪。これはUFOがオートソテニック・チャネルに沿って来たことを意味している！

昨年8月14日、多くの住民が空に赤い火の球を見る。続く5日間に、不思議な光が何度も目撃された。

12月30日にはふたたび赤い球が市の上空に現われた。

ハムステッド… 1965年7月4日の日曜の朝、カザンド（オランダ）に住む男の人が、海を眺めていたところ、突然空から2本の白い煙の柱が現われて、水中に突入した。

目撃者は他の人たちを呼んでいっしょに謎の煙の柱の最後の残りを見た。彼らはみんな、飛行機が海に墜落したものだと思い、各方面に知らせた。

オランダ海軍の数隻の船が、救助艇とともにヴリースゲン（オランダ）港から出動した。同時にベルギー空軍のヘリコプターも出動して事故海域を搜索した。午後4時、出動作戦は何の成果も得ないままに終わった。

飛行機が墜落した痕跡はまったく見つからなかった。

オランダのアッテシュークの地方UFOグループの世話役で、わたしの友人であるジャン・レ・ヴィールは、その

機関誌『UFOの鏡』で、事故海域は問題のオートソテニック・ライン上に位置していると書いた。この線の存在はハーグのUFOコンタクトグループのレイ・ドゥキラ夫人が彼に教えたものである。

ドゥッセル（ベルギー）… 1954年11月、リッセヴェーグという小さな町に住んでいるローランツ氏は、午後9時30分、町に近い道で、不思議な光を見た。その光が消えると、道の上に正体不明の物体がとまっているのが目に入った。2、3秒後、その物体は離陸し、ふたたび神秘的な光をともしながら空中に消えていった。道の上には、小さな箱がひとつ残されていた。その中には、ローランツ氏には読むことのできない書類が入っていた。

この事件は、1954年のUFO大襲来の際に起こったものであるが、その当時はどのUFO研究者も調査しなかった。

12年後、UFOグループのアッテシュークとGESAGが、この事件を調査しはじめた。ところが、何とリッセヴェーグにはローランツという人はまったく存在しないことがわかった。

ローランツという姓は、その町ではたった2家族しかない。しかも両方とも1951年、ドゥッセルでのUFO

こころハツラツ！ 元気モリモリ！

新しい自己変身と自己改造テープ集

行動意欲増強 (心の自信回復)テープ

心にいつも強い意欲と活力感を
完全に心身をリラックスさせ新しい「行動意欲開発法イメージ訓練」を実践していくことにより、あなたの心と身体に強い意欲と活力感を植えつけていきます。そしてその訓練を自分でどこまでも継続していく事によって、あなた自身に真の行動意欲と自己自信が確実に定着していきます。

- 自分自身に強い意欲と自信を植えつけた方へ……
- 困難や障害にたじろがぬ強い自分になりたい方へ……
- 自分の無気力を自分で克服していきたい方へ……
- 自分自身の行動力と活力感を高めたい方へ……

S.E.I.式新自律訓練法 全9ステップ完全習得テープ

従来の自律訓練法よりはるかに確実に、より高い効果が期待できる今話題の新自律訓練法テープです

今までの自律訓練法は、自律神経そのものが弱っているにもかかわらず、それを言葉で「腕が重い」「腰が痛い」という自律訓練の結果から入っていくことに習得の困難と効果の低さ等の原因がありました。S.E.I.式新自律訓練法では、広道の自律神経そのものの働きを内部から大きく確実に開発していくもので、だれにも確実に習得できるように全体がキメ細かに構成してあります。安心して実践して下さい。

- 心身の自己コントロールを自分で高めたい方へ……
- 疲れにくい爽やかな心身と自分を作りたい方へ……
- 自律神経や身体の動きを高めたい方へ……
- 自己催眠効果を高め自己暗示力を深めたい方へ……
- 自己集中力を開発していきたい方へ……

「自己暗示訓練用テープ付」全6本セット

心のクリーニング法テープ (新しい心の浄化法)

名 称	テープ数	価 格	分割の場合
A 行動意欲増強(心の自信回復)テープ	1個	5,200円	
B S.E.I.式新自律訓練法	6個	22,800円	4,000円×6回
C 心のクリーニング法テープ	1個	4,200円	

特別価格

A+Bセット価格 25,600円

B+Cセット価格 24,500円

A+B+Cセット価格 29,500円(分割の場合 5,000円×6回)



お申込みはハガキ又は電話にて、下記へお申込み下さい。(品名、又は、御希望セット内容及び支払い方法明記の事) 代金は現品到着後あと払いです。

S.E.I.自己確立科学センター U-6 係

〒160 東京都新宿区荒木町5-9 津の守会館5F
TEL. 03(357)7619(代)

赤い閃光と穴

これら12件の目撃事件中6件の人々

O 着陸の3年前に引っこしていたのである。
ドゥッセルで実地調査したGESAGは、この話は地方新聞のまったくの作り話であるとの結論を下した。
おそらくこの結論は正しいが、UFO着陸地点が、ちょうどオーソテニック・ライン上に位置しているというところは、少しばかり気になるのである。ポペリンチ… 黄緑色の火の球が全市を照らした。1955年1月17日のことである。

が、赤い色や光や炎を見ているというのは興味をそそることである。
この赤い色は、オーソテニック・ライン上を飛ぶUFOのスピードと何か関係があるのだろうか。
ほとんどのUFOがボール型で、円盤型や葉巻型は少数である。わたしの知るかぎりでは、他の型はオーソテニック・ライン上には現われてはいない。
北部オランダにおいては、オーソテニック・ラインは、ウオーマーとシールモニコグ島の上を通っている。これらの場所では、地面に不思議な穴があるのを見つかっている。

ウオーマーでは、1959年の7月にはじめて穴が発見された。つぎには1959年9月18日に、第2の穴が発見されている。
この第2の穴は、9月16日の夜にできたものと思われる。その夜、付近に住む数人の人たちが、寝室で赤い照明を見たといっている。またしても、赤い色である。
この光をふりまいた物体は流星ではなかった。なぜなら、例の不思議な穴を除いては、この地域では何も見つからなかったからである。
陸軍が調査したところ、穴の深さは25メートル以上もあった。流星が落ち

でもそんなに深いクレーターはできないし、穴の壁が矢のように垂直になることもありえないだろう。
一方、シールモニコグ島のいくつかの穴は、1963年7月、ウオーマーの第1の穴が見つかったちょうど4年後に発見された。
ここでもまた流星の痕跡はなかった。おそらく、オーソテニック・ライン上のUFOの弾道と何か関係があるものと思われる。未確認飛行物体によって地面に不思議な穴やクレーターが残されることは、それがはじめてのことではなかった。
フランスでは、ペネルックス・オー

ソテニク・ライン上で目撃されたUFOは、わずかに3件である。わたしの知るかぎりでは、ルーアン、ベルネーとボイムスニルの間、それにルメルローである。

第2のベネルックス・オーソテニク・ラインは、オランダのライデンからベルギーのアーロンに走っている。この線は、1954年10月16日のUFO目撃を調べて見つけられたものである。

午後9時、光を発する尾をつけた不思議な物体が、アーロン、マルテランゲおよびシブレットで見かけられた(図2参照)。

午後9時15分、ヴァルムの住民のひとりも、同じようにその光の尾を見ている。赤い色の尾であった。警官も2人、その尾を目撃した。

15分後、不思議な物体は、ターンホート上空に現われた。それは円盤型で後方に発光する尾をひいていた。

もちろん、この第2のオーソテニク・ライン上では他の日にもUFOは目撃されている。中でも最も重要なものは、ターンホート在住の一人の青年の目撃である。2、3カ月前に、わたしはこの青年から詳細な報告を受けた(現在彼は、わたしの組織のメンバーである。)

1965年2月、アンドレ青年は、空中に卵形の物体を発見した。それは黄色で、後部からは煙のようなものを吐いていた。

しばらくすると、小さな円盤が1機その物体の中から現われ、続いてもう2機、円盤が出てきた。3機の円盤が母船から離れると、母船はまえよりも速いスピードで前進していった。25分間のできごとだった。他の人たちも同じ物体を目撃していた。

オランダでは、オーソテニク・ラインはライデンの上空を通っている。ここでは、1956年の9月にUFOが目撃されている。

午後9時に3機のUFOが、市の上空を非常なスピードで飛んでいた。UFOは色を変え、しばらく空中で停止したりした。

少し前、わたしはメンバーの1人から、1枚のベルギーの地図を受け取ったことがある。その地図には、10のオーソテニク・チャネルが示されていた。しかし、いまのところ、それらのチャネルが実在すると考えられる証拠は何もない。

さきにも述べたように、ベネルックスのUFO研究家たちによる協同調査で明らかになったわずか2本のオーソテニク・ラインが、真のUFOの通

名前の波動で 人生は3度 ツキを呼ぶ 転換する

キミの名前は前生の記憶だ!! 名前の中に
前生の個性が示されている。その個性を
知って運勢のツキをもっと強くしよう!

成功カード

使用法等は添付文書参照

個人別ガイドブック(9月発行)で成功する職業が決まります。歌手ならレコード大賞とれる人。小説家、作詞家、スポーツ選手、末は大巨、首相まで全て網羅されています。9月より5,000円になりますので、それまでにお買求めの方には9月中にガイドブックも差しあげます。
2,000円

恋愛カード

〈只今予約受付中〉

個人別ガイドブックで知り合う好きな異性が決まります。名前の波動が異性を引き付けるのです。そして您に成功する秘法が全て網羅されています。
4月発売 3,000円

●ご希望の方はハガキに住所・氏名・生年月日・希望カード名を記入してアストロジ宛にお申込みください。

チャンスタイムカレンダー
——プレゼント中——

株式会社 アストロジイ
東京都文京区本郷3-31-4

り道とみなされているだけなのだ。他のすべての線も、おそらくはUFOの航路かもしれないが、それらはたして実在するものかどうかは確認できない。

ここでは、それらの線については触れないでおきたい。それらが本当のものであると考える前に、調査しなくてはならないことがあまりにも多いためである。

わたしは、この本の読者がベネルックスのUFO研究の重要な面をもっと深く知ってくださることを願っている。

ベルギーやオランダのような小さな国でも、多くのUFO活動があることを

読者にお知らせできたことは、うれしいことである。

UFOの活動だけが活発なのではなく、UFOの研究も活発に行なわれている。ベネルックスにおけるUFO研究について、これ以上詳しくお話しできないことは残念である。研究家たちは、ここではじつによくやっている。彼らは、利益を得るためではなく、世界で最も重要な問題、すなわち、宇宙船の来訪という重要な問題をわれわれに知らせるために、喜んで仕事をしている。

5カナダ

THE MYSTERIOUS CHUNK OF HARDWARE AT OTTAWA

オタワに謎の落下物

●報告
オタワ新科学クラブ

オタワ新科学クラブ本部外側の所有地に大きな金属体が横たわっている。

この未確認物体は、これまでなされてきた、究明調査のころみを失敗に終わらせている。そして、その正確な組成、意図、起源、とりわけケベックのセントローレンス川での発見にまつわる事情は、いまだに謎につつまれたままである。

この金属物体は縦120センチメートル、横180センチメートルあり、ほぼ楕円形で、さかさにしたマッシュル

ームのような格好である。すなわち上部が平らで、下部はほぼ半球状をしている。

柱状の部分は、直径22・5センチメートルで、平らな部分に直交しており、金属塊の中央を上から下まで貫いている。平面部のこの柱のそばには、小さな直径6・25センチメートルのパイプの残骸と思われる突出物がみられる。重量は、約1、350キログラムと見積られており、全体が高温、高圧にさらされたと思われる、層状の材料ででき

ている。

この物体は鉄を含み、非常に硬く、切断あるいは解体の試みに耐えてきた。熔解してみると、ほぼ軟鋼の導磁性をもつようになるまでは、かすかな磁気を帯びていることがわかった。

最近、この謎の金属について、2、3の記事がフランス語新聞に載ったが事実上の誤記がある。そこで、読者にこの金属塊の手短かな歴史をわれわれが知るかぎりお話ししよう。

発見者が物体を

売却

ケベックのフランス語新聞に掲載された話によると、1960年6月12日、東部夏時間の午後3時から4時の間、ケベック市周辺一帯を爆音が襲った。それとほぼ同時に、燃えさかる物体が空から降ってきて、高度3万16万メ

空中からときおり奇妙な物体が地上に落下する。航空機や人工衛星の部品であることが判明すれば、地表に何らかの損傷を残して事件は解決する。しかし、あらゆる分析の後にもなお、物体の性質や出所をつきとめることができないとしたら――

特集／UFO発展途上国の最新事情

小さいほうの破片は干潮時には見えるくらい岸辺近くに落ち、もう一方は海上運送の定期航路に落ち、完全に沈んだ。

以上が、新聞の記事に書かれた内容であるが、ここで忘れてはならないことがある。

未確認物体の落下のうわさが届いてまもなく、わがクラブの会員の一行が現場で調査を行なったが、レゼキュレル付近の誰も、実際にはその金属の落ちるのを見たり、落ちた時の音を聞いたりはしていなかったということであった。

あのような小さな町にして、これはいへん奇妙なことだ。

したがって、その金属が現場にどのようなにしてやってきたのかは、謎に包

まれている。

＜発見場所の状況＞ レゼキュレルのあたりは土手が比較的平坦な頁岩層地帯に急に落ち込み、その頁岩層は、水深の深い海運航路へと400メートル近くにわたって広がっているが、航路は大きな玉石の集積によって、頁岩層地帯から隔てられている。この河は干満があり、満潮時と干潮時では約45センチの水深の差がある。

＜発見者について＞ この地方の住民で河岸に打ち寄せられたものを集めて生計を補っている人が、6月の1日、2日のこのあたりのようすをかなり詳しく知っていた。それから3日間雨の日が続き、その間、彼はこのあたりで仕事をしなかった。天気がよくなった時、彼は頁岩層地帯に2つの金属片を見つけたのである。

＜金属の売却＞ 発見者は、大きいほうの物体を処理することができず、360キログラムの小さいほうの物体を運び、ケベックのスクラップ工場にポンド当たり1セントで売ったが、そこでは誤まって非鉄金属として分類されてしまった。

なぜかという、そのスクラップを運ぼうとして用いられた大きな磁気クレーンは、物体の導磁性が低いために金属体をもち上げることができなかった。

たからである。結局それは、非鉄金属のスクラップの山へ押し込まれ、日本へと船積みされた。

大きいほうの金属に関しては、発見のうわさが、その地域のCARDE（カナダ兵器開発研究所）の耳に入り、調査のためにその金属体を回収した。彼らは、宇宙ロケットのカプセルの一部ではないかと思っていたらしい。

調査が完了すると、CARDEは、金属体を、わがクラブのあるメンバーに譲り渡してくれた。彼は、非常に重い物体にもかかわらず、困難をものともせず、オタワのクラブまでトレイラーで引っぱってきたのである。

高マンガン オーステナイト

＜発見された事項＞ 分析の結果、CARDEは次の結論に達した。すなわち、「X線回折によると、この金属の結晶構造は、面心立方であり、これは、①オーステナイト、②隕鉄、のそれと同じである。しかし、半定量的スペクトル分光分析が示すところによれば、この金属は、隕鉄のもつニッケル成分量には満たないのである。

さらに、スペクトル分析によって認められたマンガンの量を考慮すれば、

この金属体は、高マンガン・オーステナイト（炭化鋼）と判定するのが妥当である。これは、鉄、ニッケル、コバルトがもつような強磁性をもたないということとは矛盾しない。表面に見られる酸化鉄および、水和した酸化鉄は外気にさらされた鉄がふつうにもたらし結果であり、X線回折により求められた石英と方解石の含有量の異常な少なさは、隕鉄のような外来性の金属にふつうに認められるところである。ところが、ニッケル含有量の多さは、一般的な高張力鋼のそれとは一致しないのである。したがってこの物体は、地球上のものに由来すると考えられる」

他のレポートは、ある部分で次のように述べている。

「この金属物体は、塑性状態から落下もしくは落とされ、霏状あるいはボール状になって飛び散って形成された高硬度金属であることが確かめられた。

この霏状の物体は、直径180センチメートル、中心部肉厚が60センチメートルである。そして物体の中心部において、本体からおよそ15センチメートルほど、直径約25センチメートルのチューブが突き出ているといった形をしている。

物体の端のほうには、小さな電気熔接のあとがみられ、この熔接部を除去

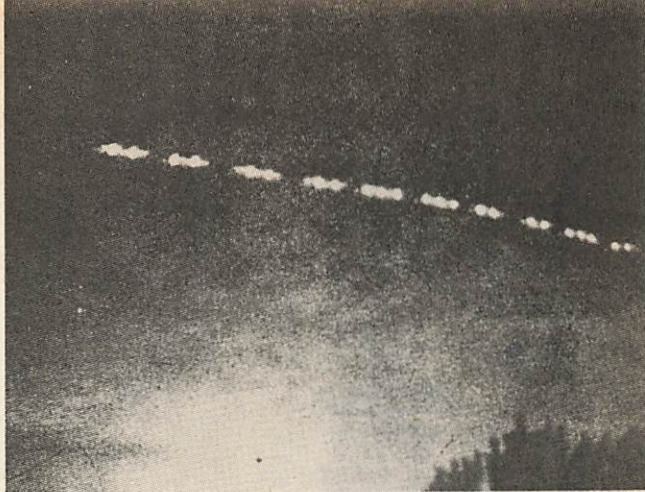
することによって、トランジスタのような電子部品と思われるものが認められた、他にも電子部品の容器らしき痕跡がみうけられたが、それは、すでに物好きな捜索者たちによって、もて去られてしまった結果らしい。

なお、この物体が発見された場所はそれが落下してきたところと同一とは考えられないのである。なぜなら、発見場所には、落下によるクレイターも存在せず、その付近は、がんじょうな岩盤からなる干潟であったにもかかわらず、落下によって飛び散ったであろう物質も、何ら見い出せなかったからである。

CARDEの行なった分析によってこの金属体の正体は、ある種の非常にマンガン含有量の多い合金であることがわかった。鋳造法に詳しいCARDEのある研究員は、この金属体は、半熔解されたスクラップを含むスラグによって鋳造された、ふつうの製品に違いないと考えている。

われわれの調査と異なり、CARDEの調査では、いかなる電子部品も明らかにされなかったようである」

CARDEという権威ある研究所の発見にもかかわらず、それらの発見事項が、まったく正確であるかどうかという疑問が残る。



1973年8月5日モントリオール上空に出現したUFOの大編隊

金属体の起源をさぐる

CARDEは、その金属体が地球起源のものとみなしたけれど、金属体の実験調査に従事した、故ウィルバート・スミスと彼の共同研究者たちは、地球上の金属とは認めがたい、多くの異常な反応現象を確認したのである。

もっとも顕著な反応は、この金属体の小片をアセチレン熔接器で熱した時に起こった。まるで原爆のミニチュアのように尖光を発し、白雲をたなびかせたのである。

この現象をウィルバート・スミスは次のように結論づけた。

すなわち、マグネシウムが発熱し、尖晶石の結晶中のフュライト含有量が低下することによって煙を発生させ、空气中で鉄が酸素と自由に結合し、燃焼するようになったのである。

この金属の塊りを熱しようとすれば自分がフライ（ノ）になってしまいうだろう、とウィルバートは警告している。

また、この金属は強烈な加熱によって、以前の状態よりも性質が悪化してしまうことから、彼は、この金属は、熔鉱炉によって生産されたものではありえない、との結論に達したのである。

さらに研究を進めた結果、この金属体のいくつかの部分は、高温には耐えられないことが判明したが、このことは（地球上の）「工業製品」が、なぜこのような憂き目をみなければならなかったのかという疑問の余地をせばめた。アセチレン熔接機による実験において注目すべきは、強烈な火花を出して燃える金属の表面は、地球の一般的な金属が燃焼する時に残す酸化物、またはスラグがなくなるまで燃えたということである。

CARDEは、この金属体はおそらく、とある鋳造所から、流水によってこの地域まで運ばれてきたのであろう

と推測している。しかしながら、事実はこのことを立証しない。すなわち、レゼキュレルからもっとも近い鋳造所でさえも数十キロはあり、しかも時期は6月なのである！

この金属体はふつうの鋳造製品ではないが、もしも鋳造品だったとしても、どこの鋳造所が、1、350キログラムもの鉄をむだにするだろうか。

「さらに奇妙なこと」 どのようにしてこの金属体が、レゼキュレルにたどりついたのかという疑問は、この事件の謎のうちで、一番ミステリアスなものである。

満潮時の水深においてさえも、航路に沿って密に集積する玉石の帯は、舟、いかだ、あるいは流水に乗って金属体が運ばれてきたという可能性を打ち消している。それならばそれは、空から降ってきたのだろうか。もしそうならば、大地をゆさぶる大音響が耳をつんざいたはずであらう。たとえどのような小さい隕石であっても、列車が通り過ぎるくらいの音がするものである。

宇宙空間に外皮をさらしていた可能性がみられることもまた、一つの神秘である。すなわち、金属体の表面には、宇宙空間に長い間漂っていた時に、強い磁場の影響のもとに集まってきた微小な隕石が見られるのである。わがク

ラブが、マイクロ・フィルムにする目的で写した写真を見れば、この微粒子の存在がはっきり確認できる。

微粒子の密度は、ほぼ1平方センチメートルあたり30個である。カナダ国立研究所のピーター・ミラム博士は、この程度の大きさの粒子は、1平方センチメートルあたり1に、およそ 10^6 秒くらいの割合で衝突してくるであらうと概算しているから、その結果、このくらいの密度に達するには、金属体は約1年、宇宙空間を漂っていたことになる。

「分析」 わがクラブにおいてなされたいくつかの化学分析によると、この金属体は、重量密度が均一でない。今までのところ、わがクラブでは、この金属体に含まれる成分の同立体数を確定したいと切に思いながら、適切な研究施設をもった組織にめぐりあうことができないでいるが、もしこの質量分析ができれば、この金属体が地球起源のものかどうか判明することになる。

その場合、もちろん、他の惑星が地球と同じ鉱物をもっていたのだという可能性も考慮に入れなければならない。そして、たとえ地球起源のものと判明しても、この金属塊が、いかにしてこの岸辺にたどりついたのか、という興味つきない謎はいぜんとして残る。

6メキシコ

1965年の夏、未確認飛行物体がメキシコ各地に昼夜を問わず出現し、人々を恐怖におとし入れた。当時のメキシコの新聞は連日のようにこうした事件を報じている。

それ以前からも南米各地で同じような現象があいついでいると伝えられていたが、7月下旬になって、メキシコでも目撃がはじまった。そして、あたかもあらゆる形状と大きさのUFOがメキシコにおしよせてきたかのような状況をひき起こしたのである。

まず最初に新聞が大々的に取り上げたのは、7月29日の事件である。その日、メキシコ・シテイの上空100メートルの地点に、輝く「飛行物体」が姿をみせ、2分間ほど滞空したのち、ものすごいスピードで飛び去った。この物体は戸外にいた多くの住民が目撃している。

メキシコにおけるUFOフラップ

(騒動)はどちらかといえばUFO着陸事件や宇宙人との遭遇事件の報告が多いという特徴をもっている。木星から来た金髪の訪問者とか、輝く赤い目をした身長3メートルもあるモンスター集団などに出会ったというたぐいである。

メキシコ空軍は宇宙からの訪問者がメキシコに現われたということに対し否認しつづけたが、空飛ぶ円盤の話は依然としてあつたをたななかった。

ある住民(名前は公表されていない)は、自宅の裏庭で宇宙人と哲学的

な問題について話し合ったと報告している。その宇宙人は、青い目で、髪はブロンドだったという。

さきほども述べた「木星の第三衛星」からの訪問者とは違って、このUFO乗員は地球人のかかえている問題に対しては関心がなく、地球人の直面している問題に干渉するのは彼らの信念に反することだといっている。

その宇宙人は、地球の言葉で表現するなら、自分は「科学者のような者」と説明し、しかし、これはあくまでも自分の正体を、簡単にわかりやすく説

青空とソンブレロの国メキシコ。1965年の夏、この国の情熱的な人々は大変なUFO騒動に巻きこまれた。連日のように目撃されるUFOや宇宙人——メキシコは宇宙人の観光名所になったのだろうか。

エドワード・J・バブコック
ティモシー・G・ベックリー 編

史上最大の UFO目撃騒動

明したにすぎないといつてくわえていたという。

また、その宇宙人によると、彼らは遠く離れた太陽系から来ていて、地球人とは聖書時代の昔から接触してきたということだ。

ほぼ同じ頃、ティファナという国境近くの町で、4人の男の人が円盤が光を放っているのを目撃している。彼らが懐中電灯で円盤に信号を送ると、UFOはそれに応ずるように彼らの方に向かってきた。驚いた彼らは、あわてて逃げ出した。

円盤を目撃したもうひとつのグループは、UFOがメキシコ・シテイの国立工芸学校のそばに着陸したと報告している。その地域一帯の岩が焦げたようになったのは、その不思議な訪問者によるものであると思われる。

また、ある人は、メキシコ・シテイのほずれにある、テクスココ湖に円盤が着水し、すぐに湖底に沈んだのをはつきりと目撃したと報告している。そのほかメキシコ軍によって円盤が捕獲されたという報告もあったが、これはその後直ちに否定された。

9月16日には、メキシコ・シテイのなかでも最も交通量の多い道路は、6

特集／UFO発展途上国の最新事情



メキシコの首都メキシコ・シティにも数多くのUFOが出現した。

個の浮遊している光った物体をみようとする通行人や、車から飛び降りて、それをみようとする住民、旅行者でふくれがあり、ついに2時間以上も交通渋滞が続いた。

日付は公表されていないが、ある晩の7時30分ごろ、メキシコ・シティの国立芸術院のドームと小塔のまわりを2つの物体がジグザグ飛行しているのを12人の人々が目撃したという。ロイター通信のこの報告は信じないわけにはいかないものであろう。

それらの物体は断続的に光を放つ巨大な発光体で、その後、まっすぐに上空に向かって飛びたち、すぐに光の点になってしまったと報告されている。1人の外交官がこの様子を目撃したと報告してきたが、名前の公表は断わったという。

メキシコ湾近くのハラパ、ビリ・エルモサ、それにテポトスランからの報告の中には、青い閃光を放つ、バスケッボール大の飛行物体が着陸しすぐ飛びたつていったというものもある。

その物体は黄、青、オレンジの光を物体のまわりの隙間から発射しながら空中を舞い、猫のように光る目をした

黒い服の宇宙人が光った金属の棒を握っていたという。

また、9月にメキシコ・シティの南の方の郊外では、散歩していた3人の婦人の前に、突然宇宙人が現われた。彼らの身長は3メートル、口と鼻はなく、目だけが赤く輝いており、漫画に出てくる姿とちょうど同じように、やせていて、グレーの服とブーツを身につけていたという。その「生物」をみた3人の婦人は恐怖のあまり、いったんは逃げ出したが、勇気を出して、元の地点に引き返した時にはすでにその「生物」は消えていた。

このような目撃報告は9月の下旬まであいついだ。メキシコの指導的立場にある科学者の中にはこれらの報告について非常に懐疑的な人もいるが、宇宙観測スタッフの一員である物理学者は、「円盤は本当に存在するし、それは明らかに他の惑星からやって来たものである」と語っている。この勇気ある率直な科学者はハビエル・ガルソン氏である。

赤尾泉訳

7 ブラジル

FLYING SAUCERS IN BRAZILIAN SKIES

ブラジルにおける空飛ぶ円盤の活動には、円盤の着陸と乗組員の地球人との接触に関する報告が多数を占めている。報告の大部分は、新聞紙上で詳細に報道されているが、検閲その他の理由で、大部分はアメリカに報告されてはいない。しかも報告の中に重要な個所があった場合、その部分は「偶然にも」ゆがめられてしまっていた。ここでは、調査中に私が個人的に知り得た事件の詳細のいくつかをお知らせするつもりである。

次のケースは私の知る限り、この地域では最初の遭遇例である。この遭遇は、1947年7月27日の「デイアリロ・ダ・タルデ」紙に発売され、読者からの要求に応じて、2日後に再び同紙に掲載された。この新聞記事を引用し、読者にできる限りの情報をお伝えするつもりである。問題の体験はホセ・

C・ヒギンズに起こった。

■タルデ紙に発表された遭遇例

「1947年7月23日に、私はピタングの北西、カンボ・ムラオの南西、パラマ州のゴイオーバングという小さな村にいました。私は地誌学上の仕事にたずさわっておりまして。そのあたりの空地の一つを通り過ぎようとした時、低いシューシューという音が聞こえてきたのです。恐しさに髪の毛が逆立ちましたよ。円形の葉のカプセルみたいな不思議な物体が空から降りてくるじやありませんか。部下は無学な土地の

人間の手が届きにくい広大なジャングルと平原をかかえているブラジルには複雑なUFO事件がひんぱんに発生している。そして事件の詳細はなかなか外部に伝わりにくいのだ。

者で、その物体を見るやいなや一目散で逃げ出してしまいました。何故なのか今もって、ナゾなんです。ともかく私はそこに残って、事のしだいを見届ける気になったんです。その不思議な物体は空地の上空を旋回してから、私がいた場所から50メートルばかり離れた所にそっと着陸しました。まったく、とんでもないしろものでしたよ。直径は30メートルほど、1・5メートルほどの縁があり、高さは5メートルほどもありました。交差したパイプがあちらこちらからつきでいて、そのうちの6本からシューシューという音がもれていました。でも、煙は見えま

せんでしたね。地面と接触した部分には脚そっくりの支えが折りたたんであり、物体が着陸した時には、いつそう深くてたまたまれました。

物体は、銀ではなかったけれども、灰白色の金属でできているようでした。しげしげと見とれている間に、壁面には窓があつて、ガラスのような物質でできた透明な板がはめこまれているのに気づきました。ふと見ると、そこから2人の人間が興味津々といったあん配で私の方をじつと見つめてるんです。彼らは、何ともいいようのない様子をしてましたよ」

「そうこうするうちに、1人が船の中で振り向きしました。誰かと言葉を交わすふうで、それから音が聞こえ、縁の下でドアが開いたんです。3人降りてきました。3人とも透明なゆつたりした服で、頭からすっぽり身体全体を包んでいました。服は自動車のタイヤみたいなに膨らんでいて、背中には装備の一部らしい金属のサックを背負っていました。

彼らの服は、透き通っていましたが、彼らが下着を着てパンツをはき、布地ではなくて、アルミニウム製の紙

検閲を抜けたUFO事件簿

エリディオ・ヘルナンデス

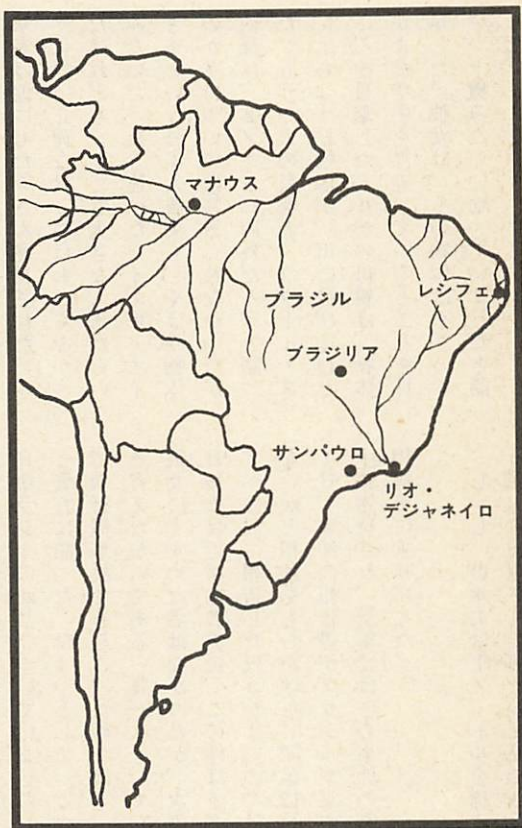
特集／UFO発展途上国の最新事情

みたいなサンダルをはいているのが、手に取るようにわかりました。同時に外見上の異和感が、まゆ毛がなく、長いまつ毛をした大きな丸い眼と、髪の毛がないに等しい頭部のためであるのに気がつきました。ひげもなく、頭は大きい円型をしていました。脚は私たちよりはるかに長く、私は1メートル80センチあるのですが、上背は私より30センチ位大きいようでした。

一番興味をそられたのは、彼らがそれぞれお互い同士、ふたごみたいにウリ二つだったという点なんです。たつぷりとした上着を着ていた者も、上着を着ずに、船の窓からながめている者も実によく似ていました。1人が小さな金属チューブを持っていて、それを私の方に向けていました。気がつく、と、彼らは、互いに話をしてるんです。何をいつているのか、さっぱりわかりませんでしたが、声ははっきりと聞きました。彼らは私が一度も耳にしたことのない言葉を使っていました。耳あたりのよい言葉でしたよ。

彼らは身体こそ大きかったが、動きは実にすばしくて、たちまち私を3人で取りかこんでしまいました。金属製チューブを持っていた者が身ぶりで

「私は身ぶり手ぶりを混えて、どこに私を連れていくつもりなのか、たずねようと話しはじめました。私のいいことがわかったらしく、おそらくリーダーだったのでしょうか、1人が地面に7つの輪に囲まれた太陽を示す円を描きました。彼は7番目の輪を示し、次に船を示し、この動作を数度くり返しました。私は啞然としてしまったのです。地球から脱出する!? とんでもない。私向きじゃない! しばらく、私の置かれた立場に思いをめぐらししました。私には彼らと戦うなんてできやしません。それは、はっきりしてしましました。彼らは私よりはるかに力がありそうでしたし、数も多かったんですから。それから、良い考えが浮かびました。彼らが太陽の光を嫌っているのに、私は気がつきませんでした。日かげに行くと私はポケットから財布を引っ張り出し



て、妻の写真を見せながら、身ぶり手ぶりで妻を連れに行つてこなければ、と説明してやりました。彼らは、私をとどめようとしませんでした。私はその場を立ち去ると、幸運を神に感謝しながら、彼らを観察できる藪の中に飛びこみました。彼らは、まるつきり子供みたいに遊んでいました。はね回ったり、大きな石を遠くに投げたりして。30分ほど過ぎたでしょうか。周囲を注意深く見回してから船に引きあげ、船は先刻と同じ独特の音をひびかせながら、浮上すると北の方角に向かい、雲の中に消えて、見えなくなりました。彼らが男だったか、女だったか、私には永遠にわからぬナゾでしょう。でもはつきり言えるのは、なかなかハンサムで、実に健康そうだったということです。彼らの言葉を文字に表わすのはむずかしいですが、二つの単語は記憶しています。アラモというのが太陽で、オルケという言葉が7番目の軌道を示しているんです」

底にUFO

UFOが、水辺で目撃される例が多く報告されている。実のところ、不思議なUFOがイグアペ河のリベラ近くBR12ハイウェイ右手8キロメートル

にあたるカビバリ近くのペロパーバ川の川底に潜んでいると信じられているのである。UFOが目撃された時、その一帯ではパニックが生じたのだが、最近では熱烈な好奇心にとってかわっている。

問題の事件は、1963年10月31日午後2時に起きた。

8歳になる、利口で活発な少女、ルテ・デ・スーザは両親といっしょにペロパーバ川左岸につつましい掘っ立て小屋を構えて暮らしていた。家の向いのドックにいた時、彼女はひどく耳ざわりの音を聞いた。まるで小型のジェット機が、頭上を通り過ぎていくような音だった。目を上げたちょうどその時、明るく光り輝く、巨大な磨きこまれたアルミニウムの鉢のような物体が目にはいった。物体は南の方角から、彼女の方をむきして降下していた。

ルテが、その「物体」から眼を離さずにいると、物体はたちまち彼女の小屋の屋根をかすめ、彼女が座っていた場所から数メートルと離れていない大きな木の切り株に衝突した。

はじめのうち、ルテは奇妙なその物体には少しも注意を払わなかったが、その「物体」が切り株にぶつかり、3度跳ねて川を横切つて向きを変えて、向こうの岸辺に沈んだ時になってはじ

めて恐しくなった。川が熱い鉄を冷やすかのように、煮えたぎったのを目撃したからだ。川面に泡ができて、しばらく消え去らなかつた、とルテは語っている。ペロパーバ川は数分間というものの波立ちが静まらなかつた。

調査のために派遣された記者達の求めに応じ、潜水夫が招かれ、物体を発見するために、沈んだとおぼしき場所の探索が開始された。探索は11月11日正午すぎに始まり、夕闇が迫つたために5時になって打ちきられた。

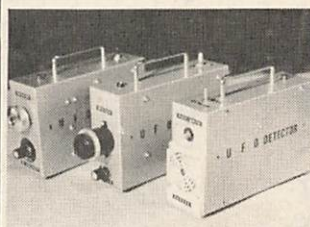
物体の様子を一番長時間にわたって詳しく観察したのはルテだったが、目撃者は他にもたくさん発見された。ルテには、正確なサイズはわからなかつたけれども、とても大きな入浴だらいみたいだったと述べた。イスオ・オイキチという日本人農夫も、やはり物体のかさについては答えられなかつたが、直径は、2メートル内外だろうと語つた。もう一人の目撃者、ラウール・ヌンはちょうど物体が、川に飛び込むところを目撃した。ルテの母親は、物体がまだ空中を浮遊しているところを目撃した。彼女は、その物体は小さいジェット機みたいに唸っていましたと話した。

UFO探知機

超高感度

国産唯一の本格的磁気探知機！

現在320台が全国で活躍中！！
既にUFO探知成功20件！！



左からT-5・T-3a・T-3b型

T-5型…¥ 9,000
T-3a型…¥ 18,000
T-3b型…¥ 19,000
(近日値上げ予定)

■その他、連続観測用のACアダプター及び補助電池ボックス(新製品)があります。

申込先：〒213 神奈川県川崎市高津区長尾1606

折田 至

Tel. 044-866-8347

●カタログ請求は100円切手をお送り下さい。

ルテの母親は、目撃のあと自分は一台中ラジオにかじりついていました、と警官に語つた。ひよつとして、近くで飛行機事故でも起こつたのでは、と考へたからである。誰一人として、彼女にすすめた者はなかつたが、次の日彼女は近所の農夫に、この件はイグアベ当局に報告したほうがよいのではないかと相談をもちかけた。同年12月1日、事件の報告書がブラジル空軍の手に送付され、空軍ではこの事件の真相解明に乗りだした。

しかし、潜水夫は1メートルを越える泥土に邪魔されて何一つ発見できな

かつた。ピーター・ラングが自分でくふうした竹製のさおで探っていた時、川底に何か金属製の物体の手ごたえを感じた。しかし、潜水夫は泥土のためにその地点まで到着できなかった。

ディアリオ・デ・S・パウロ紙の主任記者であるネルソン・ガトー氏によると、調査は泥土に邪魔され、その上調査体制の不備もあって、1964年2月28日にうちきられたそうである。

パラマ森林の炎

ごく最近、S・ベルナルド・ド・カンの歯科医カイオ・デ・カストロ博

ストレス解消！ 冥想への導入！

—脳波バイオフィードバック装置 アルファトーン

(1年間保証)

商標登録
特許出願中

アルファトーンは冥想、精神統一、自律訓練等の効果を飛躍的に高める装置です。従来、形だけの冥想をしても心身ともにリラックスしたよい状態を習得するのは大変なことでした。

近年、科学の発達により、心の状態を示す種の脳波のうち、アルファ波が多いときに精神的に安定した状態となることがわかってきました。

アルファトーンはこのアルファ波を感じ、あなたに知らせてくれる装置です。アルファトーンによって心の安定した状態を知り、その状態を保持する様に訓練すれば、あなたはいつどんなときにもリラックスし、精神的安定状態を保てるようになるのです。

＜アルファトーン1＞ テープ付 16,800円(送共)

心がリラックスし、アルファ波をキャッチするとランプが点滅し、こころよい音がします。

＜アルファトーン2＞ テープ付 19,800円(送共)

アルファトーン1にメータを付けたもので、アルファ波の量(リラックスの度合)がわかります。

＜アルファトーン3＞ テープ付 29,800円(送共)

アルファトーン2に、精神統一の助けになるような音(反復音)を常時発する様にしたもので、音に合わせて呼吸をします。この為、安定した正しい呼吸法を習得することが出来ます。

更にテープレコーダと組み合わせるとイヤホンからミキシングされた音が聞こえるミキシング機能付です。

ご請求くだされば資料をお送りします。
お申し込みは現金書留にて下記まで。

〒248 鎌倉市小町1-15-17 ☎0467(25)3035

橋本電子研究所U係

インスピレーションテープ

このテープを毎日聞きながら寝ると、あなたの潜在意識が浄まります。この為、あなたの性格は積極的になり、靈感を受けやすく、運命が好転します。試験に合格した、ノイローゼが治ったなどの礼状が沢

- ◆D-1 就寝と起床番組 2,500円(送共)
◆H-1 成功と幸福の為の言葉 2,500円(送共)
◆H-2 幸福と成功の為の言葉 2,500円(送共)

4Dメータ(四次元波受信機)

テレビ(アフタヌーンショー、11PM等)で放映され大反響を呼びました。サボテン等植物の感情の変化を音で聞くことが出来、将来霊界ラジオにもなり得るものと期待されています。京都の小原氏はこれを人間に用いて霊界通信に成功されています。ウツ発見器としても応用できます。

- ◆A型(普及型) 39,000円 千1,000円
◆D型(大型) 79,000円 千2,000円



士は、抜歯のために博士を訪れた患者からとびきり異常な事件を耳にした。事件はクリチバ方面に最近出沒している不可解な炎と関連している。この事件は日中に起こった。可能な限り、博士の話通りに記してある。

白く輝き、高さは8メートルほどだったそうです。ゆるぎなく、こともなげに空中に浮かび、ときおり熱を放射してましたが、近づくとき強い不快感におそわれるような力場があつて、誰もそばに寄れなかったそうです。物体は、15分ばかりもそこに停まり、私の患者と他の目撃者は50メートルほど離れて見守っていたそうです。2、3人の上背のあるハンサムな人が、機械から降りてくると、せつせと何か燃えているものを拾いあげていました。石や何もかもです。患者はこう言いました。『誰も信じはしないのですけど、でも本当に起こったんです』と……

カイオ博士は、患者(女性だった)の話は細部に到るまで明瞭だったし、話自体が実に単純だったので、まぎれもなく患者が真実を話しているとわかったのだ、と付け加えた。

以下の理由によって、私はこの事件にはじゅうぶん留意すべき価値があると信ずる。皿のような形をした物体、その形、金属的な色、無音であること、長時間空中に浮遊する能力、とりわけ生々しいのが、物体を取りまいた不快感を生じさせる力場の存在である。この力場については、はっきり記録しておかなくてははいけない。おそらく、こ

これは熱と煙から本体を遮断しておく力場なのだろうが、この場合、乗組員が炎の中を無事に船外に出て、安全に資材を集められるための防護力場として作用したのだろう。乗組員による私たち人類の生活環境調査についても公にする価値があると思う。目撃者を探しだし、細部に到るまですべて解明されるまで調査を続けるつもりだ。

こうした事件は、ブラジルでは他と同じくほとんど毎日発生している。この価値あるデータを相互に関連づけられる鍵に関する研究が必要だ。

関根克己訳

作成／「日本宇宙現象研究会」主宰／並木伸一郎

16日	15日	14日	13日	12日	11日	10日	9日	7日	4日	1日
●ソ連バスクンチャク地方のカプチン・アールで白昼、テストバイ ロットが空中でキュウリのような物体に遭遇、怪光線をあびせられ てエンジンにトラブルが起き、不時着した。(48年)	●フランスのアペロン県の畑に1個の発光物体が出現。発見者の老 婆の叫び声を聞いてかけつけた息子が追跡すると、直径1メートル あまりの火球が6個、生き物のように移動していった。(66年)	●スペインの農夫ロメロは、早朝の暗い道を車で走行中に突然、帽 子型のUFOに接近された。UFOは車のライトに関心を持ち、どこまでも追跡してきた。(74年)	●雲の研究家、塚本治弘氏は太陽黒点観測中、太陽面を横切る2個の物体を撮影。(59年) ●イランの首都テヘランに住むジヤムシド・サヤティプール君は、ずっとUFO観測をつづけていたが、午前2時すぎ、3機のUFO編隊の撮影に成功した。(78年) ●ナショナル・エンクワイアラー紙は、UFOが宇宙から来たという確実な証拠を提出した者に最高100万ドルの賞金を出すと公表した。(78年)	●ロサンゼルス市の記録館の新聞記者室に、金星人だと名乗る2人の男が現われ、鉄板にナゾのキズを残していった。(55年)	●フランスのトゥーロン県で早朝、エレン・ギリアナ嬢は車で帰宅途中、ドーム状の光り輝く物体に遭遇。中に連れ込まれ、診察台のようなものが現われ、やがて円盤は垂直に上昇し消え去った。(60年) ものの上に寝かされ、意味不明の実験をされたと主張。(76年)	●ポルトガルのアルガルベに午前3時30分ごろ、強烈な光を放つ円盤が着陸。その周囲に5〜6人の人影が認められ、やがて円盤は垂直に上昇し消え去った。(60年)	●日本空飛ぶ円盤研究会(JFSA)と宇宙友好協会(COBA)が、高尾山で合同円盤観測会を主催した。(58年)	●カナタのアルバート州に奇妙な四角の箱状物体が着陸し、中から怪人物が現われて手袋のようなものを付けて岩石を採取。翌日、着陸地点に長さ6メートルの長方形のコゲあとが発見された。(71年)	●ジェミニ4号に乗ったジェームス・マクアウィット少佐は宇宙空間でUFOを目撃、写真撮影に成功した。(65年)	●スペインのマドリッド郊外サン・ホセ・デ・バルデラスで、奇妙なマークの付いた円盤が別々の人によつて撮影された。初夏の夕暮れどきでもあり、多数の目撃者がいた。(77年)



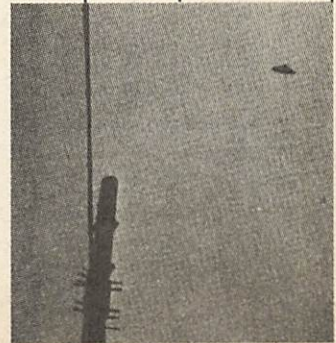
1976年6月22日夜、カナリア諸島に出現したUFO

5月の UFOカレンダー

その他	30日	27日	26日	24日	23日	22日	21日	20日
●日本UFO研究会（JUFORA）が平田留三氏により、神戸で結成された。（65年） ●CBAの最終大業、太陽のピ	●皆既日食調査のため飛びつた超音速ジェット機コンコルド00 1は、アフリカのチャド上空1万メートルに浮かぶ巨大なUFOを カメラでキャッチしていた。（73年）	●ニューギニア領のパプア島でジル神父と原住民らは、頭上に接近してきた円盤のテッキから、自分たちに向って手を振る数人の人影を見た。（69年） ●ブラジルで真昼の11時40分すぎ、 ●大阪府枚方市香里園で、小林憲	●南アフリカ共和国フオート・ピュフォートのベニー・スミット氏の農場に、赤く輝く直径2メートル 10メートルの至近距離から銃撃。 弾丸が命中しても物体はビクともせず、ハミング音とともに飛び去った。（72年） 君が友人と遊んでいたら、上部にアンテナ状のものがついた円錐型の物体が飛来。持っていたカメラで連続撮影に成功した。（73年）	●米国ワシントン州のカスケード山脈レイニア上空で、墜落機を捜索中のケネス・アーノルドは9個の光り輝く円盤状の物体群を目 ●米国ワシントン州カスケード山脈で探鉱中のフレッド・ジョンソ ンの磁針が円盤を目標撃中に激しく振れるのを発見。（47年）	●JFSA主催「空飛ぶ円盤25周年記念講演会」が開かれる。これ をきっかけに新グループが誕生するなど、UFO研究活動が活発になる。（72年）	●スペインのカナリア諸島の全域で透明な球体が目撃され、中では身長約3メートルの巨人2人が、レバーらしき物を操作。球体は直 径60メートルほどにふくれあがり、西方へ飛び去って行った。（76年）	●米国ワシントン州タコマのモーリ島の上空にドーナツ型の物体が出現し、金属片のようなものが落下。事件の調査をした空軍の係官 が後日怪死した。（47年） ●スペインで午前2時ごろ、ハビエル・ボスケ君の寝室に直径50センチの光の玉が侵入。ラジオとテ ープレコータめがけて光線を当ててなめまわした後、ゆつくり窓から出ていった。（72年）	●ブラジルのサンパウロ市南部地帯に夜11時すぎ、強烈な光を放つ UFOが出現。何百人もの人が目撃し、バトカーが35台も出動した。 コンコニヤスの空港でもこれがキャッチされた。（74年）
●ソ連の有人宇宙船ウォストーク （63年）								昭和48年6月27日、大阪府枚方市香里園の小林憲君が撮影したUFO
●6号が打ち上げられ、史上初の女性宇宙飛行士テレシコフが地球を48周、70時間50分の飛行をした。（63年） ●米国「フエイト」誌の音頭とりで、UFO問題30周年記念の「国際UFO会議」がシカゴのビック・コンGRES・ホールで開催。								



1973年6月30日コンコルドのカメラがキャッチしたUFOのテレビ画像





ブックプラザ

Book Plaza

UFO革命

UFO状況を明確に 伝える証言集

横尾忠則 著

若者たちのあいだで圧倒的人気を博している異色デザイナー横尾忠則氏が、UFOドキュメントをつくりあげた。過去7年にわたって、コンタクティーはじめ、UFO研究者、各界の異才たちに会って、精力的にUFOをめぐる取材や対談を重ねてきたが、そのうち、本誌連載の対談をふくめ、22のものをまとめたのが本書である。写真や遭遇者たちの直筆スケッチも収められており、現在の日本におけるUFO状況をありのままに

伝える、なまなましい証言集といえるだろう。

I部に収録されたコンタクティーたちの報告は、目撃体験、テレパシー体験、UFO同乗体験、宇宙人との接触体験、さらにはテレポーター・シミュレーション体験とどれをとっても興味深く、また多種多様で、UFO現象の一つの枠のなかで論じることの難しさをあらためて感じさせる。さらに、体験のないものにとつては衝撃的であり、超常的であるこれらの現象が、体験者にとつては日常的現実のなかにぬき差しならぬほどに入りこんでおり、まさに彼らの生活の一部になっているのに驚かされる。UFOにまったく興味を感じなかった人が、体験をとおして意識や考え方がかわっていく過程がまざ

まざと示される。宇宙について人間について、読む者に意識拡大を迫る本だ。

「UFOを研究することは、人間自身を研究することだ。UFOの存在は多くのライフスタイルや創作の上に、大きな影響を与えている」と、著者は語っているが、それは、人間のあらゆる潜在エネルギーなり能力を100パーセント活性化させることが、UFOの「謎」をとく鍵となるという確信に裏付けられ

ている。それほどまでに、人間とは宇宙的存在なのだ。現代科学の、非合理性を否定していく方法論こそ、地球や人類をふくむ宇宙そのものの解明を遠のかせているのではないかという疑問を抱かせる。

本書は、どのような解説書よりも読みごたえのある、ひらかれたUFO入門書といえるだろう。

(晶文社 1300円)

宇宙の実験室

スカイラブから スペースシャトルへ

NASA協力
大林辰蔵／江
尻全機 訳著

過密の地球を脱出して、人類が宇宙空間に居住するようになるといとうほうもない空想が、

空想でなくなる時代が、やがてはやってくると、一部の専門家は主張する。

事実、そうした空想を現実のものとするために、ソ連やアメ

リカでは、大々的な宇宙開発を展開してきた。その一環として1969年アメリカのケープケネディー宇宙センターから打ち上げられたアポロ11号の月面着陸の成果は、20世紀最大の科学と技術の快挙であった。しかし残念ながら宇宙予算の引き締め

のため、月着陸を目的としたアポロ計画は17号までで打ち切られてしまった。

しかし、人間の探求心は飽くことを知らない。その後、米国防空宇宙局(NASA)は、アポロ計画に次ぐつぎの宇宙開発の目標を、スカイラブ、スペースシャトル計画に向けた。本書は、これまでのアメリカにおける宇宙開発の発展と歴史、経過などを具体的な写真やイラストをふんだんに取り入れて詳細に解説している。また、スカイラブはじめスペースシャトル計画についても、現在、収集可能な限りの情報を収録している。今後の宇宙開発を推測する唯一の入門書といえよう。

(朝倉書店 4800円)



The Modular Pyramid System

モジュラー・ピラミッド・システム

—その瞑想効果の謎を追う—

科学の針がとらえた瞑想の世界

イメージーションや直感的なひらめきの増大、予知能力の開発、そして限りないやすらぎ…。私たちの精神世界に数々の効果をもたらす瞑想状態とは、一体どういうものなのでしょう？1929年、ドイツ人のハンス・ベルガーによる脳波の発見は、ひとつの客観的な答えを示しました。次の表は、周波数別に4つに分類された脳波と、人間の精神活動との関連を明らかにしたものです。この研究に基づき、最近では瞑想者が入る高度な意識状態が、アルファ波やセータ波を発生させていることが確認されています。

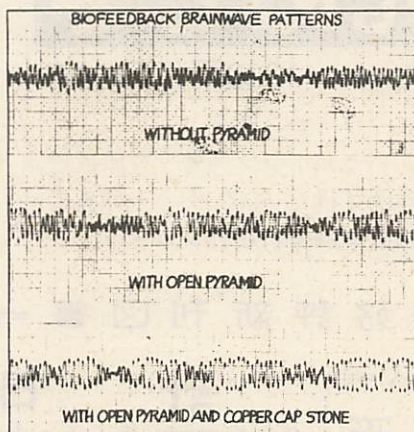
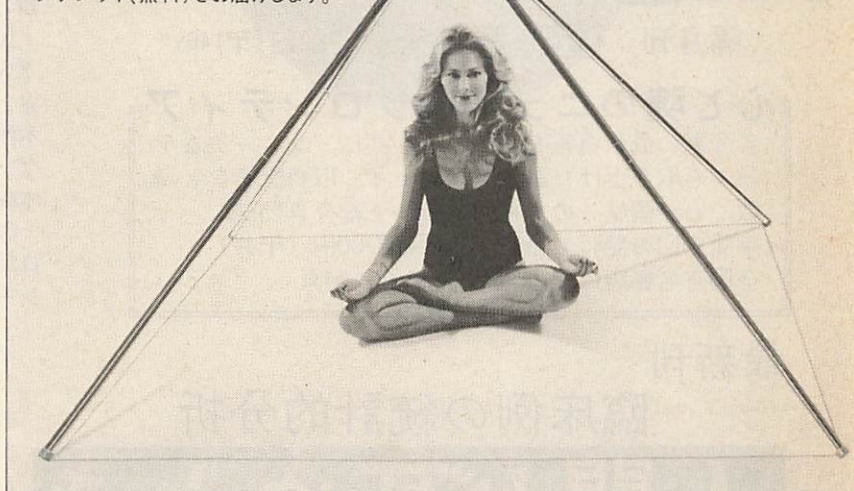
脳波と精神状態の関連

- ベータ波 (30～14ヘルツ)
私たちが普通の日常生活を行っている状態であられる脳波。客観的意識。
- アルファ波 (14～7ヘルツ)
目を閉じ、きわめて精神がリラックスしている時にあられる脳波。
- セータ波 (7～4ヘルツ)
深い瞑想状態や麻酔状態下や肉体感覚を失った状態でもあられる。
- デルタ波 (4～0.5ヘルツ)
無意識状態や昏睡状態の時にあられる脳波。胎児もこの周波数。意識的活動は不可能。

ピラミッド・エネルギーの脳波実験

このグラフは、フレームで形どっただけのピラミッドの内と外で比較実験した脳波です。昔から数々の謎と神秘が知られている、ピラミッド・エネルギー。その作用は私たちの脳波にまで及び、アルファ波とセータ波の領域を刺激して、その強さを2倍以上にしていることが確認できます。つまり、ピラミッドの効果を利用すれば、誰でも簡単に、そしてスムーズに……瞑想世界を経験できるのです。

- 写真は6フィート・ピラミッド(アルミパイプ製)
- 当社では合計68種のピラミッド製品(すべてアメリカ製)を取り扱っております。ハガキで下記へお申し込み下さい。詳しい説明パンフレット(無料)をお届けします。



- (上) ピラミッドなし
(中) ピラミッドの中で
(下) 頂上に銅製ピラミッド・カバーをとりつけたピラミッドの中で

エネルギー効果抜群の

〈モジュラー・ピラミッド・システム〉

このユニークなピラミッド・テントを開発したのは、アメリカのピラミッド・プロダクツ社。ピラミッド・エネルギーの研究に関しては、世界で最も実績のある会社として知られています。組み立て時間は、わずか2分。あらかじめエネルギー加工を施してあるアルミパイプとチェーンが、ピラミッドのプロポーションを正確に再現。パイプとパイプの間に目に見えないスクリーンを形成して、強力なエネルギー効果を発揮します。横尾忠則氏をはじめ、ミッキー・カーチス氏、中岡俊哉氏も利用しているこの〈モジュラー・ピラミッド・システム〉で、あなたも瞑想の世界へ旅立ってみませんか。もちろん、このピラミッド・エネルギーはいろいろなことに応用でき、可能性は無限です。

- アルミ製ピラミッド・テントは3フィートから21フィートまで各種、銅製ピラミッド・テントは6フィートのみございます。

6フィート・ピラミッド(ベーシック3フィート・ピラミッド+エクステンションキッド1セット) ¥21,500(送料¥1,100)

ご注文は現金書留か郵便振替(東京4-21690)で商品名を明記して当社宛お申し込み下さい。

- この製品は、現在特許申請中。日本で製造・販売できるのはマンカインド株式会社だけです。

マンカインド

株式会社

〒150 東京都渋谷区渋谷2-2-6 青山ホワイト・アドビ5F ☎東京03(498)2921

絶賛発売中

21世紀へ向けて
ニューオカルト総合文化誌

TAMA たま

隔月刊 復刊第1号 380円(〒140)

心と魂のニュー・フロンティア

各分野の最新情報を提供すると共に、ユニークなテーマを取り上げた論文、エッセイ、取材記事など満載。わが国唯一の本格的オカルト総合専門誌。
年間6回の発行の予約購読料は2700円(〒共)
全国有名書店に配本常備 A5判 64頁

復刊第1号の主な内容

◎まど／復刊第1号によせて：瓜谷 侑広 ◎随筆・随想／霊智の開発こそ：岡本安出／センダイコウリンダイ：萩原一昭／精神病院という名の地上楽園：縷衣香／オカルティズム：田中恵美子／そのたたかいは鮮烈にして：竹内てるよ／樹木の怪：藤沢広男 ◎論文・評論／神智学は人類の未来に何を教えるか：仲里誠吉／民衆の中のグノーシス権：今井阿津夫／霊的教育論：宮崎龍美／天上界と聖書：千乃裕子／映画余談：水木洋子 ◎ニュース／超心理学、サヴァイヴアル・リサーチ、UFO ◎体験記／私の内観法体験：笠原敏雄
◎講話／万人神の子の目覚め：関口栄 ◎連載読物／エドガー・ケイシーの直筆原稿／わが信ずること

最新刊

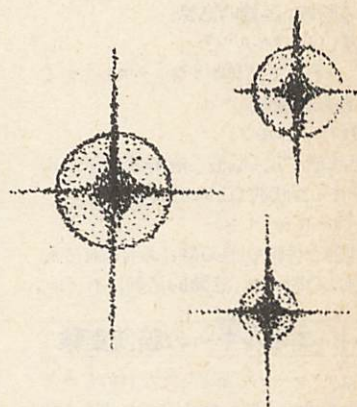
臨床例の統計的分析

人間が死ぬとき

人々は何を見たか 1300円(〒160)

エリザベス・キューブラー＝ロス序文

カーリス・オシス、アーレンダ・ハラルドソン共著 笠原敏雄訳
1700人を越える医師と看護婦の協力で得た 50000例の末期患者が体験した、死後の世界や霊姿の統計学的分析研究レポート。



好評新刊図書

千乃裕子天国シリーズ

天国の扉

ミカエル大天使の真相を明かす
衝撃の書。釈迦やキリストとの
交信 定価一三〇〇円(〒一六〇)

天国の証

最後の審判に対する天使達のメ
ッセージと、現実界の人々との
関係 定価一三〇〇円(〒一六〇)

天国の光の下に

アトランティス文明、憑霊、環
境問題など、同志の方の体験と
研究 定価一三〇〇円(〒一六〇)

計画受胎

男女産み分け、受胎日の確定を実現し
た最新実用占星医学 S・オストラン
ダー他共著 定価一三〇〇円(〒一六〇)

日本とはどんな国

国際人であり科学者である著者が、魂
の遍歴を通して悟り得た感動の日本観
佐藤定吉著 定価一三〇〇円(〒一六〇)

天地の宝蔵

人生の幸運をつかむための万人の霊性
開発の入門者 心靈著作シリーズ三弾
福田くら著 定価九八〇円(〒一六〇)

光明

靈感によって開運指導を行なっている
著者の神言集と関係者の霊障実話集。
堀川豊正著 定価一三〇〇円(〒一六〇)

本誌を読んで答えてください!

豪華賞品が
当たる!!

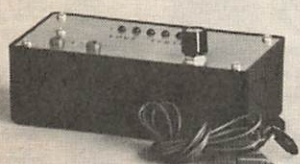
UFOと宇宙クイズ

今月号の賞品

金賞

ウソ発見器

(ボラックス ¥6,000) 2名



●GSRを応用したもので、ランプの点滅で心の変動がわかります。またバイオフィードバックにも応用できます。

銀賞

スペース・シャトル

増田純男著

(共立出版 ¥1,200) 15名



●80年代をめざして本格的なスタートがけられるスペース・シャトルは、遂に「宇宙」を開発の段階から「実用」の段階に突入させるマイル・ストーンになろうとしている。本書はその全貌を伝える。

銅賞

UFOステッカー

(当社商事部 ¥500) 30名



●メタリックな玉虫模様のミニネット製。3種類のうちどれか一つ。

- ① ザ・マジノ・ライン
- ② オートテニックス・ライン
- ③ タットサン・スカイライン
- ④ ジャパン・エア・ラインズ
- ⑤ 38度線

同じ日にUFOが何カ所かで目撃された場合、これらの目撃地点を地図上で結びと直線を描くことがあります。これは、目撃地点がUFOの飛行コースにあたっているためだといわれています。

ところで、一般にこの直線(ライン)は、世界的に有名なフランスのUFO研究者エーム・ミシエルがつけたある名称によつて呼ばれています。それは次のうちどれでしょう。

応募のきまり

- 必ず官製ハガキを使用し、左下の応募券を貼ってください。
- 締切り 昭和54年6月20日。当日の消印有効。
- 発表 「UFOと宇宙」8月号(7月20日発売)誌上。正解者多数の場合は抽選で決定します。

ハガキの書き方

●あて先 〒110 東京都台東区上野5-1-6

ヤマトビル ユニバース出版社

『UFOと宇宙』6月号 クイズ係

●裏面には、あなたの住所・氏名・年齢・職業(学生は学校名/学年)、そして次の順序でお書きください。

- ① 解答
- ② 本誌を買った理由・動機
- ③ 本号で良かった記事の題名を2つ
- ④ 本誌への感想、またはこれから本誌に載せてほしいと思われる企画
- ⑤ 今後、賞品として希望される商品名

4月号クイズ当選者発表!

「UFOと宇宙」4月号の機密文書公開をめぐる法廷闘争の結果、CIAに勝訴した米UFO研究団は③のGSWが正解でした。応募総数1457通、正解1443通、抽選により、左記の方々が当選されました。

★金賞

〈昼夜兼用望遠鏡/1名〉

吉田勝矢(東京都練馬区豊玉北)

★銀賞

〈宇宙の果て/5名〉

蛇名 覚(青森県上北郡野辺地町)
木村真司(群馬県前橋市紅雲町)
山下さち恵(京都市右京区西京極)
北原仁志(三重県桑名市東方城下町)
西塚 香(兵庫県神戸市川町)

★銅賞

〈UFOステッカー/30名〉

賞品の発送をもって、発表にかえさせていただきます。

6月号クイズ
応募券

終に時来たる円盤総動員目前

五井野正著

七次元よりの使者

著者は作家という形をとっているが実は……

送料

1冊160円

2～3冊200円

銀座旭屋六週連続第一位

- 新宿紀伊国屋第一位
- 大阪紀伊国屋第一位
- 池袋旭屋第一位
- 渋谷旭屋第一位
- 水道橋旭屋第一位
- 大阪旭屋第一位

★他、主要書店にて
上位独占!

超ベストセラー

この小説
はベストセ
ラーになるこ
とは昔より約束
されている。ただ
それは誰によって
いうという事だけであ
った。ベストセラーにな
った時は今!すべての宇宙は
この小説の通り動き、この小
説に縁のない人はただ残される
のみである。

第0巻(四六判/160頁)
地球の地軸は傾き、今その中
でヒマラヤ聖者やアトランティ
ス人、宇宙人は?最後のドラ
マがくりひろげられる。

●ただいま、大好評発売中の超特
価本第0巻(350円)についてい
ろいろな噂がとんでいます。この
価格は一時的な赤字出血サービス
で続かない。などと。しかし、当
社ではこの特価をくずしません。
常時在庫がござります。

富士山に異変が……

第二巻(既刊) 定価750円

第一巻(既刊) 定価750円
UFOによって少年に何が起
こったか

■オーソンより
この本を書かれた方は
私にとって唯一最高の方
である。この本は今まで誰によ
ても解かることのなかった太陽系宇宙
の問題を説明している。私はこの本は
宇宙の真の姿をえがき出していると思
って読んだ。とんでもない本が出た。
地球にはとんでもない人がいる。今、
最低の地球は最高の人によってすばら
しいもの、太陽系の中心、銀河の中心
となる。
■セムジャーズより この本はすばら
しい。地球人に今いちはん必要なもの
を書いてある。私は最大最高の賛辞を
送る。

創栄出版株式会社

〒162 東京都新宿区市谷左内町31渡辺ビル1F
振替/東京6-90403 電話 03 (260) 2889

CONTACTS 読者の

コンタクト

広場

編集部からのお願い◆できる限り多くの方々のご意見や情報、イラストなどを掲載するため、声欄に投稿される方は、400字詰原稿用紙2枚程度に内容をまとめて下さい。また、UFO目撃情報・文通しよう・UFOファン集まれ・イラスト・蚤の市に投稿される方は必ずハガキ(ハガキと同じ大きさも可)をご使用下さい。なおイラストは黒色のペンなどで書いて下さい。

声.....	114
UFO目撃情報.....	116
文通しよう!.....	117
UFOファン集まれ!.....	118
読者のイラスト.....	119
蚤の市.....	120



大賀葉子 (広島市矢野町東)

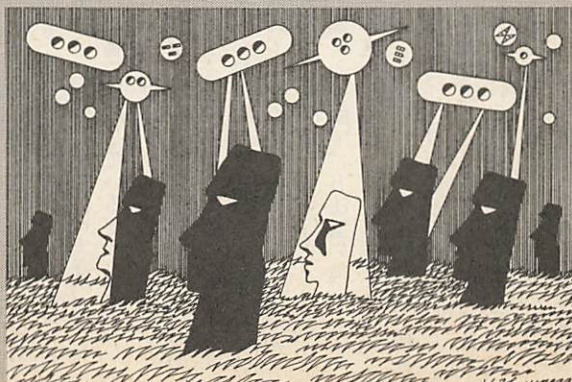
中村 徹 (栃木県小山市雨ヶ谷)

不動明 (長野県)

読者のイラスト

祖父江慎 (愛知県一宮市北方町)

安永裕昭 (兵庫県川西市鶯の森町)



南米の情報も知りたい

池谷誠一（ハ）

（〒213 神奈川県川崎市高津区有馬2459）

南米諸国——この地域は、米国とともに、世界でもっともUFO事件の多いところだ。

僕は「UFOと宇宙」を愛読していますし、また、UFO研究も熱心に行っています。ブラジルや他の南米諸国では、どのようなUFO研究が行なわれているんだろう。どんな研究団体があつて、どんなUFO研究家が活躍しているのかな？ これは僕がいつも思うことです。

それはどうしてかという、あれだけUFO事件多発地帯として知られているながら、貴誌には、これら南米諸国のUFO研究状態、UFO研究家または研究団体の記事がほとんど掲載されていないからです。

テレビなどのUFO番組はいつも欠かさず見ている僕ですが、いつのことでしたか、テレビでユニバース出版社・UFO情報レポーターの内野恒隆さ

んが、世界では、UFOの観測はほとんどなされているんでしょう？ という質問に対して、「特に米国とか南米じゃすくく多いですね」と答えられたことを記憶しています。また、他の研究家たちも同じことをしています。にもかかわらず、貴誌では、米国のUFO研究のことばかりが大部分をしめ、同じUFOのメッカの南米諸国（特にブラジル）のUFO研究のことが載せられていないのはガッカリです。

そこでお願ひがあります。米国だけでなく、ブラジルやアルゼンチンなど南米諸国のUFO研究活動、研究団体のことも、これからはどんどん掲載していただきたいのです。

宗教と科学とUFO

山岸嘉隆（ハ）

（〒816 福岡県春日市大字上白水字池ノ内38-2）

皆さんは、「心色不二」という言葉を知っているだろうか。これは仏教の言葉であり、「心」とは魂のことで、「色」とは肉体、つまり物質のことである。これらの二つは別のものではなく一つであるということである。

この宗教色の強い言葉は、もしかすると、科学の真理をいい表わしているのではないかと、私は思う。

人間は、その肉体と、それを包む生命エネルギー「オーラ」によって成り立っていることはまずまちがいない。生命エネルギー自体は、三次元では測

定不可能な中性タキオンの波動だが、肉体つまり物質は、そのエネルギーなしでは存在しない、ということではないだろうか。もし、この関係を物理の公式で表わすならば、

波動エネルギー＝物質エネルギー
という公式が成り立ち、これを数式になおすと、 $E=mc^2$ （波動エネルギーの公式）、 $E=mv^2$ （質量エネルギーの公式）となり、この二つが同じであることがわかる。つまり、 $mv^2=c^2$ となるのである。

このように宗教と科学は、本質的には同じことをいっているのではないだろうか。

さらにいうならば、UFOの搭乗者、ウラニデスたちは宗教や哲学、科学などを一つの学問として学び、そこからさらに高度な精神の状態、波動の周波数の高い所、つまり宗教でいうところの「天界」をめざして進化を進めているのではないだろうか。

このように考えてみると、UFOの正体も推進方法も分かるようになるのではないかと思う。つまり、UFOが電磁力によって重力を制御する方法は、重力も波動エネルギーの一種であり、UFOが作り出す高周波数の電磁力も波動エネルギーであることに基づくのではないだろうか。

また、UFOが波動エネルギーに包まれている（フォース・フィールド）ことを考えると、UFOは生命を持つものと同じであるといえる。アダムスキーはUFOの乗り心地を、「天使の羽

に運ばれている感じ」といったそうであるが、まさにその通り、「天界」では、偉大な波動は「天使」そのものである。

UFOは、異星の偉大な「天使」たちの「羽」なのである。

UFO研究について

佐伯圭史（ハ）

（〒760 香川県高松市木太町2区1642）

UFO研究の存り方について、いろいろと意見が出ているようだが、何か読者同士で仲違いをしているように感じるので一言いわせていただく。

僕は、UFO研究というのは、哲学のようなものだと考える。ちょうど哲学でいう実存主義と神秘主義の違いを、この場で論議しているようである。

研究方法が、従来の概念をふまえた科学主義でも、また哲学的でも宗教的でも、それは単なる方法論に過ぎず、それが科学的でなければならぬとは誰にもいえない。ようするに、どのような方法するかということとはまったく個人の自由で、方法論の違いをとかく議論することじたい無意味なのである。哲学で、どの主義を信じ、研究していこうと自由だということだ。その意見がいくら従来の概念では考えられぬ超越的なものであっても、それが単なるロマンとか理想とかいう夢のような現実離れたものでないことは、今の地球人類の精神状態を冷静



声



に見つめ、アダムスキーを読んでいる。おのずと納得できるはずである。また、アダムスキーが宗教的だと偏見を持っている人は、一刻も早く宇宙哲学を研究してアダムスキーの真意を知るべきであろう。

とにもかくにも、各自の個性に合った見地から、UFO本来の謎についての意見を素直に出しあえばいいのである。それが科学的であれば、科学的見地から積極的に研究発表などをすべきではないだろうか。

相対性理論と光子論

安西信秀

(〒538 大阪府大阪市鶴見区茨田横堤137 中央合成寮)

すべての物体は、相対速度が光速に近づくにつれて、その長さが縮み、その物体が光速になると、ついには長さが「ゼロ」になり消えてしまう。

これは、すでに数々の実験で証明されている相対性理論の一部ですが、ここで一つ疑問があります。それは、す

べての物体が光速になって消滅するならば、当然、光速で運動している「光」自身も、途中で消えてなくなってしまうのではないだろうかという事です。

こう考えると、太陽から出る光も、出ると同時に消滅してしまい、地球までとどかないことになります。でも実際には、太陽の光はきちんと地球までとどいています。

最近の学者は、光も粒子であるといっています。それが本当ならば、今述べたことをどう解釈するのでしょうか。

そこで僕は、こう考えてみました。光も粒子だから引力の影響を受け、太陽から出た光は、その引力によって減速してしまうのではないかと。しかしこの考えも、特殊相対性理論の第2公理「光速は不変である」に反するのです。(ただし、空中や水中では、粒子にじやまされて光は減速する)

もちろん、太陽―地球間にも粒子は存在しますから、光は減速するのではないかと考える人もいますが、宇宙空間には1立方センチメートルに数個の水素原子などが存在するだけで、問題の対象にはならないと思います。

それなら、光は粒子ではなく光波という波ではないか、と考えることもできるのですが、これも間違いのようです。この場合、光を伝達する媒質(学者はエーテルと名付けた)が必要になります。このエーテルは発見できなかったそうです。

また、太陽の引力によって、恒星か

ら出た光が太陽表面を通過した時に、その引力により光が曲げられることが日食の時に観察されているので、やはり光は粒子なのではないかと思うのですが、どうもそのへんのところがはっきりわかりません。

僕の考え方が間違っているのか、それとも他に原因があるのか、読者のみなさんは、このことについてどんな意見をお持ちですか。

UFO飛来理由

菊地国彦(13)

(〒985 宮城県多賀城市東田中1丁目16-7)

現在、地球にはたくさんさんのUFOが来ていますが、彼らから見れば科学の遅れている星へなぜ来るのでしょうか。ぼくは、UFOは地球へ警告に來ているのだと思います。例えば「UllZ」という文字を英軍基地のレーダーにうつしたりしているからです。しかしここで、なぜこんなちっぽけな星へ警告に來るのだろうか、という疑問がでてくると思います。

その答えはこうです。もし第三次世界大戦が起これば、各国が核兵器を使用したとしましょう。そうなった場合、地球上のすべてのものが死に絶えるでしょう。そしてその放射能が、地球だけではなく宇宙にも広がってしまったら、さらには地球が爆発してしまったりして、太陽系、いえ、もしかしたら銀河系全体のバランスがくずれてしま

い、何か想像もつかないことが起こり、彼らの住んでいる惑星にまで、その何かの影響が及ぶのではないのでしょうか。こういったことから、地球は宇宙の注目すべき存在になっていると思うのです。そして地球の、ひいては太陽系や銀河系の崩壊を防ぐために、地球へ警告に來ているのではないのでしょうか。

いつ見ても宇宙はいい

吉田嘉子(17)

(〒602 京都市上京区智恵光院通り今出川上ル桜井町104)

今年のお正月頃から、去年のお正月に買った望遠鏡を引っ張り出して、寒い中、空をながめています。文句なしに、いつ見ても宇宙はいい。完全にやみつきになっている私です。でも、そのおかげで風邪をひいてしまいました。

実は、「UFOと宇宙」を買ったのは去年の5月以来でありまして、現在の感想としては「変わりません」です。ただ、変わってきたと思うのは、コンパクト広場に寄せられる読者の声です。最近気に入ってしまっただ投稿が5つもありました。こういう人がいるから地球の青少年はまだ減びませんよ。話がちよつとそれてしまいましたけれど、久しぶりに宇宙を見た感想としては、宇宙の一員である地球がどうにかなるなんて予言は、宇宙がきれいであればあるほど、信じられなくなりま

UFO



目撃情報

①目撃者の氏名・年齢・学年その他
②目撃者の住所 ③目撃日時 ④目撃地点
⑤天候 ⑥目撃継続時間
⑦同時目撃者 ⑧観測方法 ⑨物体の形状
⑩飛行状態その他

①細見重夫 へ32・郵便局勤務 ②京都府宇治市広野町新成田36-6 ③1979年2月19日午後5時45分頃 ④自宅2階ベランダ ⑤晴れ、夕焼けほとんどなし ⑥45分 ⑦妻へ31 ⑧肉眼、双眼鏡(5倍)、望遠鏡(40倍) ⑨本誌No.43の1頁目(東京上空)、3頁目(名古屋上空)のものにやや近いが、光の頭から尾までがもっと太めで滑らかな丸みがあり飛行機雲とは思えない

った。⑩夕方、妻が洗濯物をおろしていたベランダに行ってみると、北北西の空にやや白っぽくオレンジ色に輝くものが見えました。最初は、青空に一つ浮かんでいる夕焼け雲かと思ったのですが、すぐにそれは、飛行機が一定速度で西の方へ移動しているものであることが分かりました。それは一定の形を保っていました。双眼鏡で見ても肉眼の時とそう変わらなかったため、40倍の望遠鏡を持ってきて見たところ、先端に丸く小さく光る物体が見えました。もしもあれがどこかの国の飛行機であつたとして、あんなに小さく見える先端の物体が、あんなに大きな一定の形をした飛行機雲をつくって飛ぶことがあるのでしょうか。その物体は少し雲のかかった西の空へ消えていきました。

★ ★ ★
①金指千亜樹 へ17・高3 ②静岡県沼津市下河原町151-3 ③1979年1月27日午後5時11分52秒 ④沼津市内 ⑤曇り ⑥10分 ⑦木下小夜子、稲本千恵子(同級生) ⑧肉眼 ⑨先の方が黒く丸い物体が、オレンジ色の短い尾をひいていた。⑩その不思議な物体は、ゆっくりゆっくり円を描いて、南東の空へ移動を始めた。私たちはあとを追いかけて3つのガードを抜けた。するとオレンジの尾が急に短くなったかと思うと、速度を増して南の方角へ飛んでいってしまつた。なお後で知つたが、校舎内にいた先生方も目撃したそうである。

Behind Your Conscious Mind...

あなたの意識の背後にある...



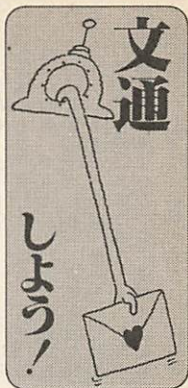
●五感の世界に限られる必要はないのです! 視覚・聴覚・触覚などは、人生の实在のほんの一部分しか発現してくれません。この外面的意識の背後にはより広大な認識の世界があります。そして超能力の印象が時として意識に現れることがあります。危険の予感、直観の不思議な力、言葉で話す前に考えが通じる……これらは、あなたの未開発の超能力の一端を示しています。これらはあなたにも開発できるので、バラ十字会は世界中の会員に毎年七百万通以上の教材を親書として郵送しています。

▼バラ十字会は、長い歴史をもつ、宗教・政治団体とはまったく無関係の立場で、哲学的探究を目的としている同人社団です。本会は、幾世紀も保存し続けてきた未公開の英知を、希望者に対して通信教育方式により、一般公開する活動を現在、世界63カ国で行っております。
▼古代の奇蹟と力神祕として伝承されてきたこの裏面には、古代人が探究した自然の法則、人間の精神の働き、意外さ、人生の諸問題の対処方法など、ユニークな視点、英知の数々が含まれています。
●詳細を説明した小冊子「人生を支配する」(日本語版を無料でお送りします。資料請求券添付の上、右記に「ガキ」をお込みください。)

■申込先 二一四 東京都中野区若宮二丁目49-16
バラ十字会 日本本部 AMORC 事務局 U-19 係

The ROSICRUCIANS

米国カリフォルニア州サンノゼ市
バラ十字会 AMORC 世界総本部資料請求券
U-19



興味はスゴクあるのです。が、いまひとつ壁があつて深入りできないのです。どなたかこの壁をとり除いてくれませんか？お手紙待ってます。

布施留美子（17）

（〒359）埼玉県所沢市上安松457 ☎0429-44-2017

U FO、心霊、超常現象等に興味をお持ちの女性の方、また、アマチュア無線局を開局されている方、どなたでも文通しませう。

駒ヶ嶺政也
（〒018-52）秋田県鹿角市花輪字下中島7-1

宇 宙哲学を中心として幅広く学びあい、共に励みあつて生きてゆこうと思つている方、文通して下さい。なるべく18歳以上の方。及川光治

（〒272）千葉県市川市大野町1-433

東 海道の魅力にとりつかれ、研究しつづける僕です。広重の作品についてもお話しできる方、是非、お手紙下さい。東海道にお住みの方、資料になる物何でも結構ですから送って下さい。

坂野康隆
（〒299-16）千葉県富津市長崎279-21

誰 か、僕と文通でチェスをしませんか。お便り待っています。

鯨井佳則（中2）

（〒362）埼玉県上尾市本町6-3-32

超 能力、UFO、パミュータライアングル、考古学などに少しでも興味のある方、私と文通しませんか。

東口華代（15）
（561）大阪府豊中市大黒町1-8-22

U FO、超能力に関心を持つ公務員です。近県の方、話し相手になつて下さい。遠方でもハムを開局してる方、歓迎します。

津野正男

（〒785-01）高知県須崎市内西分3281

転 生を信じている方、地球が滅亡しようとも自分は生き残れると思つてる人、文通しませんか。

海治香織
（〒780）高知県高知市追手筋1-3-8前田アパート

S Fと童話の好きな私と「理想の宇宙人」についてお話しませんか。私は自分がないからか超能力を持っていると信じて疑いません。（証拠はないけど）お手紙下さい。

高橋禎子（19）
（〒176）東京都練馬区豊玉北4-19

第 3種・第4種接近遭遇及び、コンタクト・ストーリー（アダムスキー派は除く）を心から信じ、それについて語り合える人と文通しましょう。年齢・性別一切問はず。

藤田伸一（17）

（〒562）大阪府箕面市百楽荘4-4-7

U FOを含めた超常現象や超古代文明等を考えたり、人間、文明等を話し合い、行動し合える仲間を求めています。男女問わず。熊谷訓行

（〒165）東京都中野区江古田4-16-17

U FOに興味のある方、お手紙下さい。返事は必ず出します。男女問いません。

西川ひとみ（20）

（〒668）兵庫県豊岡市城南町5-4

U FO、宇宙、霊等に興味をお持ちの方、是非お便り下さい。G・アダムスキー支持の方、男女問わず歓迎。返信率100%。

池田真之介（21）

（〒520）滋賀県大津市滋賀里1-7-18

広 大な宇宙に夢をたくし、音楽、絵画、作性に興味の私と友人になつて下さい。女性に限りません。

樋口忠秋（22）

（〒114）東京都北区中里3-17-2 ☎03-917-8423

三 輪高志さん、私の手紙は着きましたか。どうかお便り下さい。

松下千津子

（〒741）山口県岩国市岩国2-7-29

今 から宇宙の友と接する準備をし、コンタクトクワイヤーを介して宇宙の友のメッセージを人々に広める意志のある方、お手紙下さい。

森宣也（15）
（〒018-21）秋田県山本郡琴丘町鹿渡字東二本柳32-9

不 思議なものに興味ある方、未長く文通してください。で、同学年か一つ年上の方。酒井まゆみ（13）

（〒772）徳島県鳴門市撫養町黒崎字宮津49-1

京 都付近に住んでいて、自切俳人の放送を聞いている方、文通してください。古代文明とその遺跡に夢を持ち始め、お化けが恐くせに心霊なんぞに興味を抱き、絵がへたなくせにSF少女マンガなどを求めている、悩めるパルサー星人こと私に慰めのお手紙をお願いします。

高橋英樹（16）

（〒259-03）神奈川県足柄下郡湯河原町福浦296-1

人 類の未来を、異常気象・人口増加・食料問題などをからめて統計学的に考えたり聖書の大審判、仏典の未劫やノストラダムスの予言も研究したりしています。人類がこれからどうなるのか興味ある方、手紙を待っています。

塚本隆二

（〒559）大阪市住之江区粉浜2-4-20 星野方

U FO、古代エジプト、ナスカ、イースター島の4つがとも好きです。容姿を抜きにして、人間対人間で対等に話してください。お便り下さい。男女は問いません。なお、申しあげありませんが、50円切手同封をお願いします。

大竹昭子（15）

（〒350-02）埼玉県坂戸市八幡1-11-13

U FO、心霊、テレパシーに関心のある方、お手紙下さい。男女は問いませんが、なるべく同年の方を希望します。

千野隆（15）

（369-12）埼玉県大里郡花園村小前田989

心 霊、超常現象について研究している私たちのクラブでは、霊を見た方のレポートや体験談を必要としています。そういう体験をお持ちの方、もしさつつかえなかったら、ご連絡ください。

森口梨香（16）

（〒826）福岡県田川市西区青葉町 怪奇クラブ内

U FO、黒魔術、メデイテーション、超能力など、神秘的な出来事を愛しています。知識欲旺盛な私にたくさんのお話を教えてください。

鈴木ひとみ（17）

（〒372）群馬県伊勢崎市八坂町9-2

U FO、霊、姓名判断、四柱推命、夢判断、真の信仰とは、神とは、人間とは、悟りとは……疑問のある方どんどん手紙ください。

河上修二（23）

（〒653）神戸市長田区四番町5丁目市住10-252

訂正 本誌5月号の「文通しよう」コーナーに掲載された木元 実さんは木下 実さんの誤りでした。慎しんでおわびいたします。



宇宙哲学、宇宙思想、UFOの研究を結成しようと思います。

福岡近辺の方で愛の永遠を信ずる同志の入会協力をお待ちしています。電話は月・土は午後5時30分以降、日は午前5時～午後11時。

薬王寺百合雄
(〒812 福岡県福岡市博多区吉塚3-19-17) よしみ荘2F8号 ☎092-622-6023

アレン・ハインツ博士は宇宙には人類以上に進歩した生命体が存在すると確言しています。全国の皆さん、空飛ぶ円盤研究会を結成しませんか。

野村光一(へ3)
(〒503-13 岐阜県養老郡養老町金屋05843-2-3545) ☎

UFO研究組織「TNBC」を結成。ただ今、会員募集中です。全国のUFOに興味を持っている方なら、誰でも入会OK! 他にも、SF、アニメ、BCI、古代文明などに興味ある方の参加も歓迎します。往復ハガキか、封書(50円切手同封のこと)でお申し込みください。

鈴木敏明(へ5)
(〒431-31 静岡県浜松市大瀬町796)

4月号で募集したのですが、3月に住所が変更になりましたのでお知らせします。それとともに名称も「シャドウ・ウイゴ・UFO研究団体」となりました。現在、名寄に50名、札幌に30名、東京支部に43名、北見に8名、下川に5名、多喜に9名、青森方面に18名の会員がいますが、今度、稚内方面も募集しています。本部は名寄に置きます。名寄の地球防衛軍と合流したのです。稚内には支部を置くことにします。活動の内容は、開発途

上国における協力とUFO研究はもちろん、太陽系内の惑星の調査と研究、海底のUFO基地の調査です。今は計画の段階ですが、今年の10月には実行に移しますので、ご協力をお願いいたします。

玉根義博
(098-45 北海道稚内市宇字サキトマナイ原野12線西一ノ番外地)

怪 奇現象研究協会を結成したいと思います。参加希望者は、往復ハガキでご連絡ください。

持永和志
(〒668 愛知県名古屋市天白区天白町大字平針字黒石2845-1-9-201)

日 本文連合附属電子応用研究会では、天文学への利用研究を行なっており、現在、研究員(第2期)を募集中です。入会資格は大学工学部で、情報、通信、電子、電気工学科に在籍する(大学院、工高、専門校可)または技術者(博士号、一技、情報検定等の有資格者)特にコンピュータ(JIS水準3000以上)で可)を使える方は歓迎いたします。詳細は返信用切手50円と自己紹介、有資格名、学歴(会社名)等を記入した用紙を同封の上、〒061-01 札幌市白石区北郷4条1丁目 三浦博之方 JAUU研までご連絡ください。

大久保勝美
(〒061-01 北海道札幌市白石区厚別西2-2)

UFO研究会「NASU」では会員を募集しております。UFO、心霊、四次元、超古代文明、ピラミッド、地球空洞説、イッチー、進化論などの謎についての仮説や考えを、みんなの意見で磨きあっています。その他にもいろんな活動を希望しています。まじめに取り組んでくださる方を希望します。なお、UFO目撃情報や謎に対する意見も大募集中です。稲又信秀(高校生)

(〒832 福岡県山門郡三橋町垂見2023)

ア ニメ&マンガ研究「夢をめざせ」を結成しました。アニメやマンガについて語ったりイラストなどを書いたり、それを研究してゆ

く会です。会員がすくなく少ないので、入ってもよいと思う中学生以上の人は、50円切手とオリジナル・カット同封の上で連絡ください。なお会費は2ヶ月600円、会誌は2ヶ月に一度、会誌のない月は会報を発行します。これら会誌、会報の購読希望の方は、カットは同封しなくても結構です。

北野任見
(〒631 奈良市鶴舞東町41-303)

S F ショート・ショート創作中心の同好会「天間観面」です。会誌「クアズガ」5月1日発行、送料共7000円。創刊にあわせて、現在、会員募集中です。ショート・ショートなどSFに関心のある方の自由表現の場としての会誌を、年4回発行することが活動内容です。案内書を送りますので、50円切手同封の上左記にご連絡ください。

神門武弘(へ8)
(〒960 福島市野田町字背燐1-2)

自然宇宙科学研究会では現在、会員と通信会員を募集中です。NSS研究会では、現在のあらゆる謎を研究し探求することを主体として、宇宙や自然の神秘をいろいろな角度から研究しています。入会資格は特に問いません。現在、研究している主なものは、UFOの飛行原理、UFO探求、宇宙の知識(天文学、遺跡の科学的な調査、超能力(実験、開発法、実用法)などです。集会時にはテレパシー実験、ESPカード、ESPテストなどの実験会を東京で開いています。また夏には天体観測会も行ない、機関誌やNSS研究ニュースも発行しています。入会希望者はハガキか手紙でご連絡ください。詳しい案内書をお送りします。

福岡道雄
(〒294 千葉県館山市水岡895)

ア ニメを通して、生き方について語り合うサークルを結成しました。入会希望者は50円切手同封の上で連絡ください。折り返し案内書をお送りします。

松岡抄子
(〒355 長野県下伊那郡豊町大字稲井2403-1)

宇宙艇 隔月刊 B5判 (増頁)

空飛ぶ円盤の科学研究誌

内容 A) 空飛ぶ円盤の理論研究 B) 空飛ぶ円盤の試作 C) 時間反転機の理論研究と試作

☆ 部分品を頒布します(カタログは、宇宙艇巻末にあり) 誌代 4,000円(6号分) 入会金 500円(誌代にプラスのこと)

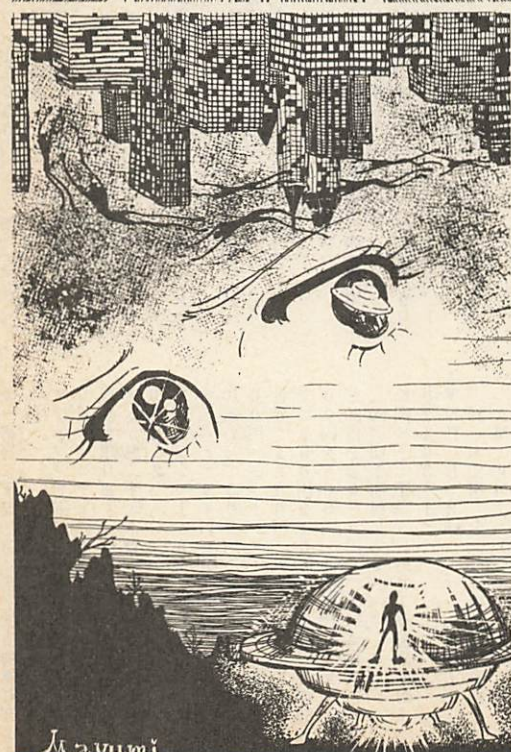
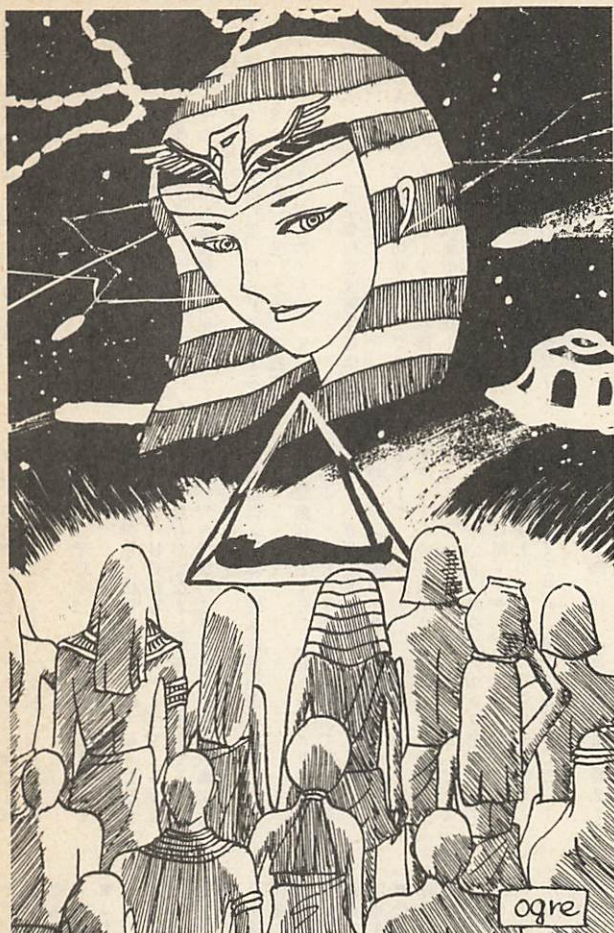
超相対性理論(五訂増補版) 定価 5,000円 新発売 千 240円

振替 徳島 28986 (又は現金書留にて・切手は不可)



重力研究所

〒798 宇和島市中央局私書箱33号



◀長谷川真弓 (東京都東大和市高木)

▲大賀葉子 (広島市矢野町東)



▶八木由香里 (愛媛県北宇和郡津島町)



▶無名氏

譲って下さい

▼UFOの写真、新聞切りぬき、本を譲って下さい。往復ハガキで連絡を。

福士幸樹(〒036 青森県弘前市新里字中里見 72)

▼クリスタルゲルのカセットテープ、UFO関係の本を譲って下さい。

木下実(〒238 神奈川県横浜須賀野市平作2-20-11羽根荘3号)

▼本誌No.118、宇宙哲学、ESPに関する本を譲って下さい。又、全国の宗教のパンフレットなどどんなものでも譲って下さい。

滝口喜世実(〒166 東京都杉並区阿佐谷南1-34-13)

▼ABBAに関する記事の切り抜き、プロマイド、ボスター、その他どんな物でも結構。

山本明美(〒795 愛媛県大洲市670-5)

▼月刊「OUT」の7711・784月号まで、2500円で譲って下さい。

高木栄作(〒990 北海道北見市田端町18)

▼本誌創刊号、旧約・新約聖書をできるだけ安く譲って下さい。往復ハガキで連絡を。

夏坂明子(〒050 北海道室蘭市本輪西町3-10-5)

▼石森章太郎著「気なるやつら」(虫コミックス刊)「ミュータント・サブ」(幽霊船)(コタマプレス刊)を適価で譲って下さい。

石田秀一(〒472 愛知県知立市山屋敷町東山11-8)

▼「小さな恋の物語」全冊、「うしろの百太郎」2、3、5、7の他全冊を適価でお譲り下さい。往復ハガキまたは電話で連絡を。

上田麻子(〒704 岡山県岡山市西大寺北932-4 ☎086941315800)

▼UFO写真(本物)をデータと一緒に1枚100円で譲って下さい。支払は切手、送料当方負担。

仲川友康(〒319 茨城県日立市久慈町3-26-17)

▼本誌創刊号43号までのどれでも(なるべく美品)、UFO写真(データ付)であなたの写したものでなくとも可)を譲って下さい。往復ハガキで譲って下さる品名と希望価格を明記して連絡を。

細江信吾(〒506 岐阜県高山市石浦2108-6)

▼本誌創刊号7号、LP「エスメラルダス」「ハローキック曲集」を適価で譲って下さい。ハガキで連絡を。

壺井弘志(〒646 和歌山県田辺市稲成町451-1)

▼クイーンズのミュージックテープなら何でも、バイノール・テープ、ボストンの「ピース・オブ・マインド」のシングルレコード、ゴダイゴの「CMソング・グレイテストヒット」のLPの以上のいずれかの品をお持ちの方、安く譲って下さい。気長にお待ちして下さい。

坂野康隆(〒299 千葉県富津市長崎279-3)

▼本誌創刊号No.42まで1冊2000円・400円で、他各種漫画コミックス定価の6・8割でお譲りします。ハガキで連絡を。

小寺和義(〒048 北海道磯谷郡蘭越町名駒)

▼本誌No.117、10号の8冊を5000円・「日本恐怖100名所」「恐怖の心霊写真集」で譲って下さい。「オカルト時代」を何月号でも安く譲って下さい。

清水克典(〒343 埼玉県越谷市2-7)

▼東宝レコードの「ゴジラ」「ゴジラス」及びSF映画の世界シリーズを適価で譲って下さい。連絡はハガキで。

坂崎繁則(〒915 11 福井県南条郡河野村)

▼UFO写真(50・300円)、心霊写真(50・300円)、UFO関係の切り抜き記事(50・200円)で、往復ハガキで連絡を。

福士幸樹(〒036 青森県弘前市新里字中里見 72)

▼少し古くても結構ですから50000円位のモデルガンを20000円以下で譲って下さい。往復ハガキで連絡を。

内藤睦美(〒424 静岡県清水市北矢部2-1-20)

▼「宇宙戦艦ヤマト2」の18、19話をカセットテープに録音してある方、テープを貸して下さい。連絡はハガキで。

佐藤演義(〒910 福井県福井市文京4-8-12)

▼本誌No.112を定価前後で、法華三部経大系を適価で譲って下さい。

佐藤和恵(〒983 宮城県泉市南光台2-9-58)

▼「惑星直列」を安く譲って下さい。

脇本ひろ子(〒362 埼玉県上尾市西上尾第2団地1-32-205)

▼COM'69、9月号、70・2・12、69・8、9月号を1冊10000円位で譲って下さい。1冊だけでも持っていたら知らせて下さい。

間瀬明哉(〒472 愛知県知立市山屋敷町高場11-1)

▼宇宙交信機の配線図、製作法を存じの方、お知らせ下さい。また、書籍でも結構です。薄謝します。

前田行雄(〒840 佐賀県佐賀市水ヶ江2-1-6)

譲ります

▼「ヤマト2」1・9話10000円、シャープ3本ドラジョ45000円、電子ブロッカー1003000円、SONY社トランスミッター15000円、ビクター社のプレーヤーとスピーカーSL139型を取りに来られる方に50000円で譲ります。往復ハガキで連絡を。

杉本浩二(〒644 和歌山県御坊市湯川町財部705-12)

▼超人霊世界の神秘、タナトロジー入門、超次元、日本怪奇名所案内、念力、中国式念力強化法、世界の円盤ミステリー、ゼイタク占いの秘密、ピラミッドパワー、自己催眠術など計50冊を2万円譲ります。送料共。まとめて買つた方には、ESPテストとピラミッド・ジュネレーターを無料で進呈。往復ハガキで連絡を。

堤裕司(〒755 山口県宇部市神原町2-6-11)

▼アニメ・UFO・映画などの本を適価で譲ります。コナンのセル原画、ドラペンのセル原画も譲ります。往復ハガキで連絡を。

鈴木篤(〒987 22 宮城県栗原郡築館町新田東32-2)

▼「スワン」118を20000円、「エースをねらえ」111を27000円、デニマガ9・10あわせて3000円、アバズイアルバム1200円、ショーン・キャディ「あこがれの世界」1200円、写真集「コマネチのすべて」8500円、池田理代子、大和和紀など20冊を20000円で、すべて送料込。ただし50円切手同封して下さい。

松岡抄子(〒395 長野県下伊那郡鼎町大字稲井2403-1)

▼N社CB(8ch)トランスパー500mwRJ-35(未使用)を「全国版ラジオ周波数地図(AM・FM)」と一緒に2万円譲ります。

宮崎英夫(〒893 熊本県本渡町大字本戸馬場2825)

▼「宇宙戦艦ヤマト全記録集」3万円を2万4000円前後で譲ります。(カバーにキズ有り)買つて下さった方にアニメ関係のLP1枚を進呈。

里山理子(〒229 神奈川県相模原市西大沼3-13-32)

▼「コクピットシリーズ」「キャプテン・ハローック」「銀河鉄道シリーズ」「四次元世界」等、松本零士の本36冊を送料込みで6500円で譲ります。往復ハガキで。

永岩秀清(〒501 61 岐阜県羽島郡笠松町長池387)

▼「ゲラ対ゲロン」の録音テープ、UFO、心霊関係資料を譲ります。リストを送りますので切手同封の上連絡を。

福士幸樹(〒036 青森県弘前市新里字中里見 72)

▼パワーリスト、6石トランジスタラジオトランシーバー、いずれも新品同様です。送料別65000円・70000円で。往復ハガキで連絡を。

千葉孝司(〒989 47 宮城県登米郡石越町北



蚤の市



郷字遠沢16
▼「ビッグスター・カーペンターズ」「カラヤン運命・未完成」「西遊記」「風の詩」「天界」「二色の独楽」「パミューゲトライアングル」以上のMカセットテープを一括して送料共1万円以上で譲ります。
阿部誠一(〒675-13 兵庫県小野市上本町235-12)
▼月刊OUT(776、9月号)とランデブー創刊号・休刊号までの6冊をそれぞれ適価で半田信和(〒033 青森県三沢市大町2-13-10)
▼35ミリ一眼レフ用スリコル交換レンズ、500ミリ、2万4000円の未使用品を1万8500円で、300ミリ、1万8000円の品(数回使用)を1万3000円で。スリピーチ15倍・45倍ズーム望遠鏡を3000円で譲ります。詳細は往復ハガキで。
山田祐子(〒238-02 神奈川県三浦市岬陽町17-17)
▼端子なしで多重放送が聞ける新製品MULTI-VOX、1万1000円を1万円、「信念の力」「宇宙哲学」等5冊の本、4500円を4000円、合計1万4000円で。
由良和豊(〒535 大阪府大阪市旭区赤川町4-11-28)
▼kissのレコード「LOVEGUN」(LP)と映画音楽特集LP(少しキズ入り)計4000円を3000円で。送料共。ハガキで連絡下さい。
佐藤博英(〒797-12 愛媛県東宇和郡野村町本町2丁目 ☎089472-0601)
▼切手200枚程を1500円で(シートブックも含む)。「運命をひらく人相術」「深層心理術」「あなたは心理学者」各500円。その他多数あります。送料別。往復ハガキで

連絡を下さい。
鈴木寿美(〒018-17 秋田県南秋田郡五城目町昭辰町)
▼ボケッパジカ350ワイドを7000円で譲ります。「ブラックジャック」No.116を3600円で、「銀河鉄道999」No.117を1700円で、譲ります。この他にもありますのでハガキで連絡して下さい。
山室大(〒257 神奈川県秦野市幸町1-12)
▼宇宙考古学研究会に熱心な方。「皇祖皇太神宮」(限定出版)、「神代万国史」3万円を2万円以上で譲ります。送料当方負担。ハガキで連絡を下さい。
松倉珠子(〒240 神奈川県横浜市保土ヶ谷区東川島町33-4)
▼「UFO日本侵略」「ネッシーの謎」「謎のタイムトンネル」「日本怪談集」等12冊を合計6800円を3400円で(送料別)お譲りします。全て新品同様です。なお買っていただいた方には「世にも不思議な物語」をプレゼント。往復ハガキで連絡を。
川又広文(〒315 茨城県石岡市半の木11-219)
▼「パイオニック・ジェミー」「600万ドルの男」各5800円で譲ります。あなたの持っている本誌創刊号・42号の何冊かとの交換もOK。往復ハガキで連絡を。
高橋昭(〒230 神奈川県横浜市鶴見区矢向3-10-23)
▼「BCL短波放送実戦篇」を600円。「元祖いたずら教科書」を800円。「世界の放送局ガイド」を500円。その他多数あります。全て送料込。出来るだけ手渡し希望。連絡は往復ハガキで。
上野康宏(〒612 京都府京都市伏見区深草小久保町10-13)
▼本誌創刊号・No.45を一括で2万3000円で譲ります。往復ハガキで連絡を。
志摩 宙(〒235 神奈川県横浜市磯子区岡村7-29-3)
▼レコード「ピラミッドパワー・瞑想」とお化けの住所録 計2890円を2000円で。往復ハガキで連絡を。手渡しを希望。
土屋典江(〒340 埼玉県草加市金明町475-8)
▼ゲーム、カセット、ラテカセ等を譲ります。

まずは連絡を。
五味俊之(〒332 長野県諏訪市茶臼山9247-1)
▼マンカインド社「6フィート・ピラミッド」2万1500円を1万円。スギノ製アルミ合金のギヤ(48・36)を1200円。「リング」にかける114巻を800円。「新巨人」の星315巻を600円で譲ります。連絡は往復ハガキで。
村上法雄(〒238 神奈川県横須賀市阿部倉町1370)
▼「ライフ・サイエンス・ライブラリーコンバクト版」の「科学者の話」「時の話」「数の話」「心」の話をそれぞれ5000円で譲ります。連絡は往復ハガキで。
磯野昭仁(〒932 新潟県南津市加茂歌代1280)
▼本誌No.8・40までを適価で。付録として「UFO写真集No.1」「キャプテンハローック」「松本零士幻想イラスト集」等をつけます。
吉野卓志(〒850 長崎市出雲3-2112)
▼「古い教室」「あなたは古い師」2冊で1000円を5000円で、「四次元ミステリー」5800円を3000円で、その他雑誌、漫画の単行本等多数ありますので、まずはハガキで連絡を。
鈴木美千代(〒979-43 福島県田村郡船引町字中館34 ☎024788-210672)
▼スリコル社ズームスコップTZ820B型フィルター55ミリマウント、ミノルタを送料共で1万3000円で譲ります。保障期間7月18日まで有。本誌No.8・15、18、20・24、28・36計23冊を送料別で4000円、「謎のタイムトンネル」「消えた文明99の謎」他4冊をまとめて送料別1000円で。連絡は往復ハガキで。
滝和彦(〒879-05 大分県宇佐市木ノ内434-2)
▼本誌784月号を適価で。往復ハガキで連絡して下さい。
庭田 純(〒031 青森県八戸市柏崎3-13-14)
▼TVアニメのカラーフォト700余種をマニアの方に70円で譲ります。又はマニャコミックスと交換しましょう。リストをさしあげますので50円切手同封で連絡を。
山本圭子(〒156 東京都世田谷区羽根木1-

日本GAP

宇宙的人間への成長を指導する世界有数のUFOと宇宙哲学研究の国際的大集団

会員募集

■ジョージ・アダムスキーとぼう大な書簡を交わしたわが国UFO研究界の先駆者久保田八郎が、アダムスキーの要請に従って1961年に創始した日本GAPは、UFO問題に関連してア氏の生命哲学と生命科学の研究促進活動を展開し、今や会員約2千名を擁する世界屈指のUFOと宇宙哲学研究グループに発展、人間の宇宙的目的に指導的役割を果たしています。■日本GAPはアメリカGAP本部(ジョージ・アダムスキー財団)公認唯一の日本支部として、密接な連携下に機関誌発行、月例研究会(東京は上野の文化会館)、年次総会を開催し、全国10カ所に支部を設置して各地で月例研究会を施行し、会員の精神の向上と良きカルマの形成に絶大な貢献をしており、UFO事件の追跡のみにとどまらず、宇宙の法則の探求実践を主軸として救われた人は無数にいます。■今年夏は大学でアメリカGAP本部訪問の旅を実施の予定。■不定期刊機関誌「GAPニュースレター」は現在66号を発行中。本格的活版印刷B5判・極上アート紙・40頁・UFO問題や他惑星の偉大な人類存在の認識と宇宙の法則の啓蒙専門誌。

「GAPニュースレター」

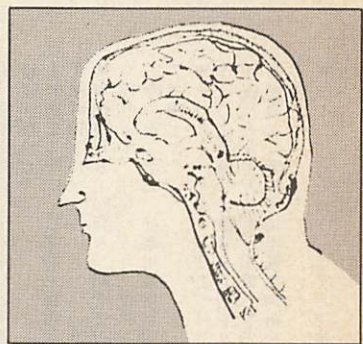
第66号 ¥500 千200

第66号主要記事=「アダムスキー哲学の偉大さについて」S.ホワイティング/「ジョージ・アダムスキーの思い出」フリットクロフト夫妻/「幻影と巨石の国へ(2)」久保田八郎/その他有益記事を満載。

★ハガキに「入会案内書希望・U6月号」と明記して下さいへお申込み下さい。

〒133 東京都江戸川区本一色町365-818 日本GAP(主宰・久保田八郎)電話03(651)0958・振替東京4-35912

キミの かくれた能力 を引き出し、 頭脳をもっと ヨクしよう!



頭脳強化通信講座

◎ アメリカのカール・ヘニングの脳生理学・深層心理学理論にもとづく能力開発システム「ボータ原理」によって、宇宙瞑想・イメージ心理法の技術を習得できます。

◎ 脳の眠っている細胞を活性化して、記憶力・思考力・数理解力・創造力・分析力・集中力・行動力・指導力などの能力が強化されます。

◎ 1日10分の自宅訓練を短期間行うだけで十分効果があがる最新教材を使い、段階を追って基礎から一步一步積み上げ、高度な技術を習得できるよう、懇切な指導をいたしますので、誰でもスグできます。

説明書
無料

ハガキに住所・氏名を明記の上、お申込み下さい。

〒104

東京都中央区銀座2の8の17
中川ビル1号室
唯超学会U係

申込先

14—16
▼日本版「スパイダーマン」No.1—7を2000円前後で。国鉄亀戸駅までとりに来られる方、往復ハガキで連絡下さい。
須田浩之(〒136 東京都江東区亀戸5—44—5)

▼サントラシグル「ゴッドファーザー」明日に向って撃て「ステイキング」等7枚、ペンチャース「クルーエル・シー」17センチLP、「ウルトラマン」巨人の星等を適価で。連絡乞う。
田中政仁(〒532 大阪府大阪市淀川区十三東3丁目11—4清友荘)

▼大山倍達著「ケンカ空手」続ケンカ空手「わが空手修行」「空手道人生」(限界への挑戦)「わが空手革命」以上6冊で4610円を一括33000円で。送料2000円。
大城昌彦(〒434 静岡県浜北市下小林224)

▼マスタグヤ(フールコンI・G・V・078)新品を70000円で。送料別。連絡は往復ハガキで。
岡野芳親(〒722 23 広島県因島市田熊町中区1673)

▼「ザ・コスミック・クウェーション」(UFOの評論とキールの仮説)5200円。「オルゴンエネルギー」(ライヒ、オルゴンエネルギー、及びUFOに関する解説)2330円。お譲りしたいので連絡を。
大島健一(〒289 03 千葉県香取郡小見川町内野172 ☎04788—3—0383)

▼35ミリフルサイズカメラ(ソ連製、未使用)

レバー式巻上げ、ホットシュー付、サイズ80×125、280g。取扱説明書付。これを送料共1万10000円で譲ります。
伊藤浩志(〒594 大阪府和泉市寺町214)

▼和泉宗章著「算術占星学入門」、ピーバン・クリスチナー著「悪魔のカード」を無料に差しあげます。ハガキで連絡を。
今泉久美子(〒951 新潟県新潟市白山浦2—647)

▼柔道着(すそ帯が少し難有)を6000円位で。リターズダイジェスト7711月781月号を35000円、その他あります。ハガキで連絡下さい。
木下実(〒238 神奈川県横浜須賀野市平作2—20—11羽根荘3号)

▼文春デラックス「古代遺跡とUFOの謎」を4000円、「未確認飛行物体」8冊を5000円、「空飛ぶ円盤研究74号」81冊を5000円、軟式用金属バットを15000円、ピクチャーステレオラックを60000円で。いずれも手渡し希望。まずはハガキで連絡を。
坂 晃雄(〒503 01 岐阜県安八郡安八町中938—4)

▼「エニグマ」No.1—No.5、「UFOと宇宙」No.17—No.39を各3500円以上で譲ります。ほしいナンバーと価格を往復ハガキで連絡して下さい。送料別。
道齊一美(〒596 大阪府岸和田市野田町2—11—4)

▼日立の「見聞録」6万90000円を5万50000円で、コロンビアのレコードブレイヤ

ーを1万円位で、南こうせつ、カーペンターズなどのLPレコードを15500円位で。
金石正二(〒876 23 大分県南海部郡蒲江町大字竹ノ浦河内1015)

▼小型望遠鏡(30×40)を15000円、双眼鏡(10×30)を12000円、外国切手100枚と外国コイン100枚を10000円、VHFラジオを8000円、上手なFMステレオ録音「タロット占いの秘密」3000円で譲ります。すべて送料別。一括の場合は送料共6000円。連絡は往復ハガキで。
阿部誠一(〒675 13 兵庫県小野市上本町235—12)

▼録音テープ2本、木曜スペシャル放送のニュージランドTV局とパイロットのUFO遭遇の実況、オーストラリアのセナ機消滅事件の45分テープを10000円で。送料共。
堀江健一(〒240 神奈川県横浜保土ヶ谷区川島町683)

▼OUT776、791月号まで(7711、12、7812はなし)を一括1万20000円で、TVマガジン「ヤマト」松本零士の世界ミライザ等5冊を一括25000円で、旧ヤマト録音テープ(やや雑なとり方)48000円で、旧ヤマト劇場パンフ、ヤマトセル画、ヤマト設定資料のコピー44枚を譲ります。往復ハガキで連絡を下さい。
早川宗也(〒369 01 埼玉県北足立郡吹上町袋393—2)

▼マッキーリー打ち上げ記念メダル(マッキーリーIII、レッドストーン)銅製、直径3センチ、一番高く買ってくれる方に譲ります。往復ハガキで連絡を。
原 政富(〒826 福岡県田川市西区大浦町)

▼大陸書房の本、古代文明、四次元、超能力などの本多数あり、送料別1冊5000円。半額程で譲れる本もあり、リスト希望の方は50円切手同封で。
続 裕子(〒664 兵庫県伊丹市南野字出口207—6)

交換しましょう

▼4チャンネル、3サーボのプロポ一型を持つている方、僕のESPトレーナー(超能力開発訓練機)と交換してください。多少傷あり。西本隆伸(〒869 12 熊本県熊本市津町大津1945—18)

▼コックリさんのことが載っているマンガの本を送ってください。1冊につき50円切手1枚を差し上げます。どんなものでもよいです。即、送ってください。
野中一郎(〒791 06 愛媛県松山市東方町申1153—3)

▼当方所有のマンガ「13号発進せよ」①②③(高野よし子著)、「ヒットラー」「地獄」「水木しげる」および「宇宙戦艦ヤマト2」の現在放映分までの録音テープのいずれかとを、光文社刊「鉄人28号」と「夜光島魔人」①のどちらかと。
吉村泰宣(〒837 福岡県大牟田市歴木878—4)

全国書店で好評発売中!!

につぽん宇宙人白書

宇宙人はすでに日本列島に潜入している！不思議な宇宙人体験の話は数をまじつつある。謎につつまれた宇宙人の活動を探るために現地を訪れた筆者がコンタクトイターたちに直撃取材、事件の全ぼうを明らかにしていく。本書には宇宙人問題の真相を解くカギがかくされている。

■あなたのすぐ側に異星からの訪問者がいる

中央アジア奥地に聖なる楽園を求めて

シャンバラ

好評発売中

ヒマラヤ山中の奥深く眠る伝説の国「シャンバラ」は、古代文化の源泉だった。そして、この王国から遣わされた使者たちは、人類を導き、その危機を救ってきた——。太古史研究の第一人者がシャンバラにとり組んだ「常識を超える真実」の書。

■伝説の王国シャンバラの深奥にせまる！

本誌編集部 内野恒隆著

定価 980円 (送料 160円)



SHAMBHALA シャンバラ

中央アジア奥地に聖なる楽園を求めて



ユニバース出版社

アンドルー・トマス著
遠山峻征訳
定価 1300円 (送料 160円)

〒110 東京都台東区上野5-1-6 ヤマトビル ユニバース出版社 TEL 03(832)1341~4 振替・東京1-119478

●書店にない場合は直接当社営業部までご注文ください。

7月号予告(大增ページ特大号)

100ページ超大型特集

全世界UFO研究誌掲載論文集

米国/ミューフォン・ジャーナル、インターナショナルUFOレポート、アプロ・ブレティン、UFOインベスティゲーター、ジャスト・コース、アングスタンディング他 英国/ビューフォラ、FSRフランス/ルミエール・ダン・ラ・ニユイ、フェノメナ・スバシアル他 アルゼンチン/クワルタ・デイメンシオン、デンマーク/UFO NY 西ドイツ/UFOナハリヒテン 台湾/宇宙科学 カナダ/UFOカナダ、カナディアンUFOレポート スウェーデン/SUFO 日本/GAPニューズライター、ジュフォラ、未確認飛行物体、空飛ぶ円盤研究、UFO、宇宙機、宇宙艇、UFO教室、アペロユーホロジスト他 その他/イタリア、アイスランド、スペイン、メキシコの研究誌

イギリス議会上院で史上初のUFO討議

地球外文明に関するスタンフォード研究集会報告

図解・UFOの推進原理全考察

6月号 UFOと宇宙

編集後記

★最初にお詫びしなくてはなりません。前回の次号予告で100ページの超大型特集「全世界UFO研究誌掲載論文集」をやる、といっておきながら、ご覧のとおり、実現できませんでした。これは作業進行途中で事故が発生したり資金週間に前にして印刷日程が予想外にしまったという悪条件が重なり急遽予定変更となったためです。7月号ではお約束通り、圧倒的なボリュームでこの大特集をお届けできると思います。ご期待ください。

★そんなわけで、今月号は「UFO発展途上国の最新事情」と題した特集を組みました。西ヨーロッパやソビエトの記事が大半を占めていながら「発展途上国」もないものだ、とお思いでしょうが、英米に比べて情報が入りにくい国々、という程度にお考えください。編集部では、今後も全世界のUFO情報を最大限カバーし、望むらくは最先端の未来的宇宙論に挑戦していきたいと考えています。(Y)

投稿歓迎

本誌ではUFOおよび一般ミステリー問題に関する原稿、写真、研究発表等を広く募集しています。原稿はなるべく原稿用紙(タテ書き)をご使用ください。なお、投稿された原稿はお返しいたしません。

あて先 〒110東京都台東区上野5-1-6 ヤマトビル ユニバース出版社「UFOと宇宙」編集部

●都合により内容を変更することがあります。

天文学最前線 太陽系新地図

斎藤守弘

UFOの痕跡完全コレクション



その他、興奮の写真と記事満載!

UFOと宇宙 1979年6月号 第47号

定価 四五〇円 送料五〇円

発行 昭和五十四年六月一日

(月刊/毎月二〇日発売)

編集人 矢沢 潔

発行人 遠矢直輝

発行所 株式会社 ユニバース出版社

住所 〒110 東京都台東区上野五―一六 ヤマトビル

電話 〇三(八三三)一三四一―四四

振替 東京一―一九四七八

印刷所 株式会社サニチ

年々購読料 六〇〇〇円(年間十二冊、送料共)

書店で入手できない場合は、本社へ直接ご注文ください。

本誌掲載記事・写真の無断転載を禁じます。

海外の記事はすべて翻訳転載権取得済。

リライアンス交換レンズ

東京都足立区平野3丁目7番17号

UFOと宇宙

UFO & SPACE

AMAZING
NONFICTION
STORIES

Secret Reports To Pentagon On North African Sightings

Nostradamus' Detailed Predictions Of WWII

UFO's Electromagnetic Effect

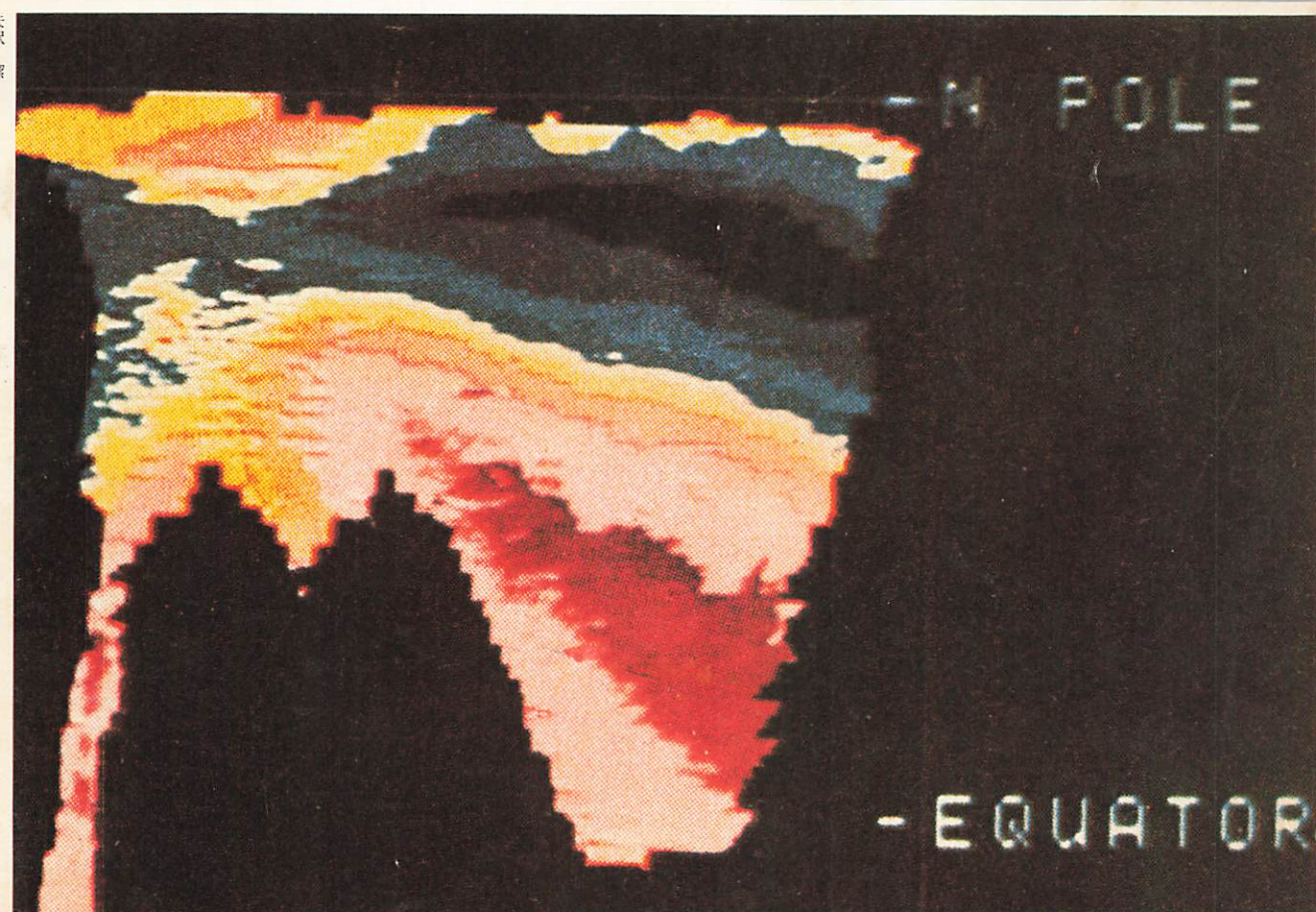
The Riddle Of The Greater Orion Association

Lou Zinsstag Speaks About UFO Research

Do They Really Exist? BY HERMANN OBERTH

The Wandering Poles And Orthoteny

Soviet Probe Of Extraterrestrial Life And UFOs



6 No.47

雑誌08945-6